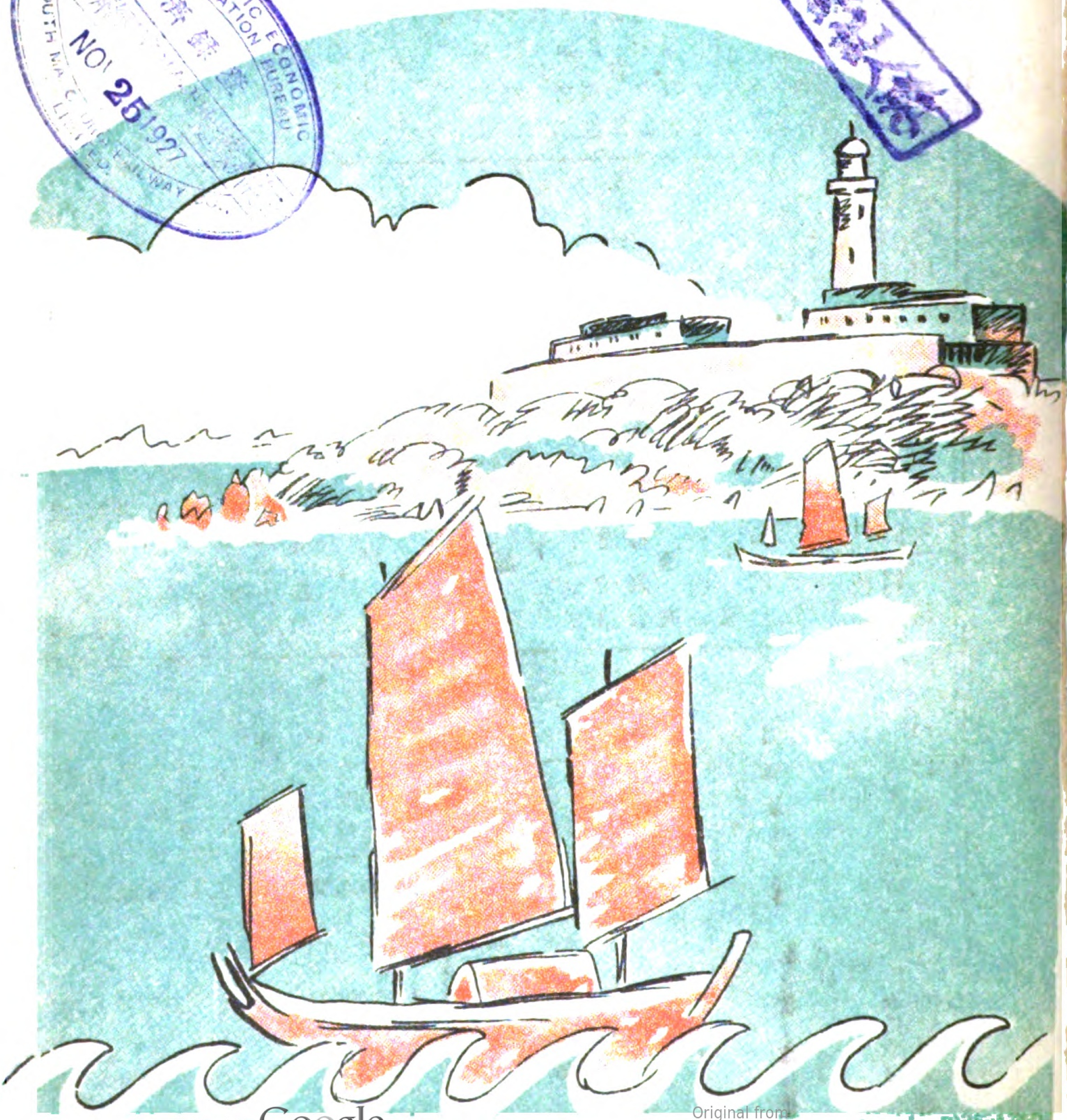
THE TAIWAN JIHO

臺灣時報

十一月號

EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU
NOV 25 1927



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石黑英彦　大越大藏
石坂莊作　小野時雄
伊藤兼吉　簡朗山
西川利藤太　片山三郎
醫學博士 堀内次雄　吉岡荒造
宮田松彦　楊吉臣
宮地近思　醫學博士 高木友枝
陳鴻鳴　高橋親吉
陳中和　田村武七
林熊徵　田村藤四郎
林獻堂　田丸直之
林烈堂　高山仰
林鶴壽　武田英一
李延禧　津久井誠一郎
太田吾一　鼓包美
大竹勝一郎　津田毅一
農學博士 大島金太郎　妻木栗造

永山止米郎　近江時五郎
中田秀造　相原祐彌
宇賀四郎　赤司初太郎
草鹿砥祐吉　赤石定藏
醫學博士 倉岡彦助　坂本素魯哉
久米孝藏　佐々木紀綱
松岡富雄　楢瀬軍之佐
牧山清砂　皿谷廣次
松本晃吉　蔡蓮舫
増永吉次郎　齋藤透
藤野幹　佐藤得太郎
小松吉久　木村久太郎
吳昌才　木村泰治
辜顯榮　許延光
古賀三千人　木下信
黃欣　三好德三郎
吳汝祥　三浦碌郎
黃春帆　白勢黎吉
後藤和佐二　徐杰夫
枝德二　平山寅次郎
遠藤所六　久宗董
鄭神寶　本山文平
後宮信太郎　鈴木重臣

編纂委員

生駒高常　原口竹次郎
猪股松之助　大澤清高
服部武彦　大竹勇

常務員

和田一次　中田榮次郎
和田博　内田隆
鎌田正威　深川繁治
横光吉規　淺野安吉
田端幸三郎　佐藤續
中瀬拙夫　水越幸一

編輯係

秦滿　眞倉民治
鷹取田一郎　安藤泰夫
泉芳德　鈴木重男
葉山石雲　伊藤憐之助

昭和二年十一月十三日印刷（每月一回
昭和二年十一月十五日發行　十五日發行）

（定價一部郵稅共金三十五錢
廣告料　一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府内
臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府内第八九番

編輯兼發行人　臺北市東門町一五八番地
伊藤憐之助

印刷者　臺北市榮町二丁目十二番地
加藤豐吉

印刷所　臺北市京町一丁目四十三番地
小塚本店印刷工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社 臺灣銀行 （臺北）

支店出張所

臺灣

基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南

高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

支那

上海　漢口　福州　厦門

汕頭　香港　廣東　新嘉坡

其他

スラバヤ　スマラン　バタビヤ　孟買

カルカッタ　倫敦　紐育

內地

神戸　大阪　横濱　東京

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報 昭和二年十一月號 目次

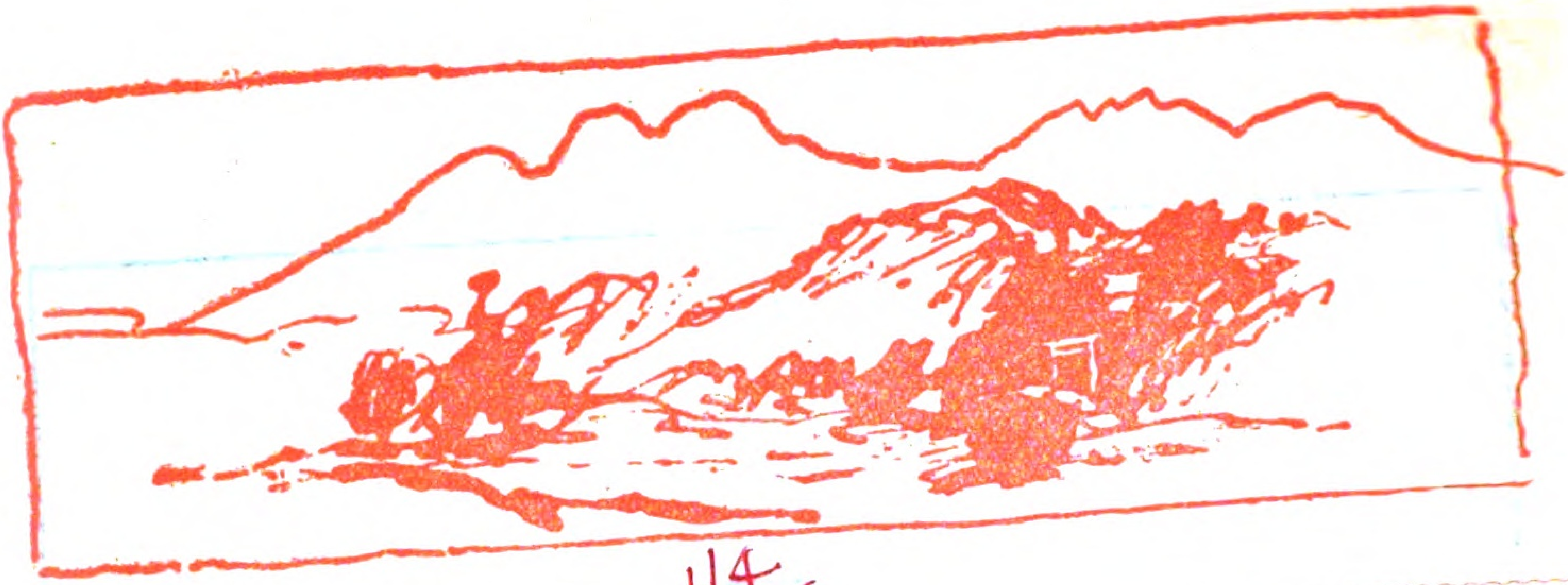
口繪 ▼第一回臺灣美術展覽會

時言
上山總督告辭 …… 一
第五回臺灣總督府評議會 …… 四

臺灣總督府 評議會
評議會の效果 …… 上山總督談 …… 六
評議會感想
—政治上確に反響があらう …… 小畑勇吉 …… 八
—第五回評議會に對する感想 …… 顏國年 …… 九
—評議會雜感 …… 黃純青 …… 一〇
—評議會に關する感想の一端 …… 鈴木重臣 …… 一〇
—現在の制度に同意 …… 藍高川 …… 一〇
—評議會に關する感想の一片 …… 吳昌才 …… 一一
—評議會の善用を望む …… 赤石定藏 …… 一一
—總督府評議會に對する感想 …… 李崇禮 …… 一二

臺灣美術展覽會
上山總督祝辭 …… 一三
後藤會長式辭 …… 一四
第一回臺灣美術展覽會出品畫の審査に就て …… 石黑審査委員長 …… 一六
臺展概觀 …… 石川欽一郎 …… 一七
臺展洋畫概評 …… 鹽月桃甫 …… 二二
東洋畫鑑査雜感 …… 木下靜涯 …… 二三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



H4 A68
E73

時報

▼全島中等學校長會議、總督訓示、總務長官訓示 ▼高砂寮開寮 ▼一二等郵便局長會議・總務長官訓示 ▼上山總督阿里山視察 ▼全島產業組合大會、總督祝辭、會頭挨拶 ▼勤儉獎勵强調 ▼島內銀行預金利下 ▼島內銀行貸出利下 ▼第一回臺灣美術展覽會……一五－四二

寄書

支那の時局と支那貿易の消長……井出季和太……四三

開蘭吳沙傳……八丁春太郎……六〇

講演

亞細亞から歐米へ……鎌田正威……六四

說演

臺灣に於ける民族研究の提唱（下）……西岡英夫……七七

南洋視記……室田有……八四

調查研究

農村、市街地信用組合金融事情……泉芳德……九九

臺灣貿易統計……臺灣總督府稅關……一一一

臺灣金融統計……財務局金融課……一一八

昭和二年度前期分州稅徵收成績……內務局地方課……一二三

島情

文苑　漢詩　俳句……一二五

臺灣日誌　人事消息　任命……一二七

支那及南洋情報……支那　香港　比律賓　佛領印度支那　暹羅　英領馬來　蘭領東印度　英領印度……總督官房調查課……一－七二

支那及南洋其他海外重要記事索引……總督官房調查課……一－一八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三井物産株式會社

臺北
臺南
支店

出張所、出張員

廈門　福州
基隆　高雄
臺中

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一回臺灣美術展覽會

(於臺北市樺山小學校)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

十一月號

上山臺灣總督告辭

――昭和二年十月三日　於臺灣總督府評議會――

第五回臺灣總督府評議會を招集し玆に諸君と本島統治の要務を議するの機會を得たるは本官の深く欣幸とする所なり。

本評議會は大正十年六月以來開會既に四回に及び統治上に貢献せし所頗る大なるものあり本官は諸君が胸襟を披瀝して審議を盡し臺灣の進歩發展に資せられむことを屬望して已まず。

臺灣統治に關する要件にして諸君の審議に俟つべきもの尠からず今後回を重ぬるに隨ひ漸次之れを提出すべし今先づ玆に諸君に諮らむとするは前年審議未了の一件と新に提案せる二件とにして諸君の愼重審議せられむことを望む此の三條件の趣旨は主任官をして別に說明せしむることゝし。本官は臺灣統治の要議に就いて一言する所あらむとす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本官の懷抱せる統治の方針は昨年蒞任以來部下に訓示せしこと數次なれば諸君は既に傳聞せられたらむも今此の機會に於て直接に諸君に之れを説述するは蓋し本官の責務なるべし。

臺灣統治の本義は一視同仁の　聖旨を奉戴し民族の融合を中樞として文化と經濟との併行併進を期するに在りて復他あることなし。

我が帝國が版圖の一部として重きを本島に置く所以のものは南門の鎖鑰を鞏固にして東洋平和確保の使命を全うすると共に永遠に四百萬　陛下の赤子をして無邊の恩澤に浴し不盡の福祉を享けしめむとするに在り而も此の大方針は改隷當時早く既に確立して萬古動かすべからざるものなり故に政府は爾來大に力を臺灣に用ひ其の形而上及形而下の發達を促進し之れをして長へに文質彬々たる帝國領土たらしめむことに努めつゝあり。

更に臺灣の爲めに之れを思ふに臺灣が帝國の領土たることは永久に無上の幸福なり是れ之れを外にしては東洋の情勢に觀之を内にしては島内の實相に察するも昭々乎として明なり豈復多言を要せむや。

臺灣の帝國領土たるの意義夫れ斯くの如し然れば則ち臺灣官民が臺灣をして將來文化に於て經濟に於て内地と比肩接武せしむるを以て其の理想となし協心戮力向上の一路に驀進せざるべからざる所以のもの亦以て知るべきのみ此の理想を實現せむには民族の渾然たる融合を成就するに如くはなし是れ本官が臺灣統治の本義として民族の融合を中樞とせる文化經濟の併行併進を唱ふる所以なり。

民族の融合は造次顚沛も之れを忽諸にするを得ず然れども亦功を收むるに急なるべからず若し之れを急にするがごときは其の長ずるを助けむとして苗を揠くものに異らず唯其の江河の滾々として晝夜を舍てざるが如く努めて懈らざれば必ずや其の期待する所に達するを得む。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大和民族の祖先は本來數民族の集合なりがし今や渾和融合して自他判ち難き一民族を形成し國運年を逐て隆興し國民長へに福利を享有す其の此に至るを得し所以のものは一に我　皇室の歷朝渝ることなき一視同仁の聖德に在りて存す大和民族の祖先は深く此の至仁至慈なる　聖旨を奉體して克く親和輯睦の美風を養ひ遂に民族融合の實を擧ぐるを得たり。

我が臺灣が改隷以來常に一視同仁の　聖恩に浴せその事實は諸君の親しく見聞せらるゝ所なり本官は上に此の　皇室を奉戴する同胞が居常親和輯睦を以て念とするに於ては臺灣に於ても亦內地に於けるが如く完全なる融合を見るの日期して待つべきを信じて疑はず然れども弦急なれば絕つことあり吾等は唯此の信念を確固にして日夜不撓不屈以て步々彼岸に達せむことを期すべきのみ此の如くにして帝國は始て臺灣統治の使命を全うすべく從つて臺灣住民は永久の福利を確保し得べし獨り然るのみならず現下の臺灣に在りても文化經濟の併行併進を遂ぐべき唯一無二の途は亦實に此に存す。

今や世界列強は國勢を伸張し民福を增進するに日も惟れ足らず帝國たるもの亦固より苟且偸安を容さず而して我臺灣の帝國に於て重きをなせること既に上に說く所の如し臺灣の官民たるもの奮勵努力して貢獻寄與する所なかるべからず是れ評議會員の責務尤重大なる所以なり本官は深く臺灣官民の諸君に倚賴するの輕からざるものあるを思ひ諸君の精勵を望むこと極めて切なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第五回臺灣總督府評議會

第五回臺灣總督府評議會は十月三日から同五日まで三日間總督府に於て開會された。その第一日は三日午前九時、總督府三階貴賓室に於て開會、定刻振鈴と共に會員一同議場に入る。上山總督は正面議長席に著き、後藤副會長以下相原、豐田、石黑、高木、島田、赤石、三好、吳、顏、黃、鈴木、黃、鄭、古賀、小畑、簡、坂本、辜、松岡、李、荒卷、平山、藍、陳の各評議會員並に生駒、水越、一戸各幹事著席、水越幹事開會を宣するや上山總督は起つて評議會々員に對する告辭(別項)を述べ、これに對して高木友枝氏は會員一同を代表して大要左の如き答辭を述べた。

私共は總督閣下が就任の當初全島民にお與へ下さつた訓辭を回想し、今又この評議會席上に於て親しく閣下の告示を承つて、今更の如くその責任の重且つ大なる事を痛感致しました。熟々思みるに臺灣の統治は閣下が告示に於て御示し下さつた通り、至仁至慈なる聖旨を奉體し、克く親和輯睦の美風を養ひ、民族融合の實を擧げる事を目標として、文化と經濟を併進すべきであると信じ、微力乍ら私共もこの御主旨の下に誠心誠意力を致す覺悟であります。民族の融合は一般的に云へば、時に面白からぬ樣な事があり、一見困難の樣に考へられますが、一旦緩急ある場合に、克く融合協力の實を示し得る事は、過般の財界恐慌の際に於ても立派に證據立てをります。私共はあの際の氣持を忘れず、飽迄民族の融合の爲努力したいと思ひます。諮問案に對しては愼重審議御諮問に答へ、重大な責任の萬分の一を果したいと思ひます(答辭要旨)。

かくて直ちに議事に入り

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

現在の祭祀公業に對し執るべき措置如何

を議題とし、一戸參列員の諮問理由說明ありて質問及び討議に移り、之を終つて八名の委員附託とし午後二時十五分散會した。總督府評議會第二日は四日午前十時開會

實業的敎育の普及徹底に付き執るべき方策如何

を議題とし、石黑文敎局長の諮問理由の說明ありて前日同樣質問に次いで討議に入り、未了のまゝ午後四時散會。第三日は五日午前九時十分開會、前日に引續き實業敎育に關する意見續出したが第二諮問案の討議を終了して七名の特別委員附託、續いて第三諮問案。

本島住民の海外發展を圖るに適切なる方策如何

を議題とし生駒參列員の說明ありて、質問討議の後七名の特別委員に附託して議事を終る、この時、上山議長は一同に對して大要左の如き閉會の挨拶を述べ午後四時半散會した。

茲に第五回評議會を終るに當り一應御挨拶致します、殘暑の折柄、非常に御多用中をも顧みず諸君の御參集を煩はしたにも拘らず旅行中の方をのぞき全部御出席下され午前午後に亘り熱心に討議せられたることは臺灣のため深く感謝する所である今後も時々御參集を煩はすかも知れないが何卒よろしく、特別委員に附託した問題に就いては遠からず又御參集を煩す事になると思ひますが其の際にも今回同樣重ねて諸君の熱誠なる御討議を前以て願つて置きます此の上とも御努力御援助せられんことを切望して閉會の辭と致します。

後記 尙ほ委員會に於ける結果報告を議題として第六回評議會は十月十八日開會されたが、該記事は之を次號に讓る。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

評議會の效果

上山總督談

余は總督府評議會に臨んで大いに我が臺灣の爲めに意を強くした。會員全部が非常な熱心を以つて、意見を述べるに就いて豫め深い研究を重ね覺書迄用意して出席した人も少なくなかつた。午前午後引續き三日間に亙る會議中、誰一人倦怠の色を見せたものもなく、熱心に討議せられた。自分は此の現象を見て深く喜びに堪へず、遂に會員の熱心なのに釣り込まれて、終始多大の興味を以つて意見を傾聽した。評議會が官選で諮問機關である點に就いて多少議論もあるやうであるが、自分の考としては臺灣現在の程度に於いては大體に於いて適當な制度であると信ずる。勿論民選の議決機關に結局は進めて行く可きであり、又之に努力しなければならぬが、今日の程度に於いては一足飛びに之に突進することは出來ない漸を以つて進む可きである。

民選の議決機關は往々にして議論の機關になり勝ちである。民度の大いに進歩した社會に於いてさへ注意をしないと此の弊に陷る虞がある。官選であつても選任者が公平無私の態度を以つてすれば民選よりも却つて社會の實狀に應ずることが出來る。諮問機關であつても當局者が其の意見を心から尊重すれば、却つて決議機關の黨派的偏見を避けて寧ろ國民の幸福になる。

會員たる者も官選なるが故に何も官廳の意を迎ふべきでなく、又諮問機關なるが故に無責任な御座なりを言ふ可きでないと言ふことは、今回の評議會が之を證明して餘りがある。此の成績は寸毫たりとも民選の議決機關に劣らないと信ずる、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

而して現在の臺灣の狀態に於いては此の官選諮問機關が確に適當である、民度の發達に伴ひ漸次之を進めて遂には民選議決機關にすべきである。但し此處に民選議決機關と言ふのは臺灣の地方的機關で決して國家的機關の意義ではない、帝國の國家的議決機關は唯一の帝國議會でなくてはならぬ。帝國議會以外に國家議決機關の存在することは、國家統一上夢想だもすべからざる所である。

自分は終りに會員諸君の誠に熱心に數日に亙つて臺灣の爲めに審議せられたる努力に對して深き謝意を表すると共に、此の努力が必ずや我が臺灣に貢獻することの多大なる可きを信じて疑はぬ。

評議會感想

今回臺灣總督府評議會再開を機とし、本誌は同會議に列せられた評議會々員諸氏に評議會に關する感想の御寄稿を乞ふた。左に錄するは即ちそれであつて、公私共に多忙を極めらるゝ評議會員諸氏が、特に本誌の爲めに御執筆下さつたことを茲に感謝し、併せて順序不同、題及び句讀の多くは編者に於て施したことをお斷りする。

政治上確に反響があらう

小畑勇吉

今回評議會に出席して最も痛切に感じ且嬉しく覺えた點は、會議中熱心の餘り會員の訴へむとする論旨が多少見當違ひの處もあり、或は言はずもがなと思ふやうな點も少くなく、謂はゞ平生考へて居る事を此の機會に腹藏なく陳べ立てた觀がある。普通なれば問題外なりと一蹴すべき處を總督は言論に聊かの制肘も加へられず、思ふ存分言はしめられた點は其の意裏も忖度せられて非常に親しみ深く覺えた。

申す迄もなく、總督は此議論の內可成公平なる民意の動きを見出し、之を總督政治の上に何等か實現したいと云ふ抱負があり〳〵と窺はれた。會員も此熱心に動かされて識らず〳〵釣込まれて大に陳べ立てたと云ふ事になつたのである。

猶一つ特に感激したることは、評議會再興に就ての總督の抱負である。此抱負と堅き決意を目のあたり聞くに及むで、世評、一部の人に依て誤解さるゝ評議會は一の誤魔かし機關に過ぎずとの批評は妄評なる事がしみ〴〵と感ぜられた。

總督は非常に純眞な眞面目な人である頭隱して尻隱かずと云ふ、今樣式の政治家ではない。挨拶の言葉の內にも「自分は天を恐るゝのである、口と心と違つた事は斷じて行はぬ」と、最も強い調子で陳べられた事が聞くものには相當に大きく響いたのである。

總督が此心持であれば、吾々會員の責任も益々多きを加へ、公平なる輿論を尤も率直に訴へねばならむことになる。總務長官は又あの緻密な頭で一言も聞き洩さぬと云ふ態度で始終熱心に意見を聞いて居られたことは、是亦會員の大なる勵みを増した一つである。

次に實業教育問題に於て文教局長の詳細なる説明に依り、教育方針が從來の劃一主義、形式主義を脱し、臺灣に適合したる實際教育の方面に向つて進みたい、是目的の爲には今日の中學校の組織の内容をも或程度迄は改善する處迄行つて見たいとの新しき考へは、舊式一天張の從來の教育者には驚く者があるかも知れぬが、玆に於て始めて我々平民の教育上の意見と合致した譯で喜に堪えぬのである。

海外發展の問題に至ては非常に必要な問題で、又非常な難問題である。會議の席上にては未だ充分に論議し盡し得なかつた觀があるが、目下特別委員會に附して成案作製中で、如何なる成案を得られるか大に期待して居る譯である。

要するに今回の評議會は、總督長官を初め關係幹事の熱心により、會員も忌憚なく述べむと欲する處を陳べ盡し、今後の政治の上に何等かの反響は確かにあることゝ信ずるのである。（昭和二、一〇、一一）

第五回評議會に對する感想

顏　國　年

今回の評議會は總督閣下が告辭に於いて劈頭に、從來の行掛りに拘はらず討議して貰いたい、且つ固くならぬ樣に懇談的に遣りたいとの御旨趣でありましたから、吾々會員は無遠慮に腹藏なき胸襟を披瀝し、議題は僅かに三問題だが、毎日豫定時間以上に倦怠なく熱心に討議した次第でありますが、退いて考ふれば修辭等に於ても隨分不行屆の廉もあつたろうと思へば今更忸怩たるものがないではありません。

それにも拘はらず總督長官ともに眞面目に、熱心に、吾々の主張に對し注意して耳を傾けられたことは只々感謝の外はありません。固より評議會は諮問機關で決議機關ではありませんが、此情勢より察するに、吾々の主張は必ずや他日實行さるゝことゝなるであらうと信じます。私は評議會へ出席したのは今回が初めてでありますが、其實況を見て誠に衷心感激して居る次第であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

評議會感想談

黃　純　青

議長親切寛容、自始至終、凡有所問、凡有所答、熱心傾聽。因之會員盡得吐露其意見、非常滿足。總而言之、三日之間、議事堂中、和氣藹々、可喜之現象也。自今以後、望時常開會、以疏通官民意志、於本島統治上、信有裨益也。

評議會に關する感想の一端

鈴　木　重　臣

一、各會員の熱心なるは驚く計りなりき。議案に對し其の多數は豫め調査研究して之れに臨み其の意見を堂々遠慮なく發表せしもの丶如し。併し甲の說きし意見と殆んど同一意見を、乙、丙、丁等に依りて繰返し々々論議せらる丶は如何のものにや。若し多少にても思ひを此處に致さば、次會以後は尙ほ短少時間にて、多大の意見を開陳し得らる可しと思ふ。

一、當局の御都合に因る事ならんも、各議案に關する參考資料を議案と同時に、又は會議に附する前一日位ひ迄に各會員の手許に送致して、之れを熟讀するの時間と餘裕とを與へらるれば仕合なり。

一、上山總督の議長振りは、多年貴族院等にて御經驗あること丶見へ、其の態度の沈着、言語の明確と共に議場整理の御手腕に就ては流石と感心せり。

現在の制度に同意

藍　高　川

臺灣總督府評議會官制を定められてから已に八年間にもなりますが、其の間、評議員は官選であるとか、又は決議機關でないとか、種々な批評も耳にしますが、是れは人々によりまして見解も夫々相違しますから、尙議論の餘地もある樣でありますが、小生の考としましては、州市街庄の協議員と協議會でさへ、未だ民選の決議機關に進んで居りませぬ今日、總督府評議會も矢張り現狀を推行する方が適當ではないかと思ふ。

本島の現狀では、未だ自治の訓練時代で、他年愈々內地と同樣の自治制度を布かれた曉、此の評議會も當然內地の府縣議會と同樣の組織に改造せらる丶は明な事で今日の處では現在の制度に同意せねばならぬと思はれます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

評議會に關する感想の一片

呉　昌　才

茲に評議會の再開を見たるは實に島民の一福音である。上山總督閣下が此の評議會を再開せられ、議長となられて三日間に亙り五分間の休憩もなく、愼重に會議を續けられたる事に依つて、施政上如何に民意を重んぜらるゝかが窺はれる。而して會員は內臺人一體となつて、三諮詢に對し極めて眞劍に議論された樣に感じた。議論は良かれ惡かれ何れも島民福利增進の精神の迸りであつた。

祭祀公業の存置を見るを得たるは一に舊慣の精神上稱讃すべき所があるからである。之に就いては法の如何と言ふよりも、在來の祖先崇敬の美點を忘却せずに、之を有意義に運用する事が何より大切であると思ふ。

第二第三の諮詢に對しては尙講究すべき餘地があるが、要するに臺灣の現狀に鑑み、一日も速かに實業敎育（殊に高等工業敎育）の普及徹底を圖り、智識技能ある人材を造出して本島の實業を發達せしめ、且つ海外にも發展せしむることは目下の急務であらう。

本會議に當り最も遺憾に思ふのは、國語の不十分の爲、愚見を自由に披瀝することの出來ざる點である。今後宜しく國語の流暢なる者を選ばれんことを切に希望する次第である。

評議會の善用を望む

赤　石　定　藏

余は僅に一日間出席せしのみにて、人並に感想を述ぶるの資格なきも、今回は過半數以上の新進會員あり、自然潑剌たる氣分に滿ちたるは事實なり。唯だ職務に熱烈なるの餘り、本島人會員中には往々問題の範圍を超越し、又は問題を理解せずして競爭的に論議したるもの多く、聊か評議會を村會式に傾かしめたるの嫌なしとせず。併し、是れも數回を重ぬる中には、自から試練改善せらるべしと思ふ元來評議會は統治上一種の安全辨たるの性質を有するが故に、會員の言はんと欲する所は成るべく之を言はしめ、其間に於ける言外の機微を捕捉する事は爲政上の一大要決なり余は今回の評議會をも同樣の意味に於て出來る丈け善用せん事を望む。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

督府評議會に對する感想

李　崇　禮

臺灣時報社より今回の督府評議會に對する感想を書けとの言葉に接し、私は庸陋の筆力を顧みず玆に感想の一端を述べて御社に對しての義務を果し併て四百萬同胞の參考に供せんとす。

抑々臺灣の帝國版圖に入りにしより歲月を重ぬること玆に三十餘三、其の間臺灣統治の改革を爲すこと幾度も經て大正十年九月臺灣にて最高と謂るゝ諮問機關たる評議會を設置して、年一回之れを召集して、臺灣統治に關する一部問題を評議會に諮詢して此れを臺灣施政上の方針となせり。而して本島住民の一部が其の評議會の設置を喜はず却へて之れを非議せり。而して其の因由を聞くに現在の臺灣の評議會は眞に民意を尊重して是が政治の目標と爲すに非ずして、最近の民度の發達に鑑み已むを得ざる姑息手段に出でしのみに過ぎずと。

今回私は親しく其の會に臨み當局の動靜を窺はるゝを得たり。過去の評議會はいざ知らず、而して今回に於て諮問されし三問題は總べて臺灣に關し大なる事項と云はざるべからず。

先づ第一日の諮問案たる現在の祭祀公業の措置方法如何に對し、其の提案の理由を見るに、之れを廢せんとする意嚮に察し得らる。然るに本評議會に於ては會員全部が其の理由に反對せり即ち祭祀公業は古より傳來せる祖先崇拜の美精神を永劫に存在すべきことが正當であるとの理由の下に悉皆これが存續を主張せり。其の時に當り會長も耳を傾けて之れを聽きて神に入るが如し。これ先づ第一に私の印象せる所なり。

其の翌日の實業的教育普及徹底に就き取るべき方策如何との諮問に至りては、良く民意の存する所を察せられ、如何に冗長の討論も些の御異存なく充分に其の意を盡さしめられたるは、私をして、其の豪爽闊達にして襟度の大なるに感激せしめざるを得ぬ。是れ第二の印象なり。

第三日の本島住民の海外發展策も會長は前日に異りたる氣色なく能く私をして思ふ所を盡さしめたり。是れ第三の印象なり。

兎角今回の評議會は大に民意の存する所を尊意せらるゝ事は窺はれる、故に私は此評議會は臺灣に於て必しも無用に非ず應に臺灣統治上に稗益する所多かるべしと信ず。是れを以て筆を擱かんとす、然し感想を述べしと雖も淺學菲才時に達意せざるあるを免れず幸に讀者諸賢の諒を乞ふ。

（十月二十八日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上山總督祝辭

——昭和二年十月二十七日　於第一回臺灣美術展覽會——

第一回臺灣美術展覽會の開會式に當り一言所懷を陳ぶるを得るは余の欣幸とする所なり。

夫れ美術は文明の精華にして其の榮枠は以て國運の隆替を徴するに足るなり恭しく惟るに皇澤遐邇に覃敷すること玆に三十餘年諸般の施設は漸を逐て績を奏し駸々として進みて息まず獨り美術の一途のみ之れを度外に置くの理あらむや則ち爰に美術展覽會新たに成り本島文化の興隆に資する所あらむとす祝すべきなり。

顧ふに本島は天候的に地理的に一種の特色を有す美術は環境の反映なり亦自ら特色あるべきは固より言ふを俟たず今や方に美術の萌芽を見る之れに培ひ之れに灌かば他日花實倶に秀て帝國の一異彩たること期して待つべきなり由來美術の目的は崇高なる心境を開拓し人生をして枯淡無味ならしめず因て以て潑溂の氣象を養ひ更に大に益する所あらむとするなり若し夫れ專ら物質に偏し美術を度外視せむか是れ終日馬を驅て水を飼はず百里車を馳せて油を點せざるが如し本會は草創に屬すと雖も其の出品畫を熟覽するに生意滿幅に躍動し大に人意を強うする者あり必ずや其の疾驅の馬の水と爲り奔馳の車の油と爲りて本島の生活上に一時期を劃すべきを疑はず然れども此の目的を遂せむには作家諸君一層の研鑽と世上一般の熱心なる後援とに俟たざるべからず冀くは相俱に協同努力して文明の精華をして燦然たる異彩を放たしめ以て昭代の化に仰副せられむことを、是れを祝辭と爲す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

後藤會長式辭

‖昭和二年十月二十七日　於第一回臺灣美術展覽會‖

曩に本會が美術展覽會の計畫を發表致しました所、幸にして各方面の注意を喚起致しまして多大の興味を以て其の實現を期待されたので御座います。爾來評議員各位の熱心なる御援助と作家各位の異常の御奮勵とに依りまして、本日茲に首尾能く開會の式を擧ぐるに至りまして、總督閣下を始め各位の御臨場を辱う致しました事は誠に感謝に堪へない次第で御座います。

只今審査委員長の披告にもありましたやうに豫期致しましたより以上の出品が御座いまして、其の點審査委員諸氏に於かれても定めて審査の仕甲斐があつたことゝ存じます。其の成績に至りましては、當事者としては差控へまして偏に公平なる各位の御批評に待ちたいと存じます。

考へて見まするに、美術は實に人文の精華で御座いまして其の消長に依りまして治績の深淺國運の隆替をも測ることが出來ます。そこで文明各國に於きましては、その國民が競うて美術の研究に力を致しまするし、政府に於ても亦保護獎勵を怠らないので御座います。我が國は古來美術を尊重致しまして、其の成績に頗る見るべきものが御座いました。此の點は、歐米各國に比べまして優に一特色をなして居るので御座います。特に明治以後に至りまして彼の國の長所をも採り入れまして研鑚考究に力めました結果、今日の如く奎運隆昌の域に達しました。政府に於かれましても夙に美術展覽會を設

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けられて奬勵に意を用ひられ、民間に於ても各種の團體が夫々展覽會を開催して切瑳琢磨の機會を造つて居りますことは各位御承知の通りで御座います。

本島に於きましても斯樣な企を要望する機運は夙に發動致して居りまして、個人の展覽會或は稀に類似のものは多少開催されて居りましたが、稍々大規模のものに至りましては未だ開設を見るに至らなかつので御座います。本會は是等の機運に促されて自ら生じ出たと申して差支なからうと存じます。幸にこれが刺戟となりまして作家の發奮を促し、觀賞者の趣味を向上せしめ、本島美術の進展を促進することが出來ましたならば誠に此の上もない仕合と存じます。

由來本島は特異の自然を有して居りますので、これを對象と致します藝術も亦自ら特色の存するものが御座います。この點は今回の出品に徵しましても明な點で御座います。將來益々此の傾向を助長して燦然たる南國美術の殿堂を築き、帝國の美術界に貢獻致さなければならないので御座いますが、これは一に本島に在住せらるゝ美術家各位の雙肩に係つて居る所で御座います。帝國美術の爲め切に美術家各位の御努力を希望する次第で御座います。

尙、今回は第一回の試みと致しまして、美術の中最も廣く普及致して居ります繪畫に限りましたが、將來回を重るに從ひまして各方面に擴張したいと存じて居ります。

會を開くに當りまして、一言所懷を述べて式辭と致します。終りに來賓各位竝に作家各位の御健康を祈ります。

（式辭要旨文責在記者）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一回臺灣美術展覽會
出品畫の審査に就て

審査委員長　石黒英彦

玆に第一回臺灣美術展覽會出品畫審査の大要を報告致します、受付點數は東洋畫に於て九十二人百七十五點西洋畫に於て二百二十一人四百七十三點計三百十三人六百四十八點に達し內無鑑査十九點を除き審査の結果東洋畫に於て二十五人三十三點西洋畫に於て六十五人六十七點計九十人百點の入選決定を見たのであります、是れを出品總數に對比しますると通じて約六分の一弱に當り文部省美術展覽會當初の入選比率と大差なく現今の帝國美術院展覽會の入選率十分の一に比し稍多く第一回の成績としては概ね良好なる結果を得たるものと謂ひ得るのであります。

審査の狀況に就いては本會出品規則は勿論新興臺灣美術展覽會の意義に稽へ專ら作品本位とし純眞にして個性に富み生氣橫溢せる苟も藝術品として價値ありと認めたるものは努めて多くを採用することを方針とし會場の關係入選數の豫定等は敢て考慮せざりし所であります、斯くして審査は第一回第二回第三回に分ち最も嚴正に行はれ各審査員の意見は常に一致し圓滿なる進行を遂げましたことは審査委員長として滿足に堪へざる次第であります。

入選畫は孰れも自己の嚮ふ所を示し生き生きしたる氣分に充ち而も臺灣特有の色彩に富たるもの丶多かつたことは一には臺灣美術界の向上發展を暗示し一には其の特色を發揮したるものでありまして、斯界の爲め欣快を禁ずる能はざる所であります、要之第一回臺灣美術展覽會としては豫期以上の好成績を示し公開の曉は必ずや本島美術發達の基調ともなり今後の向ふ所を指示するものありと信じます。（昭和二年十月二十七日第一回臺灣美術展覽會に於ける報告）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣美術展覽會概評

第一回臺灣美術展覽會が開かれて島都の秋を飾つた。そうしてそれは本島最初の試としては非常な好成績であり、またそれが本島美術界は勿論、内臺融和に貢献するところ決して尠くないと各方面から評せらるゝ。本誌は玆に審査委員諸氏に乞ふてその概評を掲ぐることゝした。（順序原稿到着順）

臺展概觀

石川欽一郎

臺展に出品された洋畫の大體の傾向を見ると先づ印象派風のアカデミツクの畫と現代派風の表現的の畫との二樣に區別される。帝展その他歐洲の展覽會などで見るやうな十二三世紀あたりの古雅な趣きを狙つたものとか、又た今歐洲あたりで一派の畫家が描いて居るやうな哲學的表出の畫とでも言はれるやうなものは見當らない。それだけこゝでは作家の研究の範圍が狹いと言へば言はれやうが併し學生其他の餘技的作家の多い割には却々好成績を示して居る。

洋畫なるものゝ概念を捉へるためにはこゝで一寸昔から今日までの畫風の變化、換言すれば畫家の態度の推移に就て述べるのが便利かと思はれる。先づ畫術として大成したのは希臘時代と言はれて居るが、今日歐洲でも、希臘時代の藝術品は建築や彫刻などの外には繪畫として殘つたものは見られないから、畫術に就てはたゞ口碑によつて一般を想像するより外は無いが、主として當時は寫實に重きを置いたと思はれることは、かの有名なジユージスとパラシユスの噺によつても解かる。これは二人とも紀元前四百年頃の希臘の有名な畫家であつたが、ジユージスが葡萄を描いてそれを乾かすために椽端に置いたのを鳥が飛び込んで來て刺した。この評判が世間に弘がつて名聲は愈々騰まつたが、このことをパラシユスが聞いて、早速作畫に取りかゝつた。出來上がつてからジユージスを自分の畫室に招いて批評を需めた。ジユージスがパラシユスの畫室に這入つて見ると、額の上に模樣の美しい布片が被ぶせてあるので近づいてそれを取除けやうとして見ればその布片が畫であつた

ので驚いた。パラシュスは笑いながら、君の描いた葡萄は鳥の目を僞はつたのであるが、私の描いた布片は畫家の目を僞はつたのであるから、この方が數等佳く出來て居るわけでは無からうかと言つたと云ふ噺である。この噺によつて學ぶところは、希臘時代には畫家は主として寫實即ち自然の復寫的再現に全力を盡くしたことが解かる。畫家のこの態度は近代までも永く續いて居るが、併しその間に、物の形に重きを置いて描いたり、又た物の色に重きを置いて描いたり、いろ／＼と畫家の考へによつて研究が進められて居た。

そのうちに、段々畫術が進むに從つて、同じく自然の寫實ではあつてもその描法が研究されてやがて或る樣式が纒まるやうになつた、即ち樣式派、換言すれば古典派がそれである。日本の古典派などはその最も代表的のもので、畫術に免許と云ふことなども作つて、許るしを受けた者で無ければ或種の色は使はせぬとさへ決められた時代もあつた。歐洲では十八世紀頃まではこの古典派が盛んに行はれたが、そのうちに、自然の寫實ではあるが復製的の寫實では無く、畫家が自然を見て印象を受けるその印象の描寫を僞る一派が現はれた。即ち自然派又た印象派とも言はれるものである。

これらの寫實派も印象派も、そのまゝ今日まで研究が進められて居て、展覽會などにも非常に綿密に描いた寫實的の畫や物の心持や趣を描いた、印象的の畫などが見かける次第であるが、この印象派の畫はすべて畫家が自然を客觀して得た印象に就ての取扱ひであつたが、その後、客觀で無く專ら畫家の主觀に基いて自然を觀照する一派が現はれた。即ち前の印象派に對して後の印象派又は後期印象派と唱へられるもので、これは明治四十年頃から歐洲で一派の畫家の間に描き出されたものである。

この後期印象派の主義としては、恰度前の印象派の反對で、前の印象派は自然の客觀を元とするから成るべく自己の考へを捨てゝ自然を見やうとしたのに對して、後の印象派は自己の主觀に依つて、自然を見るのである。從つて成るべく傳統的の構圖の著け方や、習得的の描法や、練磨的の布彩を捨てゝ、すべて新らしく自分の考案のまゝに自分の主觀的觀照のまゝに自然を取扱ふのである。描法も古來の研究の迹とは全く別に子供の描いたやうな無我なる表現をしやうと心がけるのである。その後この後期印象派の研究が更らに轉化して物體を立體的に見やうとする立體派、時

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

間と空間とを綜合的に表現しやうとする未來派、自然の表現よりも主觀の感受に基いて描く表出派（エキスプレッショニズム）などが續々現はれて來たが、併しこれらはまだ多く試作の域に在るものである。

今度の臺展の作家の畫風に就て、右に述べた處に照合して見れば、自然の寫實的表現のものも多少出て居るが、併し歐洲の展覽會などに、見かける全く徹底した自然の寫實的表現の畫に比べてはまだ未完成であることは言ふまでも無いが、併しこの行き方の畫はやはりこの傾向で進んで行けば追々大成の域に入ることが出來るのである。たゞこの派の作風に就て畫家が研究上注意しなければならぬことは、自然の眞に迫まると云ふことゝ、畫の素質が佳いと云ふことゝは全然別に考へなければならぬことである。一般の觀賞家換言すれば素人は、物が眞物の通りに描けて居ればそれが佳い畫と思ふのであるが、畫家の方でも例へば肖像畫で云へばその人の通りに眞に迫まつて描くことさへ心がけて居れば、それが直ちに佳い畫として出來上がると思ふのは誤りで、眞に迫まる以外に佳い畫としての要素は又た別に在るのである。それ故畫家が單に姑息の態度を以て寫實的の畫を描くとすれば、それは元より大成に進むことが出來ぬばかりで無く、畫の素質に於ても佳いものが出來ない。寫實的表現の畫が初期の眞率味を缺いて後世には段々姑息皮相のものとなつて色付寫眞のやうなものに低下して漸く世間から厭きられたわけも、その原因はたゞ眞物に似せることのみに終始して畫としての要素が閑却されたゝめである。つまり畫家が單に機械になつて自然を描寫するのが寫實では無いことに注意しなければならない。

それで、畫家が自然を寫す機械では無く、自分が自然を客觀して受けた印象を描かうとする、卽ち印象派の畫は今度の臺展にも多く見かけられる。現代に於ては此客觀的印象派の畫が歐洲の畫壇にも一ばん多い。尤もそのうちには多少行き方を換へたものもあるが大體に於て現時の一勢力となつて居る。自然の心持ちを現はさうとするもの、その趣きを出さうとするもの、斯う云ふのが此派のやり方である。自然の客觀的印象は甲の人の目にも乙の人の目にも大體として先づ同じに見へるわけである。たゞ畫家は、その見へた處を自分の考案と見識とを元として描寫するのであるが、畫として現はれたものは誰の目にも大概解かる筈である。それ故この印象派の畫、卽ち今日の所謂寫生派の畫は、自然の機械的描寫の弊にも陷らぬ穩健な行き方のもの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

であるが、その代はり畫家には、單に自然に手賴つて描く寫實派とは違つて、自分の意識した印象を咀嚼して畫に拵しらへるに就ての困難がある。自然の見方と感じ方又たその表現の仕方、これは却々難かしいものであるが、然かも其處に印象派の生命と主張とが存するのである。

客觀の印象を距れて主觀の印象によつて畫を描かうとするもの、これも今度の臺展に見ることが出來る。恁う云ふ畫は古典派に對して便宜上現代派と稱ばれて居るが、前に述べた通り專ら畫家が自分の主觀的態度によつて自然を扱ふのであるから、人々の主觀はその人の教養思想その他の關係から、甲の人と乙の人とが同じには行かぬから、この派の畫は人によつては往々見ても解からぬ場合もある。又た極端なものになれば唯だそれを描いた畫家だけに解かると云ふことにもなるが、然し又た此派の長所としては畫家の考慮次第では圖撰に流れぬ一己の主張を見せることも出來るのである。主觀的の表現が圓滿に纒まれば作家の個性がよく現はれるやうにもなる。併し又た往々畫家の獨斷的觀照の弊にも陷るのが主觀的表現の短所であるとも言はれるが、大成した畫家になればさう云ふ恐れは無くなる。歐洲でこれらの現代派の描法を最初に試みた大家の作は圓滿に又た清新なる趣きが溢れるものがあるが、單にその外觀を模倣する後輩の作は落付きを缺き畫面に無理が出來る憾みがある。要するに畫は古典派でも印象派でも現代派でも佳い作は皆穩やかに暢々とした豐かな餘裕を持つて觀者の目に映つるものであるから、畫の前に立てばすべて畫風を忘れて渾然とその畫に親しむことが出來る。若し殊更らにその畫樣が目に背くやうなのはまだ滿足なものとは言はれぬわけである。

臺展に出品された日本畫はその大體の傾向が線描を土臺としてそれに彩色を施した繪と、線描は土臺としてもそれを目に立つやうに現はさずに、專ら濃厚なる色彩の美しさを見せたものと、線描よりも墨色の濃淡を主として、それに彩色を加へたものと、又た水墨のみに依つて描いたものとの數種に別けることが出來るが、これらは皆古來皆我邦に於てその時代々々の研究を經て今日に及んだものである。

日本畫の傳統に就て概略を述ぶれば、日本へは最初外國主に支那印度方面から佛畫が入つたがこれは線描を主としてそれに彩色を加へたものである。この佛畫が日本の畫家の手に依つて畫かれるやうになつてから大和繪が興り又た

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

土佐繪が現はれたが、繪の樣式は皆佛畫と同じやうなものである。土佐繪から浮世繪が出たが、これが近代には線描の力を漸次減じて主に濃淡の調子の力によつて表現するやうになつた。禪宗が支那から這入つたのに連れて墨繪も這入つた。又た墨畫と彩色繪とが折衷されたやうな畫樣のものもその後に起つた。これらが今日にまで研究が進められて現代に行はれて居る種々な日本畫の樣式となつたわけであるが、昔は何派であると一目して明確に畫風を現はすやうに描かれたのが、今は畫家の自由な又た創試的な扱ひ方によつていろ〳〵な描寫が行はれて居る。しかし大勢は段々に日本畫洋畫の區別が除かれるやうな傾向が見へる。そのために、以前の如うに何々派に屬するものと言はれる如うな日本畫は殆んど見かけられなくなつた。

臺展洋畫概評

鹽月桃甫

臺展の意義ある誕生を衷心より祝福する。
入選作家諸君に一層自覺ある奮發を希望すると同時に、
選に洩れた出品者諸君に賢明なる反省を促す次第である。

藝術作品が時代思潮の反映であり、又至純至高なる作品が、大衆を時代文化の向上發展へ導く……と共に地理的條件がその國の特性ある藝術を生む。

臺展が是等の意義をも高潮するは將來を期すべきである。而して、それは、作家の精進と、一般民衆の賢明なる觀照と批評とに俟たねばならぬ。常套因襲の涸渇したる作品を却け、生氣洋溢、眞に獨創を目標とする、純眞なる作品を推奬すべきことは、もとより、論を俟たざるところである。

徒らに一部の俗眼に媚び、皮相なる形式を套襲する如きことは、吾々の臺展のためには喜ぶべからざる方向なりと信ずる。殊に眞に臺展の特色ある成長を望む有識の人々は淺薄狹量の小趣味に捉はれず、特色ある南方藝術を發育成長させるために聰明なる後援を切望するものである。

事實を錄するの繪畫は、何人にも解せられる。しかし情緒と交通する生命を表現せざるものは、繪畫藝術としては何等の價値を有せざるものである。

技術に墮するも尙俗眼を滿足させ得るそこに所謂骨法の基調が存するが、法あるも不可、法なきも不可、究極は有法の極、無法に歸するの境地、生形を畫かずして生氣を寫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する域に到達し、常に驚異の眼を以て大自然を見つめ、神秘の默示を感知し、不羈特立の表現を希ふ者によつてこそ、意義ある藝術の殿堂は築かれ、生彩異色の藝術は生れ、その時代の……又はその地方の……藝術が確固たる地位を形成する所以であると信ずる。

第一回臺展の洋畫を通覽するに、石川欽一郎氏の三點は別として、外はみな悉くある目標にのびんとする芽生えの意氣を示す、若々しさに張つてゐることは、前途の期待を光輝あらしむるに十分であるのは何よりも喜ばしい事實である。

陳植棋、顏水龍、張秋海、兒島榮、楊佐三郎、陳澄波、廖繼春、郭柏川、古川義光諸君の作品が觀察に安心して見せるのは骨法の修練に相當の研究を積んだことを思はせる。

蒲田丈夫、鉅鹿義明、倉岡彥助、船曳定雄、新井英雄、陰山泰敏の諸氏の作が苦心の跡と何ものかを表現せんとする熱とを見せてはゐるが、惜しむべし、骨法の用意か不足してゐるために效果がそれほどに報ひられない。

稻垣龍一の靜物は注目に値する。多くの靜物が事實傳達に腐心してゐるに比べて、聰明な解釋を與へてゐるが、今一段の研究をつまなければ作者のねらひが明確に表はれて來ない。

技巧を超越し、純眞なる生活をそのまゝ畫面に植えたものに、素木洋一と濱武蓉子とがある。前者は紅顏の少年、後者は可憐の少女、他の作品に比し、特に別個の特色を見せてゐる。

水彩畫の作者諸君は一層賢明なる反省を望む、油繪に比し技巧上の約束に捉はれ易い水彩畫に於ては稍もすれば、師法傳承の套襲に奪はれ、自分自身にのみ許されたる獨別の境地を見出す事を忘れては、單なる仕事に終るであらふ。

尚ほ全體を通じて色彩感覺の生硬なことである。臺灣の緑の國光の島に生活する者が、覺寫に刺戟されたる事實にのみ引きずられては、皮想なる官能打診に終り、至純至高の藝術を作ることゝは緣が遠くなる。

作家諸君並に觀照者諸君と共に、臺展の健康なる發育を望むのあまり、敢て此の稿を作る次第である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東洋畫鑑查雜感

木下靜涯

東洋畫の出品受付總數は百七十五點であつたが外に規則違犯で不受理のものが三十點以上もあつたから全部では二百點以上もあつた、この規則違犯といふのは軸物に仕立てたのや假卷につけた儘で枠張り裝飾を加へてなかつたので其の儘返送の止むなきに至つたもの、兎に角始めての展覽會のことゝて充分に規則や意義を了解されて居ない人が相當に有つた樣である、これは次回からは注意が出來る事と思ふ。

東洋畫の出品中に擦筆畫の肖像や寫眞の引き延ばし見た樣のものが二十餘點も有つて、西洋畫の方にも若干同樣のものが交つて居た、これは本島の其處此處に澤山見受ける肖像畫館、何々畫館といふ人達の出品らしいが、寫眞を引き延ばしたものや、擦筆畫の肖像などは東、西、いづれの部類にも入選は出來ない、特に高貴の眞影など記して出品して有るもの等もあるがこれ等は今後充分注意を要することであると思ふ。

東洋畫の出品中には隨分粗惡なものが夥多であつた。一筆描きのなぐり書きで蘭だの、竹だの、達磨だのといつた、それも極めて幼稚な畫や、若しくは芥子園畫譜などからそつくり持つて來て引き延ばした樣なものや、ありありと判然した模寫や、指頭や爪で描いた畫なども出て居た。

文人畫が必ずしも美術で無いとは云はない、然したゞ奇形な蘭や竹や、石などに如何に詩を添へ文を加へてあつてもそれは美術としては受取りにくい、それから達磨、觀音等の畫が多かつたが、かうした宗教畫は透徹した主觀の現はしで無くてはならない、唯だ目をいからせて氣張つて居る計りが達磨ではない、形態や模樣ばかりでは觀世音が現はれない、特に日本畫のアマチユアの人々は必ずこの一筆描きの達磨などが多いがこれはたゞ其の作者を識る者が面白がるに止るもので到底展覽會の作品とは受取れない。

四君子とか文人畫とか南北、土佐、四條などが加らぬと云つて批難される聲も屢々聞いたが、鑑査に當つて流派や粗密に拘泥した事はない、何處までも作品本位であつた、入選中の約半數は南宗畫であつたといふ事も勿論、南畫を習得して居る人達が多數であるが亦相當見られる作品も有つた次第である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寫生とか寫實とかゞ必ずしも畫の全部では無い、然し全然これを無視した作は兎もすれば散漫で、始末の惡るいものとなる、この點は注意をして欲しいとおもふ、又非常な努力はして居ても惡寫實になつては折角努力の甲斐がない、風俗畫などには此種のものが多かつた、それから模倣畫が殆んど半數以上もあつた、模寫悉く非ではない、其の描法なり、其の精神の模寫ならば其の人の作品としても差支ないが徒らに圖樣や形態の模寫では其の人の作品といふは勿論極論すれば藝術を汚すものである。

それから東洋畫の出品者の多くは熱がない乃ち努力が足りない、ホンの感興に乘じてと云つた風のものが大多數であつた事は心細い、又畫は相當に出來て居ても餘りに粉本臭味の多いものはどうしても取れなかつた。猶畫題に就いても隨分當を得ないものがあつた、例を云へば一つの鳥や一つの花位に迚も連想出來難い題が附してある、若し題意に依つてこれを審査するとせむか到底題意に添はざるものとして除外せねばならぬ樣なものもあつたが、これらは作者の注意を促してをきたい。

以上の如く二百に近い中から三十餘點の入選は甚だ嚴選の如く見ゆるも、こうした內容を思へばあながち嚴選でも無い、鑑査に當つては再三、再四、討議を重ねた若し不幸にして落選された方々は以上のどれにか該當するものが有るのであるから其の點を考慮されて捲土重來特色ある出品を希望する次第である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

全島中等學校と會議

全島中等學校長會議は九月廿七日から十月一日まで五日間總督府に於て開會、全島各中學校、女學校、實業學校師範學校の各校長、總督府より石黑文敎局長以下各關係官出席。その第一日は總督の訓示ありて後答申事項の討議に入り、第二日も之を續行し、第三日午後より各部會に入り第五日總會を開き後藤總務長官の訓示、鹽田臺北第一師範學校長の答辭ありて閉會したが、總督長官共に連日會議に臨み各校長の答申を熱心に聽取された。

總督訓示　本日茲に全島中等學校長會議を開催するに當り、一言所懷を陳ぶるを得るは余の欣幸とする所なり。

本島に於ける中等敎育は漸次發達改善せられ、今や諸學校何れも其の地方の情況に順應すべく施設を完全にし敎養を適切にし、兩々相須て實績を擧げつゝあるは是れ一に各位精勵の致す所にして、邦家の爲め寔に慶賀に勝へざるなり。

惟ふに中等敎育の目的は穩健着實にして國家の中堅たるべき國民を養成するにあり。而も尤も重きを置くべきは國民精神の陶冶なる如し。國民精神の陶冶にして徹底せざらむか國運の隆昌と國民の福祉とは得て望むべからざるなり。特に中等敎育に在ては力を國語の敎養に致すを要す。如何となれば智德を向上し由て以て國民精神を體得せしむるには之を國語の素養に待たざるべからざればなり。故を以て中等學校に於ては一層此に努力せられむことを望む。

近來思想界の混亂漸く甚しく世人動もすれば之が爲に昡惑せられむとす。而も靑年は血氣未だ定まらず、其の思想殊に動搖し易し。之を善導して錯ることなからしめむには敎育勅語の聖旨を奉體して忠孝信義友愛等の諸德

を養ひ且つ剛健質實にして研究心に富み進みて勤勞に服するの美風を成さしめむことを要す。就中女子敎育に在りては嚴に輕佻浮靡を誡め專ら婉順貞淑を旨とせむことを望む。

智的方面の陶冶も亦本島特有の事情に鑑み智識技能を授け有爲有能なる人物の養成に力めむことを要す。彼の劃一的敎育の弊は漸く社會の注目する所にして本府も亦此點に就き攻究する所あらむとす。各位宜しく甚深の研究を重ね適切なる方案の案出に力められむことを望む。

要するに敎育は統治の一作用なれば其の方針は須く統治の根本義に合せざるべからず。而して統治の根本義は本島始政當時に於ける樺山總督の諭告及歷代總督の諭告に明かにして善良なる帝國臣民を養成するに在り。此の目的を完成せむには尙大に努力を要するものあり。各位は宜しく常に各學校間の氣脈を通じ不撓不屈の精神を以て終局の功を收めむことを期せらるべし。夫の本島敎育創始の任に當りし諸子の心事を念ひ芝山巖に於ける殉難六氏の事績等を顧れば誰か感慨に禁へむや。宜しく既往に鑑み將來を察して敎職員を督勵し人格的の感化を以て敎育精神の第一義とせられむことを望む。

總務長官訓示　此機會に一言私より御挨拶を申上げたいと思ひます。先日來數日に亘りまして、諸君の熱心なる御答申を伺ひ又各部會に於て、或は深更に及ぶまで討議攻究を續けられた樣子を拜見致して、誠に滿足に考へると共に諸君の熱心に深く感謝致す次第であります。我々も諸君の御熱心なる態度を見て大いなる刺戟を受けた感が致すのであります。斯の如く諸君の意氣込と熱誠とを以てするならば、此敎育と云ふ大事業も必ず相當の效果を奏することが出來るであらうと云ふことを、私は深く感じたのであります。どうか此熱心と意氣込とを絕へず振ひ興して、本島の敎育のために御盡瘁にならむことを切望致す次第であります。

總督閣下から親しく詳細に亘つて御話があつて、私が特に附け加へる點はないやうに思ひます。特に統治の根本方針を說かれ、敎育も又此に立脚しなければならぬと云ふことを我々に御示し下さつたことは、お互に深く感銘する所であります。敎育が統治の一作用であると云ふことに就ては深く我々は考へなければならぬと感じたのであります、敎育は統治の一作用でありまするけれども他の統治の仕事とは稍々趣きを異にして居る、永遠の效

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

果を期するもので、又深く人間の心に踏み入つた仕事であります。此仕事が根抵的であると同時に、其效果を一朝一夕に擧げるの困難であると云ふことは明かであります。併しながら、他の機會にも申述たやうに、苟も十年の計を立てゝかゝれば相當の事は出來る、教育も其の一つであります。私が屢々感じたことでありますが、廣い意味に於ける教育、學校教育だけでなく、廣い意味に於ける教育、學校教育と云ふものは行政、政治、社會各般の活動に皆隨伴して居るのであります。私が曾て内地に於て地方官を勤めた時にも深く是を感じたのであります。何事か或事柄を人間の社會に實現しやうとする時分に其の努力の半は教育方面に向けなければならぬ。狹い意味の教育ではありませぬ、卽ち事業に從事するものを凡て其の仕事に順應するやうに仕向けることは一種の教育の働きであります。さう云ふ工合に考へますと教育と云ふことは總べての問題の基本を成すと云ふことを痛感したのであります。先日來諸君の色々の御を話伺ひまして、私又益々其感を深く致すのであります同時に此事業の非常に雄事業であり、困難の多い仕事であると云ふことを考へまして、諸君の平素の御苦心に深く御同情致す次第であります。尙此際一言致したいのは苟くも教育と云ふものは一朝一夕に效果が擧がらぬ、從つて教育に當る者の永遠の理想がなければならぬ、根本の信念がなければならぬ。併ながら日々爲すべきことは又頗る卑近でなければならぬ、此永遠の理想と卑近なる實行との間に完全なる調和を求め、連鎖を作ると云ふことが、教育者の眞の苦心の存する所であらうと思ひます。又教育に當る者にこの永遠の理想、根本の信念と云ふものを有つて居ることが滿足の源にもなる。現實卑近な事柄は或は效果を奏することがある、或は失敗することがある、人間のこと總べて必ず成功することではありませぬ、失敗しても宜しい失敗すれば夫れを改めて成功するまで繰返す、斯の如く永遠の理想に照して努力しそこに愉快を覺へることが必要であると思ふ。教育者の眞の安心立命と云ふことは其間に求められるであらう思ふ。隨分苦辛し困難を感じて非常に努力をしたが、どうも思ふ通りに行かない、相手が一向感じて吳れないで、却つて意外の結果を起すことが屢々あると思ふ。或は失敗落膽して教育のことは嫌になる所の氣分を起すことが多いと思ふ。殊に本島の如きは事情が内地と異つて教育上の困難がある、斯

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の如き氣分は屢々起ること丶思ふ。此點は私は敎育界の方々に深き同情を感じて居ります。けれどもさう云ふことは有勝ちのことであると考へます。不屈不撓の精神を以てしても結果は失敗に終つた如く思ふものもあるか知れませぬが、それで宜しいのである。自分が或目的を置いて國家の爲めに奉行したのである。兎に角自から顧みて疚しくなければ夫れで結構であると思ふ。世俗の人々が往々にして敎育者の本當の立場を諒解せずして、唯卑近なる事例を詰めて色々の批評するのである。さう云ふ卑近なる事例に依つての批評は取るに足らぬ、先達來敎育と云ふものは宗敎的氣分がなければならぬと云ふことを言はれて居ります。私は現代の敎育に就ても切にそれを感ずるのであります。國家が新たなる方向に向つて國民を指導すると云ふ時分に、是が昔であるならば必ず宗敎の大伽藍を作つたものであると思ひます。權力的の統治の作用と併せて他の一面に宗敎の大伽藍を建立したものと思ふ。現代は斯の如き全體の人心を動かすだけの宗敎はなくなつて居ります。しかし今日でも宗敎の價値は決して無視するのではない、現代の宗敎は更に内容の革新を加へ人心に效果を與へるやう活躍を希望して居るのであります。けれども遺憾ながら現代の人心や社會の變化と共に宗敎の感化力は少なくなつて居ります。然らば宗敎に代るべき何ものもないと云ふとないではない。今日の敎育と云ふものは昔の宗敎に代るべきものである。一方に智識技能の實際上の腕を授ける、一方に精神の敎化をすると云ふことは昔は宗敎が擔任した問題であつた。實際過去に求めて宗敎が實績を舉げられたことは今日では敎育者がして居る。といつても今日の敎育は過去の宗敎の眞似をして居れば宜いと云ふことでないことは明瞭である、過去に於て宗敎家の執つた所の信念と熱と力とは、敎育に當る方に成るべく多く持つて戴きたいと云ふことを平常から考へて居るのであります。本當の敎育の事柄に就ては今回の會議に於て討議致されました。此他にも尙ほ澤山攻究すべき問題もあらうと思ひます。併し今回の討議は可なり多くの點に於て根本の要點に觸れて居つたと思ひます。諸君の御答申の要項は夫れ〳〵關係方面に御廻はししますから今後も攻究を重ねられ今日の本島敎育のために盡されると共に、又將來に向つての色々の案を立て丶戴き我々に示して戴きたいと思ふのであります。御考へ附きのことがあれば遠慮なく腹

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

疑なく、文敎の當局又は我々に御話を願ひたいと思ふ。出來る事柄は成るべく實行致したいと思ふ。出來ないこと實行の困難であると云ふことに付ては、又その樣に篤と御相談をして何か是れに代るべき途がないかと云ふことを考究したい。色々の問題を攻究し色々の問題が出ても其時の熱を持續し實現に努め、實現が出來ないなら是れに代るものを發見するといふことを致さなければ、折角攻究したことが無駄になる場合が多い。是は諸君に向つて申すことばかりでなく、我々自から顧みることであると思ふ。さう云ふ風な覺悟決心を以て教育の刷新改善に努力して行きたいと思ひます。尚ほ一言更らに申上げたいと思ふことは、學校の教育が唯今申しました如くに精神的のものである、殊に中等教育が精神的方面に非常に重きを持たなければならぬものである、從つて校長始め教職員の生徒に對する心持は余程の慈愛同情の心持でなければならぬ、各々相手方に依つて取扱ひが違はなければならぬことが澤山有る、併ながら根本は同情慈愛の念でなければならぬ、此事は申すまでもありませぬ、其一面に於て教育者の權威を確立すると云ふことに就ては深く意を用ひなければならぬ。唯權威を確立すれば足ると云ふ譯ではありませぬ、慈愛同情を基礎とする其基礎の上に充分なる教育者の權威を確立することに努めて行かなければならぬのであります。教育者の權威の確定と云ふことに付ては當局に於ても深く意を用ひたいと思ひます。苟くも教育者が自己の信念と云ふものが、良心の命ずる所に從つて眞に生徒の爲めに働いて其結果が意外のことを生ずることがあつても、少しも恐れることもなく憚ることもないと思ふ。教育の確立と云ふことは是は何れの時代、何れの場所に於ても教育に於きましては非常に必要なものであるでありますから唯教育者自ら自己の權威を失ふ樣なことのない樣に注意してもらひたい。此點は特に附け加へて申述べて置きたいと思ふのであります。

又本會議で屢々出ましたやうに、教育をして成るべく國民の實際生活に近づかしめる、又其地方／＼の實際の實情に近づかしめる、本島の教育であれば本島の實情に近付かしめる。そのためには或は制度の改正を要するものがありませう。是は又色々御攻究致さるゝやうにしたいと思ひますが制度の改正を待たずして現制の下に於て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

實現すべきものも多々あると思ひます。是等に就ては特に本會議の攻究の結果を諸君に於ても更に考へられ、實施出來るやうに著手あらむことを希望するのであります。

國民精神の教養は教育の主眼にしなければならぬ、是は今回の議題の主なるものゝ一つでありまして諸君の間に充分論議されて居りますが尚ほ一層今後力を致して見たいと思ひます。國語教育のこと、實科的の教育のことは、教員の感化力の問題、是等も絶へず繰返される問題でありますから今回の攻究を機會に一層の御努力を願ひたいと存じます。是を要しまするに、中等教育が國民教育上非常に重大なるものであると云ふことは申すまでもないことであります。又本島に於きましても中等教育が中堅を成すものである。下に初等普通の教育を控へ上に高等專門の教育がある、これ等を如何にするかと云ふ問題も中等教育の刷新改善が基礎を爲すものでなからうかと思ひます。諸君の任務は極めて重いことを感ずるのであります。今や本島に於ても文教局が設置され本島教育の充實に就ては唯形を整へると云ふことだけではない、實質に就ても刷新改善に特に力を致す時期に際會して居るのであります。各位に於かれましてもどうか當局の意のある所を諒解されまして、今後益々御奮勵御努力あらむことを希望する次第であります。

高砂寮開寮式

高砂寮開寮式は十月九日午前九時から東京小石川茗荷谷の新寮大講堂に於て擧行された。寮の内外は清楚なる裝飾を以て滿たされ、一同の歡喜裡に坂谷芳郎男、高橋殖産局長、齋藤東洋協會理事、督府在京官、臺灣青年會代表者等來賓參集、定刻來賓寮生一同著席し、劈頭中村寮長の式辭あり、高橋殖産局長、坂谷男、臺灣青年會代表者の祝詞、竝に各方面よりの祝電朗讀があつて寮長の挨拶を以て式を終り、正午來賓寮長寮生談笑裡に午餐を共にし午後種々の餘興があつて歡喜に滿つる一日を送つた。

一二等郵便局長會議

島内一二號郵便局長會議は、十月九日から二日間遞信部會議室に於て開催、後藤總務長官の訓示、白勢交通局總長代理の演達あり諸問事項竝に指示協議各事項について協議した。

總務長官訓示　毎年の例に依りまして本日から一二等局長の會議が當部に於かれて開催せらるゝに當りまして年々此會議に臨んで思ひ出での點を御話致して居るの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

で今回事新しく申述ぶる事柄もございませぬ。唯二三の事項に就いて御注意を惹て置きたいと思ふのであります。何れ今回會議に於きましての重要なる研究事項として扱はれる事であると思ひますが多年の懸案であつた簡易生命保險竝に郵便年金の取扱を何れも去る一日から本島に於て開始さるゝことゝ相成りまして將來如何に發達するかは今から俄かに斷案を下し難いのでありまするが本事業の實質竝に内地其他の地方に行はれた實績に考へて見ますると本島に於て相當なる成果を擧げるであらうと云ふことは疑ひのないことゝ思ひます。此制度を實施する形式に就ては色々中央當局と打合せをしたのでありまするが此度執つた所の形式に依るのでなければ早く實施することが困難でありまして、關東州竝に樺太に事例もありましたので此例に依つて實施することゝなりました。此制度は申上げるまでもなく重要なる社會的政策の一つでありまして内地に於きましては意外の良成績を示して居るのであります。諸外國に對して我國が竊かに誇ることの出來る一つの制度であると申上げても宜しいのであります。是れが實施されることになりますれば本島在住民は等しく此制度の恩惠に浴して行くことになると考へるのであります。元來諸君の從事して居る仕事は一般民衆の社會的生活と非常に密接の關係があり、民衆の利便、幸福を圖るのが目的であります。今回更に簡易生命保險、郵便年金が加はりまして諸君の責任は益々重いことゝ感ずるのであります。どうか此制度の精神を能く一般民衆に諒解せしめ徹底させ一般民衆の老年後に於ける生活の安定と福祉を増加することに諒解の行くように諸君は第一線に立つて御盡力を願ひたいと思ふのであります。是が普及實行に際しては出來得る限り親切丁寧に事務的の形式を離れたやうな心持で能く制度の趣旨、目的を諒解させねばならぬ、勿論諸君が事務を取扱ふ上に於ては規則其他所定の筋道に依らねばならぬが心持の上に氣安い心持で郵便年金、簡易保險の趣旨を徹底させたいと思ふのであります。

本年の四月に起りました我國財界の一般の大動搖は諸君の記憶に尙ほ新らたな所であります。此際我が臺灣に於きましては幸に官民協力一致の態度が其宜しきを得た爲めに本島經濟界の混亂を未前に防止することが出來其損害を少なからしめたと云ふことは誠に御同慶の至りで

あります。併しながら社會一般が之れは一時ではあるが色々の不安を感じ危惧の念を抱いたやうな狀態であります。其結果として郵便貯金が著しき增加を見たやうな現象も生じた譯であります。元來郵便貯金は零碎なる資金を集めて一面に貯蓄心を誘致し一面に於ては國家の經濟生活的に此の集めた資金を以て救けて行く道具でありまして、要するに國民一般の爲めに結局は預金した人の將來の利益の爲めにすると云ふやうな趣旨で出來て居るのであります。是が爲めに民間の事業を壓迫するが如きことになる虞がないものであると思ふのであります。是れに依つて勤倹の美風を起し民間の預金の發達と併行して行くことになるべき筋合であると信ずるのであります。曩に改正せられたる貯金利子計算法は預金者に對して相當に便利であると思ふ。諸君は益々努力して一般の貯蓄心の向上に貢献せらるゝことを希望して止まない次第であります。

其他通信事業の一般に就きて申せば社會の進步、交通、通信の方法の技術の發達につれて日に〳〵進んで居ります。從つて通信事業の施設經營に就ては御互に日進月步と云ふことを忘れてはならぬことゝ思ふ。是等のことに就きましては遞信部當局に於きまして常に攻究し又內外の智識を集めて怠らないのであります。諸君に於かれても第一線に立つて實地に携はつて居る立場から調査研究を絶えずやつて戴きたい、此のことは前回の會議に於て屢々述べた所であります。一般に劃一的に色々攻究し調査して方案を立てることは勿論必要でありますが、併しながら又諸君が實地に當つて居つて其權限、權能の範圍に就て色々の工夫を試み新趣向を練つて全體の統一、全體の規律と衝突しない範圍に於き新なる機軸を出して或一意見を開陳し或は進んで實行すると云ふことは極て必要なることであらうと思ひます。唯通り一遍にきまつたことを行つて居れば夫れで宜いと云ふことでは宜くない、何か新工夫を凝して其ことは小でも例へ人の目に附かないものでも新工夫を加へて絶えず、改良進步を實施して行くと云ふことが必要である。極めて小事と思はれる新工夫新機軸が他日は全般に亘つて非常な大改革と云ふやうなことになることが珍らしくないのであります。大計畫、大規模も其の初めは何人かの小なる工夫から初まつて居るのであります、殊に通信事業は複雜なる多數の事柄を僅かの時間に手際よく敏活に處理するのであつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、細微の點に各種の工夫を加へることが必要であります。諸君に於かれても日常定められた事務を成すことに於て隨分時間を要し努力を要するのでありますが、更に進んで興味を以て新工夫新考案を立てられて例へば其事柄の一般の規則、規律に關係を有つて居りますものは、中央當局に相談せられて其結果差支へないと云ふものは實行すると云ふことに心得て戴きたいのであります。又全體に亘る各種の制度組織、やり方について斯くしたならば宜いと云ふやうなものに付て意見の有る場合に躊躇なく意見を充分に當局に述べて互に此事業の進步改善を圖ることに努力を願ひたいと考へる次第であります。唯色々の改良工夫新機軸を立てなければならぬけれども又現在ある所のやり方が多年の經驗から容易に之を改め惡いものがあると思ひます。就中新たなる方法は宜いやうでありますが半面的に從來のものゝ有つて居る利益を悉く皆壞すやうなこともある。物には利害得失が必ず相伴ふものであります。一見極めて便利であるやうに見えるものが一面非常に不便があると云ふものがあります。色々工夫して新機軸に努めると云ふことをどん〳〵講じて戴きたいと同時に徒らに新規を衒い奇矯に逸せずと云ふことが必要と思ひます。

通信事業は民衆の幸福國家の利益を增進する上に於て神經の働きをして居るものと考へますが故に茲に特に諸君の御注意を促し諸君の御奮勵を希める譯であります。其他交通局所管の仕事に就きまして通信事業に直接或は間接に關係のあるものも少なくないのであります。例へば船舶に關する法令の關係の如き或は最近本島に實施せられたる航空法の關係の如き矢張り直接に諸君に關係はありますが諸君は絕えず心得て斯う云ふ事は承知して戴かなければならぬと思ひます。本島の通信事業も諸君の平素の努力の結果逐年健實なる發達をなしつゝあると云ふことは諸君に對し深く感謝しなければならぬと思ふ。併ながら此の事業の運行に就いては今後改革をすることも多くあります。今後充分調査研究を重ねて此事業の進步改善を諸君と共に圖りたいと思ふのであります。細目に就きましては會議に於て交通局總長及び遞信部長から話のあることゝ思ひます。又諸君の研究討議に附せられることゝ思ふ。どうか充分に攻究協議を重ねられて此會議をして本島遞信事業の發達に貢獻すること大ならしむるやうに願ひたいと存ずる次第であります。諸君に於か

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

れては抱懐された意見は腹藏なく充分に述べて戴きたいことを茲に希望致して置きます。

開會の初めに當りまして簡單に一二の所感を述べまして挨拶と致します。(文責在記者)

上山總督阿里山視察

上山總督は一戸秘書官其他を隨へ、十月十日午前臺北發阿里山事業地を視察し、歸途臺中市に於ける第四回全島産業組合大會に臨場、同十四日歸北された。越へて二十一二十二日兩日、總督は更に新竹州下角板山をも視察された。

全島産業組合大會

臺灣産業組合協會主催の第四回全島産業組合大會は十月十四日午前九時から臺中市臺中師範學校講堂に於て開催された。全島各地の組合代表者、關係官來賓等一千餘名參集、定刻一同著席戊申詔書の捧讀あり、後藤會長代理の開會の挨拶に次ぎ、阿里山巡察の歸途臨場された上山總督は別項告辭を朗讀し、三浦臺北州知事佐藤臺中州知事の祝詞各地よりの祝電の披露あつて大會の議事に入り、西垣博士の産業組合に關する講演を以て第一日を終つた。

第二日は十五日午前九時開會、優良組合及び優良組合員の表彰式を擧行し會頭の式辭、來賓の祝詞、組合員の答辭があつて式を閉ぢ、再び大會に移り委員會の報告を議題とし審議可決した。

總督告辭　産業組合は産業に從事する者多數の協力に依りて經濟組織の缺陷を補ふと共に協同の精神と共榮の觀念を振興し以て産業の發展と國民の生活安定を計るを本義と爲す、産業組合規則を本島に施行してより茲に十有四年、組合は漸くその數を增し、業務又歲を逐ふて擧り産業の發達に寄與したる所既に鮮少ならざるものあり、是れ産業組合關係者奮勵の然らしむる所にして予深く之を多とす、然れ共審に組合の現狀を察すれば發展向上の餘地尚多く刷新改善すべきこと又少からず、加之時勢の推移に伴ひ組合の活躍に待つもの益々多きを加へんとす、之が關係者たる者一層努力せざるべけんや。

襄に財界の動搖するや本島に於ては官民一致協力して機宜の措置を誤らず、幸に危機を脱するを得たりと云へども此間に於て被りたる創痍は尙未だ全く癒えず、則ち本島財界をして進んで其の健全なる發達に向はしめんには、諸君の愼重なる態度と堅實なる經營とに俟つ所極め

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て大なるものあり、冀くは益々組合の運用を圓滿にし、其の機能を完全にし以て國運の進展と民福の增進とに貢獻せんことを聊か以て告ぐ。（文責在記者）

會頭の挨拶　閣下並諸君、本日茲に第四回全島產業組合大會を開催するに當り、總督閣下を始め多數來賓各位の御來臨を辱う致しましたることは、誠に本會の光榮とする所でありまして、謹んで感謝の意を表する次第であります。

次に組合關係者各位に於ては御多忙の所態々御參會下されましたことは、協會として誠に感謝に堪へざる所でありまして、斯くの如く多數の諸君と一堂に相會して斯業の發展に關し隔意なき意見の交換を爲すことを得まするとは洵に欣快に堪へない次第であります。

さて諸君本年四月の金融界の大動搖は我國經濟界に於て實に未曾有の事變でありまして誠に痛心に堪へなかつた次第であります。然るに我臺灣に於ては、總督閣下の御英斷の下に官民共同一致の努力により、此の危機に處して獨りその圏外に立ち、整然としてさしたる動搖を見ることもなく、安定の内に經過することを得たるは、誠に本島經濟界の爲に御同慶に堪へざる次第でありまして、私は諸君と共に此の機會に於て、總督閣下の御英斷に對し、謹んで特に感謝の意を表したいのであります。

本島產業組合の現況は昭和元年末に於て組合數三百五十、組合員總數十八萬五千餘人、其の事業の分量は先づ資金に於て拂込濟出資金一千一百七十八萬五千圓、積立金六百三十七萬一千圓、貯金二千七百九十七萬八千圓にして、資金の合計四千六百十三萬四千圓に達して居ります。之を大正十四年度末に比較しますれば組合數に於て十七、資金に於て三百萬圓の增加となります。其の他の事業に於ては、販賣組合に於ける取扱價額十四萬九千圓購買組合に於ける取扱價額三百十五萬圓、利用組合に於ける利用料三萬三千圓に達して居ります。勿論是等の數字のみを以て直ちに組合發達の表徵と爲すことは出來ないのでありますが、亦以て其の實力の年々進步しつゝある趨勢を認むることが出來るのであります。

本協會の現狀は如何であるかと申しますと、本年九月末現在に於て正會員たる組合の數三百十四、賛助會員四百十人でありまして、相當成績を舉げつゝある組合は概ね加入して居るのであります。

現狀大略右の如くでありまして本島の組合は年々長足

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の勢を以て進歩し、其の結果として各地方に於ける中小產者の金融上に、將又事業上に如何ばかり便宜を與へつゝあるか、又一般の金融上より見て產業組合は決して看過すべからざる重要の位置と勢力とを有するに至れるかは言を俟たずして明なるは勿論、更に又社會進運の上にも亦貢献する所尠くない、之等の事を思ふとき吾々は最も深き喜びを感ずると同時に現時の趨勢に顧みて我產業組合に關係を有する人々は、其の社會上に有する位置と責任よりして頗る愼重なる注意と多大の努力を要するの秋であると思ふのであります。

乍然本島の產業組合は每回の大會の席上に於て申上げまする通、其の内容を仔細に觀察するときは、未だ充分に普及し完全に其の機能を發揮し居らざる點が多いのであります。例へば既設組合は概ね信用組合に屬し一般事業組合の僅少なるが如き、又組合員の加入步合の甚しく僅少なるが如き、又資金の運用の點に於ても其の他經營の上に於ても亦然りでありまして特に社會政策的施設なる產業組合の運用と云ふ點等數へ上くれば、本島產業組合は今後益々普及發達に努め、内容の改善刷新を要すべき事項極めて多いと思ふのであります。唯々產業組合の數ばかり多くなりましても、内容か充實し改良され、組合本來の目的を達する樣に健全なる發達をせなければ或は却て害用せらるゝ樣なことにならぬとも言へないのであります。

抑も組合の健全なる發達を圖るには、理事者の熱誠と組合員全體が組合精神を能く理解して、組合の充實を圖ることを以て其の義務と思ふ樣に進まなければならぬのであります。卽ち各員が組合に對し義務を果し權利を行ふの責任を自覺する樣にならねばならぬ、それ故に組合の理事者諸君は自ら熱心に誠實に其の業務に當らるゝは勿論、他方には組合員に對し能く組合精神を理解せしむると云ふ事に充分に努力して、組合の基礎を強固にし其の發達を圖る事が最も必要なることゝ考へるのであります。次に組合の業務に從事する人が其の事業を執行する上にも、亦組合員が組合と取引するに當つても、常に信用德義を重んずる事でありまして、總て組合の仕事は信用德義を基礎にせねばならぬのであります。若し組合員の間に於て信用德義が缺けて居つたならば、直ちに組合の經濟上に悪影響が現れて來るのでありますから、組合員の信用を高める工夫をせねばならぬのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

購買にせよ販賣にせよ又貸付にせよ、組合員が德義を重んじ約束を守り組合規則に從ふときは現今見るが如き資金の固定の弊もなく組合不祥事件も發生せず、事業は發達し好成績を擧ぐるに至るのであります。從來萎微振はざる組合の多くは全く組合員の信用德義に缺ぐる結果と云ふても宜しいと思ふのであります。

故に德義信用の涵養をすると同時に、公明正大の心を以て時代に適合する各種の必要なる施設及事業を進め、國民共存共榮の實を擧げなければならぬと存ずるのであります。

又吾人の主唱する產業組合は經濟團體なれども、又一面に在りては修養團體として忠實に勤儉に常に信義を重んじ、醇厚俗を成し華を去り實に就き自强息まざるを以て本分とするものであつて、卽ち實修敎育を練習する一種の學校とも謂ふべきものであります。此の實修にして果して全功を收むることを得ば產業も起るべく、又街庄自治の實も始めて擧るべく、國家富强の基玆に樹つのであります。

臺灣產業組合協會に於て設立以來年々大會を開催する所以のものは、一は以て組合現況の表徴以外に、組合精神を正解普及し彌が上にも誠意と熱心とを以て、本島組合制度の發達普及を圖らんとする趣旨に外ならないのであります。參會者諸君は宜しく此の精神を以て十分研究協議を遂げられ、本會開催の意義を全ふせらるゝと共に昭和新政國家一新の秋に當つて日に進み日に新にするの國是に則り、組合制度の爲協力一致益々其の進展に努力せられ、國運の隆昌を圖られんことを切望する次第であります。

開會に際し一言以て御挨拶と致します。（文責在記者）

勤儉獎勵强調

總督府に於ては戊申詔書の煥發記念日たる十月十三日より同十五日に至る三日間を勤儉獎勵强調期間とし、總務長官より各州知事廳長宛通達を發し、勤儉獎勵の要旨及び方法につき各事項を列記し地方の實情を斟酌し勤儉の本旨につき徹底せる自覺と理解とを喚起し其の實績を擧ぐべく努めしめた。尙ほ該期間を勤儉及び貯蓄の日の三種に區分し左記事項を勵行せしむべく文敎局長より各地方廳に通牒した。

第一日　勤　の　日

一、一層其の事務に精勵すること

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、平素勤労に従事せざる者も應分の勤労に服すること
三、能率の増進に付工夫を爲すこと
四、早起を實行し之が習慣を養成すること
五、時間を尊重し定時を勵行すること
六、地方に適切なる副業を案出して之を實行すること

第二日　儉　の　日

一、生活を簡素にし冗費を省くこと
二、豫算生活を實行すること
三、日用品は現金買を勵行すること
四、不急の消費は之を差控ふること
五、贅澤品を使用せざること
六、冠婚葬祭の費用を節約すること
七、社交上の虚禮を廢止すること
八、節酒、節煙を實行すること
九、電氣、瓦斯、水道等の使用は之を濫費せざること
十、廢物を利用すること

第三日　貯　蓄　の　日

一、個人又は申合に依り貯蓄を勵行すること
二、正貨の死藏を廢止し之を貯蓄し又は確實有利なる事業等の資金に利用すること

島内銀行 預金利下

島内各銀行は預金利下げのため十月七日各行主脳者協議の結果左の如く決定した。

甲乙銀行共六箇月以上五厘を引下げ、甲年六分を五分五厘に、乙六分五厘を六分に改定し、當座預金及小口當座預金は何れも甲乙なし日歩一厘下げに改定し、十月十二日から之を實行することに決定發表した。

改定利率

臺灣銀行及内地銀行支店

定期預金	六箇月以上	年五分五厘以下
當座預金		日歩　六厘
小口當座預金		日歩一錢一厘

地方銀行

定期預金	六箇月以上	年　六　分以下
當座預金		日歩　六厘
小口當座預金		日歩一錢二厘

島内銀行 貸出利下

島内貸出金利率引下は十八日、臺灣銀行に於て次の如く改定發表した。尚ほ今回の利下は島内金融事情に依る引下でなく内地利下に追隨したもので日銀同樣一般貸出一厘下げに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して本月二十日から實施する事となつた。

貸出改定利率

貸出種類	
一、商業手形	二錢以上
一、移出荷爲替	二錢乃至二錢二厘
一、有價證券擔保	二錢乃至二錢三厘
一、倉庫證券擔保	二錢三厘乃至二錢四厘
一、農業倉庫證券擔保	二錢一厘以上

因に臺銀利下による島内地方銀行は臺銀同様一般貸出に對して一厘方引下る筈で期日も臺銀同様十一日からである。

臺灣美術展覽會

第一回臺灣美術展覽會は十月二十七日から十一月六日まで十日間臺北市樺山小學校に於て開催された。該展覽會は本島在住作家の作品を一堂に集めて作家相互鑑賞の機會を作り、併せて之を公開して一般民衆の藝術趣味の涵養を圖り、本島斯界の進歩發達に貢献せんとするものであつて、今後毎年一回秋期之を開催することゝなつて居るが、今回はその第一回である。

同會の發會式は十月二十七日午前九時から會場たる樺山小學校に於て盛大に擧行され、定刻、入選作家、審査委員官民有力者等百餘名著席、上山總督、後藤會長、各關係職員、列席、劈頭石黒審査委員長の審査報告あり、後藤會長の式辭、上山總督の祝詞朗讀あり其他各方面よりの祝辭並に祝電の披露があつて盛會裡に同十時式を閉ぢた。

因に同展覽會に入選せる作品は次の通りである。

東洋畫

▲群山層翠（太魯閣所見）	加藤紫軒
▲白鴒鷥巢（ペーリエンシーシュウ）	野間口墨華
▲七面鳥	村上英夫
▲松壑飛泉	郭雪湖
▲春の山邊	後藤櫻月
▲皇澤	伊坂旭江
▲不老長壽	同
▲松風流水	玉手仙渓
▲雲嶺清江圖	鷹取岳陽
▲春	野村誠月
▲鑪聰清供	森牧齋
▲高山爽秋	片山仙羽
▲伯牙待成連	伊坂旭江
▲芭蕉	高橋觀月
▲朝	陳氏進
▲高雄風景（双幅）	腰塚鑑岳

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▲百蝶亂舞　常久常春
▲孔雀　井上一松
▲南國清趣　砥上如山
▲草山　清野仙潭
▲大南門　林英貴
▲旭日昇天　森牧齊
▲密林　清水雪江
▲叢　佐藤曲水
▲生ける英靈(双幅)　大岡春濤
▲出陣　野口秋香
▲能樂翁、同猩々(双幅)　武部竹令
▲太魯閣峽　加藤紫軒
▲姿　陳氏進
▲けし　陳氏進
○南薰綽約(三幅對)　鄉原古統
▲水牛　林英貴
▲基隆燃放水燈圖　村上英夫
▲花籠を持てる乙女　宮田彌南
○日盛　木下靜涯
○風雨　同

西洋畫

▲九月の臺南　高橋清
▲夏　高木昌壽
▲榕樹のある運河　桑野龍吉
▲最後の光　江海樹
▲鍊　張秋海
▲並木道と洋館　島田清安
▲芝山岩　陳承潘
▲裸女　顏水龍
▲午後の植物園　祝彥熊
▲愛桃　陳植棋
▲サンドミンゴの丘　蒲田丈夫
▲新店　兒島榮
▲淡水の風景　渡邊悟
▲風景　並川定雄
▲復活祭の頃　楊佐三郎
▲風景　大枝千秋
▲港　鉅鹿義明
○芽ぐむ　鹽月桃甫
▲海邊　陳植棋
▲山の娘　鹽月桃甫
▲帝室博物館　陳澄波
○河畔　石川欽一郎
▲靜物　廖繼春
▲裏通　竹內軍平
▲壺　倉岡彥助
▲河岸の家並　河瀨健一
▲淡水風景　山中七雄
▲靜物　長崎濟子

▲外人の家　小川勇
▲靜物　木村義子
▲丘から　素木洋一
▲くもり日の夕　松本隆
▲硫黄谷　船曳實雄
▲淸潭の風景　秋本好春
▲蕭王廟を眺む　郭柏川
▲午後の街　野田正明
▲夏　西尾善積
○厦門　石川欽一郎
▲淡水風景　吉村晋
▲南京　佐藤佐
▲靜物　稻垣龍一
○夏　鹽月桃甫
▲海の見ゆる風景　新井英雄
▲靜物　山口謹爾
▲裏町　陳庚金
▲斜道　蔭山泰敏
▲ナチユールモルト　古川義光
▲凝視　鈴木英一
▲金魚のある靜物　於保乙彦
▲豐風　後藤大治
▲裸女　廖繼春
▲南門外の朝　南條博明
▲姉妹　小野郁子

▲靜物　濱武蓉子
▲山間の街　倪蔣懷
▲大橋　李石樵
○角板山道　石川欽一郎
▲初秋　陳日升
▲工場　片瀬弘
▲北方澳　藍蔭鼎
▲豐原の一角　葉火城
▲崖　邱創乾
▲路を辿る　蘇新鑑
▲靜物　李梅樹
▲或る夜　久保田甲治
▲靜物　中村當彦
▲壺とコスモス　吉澤初藏
▲永樂の裏町　黃振泰
▲窓　柏尾絢子
▲がじまろ　畠山喜三郎
▲淡水河　佐藤至
▲圓山風景　仲吉哲哉
▲壽山路より望む高雄風景　加藤不可止

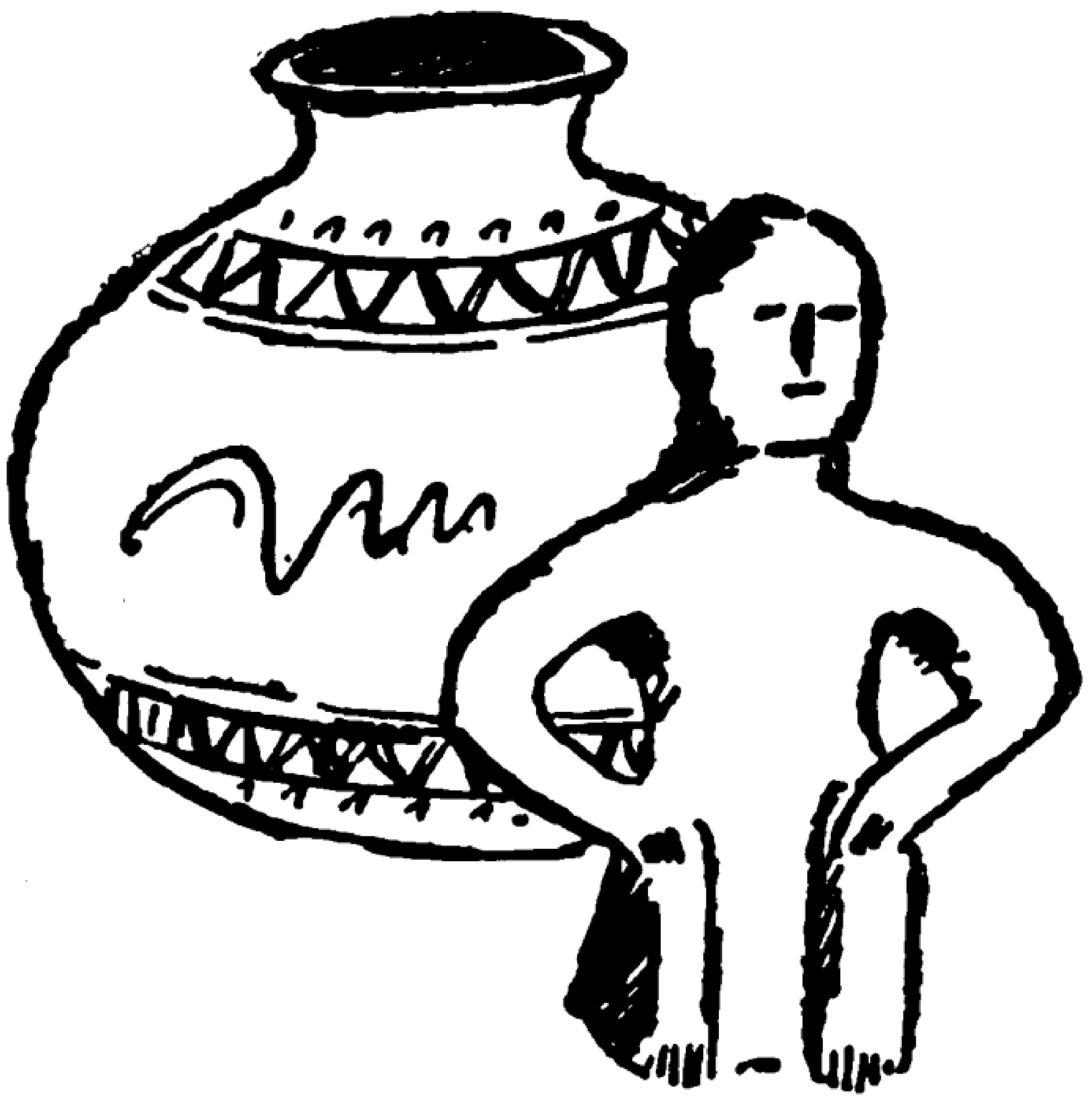
無鑑査

▲靜物　山田新吉
▲女像　原進
▲家　山本磯一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▲少女　山田新吉
▲静物　小笠原ミツエ
▲船　鈴木千代吉
▲浴後の涼み　谷喜一
▲静物　進藤常雄
▲女　山本磯一
▲夏　川村伊作
▲壺と人形　谷喜一
▲早春　原進
▲緑蔭にて　進藤常雄
▲歸り船　小島繁
▲新緑　川村伊作
▲雞頭　萩谷秋琴
▲圓山　同
▲涼みがてら　須田安洲
▲山むすめ　同

||以上陳列順　○ハ審査委員||



支那の時局と支那貿易の消長（一）

臺灣總督府稅關　井出季和太

第一章　序論

第二章　支那貿易の發達

第三章　最近貿易事情

第一節　一九二五年の貿易、第一　總說、第二　各地貿易に對する影響

第二節　一九二六年の貿易、第一　總說、第二　各地貿易に對する影響

第三節　香港對支貿易の漲落

第四節　臺灣の支那貿易

第五節　南支那商勢力角逐

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一章 序論

一、

支那貿易の發達を阻碍すべき重要の事情は從來政爭動亂及び之れに基く交通の杜塞、苛税の誅斂、貨幣制度の紊亂、土匪海賊等の害、洪水旱魃に依る農作物の減收、地方購買力の減退及び近年頻發した工潮に基く製造能力の減少、生産費並に物價の騰貴、排外運動から來る抵制等であるが、支那は所謂地大物博で一地方に於ける是等原因が必しも他地方に波及せぬものがあり又一地方に於て缺損したものを他地方で補充する事が出來たり、又は甲國の通商に於ては減退しても、乙國の貿易に於て增進を見る事があるが如くに、全體として經濟上潜勢力大なるものがあるに依つて、貿易の自然增加が多い。而して一昨年(一九二五年)五月三十日の上海事件(五卅事件)と、同年六月二十三日の廣東沙面事件(六二三事件)とは支那國民革命運動に基調を存し、何れも國民黨左系派共產黨及露國第三インターナショナルの煽動又は合作に係るものがあり、其の排外運動は從來の例に比して國家的國民的であり、又自ら組織的一般的であつて、從來の如くに、排日を中心とせずに新に反英運動に集中し、同じく罷工や船舶又は貨物の抵制に依るも、一九二三年第五次排日運動の際に開始した經濟絶交の手段を一層徹底的に擴張實施したものであるから、其の影響する所は廣く且つ深く劃時的のものがあつた。

二、

五卅事件も六二三事件も、其起りは歐洲大戰の導火線となつたサラエオのセルビア一青年が、發射した一彈丸と同じく殆んど暴徒に等しい些細の支那學生や游行隊の衝突殺傷に基くものである。

五卅事件は上海南京路に行はれたので南京路事件とも云はれて居る。其の普通原因は同年二月上旬、日本人經營內外棉

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第八紡績工場が不良職工數十名を解雇したのに端を發し、上海に潜入して居た共産主義者及社會黨首領江亢虎を校長とする南方大學、大夏大學又は上海大學々生等の煽動があり、大罷工となり、同月中旬から罷工事件は延いては日華、大日本、豐田、同興、東華等日本人經營の諸紡績工場を襲來し、三萬數千の大群團となり、各所に暴動化し同月十八日には上海學生聯合會其の他四十一團體の對抗運動を起し、又は宣言書等を發表した。其の後罷業工人は一時生活難の爲めに復業したが一方四月上旬には、青島に於ても紡績罷業開始され、上海に反響する所があり、又偶々五月一日のメーデー以來、不良職工は共産黨員と提携し熾に罷業を煽動し紡績工場は時々罷業を繼續し、五月十四日には同情怠業者數百名の內外棉工場に對する暴動があり、同二十四日上海大學、文治大學生を中心とする學生團は、死亡職工顧正紅の追悼會に顧の遺族並に罷工職工等の生活維持募集の示威運動を試み、共同租界內にて過激の運動宣傳を事とした爲めに、租界官憲は首謀學生六名を拘引し、會審衙門に送り、次いで同三十日拘引學生六名の公判當日には、學生團は游行をし不穩の傳單を撒布し抵抗したので、工部局警官は七名を逮捕し南京路老閘警察署に引致した。學生又は職工等から成る暴徒三千餘名は同日午後三時頃同所警察署を襲擊したので、警察官は已を得ず、印度人巡査をして發砲せしめ、支那人學生等即死者四名負傷者十數名を出し、其の負傷者中に又五名の死者を出した。

一方前記事件の一助因と爲つた碼頭(埠頭)稅增徵、印刷物取締、交易所登記及特許幼年工場法案の工部局四提案に對する反抗運動があり、排日英運動は白熱的となり上海にては五月三十日から六月四日迄の罷市暴行期間、六月五日から同十日迄の罷業罷工期間、同月十一日から同二十六日迄の經濟絕交期間を經過し、其の期間は一箇月に足らぬも、其の運動は燎原の火の如くに各地に傳播し、即ち北京を筆頭に天津、青島、濟南、奉天、張家口、開封、重慶、武漢、九江、南昌、長沙、南京、蘇州、鎭江、蕪湖、寧波、福州、厦門、汕頭、香港、九龍、廣東等に亘り、商工學界等の排日英又は排英宣言

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

決議をなし、就中會審衙門、領事裁判、租界等の取消は勿論、對英宣戰を主張するものあるに至り、同情罷業罷市又は罷工となり、就中海運界に及した反響は著しいものがあつた。上海埠頭の罷業は、六月三日から開始され黄浦江上に麕集した客船は未曾有で、例へば十四日迄の日英停船數は四十隻となり十八日には、長江及び支那沿岸船を通じ停船五十二隻に達し十九日迄にライターの停船はウイロック及び上海運輸會社の兩社のみで百五十九隻に上り、約一箇月中に商船最高停船は百五十六隻、外國軍艦二十二隻を算した。之れが爲めに外國船は後上海に廻航を中止し、北支、神戸大阪又はマニラ等を經由することゝなり、貿易の系統を轉換したのである。

罷市に依る上海の損失は總商會長の意見に從へば、一日約三百萬元で、十二月迄に其の額は四千萬元に達したと云ふが如く、上海の開市期は六月二十七日からであつたが實際の交易往來等は尚ほ稀で、工人の復業は阻止され漸く六月二十三日に埠頭作業は恢復しても工部局電氣處は罷工後義務工作を繼けて、七月六日に迨び工場電力も食糧生産を條件とする製粉工場以外一式に對して給電を停止した。九月初旬工部局支那人の復業迄同一狀態を繼續した。

英日船に對し海員罷工の結果、水夫や露國人を使用して荷役し、八月中旬に至り漸く沿海沿江の航行が始めて平時に恢復したのである。但し南方の情形には變化がなく、年末迄英船は廣東、汕頭等に入港して貨物の積卸は出來なかつたのである。

三、

六二三事件は廣東の英佛租界と支那街沙基と間に起つた衝突であるから、又沙基事件とも呼んで居る。當初廣東の農工兵學等六團體の發企に係り六月二日廣東大學で四十校五千の學生團に依つて上海事件に對する示威運動をなし、三日には工商學界代表各會議の決議があり、又二日には廣東海關の支那人職員の連袂辭職あり、三日には荷役苦力の罷工となり、

十七日には廣東大學にて上海事件後援會を開き、二十三日大遊行を行ふことに決し、同時に英日貨の抵制其の他經濟絶交の實施に關して決議する所があり、一方香港に在つても、上海事件に同情し、六月十一日頃から傳單を撒布し、十三日には香港廣東海員工會の外國籍船員の罷業があり香港政廳の食料封鎖實施の威嚇を見、十八日には更に支那海員の罷業、香港廣東澳門汽船會社の航行取消となり、又同日にクインス大學々生の同情罷課があり、十九日よりは省港間の外國汽船は航行を停止し、香港總工會も同夜各工會に一齊罷業の通告をなすに至り、二十一日には香港九龍を通じ、支那人使用人の罷業となり、當時罷業に關し全權を有して居つた廣東政府庇護の下に在ると云ふ秘密機關の香港工人委員會の要求中には香港に於ける外支人の平等待遇勞働條件の改正、幼年工禁止又は八時間勞働實施等に關するものを包んで居つたが、香港政廳は其の條件を承認せねばかりでなく、主動者を逮捕し、工人の行動を監視し、尙ほ陸軍を出動せしめ戒嚴令を施行したので、在住支那人は陸續歸廣し二萬八千人に達した。廣東沙面在住の支那人は五卅事件の報を得て後六月二十一日には自動的に同情罷工をし「沙面中國工人援助上海慘案罷工委員會」を組織し、宣言書を發表した。沙面罷工後、英佛領事は沙面通路の東西兩橋の鐵門を閉鎖し、陸戰隊を上陸せしめ、各處に土嚢を築き防備した。當時沙面沖の白鵝潭に在る軍艦は、英三隻日佛米各二隻葡國一隻計十隻であつた。

六月二十三日廣東各界から示威行列をする爲めに、東較場に參集した群勢は三萬五千に上り、其の學生商人農民及軍人等大遊行隊が沙基街を通過したとき、沙面內に在つた英佛守備兵との間に衝突をし突如砲火を交へ、沙面側からは機關銃を發射し、軍艦も之れに應戰加勢し約二十分間で支那側には死者四十六名重傷者五十一名を出したが、外人側は佛商人一名死し、英水兵一名稅關長エドワード及び二名の市民が重傷した、當座約一週間一切の商業停頓し其の間又海關は閉鎖した。而して支那側は外人から先に射擊したと强辯して居るも、當時目擊者の言に徵し、又傷口から見て、支那側が先に發

砲したと云ふ。二十四日支那側は領事團に對し二十三日の事件に就いて賠償の要求をしたのに對し、領事團は之れを拒絶し、交戰狀態に入り約四箇月間は沙面と市街との交通は遮斷され、外支人間に食糧貨物の出入は禁止された。廣東政府の英佛領事に宛てたノートには、沙面の恢收の外に損害賠償關係官吏の處罰等の要求を提出したが、同じく兩國領事は回答しなかつた。廣東政府は列國を敵とするを恐れ、獨り英國に當る方針を以て對抗策を講じ、露國を後援とした。蓋し廣東の經驗もあり、六月十九日總罷工實施以來一箇年半に亘り、參加人員は十萬人に上り、孫文の遺意である香港を死港たらしむる目的を以て廣東政府支持の下に省港罷工委員會が活躍し、香港側は香港對廣東の交通を阻斷し、工人の出境歸粤を禁止し、其の他對抗策を講じても毫も効力はないので、香港側は十月三日から翌一九二六年六月迄數回の交渉を試み、更に七月十五日から同二十三日迄に廣東外交部に於て五回に亘り正式談判をしたが成果を見ないで、遂に廣東國民政府北伐進行に伴ひ、同年十月十日を期し罷工新政策の實施に入り廣東側は自發的に對英經濟絶交運動中の省港交通を回復した。但し英貨排斥の運動は之れを繼續し、却つて全國的に擴大する旨を宣言した如くに、昨年中は勿論本年（一九二七年）も省港の外に汕頭方面迄英貨の調査を爲し英貨の驅逐を計りつゝあつた。

罷工の爲めに香港を退去したものは、外國船乘組員が、支那人海員の約八割强、其の他各種工人は約六割を占め、廣東香港を通じて、罷工人員當初六月には一時九萬五千以上を示し、前記大海員罷工の罷工人員を超過すること數千人に達した（一九二二年の海員罷工數は九萬一千七百人と註せられた）。之れが爲めに香港、九龍等に在つた英國船の如きは、空船の儘禁船されて居つたものが甚だ多く、船員として水兵を使用し又露國人を上海から急派して補充せしめたものがあつた。

罷工人員は當初六月前記九萬五千人（内女子約八千名）中香港から歸粤したもの約二萬八千名、廣東内外のもの六萬一千

餘名を占めたが、同年九月舊仲秋前後には歸鄉者三萬八千名、香港復工者約二萬四千名、其の他廣東復工者は多少あつたが、殘留罷工人員は尙ほ四萬一千餘名あり、其の後一箇年餘を經過して一九二六年八月末日現在では、復工者漸次增加し殘留人員一萬五千餘名中、糾察隊員三千三百名、北伐出征者二千八百名を包んで居つた。

省港罷工經濟絕交手段及び之れが影響を一言せば、廣東側は省港航通斷絕の爲めに食糧及び燃料の供給方法として罷工直後の六月二十四日制定の特許證制度に依つて英船英貨でないもの及び其の他香港經由船以外の廣東直航船は始めは上海廣東間、次は暹羅、安南と廣東との間の航通を開始し、又日米船の廣東入航を認め其結果上海、暹羅等の商船、米國大來公司、日本三井洋行及各國商船復業入港し、商船黃埔に直航したもの每日平均四十餘隻で、古今未曾有と云ふたが、罷工委員會は更に對香港政策を確保するが爲めに、廖案發生後（八月二十日廖仲凱刺殺さる）に自動的に特許證制を廢止し、一步を進めて「工商聯合」を提倡し、四商會と共同し善後條例を定め十月一日から施行することゝした。即ち、（一）香港及澳門から航來の貨物は何國の生產を問はず一切廣東輸入を許さず、又廣東から兩地には、何れの國貨を問はずに一律之れが輸出を禁じ、（二）英國船及び港澳を經由し廣東に入港する各國船舶は何れの國家を問はず一切貨物の揚卸を禁ず、（三）英國貨以外の內外貨品及び英國船以外の內外國船舶は、香澳を經由せずば均しく自由に揚卸する事を許した。

罷工委員會所屬に糾察隊を設け、英船英貨及び反則船取締監視に從事し、稅關以外に煩雜の貨物檢査を實施し、頗る通商を阻碍した。糾察隊は三千餘名（預備隊を含み）に上り、監視區域は珠江一帶を始めとし東は九龍半島及び石牛湖灣深圳から西は江門北海、東は汕頭に亙り、水面には小艦十二隻あつて巡邏をする、監船の爲めには騎船隊が十四年十月頃から組織され、乘船費用は勿論歸廣旅費や小使錢迄一式船主をして負擔せしめ、廣東の入出港には必ず乘船を必要とした。但し遠洋航路船又は日本航行船は、旅費多く船主は負擔に苦み、便宜方法として香澳等に絕對寄港せぬことを條件とし、船長

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

から保證書又は保證金香貨百十弗位を納付せしめ、乘船に代ゆる事としたと云ふ。十月十日以降は糾察隊は解散し、同二十日から財政部所屬の檢査隊に編入した。從來糾察隊の監視が嚴重であつたのは廣東香港及び澳門等の水陸沿路であり、平時省港江門等河航汽船は英國船が六割内外を占めて居つたものが、抵制に依つて殆んど其の影を沒し、僅かに英國海軍の傭用した一汽船に依つて之れを補充し、九月初迄には省港間航通が、一時恢復されたが、尙ほ一日往復一汽船のみであり、香港江門間は全然航通杜絶し、其の他廣東又は廣東管轄內の諸港に對する各汽船は凡て香港寄港を中止し、自ら香港は Entrepôt たる資格を喪失し、貨物の對外輸出は、上海から轉運し、或は直接に日本、暹羅、西貢間を往來し、又時に直接獨米兩國から來るものがあり、上海が香港の地位に代り、廣東貿易の轉運樞紐となつたと同時に、廣東と香港とは各地位を轉動し、廣東は又同省及び廣西地方貨物集散の中心に至つたのである。

是れを以て香港貿易は沙基事件發生の年(一九二五年)は半箇年間の影響を受け前年に比し約半減し自ら英國の對支貿易は優逸の地位を失ひ、日本と伯仲の間に在つた。

四、

又昨十五年末北伐軍の成功に伴ひ、國民政府の武漢進出以來、反帝國主義の活動は見るべきものがあり、長江一帶に漸次排英氣勢を高め、遂に本年(一九二七年)一月三日の漢口事件及び六日の九江事件に於て共に暴動を利用し、英租界を取消し(十九日漢口租界協定、二十日九江租界協定をなす)上海にては、共產黨系を中心に、民黨最左傾派失業工人團を兩翼とした上海總工會は、國民革命軍杭州占領歡迎罷業の名を以て杭州占領日の二月十九日から五日間總罷業を實行した。共產派の口傳では上海八十萬の工友中罷工動員は三十萬に達したと云ふが同月二十三日の調査に依れば、右第一次總同盟罷工參加人員は十一萬八千餘名とし、日本人經營の工場四萬八千四百餘名、支那人工場四萬三千餘名、英人工場は一萬八千四百餘

名を占めて居る。

三月二十日以降三日間に於て南軍の上海占領となり。總工會は國民革命軍上海克復罷業の名の下に、革命軍上海入城の二十一日から五日間第二次總罷業を實行した。參加人員は上海工部局の調査に依れば十五萬三百六十八名に達した。又上海占領當日の前後は共産派や便衣隊の活動があり、就中總工會の武裝暴動は、前後三回に亘り、第一回は昨年十二月二十三日、第二回は本年二月十九日、第三回は奉魯軍と流血巷戰したものである。

次いで三月二十三日以降三日間、革命軍の南京占領に際し、尼港のパルチザン事件に比せらるゝ南京暴虐事件があり、次いで四月三日には、漢口日本租界の暴動事件があり、排日氣分を發生し、昨年以來日本船の獨占的勢力を增した長江の航運も、前記二月十九日以降の總罷業に依つて、長江流域航通中止、又は漢口事件に至る屢次の動暴騷擾に依り、且つ南北動亂のために鐵道其の他交通の支障に依り蒙る通商上の禍害は著しいものがあり、又長江沿岸諸港並に上海の在留外人の退去者多く、殊に上海の騷亂は太平亂以降未曾有であつて、從來上海は奥地動亂毎に人口累積し、所謂避秦の桃源とし樂天地であつたものが、反對に今や水火危殆の區域となり、獨り本年四月初旬約一週間で、退去支那人は三十萬外人四千人を計上したと云ふことは劇的事實であつた。團匪事件の際は米英獨墺日露等の各國全體で出兵二萬五千人位にあつたのが本年二月頃には英國兵のみで約二萬人はあり、四月初に獨り上海に碇泊して居つた各國軍艦は約四十隻あつた。四月初旬から上海にては蔣介石の清黨運動(共産派撲滅)となり、同十八日には南京國民政府の成立、武漢派と分裂を來し爾來數箇月間危機に迫つて居つた。今夏、蔣介石の下野後、武漢及び南京政府の合併となつて一時小康を得た又分裂を來し前途容易に判斷出來ぬ。一方本年六月國民革命軍の山東進出に對する日本の出兵は、著しく南京政府及び一般市民の排日氣勢を高め六月下旬から上海以南廣東、厦門、汕頭等の抵制運動となり、政府形式上の取締も效果がなく、今日迄已に數箇月に亘り

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時に消長はあるが諸地に於て日貨の抵制を繼續し、又別途奉天に在つては現政府の對滿政策に反抗し、排日運動を惹起した。

五、

要するに一九二五年五卅事件以來國民革命運動の進捗に從つて專ら排英運動は、廣東及び長江方面一帶に亘り八十有餘年を經て建設し來つた、英國の支那に於ける商勢力を根抵から搖動せしめ、英國の對支貿易は稍凋落の徵を示したのに反し、日本の對支勢力を頓に勃興せしむることゝなり、關稅收入に在つては日本は歐洲戰爭の特別原因に依つて、既に一九一七年以降一九一九年迄は英國を凌駕し、貿易額は僅かに一九一八年に第一位を占めたが、其の後減退し又最近前記事情の爲に昨一九二六年遂に英國を踰越したのは、獨り彼の一八九八年英支間總稅務司に關する協定が根據を喪失したばかりでなく、支那に對する彼我が政治的並に經濟的勢力の上に多大の影響を及した。殊に一昨年一九二五年關稅會議以後支那の利權恢收運動熾盛となり昨年末一八六四年以來發達した混合裁判制度の一種である上海會審衙門（Mixed Court）の取消があり、次いで北京總稅務司署の海關副總稅務司格である總稅務局長（Chief Secretary）の地位に日本人を据へたことゝ上海共同租界市政廳（工部局）の最高執行機關である行政委員（Municipal Councillors）に一九一五年當初から現在迄一名のみであつて日本側委員を二名に增員した事は、最も重大な歷史的事件の一である。

然らは今後の趨勢は如何と云ふに、英國が香港及び租界其の他の勢力を有し居る以上、排英運動が終熄せぬと同樣に、日本が、滿洲の特殊利權や諸租界や殖民地を有し居る以上時々排日氣勢の勃興するのは已むを得ぬ事情であつて貿易上、消長あることは免れぬ。現に前記本年春からの時局の爲に日本の對支貿易も相當打擊を蒙り、本年（一九二七年）上半期の日本の對支輸出（關東州を除く）は前年の二億二千萬圓が一億五千九百萬圓に、輸入は前年の一億二千四百萬圓が一億二千萬圓

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に、減退して居り、又上海日本商務官調査に依れば、廣東北伐軍漢口進出後から本年六月迄九箇月に本邦の貿易に及した影響は前二箇年平均に比し一億八千萬圓であつて、前年に比して長江流域は輸出が四十「パーセント」、輸入が十一「パーセント」、滿洲及び北支は輸出が二十九「パーセント」、輸入が二十六「パーセント」、香港及び南支等は輸出が、三「パーセント」、輸入が十六「パーセント」に達して居るとした。

英國の對支貿易の減退は前記情形から見れば一層甚しかるべく、現に本年二月上海入港船を見るに英國船の百十五隻三十四萬噸に對して日本船は百七十二隻三十五萬七百噸を示し、排日事件後の本年八月にも英國船の三十六萬噸に對して日本船は三十八萬噸を占めた如くに、大局から打算せば今後日本の對支貿易が優勢の地位を維持すべきものと思はる。

第二章　支那貿易の發達

支那貿易は一八四二年南京條約締結以來開港場の設置に伴ひ漸次發達し、近年殊に日清戰爭以降鐵道の開通內地工業の勃興等に從つて頓に增進を示し、最近歐洲戰爭後は更に激增し時局の影響があつたにも拘らず、昨一九二六年には最高記錄を呈したのである。

今支那貿易の史的發的に就いて、便宜上海セントジョーンス大學經濟學教授 Remer 氏の Foreign Trade of China に述ぶる所の分類に從へば、下の如くに五期に區分して居る。

第一期は一八七〇年以前とし就中一八六七年前は精覈に支那外國貿易の情況を知ることが出來ぬ。

第二期は一八七一年から一八八四年迄の十四年間とし、當期は從前と同一趨勢に在つて、外國人は支那の重要生產物を求めたが、支那は多數外國品の輸入を需要しなかつた、自ら茶及生絲の二品のみの輸出で一八七一年には輸出總額の九

十二「パーセント」、一八七七年には八十三「パーセント」、一八八四年に至つても尙ほ七十八「パーセント」を占めた。輸入に在つては阿片及び棉製品が、一八七一年には輸入總額の七十六「パーセント」一八八四年にも六十六「パーセント」を占めて居つた。而して當期はスエズ運河の開通を見て當初一八七一年同運河を通過した船舶は五十萬噸臺に過ぎなかつたものが、一八八四年には六百萬噸臺に達した。但し當期の支那貿易は前後を通じ著しい增進を示さないで、一八八一年の最高一億六千萬兩臺の外は概して一億四、五千萬兩臺に在つた。

第三期は一八八五年から一八九八年迄の十四箇年間とし、當期は前記に比し種々の特徵があり、(一)支那は舊來の慣習を破り外國品を多く需要すること〵なり、棉花、石油其の他外國品の輸入を增加した。(二)輸出貿易に在つては他の東洋諸國に競爭者出で、支那は從來の獨占的地位を喪失した。一例を擧ぐれば、茶は印度品に、生絲は日本品に壓倒せらる〵に至つた。(三)滿洲の開發、鐵道の布設、新式工業の勃興等に依つて漸次土貨の輸出を增加した。(四)香港が支那と諸外國と間の仲繼地となり、殊に一八八七年以降拱北(澳門)及び九龍(香港)兩海關の設置に依つて香港支那間の民船貿易を計上することになり、香港の對支貿易は益々增進を示し、多くは總額の四十「パーセント」以上となり、一八九三年には最高四十八「パーセント」に達した。反之英國及び印度の對支貿易が減退した。(五)日本の對支貿易は前記は五百萬兩臺であつたものが漸次增加し、本期末には約十倍し四千萬兩臺に達し、總額に對して一八八四年の四、四「パーセント」が一八九八年には十一、五「パーセント」に上つたのである。(六)當期中には開港場は急に其の數を增加し、一八八五年の十九箇所が、一八九八年には二十九箇所となつた。

前記事情に依つて一八八五年に一億五千萬兩臺が、一八九八年には三億六千餘萬兩に上り、輸入に在つては同期に八千八百萬兩臺から二億萬兩を突破したのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第四期は一八九九年から一九一三年迄十五箇年間とし、當期は貿易の消長と重大の關係を有して居る事件があつた。卽ち、(一)一九〇〇年の團匪事件、(二)一九〇四、五年の日露戰爭、(三)清朝滅亡及び共和民國の成立、(四)多數通商條約の締結等である。當期は日清戰爭後、特に滿洲の開拓鐵道の發達(現在鐵道の大部は一八九六年から一九一三年迄に出來た)に依り前期に比し一層輸入の增進を示した如くに、貿易額は前期平均の二億五千四百萬兩臺に對して六億五千七百萬兩臺に上り、最高は一九一三年には九億七千三百餘萬兩に達したのである。

當期は特に北支及び滿洲方面の貿易が、發達した爲めに香港の對支貿易の比率は下降し、一八九九年には尙ほ四十一「パーセント」を占めたものが、一九一三年には二十九・一「パーセント」に下つた。

第五期は一九一四年から一九二二年迄九箇年間とし、當期は前記情形が更に發展し、特に戰後の恢復期に入り、著しく貿易の增進を示した。當期の特徵としては、(一)北支滿洲又は上海貿易の發展に從つて香港の對支貿易が前期同樣に低落の傾向を辿り、(二)日米等の對支貿易が累進し來つたのである。

一九二三年以降も貿易は好況に在つて、其の價額は既に一九一七年から十億兩臺に上り、一九一八年迄は大差がなく、一九一九年から漸增し一九二一、二の兩年は各五割を增加し十五億兩に達し、後一九二四年には十七億八千九百餘萬兩となり、一九二五年は稍減退し、十七億二千四百餘萬兩を示したが、一九二六年には十九億八千八百餘萬兩に躍進した。而して一九二三年後貿易の情態を約言すれば國別貿易から見れば、英國側、殊に香港の割合が、漸次減退し、日本は滿洲の發展に伴ひ前期末減退の傾向にあつたものを挽回し來つたことゝ、支那新式工業の發達に伴ひ棉絲布其の他支那の新式工業品が外國品に代つたことゝは閑却することの出來ぬ事實である。然れども最近一九二五、六年は上海及び廣東事件を中心とした國民革命運動の發展に伴ふ動亂、騷擾の爲めに蒙つた影響は、支那全國の貿易から見れば著しい變化を認めないで、一九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二五年には前年に比して貿易價額は六千有餘萬兩を減退したに過ぎぬが、一九二六年には假令金銀比價の關係であるとは云ふものゝ其の額二億兩以上を增加して居り、香港經由を廣東、上海等に轉向した貿易系統から考察し、從來の傾向を促進せしめた程度は著大なるものがあつたので、支那貿易史の區劃として予は第五期を一九一三年から一九二四年迄十二箇年間とし一九二五年から第六期として附加せんとするのである。

左に最近十年間の國別對支貿易步合を揭ぐれば下の如くである

年次	日本（臺鮮ヲ包ム）	英國（香港其他屬地ヲ包ム）	英本國	香港	米國（布、比ヲ包ム）	其他諸國
一九一七	二三・四	三九・七	七・五	二六・四	一五・三	二一・六
一九一八	四〇・一	三七・八	七・一	二六・三	一三・三	八・八
一九一九	三六・二	三七・三	九・三	二一・八	一六・五	一〇・〇
一九二〇	三〇・二	四一・九	一三・二	二三・二	一六・〇	一二・九
一九二一	二六・七	四三・五	一一・八	二五・〇	一七・七	一二・一
一九二二	二五・九	四一・九	一一・三	二五・一	一六・七	一五・五
一九二三	二六・六	四一・二	九・六	二四・九	一六・八	一五・五
一九二四	二六・四	三八・六	九・七	二三・〇	一六・五	一八・五
一九二五	三〇・五	三〇・九	八・一	一六・七	一七・〇	二一・六
一九二六	三〇・二	二七・八	八・六	一〇・九	一七・四	二四・六

最近五箇年間外國貿易高を擧ぐれば下の通りとす（單位百萬兩）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年次	輸出入別	日本（臺灣ヲ包ム）	英國（香港其他屬領ヲ包ム）	英本國	香港	米國	其他	計
一九二二年	輸入	二四一	四四六	一四五	二三九	一七三	一二五	九七五
	輸出	一八〇	二三七	三八	一六九	九九	一三六	六五四
	計	四二三	六八三	一八三	四〇九	二七二	二五三	一、六二九（一、五九九）
一九二三年	輸入	二二二	四四六	一二〇	二四八	一五五	一三三	九四八
	輸出	二一八	二五二	四三	一七五	一二〇	一四〇	七五三
	計	四五一	六九九	一六三	四二三	二八六	二六三	一、七〇一（一、六七六）
一九二四年	輸入	二四六	四四一	一二六	二四三	一二六	二四三	一、〇三九
	輸出	二三二	二五六	五〇	一七三	五〇	一七三	七七一
	計	四七八	六九七	一七六	四一七	一七六	四一七	一、八一〇（一、七八九）
一九二五年	輸入	三〇九	三三六	九三	一七六	九三	一七六	九六五
	輸出	二二一	二〇〇	四七	一一四	四七	一一四	七七六
	計	五三〇	五三七	一四〇	二九一	一四〇	二九一	一、七四一（一、七三四）
一九二六年	輸入	三四九	三六〇	一一六	一三四	一一六	一三四	一、一四四
	輸出	二五八	一九八	五五	九三	五五	九三	八六四
	計	六〇七	五五八	一七二	二一八	一七二	二一八	二、〇〇八（一、九八八）

（註 括弧內は再輸出を除いた直接額を示す）

海關收入に關しては凡そ貿易の消長と多くの場合は平行するものであり、又近年再度關稅改訂があつたので其の增進は著しいものがあつた。最近十年間の海關收入を舉ぐれば（單位一千海關兩）

一九一七年	三八、一八九
一九一八年	三六、三四五
一九一九年	四六、〇〇九
一九二〇年	四九、八一九
一九二一年	五九、〇〇七
一九二二年	五九、三五九
一九二三年	六三、五〇四
一九二四年	六九、五九五
一九二五年	七〇、七二五
一九二六年	八〇、四三五

となり、更に最近五箇年、英、日、米及び支那四箇國の稅收對照率は左の如くである。

國別 \ 年次	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
	%	%	%	%	%
英	三七・七〇	三八・四四	三七・二三	二五・七五	二五・六七
日	三二・二五	三〇・八一	三一・四三	三九・九〇	三八・〇四
米	五・一九	五・五四	六・四六	七・三六	六・七五
支	一六・〇三	一六・〇七	一三・六一	一七・六四	一四・八三

日本は從前は一九一七年から一九一九年迄三箇年を通じて第一位に上り、又最近一九二五年から再び英國を凌駕したのである。然れども長江及び南支方面は英國多年の地盤設備があり、我が邦の追隨を許さぬものがある。現に對英經濟絕交を開始した一九二五年に在つても海關收入は下の如くに上海が英の二割六分に對して、我邦は三割一分を占めて居るものを除かば何れも英に及ばぬことが遺憾のである。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、上海

英	六、九九八千両	約	二六%
日	八、一〇一同	約	三一%
米	三、〇二八同	約	一一%
支	三、三〇〇同	約	一二%

二、厦門、汕頭、福州、廣東

英	二、三七九千両	約	三九%
日	九二四同	約	一三%
米	二六二同	約	四%
支	一、五二一同	約	二五%

三、長江沿岸及中支(重慶、萬縣、宜昌、岳州、沙市、長沙、九江、南京、鎮江、蘇州、蕪湖、漢口、杭州及寧波十四港)

英	三、八一七千両	約	三三%
日	二、二八四同	約	二〇%
米	七七同	約	六六%
支	三、七一七同	約	三三%

(一九二七、一〇、一、稿未完)

開蘭吳沙傳

八丁春太郎

吳沙は閩の漳州人にして乳名を沙成と云へり、初め雞籠(基隆)に居住し次で三貂の番社に入り番人と交易を始む、乾隆五十二年(今より百四十年前)更に噶瑪蘭(今の蘭陽地方)に侵入し此の地の番人と交易を開始せり、傳へ曰く吳沙は採籐の目的を以て頂雙溪より草嶺に登り今の宜蘭平野を望見して之が開拓を決意せりと、吳沙は先づ泉粤の流民を集め一人につき米一升斧一挺を給して開墾に從事せしめしに、流民次第に集り勢日に増大せるを以て時の淡水同知は吳沙を戒飭して番地に侵入を禁ぜり、然るに翌年林爽文の亂賊噶瑪蘭を占據せんとするに及び、淡水同知之を憂ひ遂に吳沙に噶瑪蘭内地の開墾を許し、同時に亂賊の侵入を防がしむ、斯くて吳沙は大に力を得て開拓の計畫を立て、通事許天送等と謀り大に漳泉粤の流民を招き鄕男二百餘名番語を能くする者二十三名と共に、嘉慶元年九月十六日(今より百三十年前)烏石港に著き、此地に土城を築きて頭城と稱せり今の頭圍乃ち之なり、斯くて吳沙の開拓は一種の屯田組織となり、淡水の人柯有成、何績、趙隆成等の援助を得て部署を整へ大に開墾を進む、當時の蘭陽地方は平埔番三十六社各地に占據し中には獰猛なる番社あり遂に吳沙の異圖あるを疑ひ頑强に抵抗を始め交戰毎に死傷あり、吳沙の弟吳立戰死し加ふるに疫病の發生と番情の惡化とに依り、吳沙は遂に一度三貂に退却の止むを得ざるに至る、而して番人に告げて曰く、頃日亂賊噶瑪蘭を襲ひ汝等を盡滅せむとす予は官命を奉じ賊を防ぎ汝等を保護せむとするに外ならず、地を開き田を耕すは衆糧を満たすに過ぎずと、會々

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

蕃社に痘疫流行せり、吳沙は機を逸せず力を盡して施藥に從事し、大に効驗顯はれ忽ち蕃人の信賴を回復せり、斯くて翌嘉慶二年吳沙の入蘭は海賊防禦を目的とするものにして侵入にあらずとの誓を立て、蕃俗に遵ひ埋石して彼我の和約は成立せり、之より吳沙は私墾を防ぎ且つ蕃人の綏撫に力めたるを以て官は其功を賞し開拓事業に對し一切の便宜を與へたり、然るに吳沙は翌嘉慶三年十二月九日享年六十八歲を以て沒せり、彼は乾隆五十二年以來噶瑪蘭の開拓に從事すること十二年間、幾多の艱苦を嘗め中途にして死沒せしも噶瑪蘭開拓の基礎は吳沙に依りて確立せり、吳沙の子吳光裔は不肖なりしを以て姪吳化、吳沙の遺業を繼ぎて事を執り、吳養、劉貽先、蔡添福等の封助を得て二圍三圍(番割田)を築き、再び蕃人と衝突せしが嘉慶四年私約成り、更に進んで四圍(四結)に至り暫く此の地を根據とせり、當時漳泉粤人合計一千八百十二人を算せりと、嘉慶七年吳化は更に進んで宜蘭川を渡り五圍(宜蘭)を築きて之を根據とし、嘉慶九年には濁水溪以北一帶を開墾せり、清朝が噶瑪蘭を其版圖に入れたるは嘉慶十五年以後の事にして、乾隆五十二年以後約二十六年間(頭圍築城後十五年間)蘭陽未開の地方は吳沙及其一族に依り始めて開拓せられたるものなり、要之吳沙は蘭陽の開基者にして東臺灣の鄭成功と稱すべきなり。宜蘭郡礁溪庄四結五五三番戶に吳沙五世の孫吳添丁なる者住せり、同家傳來の記錄に依り吳沙の系譜を示せば左の如し。

系譜は三世吳溪中の作にして僅かに五六十年以前のものなるも吳家唯一の記錄なり、吳沙の墓は基隆郡貢寮庄澳底に在り、墓銘に漳浦皇清例授信士考顯□□諡吳公之墓とあり、宜蘭郡頭圍庄頭圍の佛祖廟中には噶瑪蘭初代の通判たりし楊廷理の位牌を中心とし吳沙以下開蘭先哲の位牌を祀れり、又同郡壯圍庄壯三の福德廟內にも吳沙及鄉男の位牌を奉祀せり、然れども蘭陽地方未だ吳沙廟の設立を見ず、頃日頭圍庄頭圍に於て吳沙廟造營の擧あり頭圍は吳沙開蘭第一歩の地なり、此の地に吳沙廟を造營し、吳沙竝に先哲鄉男の祭祀を行ふは、報恩反始の美事にして世道人心に裨益する所尠少ならざるべし。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其ノ一

老祖公吳沙

乳名沙成諡名職員春郁二部
生於雍正九年歲次辛亥八月十四日午時生卒于嘉慶三年戊午十二月初九日丑時別世葬在三貂丹裡庄坐乾向巽兼戌辰正針分金庚戌

老祖媽梳

莊氏諡名勤慈
生於乾隆十六年歲次辛未十月二十二日巳時生卒于嘉慶十三年戊辰十一月三十日寅時別世五十九歲葬在四城田內坐丁向癸兼未丑用庚午庚子分金

老公吳光裔

享壽四十五歲諡名朂玉生於乾隆三十六年歲次辛卯十一月十六日辰生
卒于嘉慶二十年歲次乙亥六月二十六日吉時

祖媽曲娘

黃氏諡名勤順
生於乾隆三十九年歲次甲午十月十五日巳時
卒于嘉慶十九年歲次甲戌五月初一日

公吳東山

乳名東山諡名信直
生於乾隆壬子年四月初十日吉時生卒咸豐三年歲次癸丑正月十一日巳時壽六十二歲

媽毛娘

王氏諡名慈順壽十八歲
生乾隆丁巳年十二月十七日
卒于嘉慶十九年甲戌九月初六

吳溪中

乳名溪忠諡名正福
生於道光七年丁亥年五月初三日申時生
卒于光緒巳丑年三月十四日酉時別世享壽六十八歲

忠妻勤娘

郭氏
生於道光丁亥年三月初三日卯時生
卒于光緒乙酉年十月二十七日巳時別世享壽五十九歲

吳步蟾

生於道光三十年庚戌年八月十五日卯時生
卒于大正柒年戊午十月初一日戌時別世享壽六十九歲

蟾妻金鸞

李氏
生於咸豐癸丑年八月十二日巳時生
卒于光緒二十年甲午六月十八日辰時別世享壽四十三歲

吳添士

生於明治六年癸酉年四月初九日未時生

魏氏邁

生於明治五年十月初四日丑時生

吳阿準

明治四十二年十月二十八日生

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其ノ二

- 吳沙
  - 吳光裔
    - 吳東山
      - 吳溪中
        - 吳步鵠
          - 吳添土
          - 吳添火
          - 吳阿貞
        - 吳九獅
          - 吳添泉
          - 吳秋淵
        - 吳紅象
          - 吳　才
      - 吳計番
        - 吳根奐
        - 吳庚午
        - 吳向佃
        - 吳志而
        - 吳新正
        - 吳丁傑
    - 吳進水
    - 吳合成
      - 吳得來
        - 吳清江
          - 吳炳耀
          - 吳　奎
          - 吳火才
    - 吳三品
      - 吳月宮
        - 吳九根
          - 吳阿昌
          - 吳鳳鑲
          - 吳　坤
        - 吳安枝

亞細亞から歐米へ（三）

鎌田正威

五、印度、波斯の紡績業と婦人活動の必要

印度の紡績の中心は孟買であります。孟買を通じて日本は約五億萬圓の綿を買つて居ります。夫れで此の綿から更に綿絲、綿布を作りまして、約二億圓ばかり印度に輸出して居る。此の印度に輸出する處の綿絲、綿布に就て、私がガンヂーに會つた時に、日本から輸出する綿絲、綿布は成るべく印度に送らない樣にして貰ひたい。孟買に在る數十戸の紡績會社は綿絲、綿布の競爭に堪へない。印度の紡績業は依然として振はないので、是が競爭に堪へる爲めに關税を設けて貰ひたい。又日本が印度の綿を、長距離の日本に運び、又印度に送ると云ふことは、非常に日本の職工を虐待して居るのである。印

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

度に於てはさう云ふことは出來ない。もつと日本の勞働時間を制限して貰ひたいと云ふことを言つて居ました。其の根本の原因は何處にあるかと云ふと、經營が拙いと云ふことになる數十箇所の印度の紡績會社には二三良いのもありますが、概して經營が拙いと云ふことになるのであります。

又其の他に重大な原因を爲して居るのは、女工が少ないと云ふことであります。男工は非常に多い。又其賃金が非常に安い。男工の賃金が何程安いと云ひましても、家族を養はなければならぬのである。是が女工であると、自分の小使錢丈け儲ければ宜いのであるから、女工は非常に安い賃金である。男工になると安い賃金と雖もさう安くは出來ない。

今日、日本の綿絲、綿布が亞細亞に於て非常な有利の地位を占めて居ると云ふことは、日本の紡績工場の女工の働きであると思ふのでありまして、我々は日本の女工に對して多大の恩惠を受けて居るのであります。

波斯に行つた時にイスパンに獨逸人の技師が居りまして、優良なる紡績會社を作つて居ります。事業の成否を私が問ひますと、機械の點に就ては優劣はないが、要するに經營の如何にある。殊に重大なる點は何と云つても女工が少ないと云ふことであります。

波斯に行きますと五六歲以上の子供になると、男は女の顏を絕對に見ることが出來ない。女は外出する每に顏を隱して居るのであります。女の方からは顏に被つて居る布の隙間から見えますけれども、男の方からは女の顏は見ることが出來ない。是は親子姉妹の關係があれば、共に顏を見ることは差支へないが、苟も他の者は直接に女の顏を見ることは出來ないのであります。妙な話がありますが、波斯に這入りまして、上陸致しますと、ペナンに行く迄私は女の顏を見なかつた。ペナンに行きますと外國の公使館があります。商人も居ります。外國人の女が大部町を歩いて居ります。耶蘇教徒であり、歐米人であるから、初めて女の顏を見ることが出來たのであります。夫れで何とも云へない良い氣分を與へて呉れた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のであります。

臺灣の蕃地に行つても絶對に女の顔を見られないと云ふことは無からうと思ふ。さう云ふ様な關係から紡績工場に於て女工を使ふと云ふことは非常に困難の問題である。回々教徒が三年ばかり前に顔を隱して居るのをすつかり取つてしまつた。現在は土耳古人もダンスを行りますが、波斯人は顔を隱して居ります。之を改革すると云ふことは困難と思ふのであります。此の困難なる風習の爲めに女工を使ふことが出來ない。

此の點からして、波斯は外國から來る品物と競爭が出來ないのであります。婦人の生產力に於て、殊に我々が臺灣に於て内地人の妻君を見ますると、何れも遊んで居ります。内地の内地人の妻君は皆内職を行つて居りますが、臺灣に來ると働かない。婦人が働かないと夫れだけ國の生產力が衰へるのであります。婦人の働きも非常に大切のものであると、斯う云ふ事實を見て感じたのであります。

日本の綿絲、綿布が亞細亞に行き亘つて、夫れが孟買の商人に依て歐羅巴に賣られるので、日本の製品が世界の各地に運ばれて外國の富を日本に吸收することの出來るのは、女工の御蔭であると云ふことを我々は感謝しなければならぬと思ふのであります。

六、マイソールの白檀油事業と我が樟腦油

白檀油と云ふのは淋病の藥であります。我々が栴檀は嫩葉より芳しと云ふ、此の栴檀は白檀であります非常に良い香りが致します。印度教に於て之を焚いて神様に供へるのであります。

夫れより脂を採ります。其の脂をサンタール、オイルと云つて醫藥として世界に供給して居るのであります。

マイソールの唯一の製產品となつて居るのであります。サンタールを製造する方法は樟腦油を採ると同じであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

卽ちサンタールを細かに切り鋸屑の樣に致しまして樟腦を焚く樣に蒸しまして、蒸餾したものを冷却しますと玆に脂が出來るのであります。サンタールオイルは非常に高價のものであります故に、樟腦の樣に、山地で採りまして、之をマイソールの都に持つて來て、マンカニワ、マイソールと云ふ二箇所の出張所に持つて來て此處で鋸屑に致し、機械作業に依て製造するのであります。此の世界に一手販賣する白檀油は香料として使はれる外に醫藥として尊重する。此の醫藥としては我が樟腦油からも採收することを我が專賣局の囑託の田澤氏に依て發見されたのでありますが、我國としては學理上からも實際上からも是非共完成しなければならぬのであります。夫れで白檀油の代り、白檀油よりも有効のものが出來ると思ひますが、其の曉には日本の白檀油を海外に輸出して、各國に供給し、海外の富を日本に吸收することが出來ると思ふのであります。斯う云ふ事業は所謂文明の發達として、二つの手を充分に働かせよと云ふことでありまして、富と云ふものは何所にも在るのであります。

前にはモルヒネ工業は其儘にして置いて何もしなかつた。我が專賣局に於てモルヒネの工業を始めまして、二百萬圓、三百萬圓の收入を上げることが出來る樣になると、夫れが富であります。斯樣に我々が何とも思つて居ない處から、幾多の富が作られるのであります。我が樟腦油なども捨てゝ居つたならば卽ち富を捨てるのであります。然るに、此の樟腦油から幾多の貴重なるものを作り二百萬圓、三百萬圓を得る樣になると只儲けの樣なものであります。夫れは二つの手を如何に働かすべきかと云ふことにあるのであります。金持になるも、貧乏人になるも二つの手を働かせるか否かに依て分かれるのであります。マイソールの白檀油の競爭も恐るゝに足らないと云ふことを印度に於て感じたのであります。

波斯は先程申上けました通り、女の顏を見ることが出來ない。さうすると、結婚は何うするかと云ふ問題になりますが見合ひもせずに自分の希望する者を如何にして選定するかと云ひますと、母親なり、姉妹なりが自分の嫁となるべき者を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

選定するのであります。母親なり女の姉妹に依て選定する處の女を妻とするのであります。愈々さう云ふ樣にして妻となるべき者が決まると、寫眞を寫して男に直接顏を見せない樣に贈るのであります。波斯の女の顏を見樣と寫眞屋に行つたがとう〳〵見ることが出來なかつたのであります。恰も私がシラスに居りまして波斯の專賣局と取引をして居りますネマージと云ふ人の息子さんが、マメツトホルガートと云ふ娘さんと結婚式を擧げたのであります。私も其の家に厄介になつて居つたので、其の席に招待される光榮を有したのであります。結婚式の式場の寫眞を撮ることを私に許して吳れましたので、其の寫眞が茲に在ります。

愈々結婚式になりますと、男の御客さんと、女の御客さんと、別々の部屋に這入るのであります。互に見ることが出來ないのである。愈々式を擧げると云ふ時にマホメツトの坊さんが來まして、花婿さんとなるべき人と坊さんとの間に一つの約束があります。夫れは若し離緣した場合は、土地をどの位、金をどの位、寶石をどの位妻に讓ると云ふ契約をするのであります。さう云ふ約束をして、愈々花嫁と結婚するに異議ないか、又充分に嫁を愛するかと云ふ意思を確めまして、花嫁の方に參ります。花嫁の方には花嫁の姉妹母親が居ります。花婿の方には花婿の親戚が列席する。マホメツトの坊さんが來ましても女の方には絕對に這入れない。一つの戶を隔てまして次ぎの部屋に這入るのであります。其處から聲を掛けまして、結婚に異議ないかと云ふことを聞き夫れに對しては從順でなければならぬ。又親切でなければならぬと云ふことを話して承諾の言葉を聞くのであります。而して花嫁の異議ないと云ふことを確かめますと花婿の部屋に行きまして承諾したと云ふことを告げ、茲に愈々結婚が成立するのであります。此の時男の御客さんに茶菓が出ます。マホメツト教は禁酒でありますから、酒は絕對に出さないのであります。此處に州の地方長官が來まして祝詞を述べ樂隊は目出度い西洋音樂を波斯人がやつて居ります。女の部屋は三つばかりの部屋を飾りまして、美しい絨氈を敷き御菓子とか果物とか澤山

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に持つて來る。花嫁の部屋からは時々　聲が漏れ又笑ひ聲も聞こえるのであります。第一日は一流の御客さんで二日目は第二流、三流の御客さんを招待するのであります。二週間ばかりすると婿さんが數臺の自動車を以て迎ひに來ます。而して花嫁を迎へて花婿の家に這入るのであります。其の時に花婿は初めて花嫁の顏を見るのでありますが其の結果はどうかと云ふと決して惡くはないのであります。

或は男は女の顏を見ることが出來ない故に、自分の花嫁となつた者が絕世の美人と滿足する結果異議ないと云ふことも云ひ得るでありませう、又實際に選定する場合に於て、母親が選定して自分の子なり兄弟に對して、幸福なれかしと云ふことで選定するに相違ない、夫れで容貌よりも心掛けの良い精神を見やうとするのであります。夫れが若し自由結婚なり、或は本人自身が選定するならば容貌に心を奪はれて仕舞ひ、他の修養を怠たることになるのであります。又男は容貌が良いとちやほやするが容貌の良いのは化粧に時間を費すだけであり、殊に容貌は一時的のもので、決して永く續くものでない、齡を取ると容貌が衰へるとモト〳〵精神的に結合したものでないから、そこに離緣と云ふ問題が起つて來るのである。然るに初めの選定が女に依つて選定せられると、容貌に重きを置かないで、精神に重きを置く結果幸福になるのであります。

處が西洋は東洋と非常に違ふのみならず、西洋人なぞはとても辛抱が出來ない、自分で選定しなければ滿足出來ないのであります。米國に居ります日本人が結婚するのに、態々日本に歸るよりも米國に居つて、親なり兄弟なりが女の寫眞を送つて、良いか惡ひかと云ふことを聞いて、宜しいと云ふと約束が出來て、太平洋を渡つて米國に行くのであります。此の寫眞結婚に對して米國の排日派は非常な壓迫を加へて居る。排日派の人々は自分の見ない日本は非常な野蠻の國であると思つて居る。而かも日本を代表する日本の領事は、シヤトルの日本人は野蠻であると云つて寫眞結婚を禁止して仕舞つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。之は事實であります。寫眞結婚を禁じたので結婚する爲に態々日本に歸らなければならぬ。

非常な手數であります。餘裕のある者は宜いが、餘裕の無い者もある、又事業の都合で歸れない者もある。さう云ふ人は結婚することが出來ない。又排日派の人は日本人と米國婦人との間に戀が出來ても、公然と結婚することを禁じて居ります。斯んな不人情なことはないのであります。日本から嫁を招び寄せることも禁じ、又其所の女と結婚することも禁止して居る。斯んな氣儘なことは無いと思ふ。僕は米國の加州で斯う云ふ非人道のことを見まして、非常に憤慨の念を懷いて歸つたのでありますが、而も日本の領事が之に同意するに至つては言語同斷で、之等は日本の本質を知らぬものと云はれなければならぬのであります。

我々は肉眼で見るばかりでなく心の眼で見ると確かであります。波斯人の結婚が自分の眼で見ないで、母親の眼で見、兄弟の眼で見る、之が本當の心の眼で見るのであります。母親を信じ兄弟を信じて、寫眞だけで結婚しない、寫眞は單に參考にするに過ぎない、心の眼で見るのであります。斯して初めて圓滿なる結婚が出來やうと思ふ、結婚の晩になつて初めて妻の顏を見るのであります。日本人は肉眼だけで見るのでなく心の眼で見ると云ふことを知らなければならぬのであります。日本の領事とか外交官は非常に甘い者である。何程秀才でも修養しなければ外交官には出來ない。年に何程金を使ひましも數十萬圓、數百萬圓は決して使つて居ない。專賣局などは年に數千萬圓使ふ、此の金を使ふと云ふ處に非常に苦勢がある。外交官には苦勢がない、其の外交官に依て固められて居る日本の外交と云ふものは、何時も退歩で追從外交と云ふことになつて居るのであります。勿論中には偉い外交官もあるが之は例外であります。阿片會議に於ても日本に對する惡宣傳をして居るに相違ないと云ふので、さきの總務長官であつた賀來さんが、全權として行かれたのであります。賀來さんは阿片に就ては非常な智識を持つて居られて、ドン／＼先方の言ふことを辯駁した。

こゝに於て各國から來て居る者も專門家であるが、徒らに宣傳に乘らない、例へば香港の阿片が臺灣に來る。其の阿片は香港政廳の許可がないと臺灣に持つてくることが出來ない、斯う云ふ制度を執つて居る。斯う云ふ制度に就て日本政府の信用が無いならば、此の會議をすると云ふことはお斷りしませうと云ふ劍幕で云つた。

未だ色々阿片會議の實況は出澤君が知つて居りますが實際に於て行政官は苦勞するのであります。阿片に就ては他人より數倍の智識を持つて居られる賀來長官に依て、阿片會議は多大の成効を示されたのであります。又日清戰爭、日露戰爭夫れから歐洲大戰に於ても本當に日本の指導に任じて居るのは、寧ろ陸海軍の當局者で、外交官は陸海軍の行つた後を行つて居るやうな狀況であります。斯う云ふ外交官の中には勿論偉ひ人もあるが、大體に於て苦勞をして居ない、夫れが爲に日本の發展に對して屢々好機會を失ふと云ふことを喝破しなければならぬのであります。現に僕は印度阿片を研究する爲に賴んで置いた領事が居ない爲に中々難かしく、容易に取次いで遣らうと云はない。實は斯う云ふ譯で英國大使から紹介を貰つて來て居る、であるから取次いで下さいと云ふことで、漸く取次いでくれたのであります。其の結果外國人として、印度阿片の狀況を視察することが出來たのであるが、單身乘り込んで行つたならば、領事は頭を振つて、日本の不利益になることをするのであります。

紹介狀があつた爲に引受けてくれたが、紹介狀を持つて居なければ突歸して仕舞つたのである。勿論親切にはしてくれたが、肝心要になると領事の腰が弱ひために、日本は非常に不利益を受けて居るのであります。ロンドンの大使館に於ても、成るべく工場を視るのは遠慮して貰ひたいと云ふことを希望して居りました。此處に來る人は皆な同じ場所を視るので、紹介するのに困難するからと云ふ斷り狀を出して居ります。嫌やならば賴まぬ、そんな處は視ないで行かうと云ふ氣もするのであります。我々として日本の外交官制度は是非考慮しなければならぬ問題と思ふ。モット改良しなければ日本

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の勢力は振はないのであります。

戰を宣し和を講じ、條約を締結し給ふ天皇陛下に直屬して、直接其の任に衝る外交官は、普通の官吏よりも度胸が座らなければ役に立たない。今の外交官は頭惱は良いか知れないが度胸がないと思ふのである。寫眞結婚問題が明かに事實が證明して居ります。米國に居る我々の同胞が、終世嫁を娶ることが出來ないのも、之も外交官の腰が弱いためである。

排日事件を無くする爲に公使が行つて居るのであります。然るに依然として排日家のために壓迫を加へられつゝあると云ふのは、之も外交官の力が足りないからであると云はれても仕方がないのであります。

米國は完全の國では無い、完全と思ふから當てが違ふのであります。酒専賣のお話の時に申上たいと思ひますが米國は禁酒國であります。夫れでありますのに紐育では大ビラに酒が飲めるのであります。御承知の通り米國は中央政府と地方廳とは、各々獨立して居るのであります。中央政府の命令が必ずしも地方廳が遵奉しないのである。中央政府が禁酒の命令を出しても紐育州は禁酒の施行法を抑へて出さない、巡査の前で酒を飲んで居やうが差支へないのであります。國が完全であれば、中央政府の命令が地方に及ばなければならぬ。然るに中央の命令が地方に及ばぬと云ふのは、國が不完全の故であります。

又排日事件でもさうであります。加州では日本人を排斥して居るが、大統領のルーズベルトは日本に同情して、色々と排日の緩和に就て斡旋しますと、彼等は憤慨して大統領に使を送り、大統領は加州の政治に干渉すべきでないと大統領の云ふことを聽かない。寧ろ彈劾的氣分を懷いて居る。斯んな國が完全の國と云へませうか。

神經が腦髓から足に通つて居ないと神經不隨であります。ウィルソンが國際聯盟を主張しながら、今日米國は國際聯盟に加入して居ない。其の實況を見たならば不完全の國であると云ふことは當然である。各國が國際聯盟に失敗したのは

米國は完全の國である、ウイルソンは必ず實行するに相違なからうと信じた結果英國なり、佛蘭西なり、又日本なりが加入したものと思ふのであります。ワシントン會議の如きも我々が米國を完全の國として扱つては不可ない。完全の國と思ふと又やられる、亞米利加を完全にするには數千年を要するのであります。米國は百五十年位の新らしい國であります。本當の國に固まるには外國から攻められなければならぬが、現在に於ては亞米利加に對して、外國からの壓迫が無い、であるから何時固まるか判らないのであります。不完全の國の結果は、自分の受くべき損害も受けない。又負ふべき義務も負はない。亞米利加が横暴で各國から嫌やがられる原因であります。

七、印度、波斯の阿片

印度阿片に就きましては局長に報告を致しました。夫れから波斯阿片印度阿片に就ては、臺日に載せてありますので皆さんもお讀み下さつたことゝ思ひますから止めて置きますが、夫れに依つて阿片の何物であるかと云ふことは、御承知下さつたことゝ思ひます。只阿片の問題に就て云ひたいのは阿片と云ふものは決して過去の問題でなく非常に將來重大なる問題でありまして、前きには此の阿片の爲に阿片戰爭となり、其の結果香港は、英國の領土となり英國が東洋に商權を擴張したのであります。斯の如き事實は、將來にも必ず起つて來るべきものと、我々の頭に印象しなければならぬと思ふ。臺灣に於ても日本內地に於ても、固より阿片は嚴禁されて居ります。臺灣に於ては漸禁主義を採りまして、今後二十年の間には絕滅すると云ふ計畫で、其の僅の阿片を製造するのは、專賣局でも製造課の人位であります。況んや專賣局以外、役所以外の人には、阿片に就てのお話は興味が無からうと思ふのであります。併しながら阿片と云ふものは其の樣な僅な意味のものでなく、東洋平和の安危に關する大問題であると云ふことを、御記憶を願ひたいのであります。

阿片の世界に於ける主産地は、印度、波斯、土耳古であります。阿片と云ふものは皆さんの御承知の通り、何處にも栽培が

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

出來るのでありまして、近時は日本でも臺灣でも容易に到る處に栽培して居ります。阿片を採りますには、罌粟に小刀で傷を付けます。さうすると白い汁が出ます、其の汁が數時間經ちますと黑く固まる、夫れを篦で搔き集める。之が阿片であります。此の傷を付けるのに土耳古は横に筋を付けます。此の阿片に塵埃を交ぜたり無花果を交ぜて胡麻化さうとするのであります。

斯う云ふものでありますから何處でも作れるのであります。そして阿片も土地に依つて味が違ひます。現在阿片を吸食用にして居るのは、支那が最も多いのであつて、恰も我々が煙草を飲むやうに阿片を吸ふて居ります。夫れでは何處の阿片が一番旨いかと申しますと印度阿片が旨いのであります。支那も勿論阿片を栽培して居る。日本でも作る。又トルキスタン、歐羅巴のサロニカ、此の邊は盛んに作つて居りますし、西比利亞でも作ると云ふことであります。味から云ふと印度阿片が一番旨い、同時に一番高價である。土耳古阿片は一番不味い、其の代り一番安いのであります。波斯阿片は其の中間に位すると云ふことになるのであります。印度阿片は我々でも金さへ出さば自由に買へるのである。夫れから印度では阿片を喰べるのであります。印度にはお醫者が居ない、臺灣のやうに公醫が置いてない。印度人が貧乏であるから萬病藥として阿片を飲むのであります。甚だしきに至つては、米粒位の丸藥として賣つて居る、夫れを勞働者が買いまして、赤ン坊に飲ませる。そして赤ン坊がすや／＼眠ると其の間仕事をする、斯ふ云ふことを行つて居ります。

阿片は印度政府も專賣であります。印度の阿片の產地は英國政府の直轄領と、テネブスとの二つに分かれて居るが、問題になつて居るのは英國政府の直轄領であります。直轄領が問題になると、千九百十三年から五箇年を期して、支那の阿片を輸入することを禁止したので、今では支那の阿片は行かぬことになつて居ります。其の後だん／＼と耕作を減じ、工場を減じ、印度政府はハトノと云ふ處の工場を閉鎖して、阿片を制限して居ります。百五十萬斤は年々直轄領に於て出來

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

るのであります。

印度阿片の方は少數であるが、波斯はどうかと云ふと、阿片を栽培しなければ經濟が立つて行かない。波斯は非常に交通が不便であります。波斯では小麥が澤山出來るのであるが交通不便のために、運賃に非常に掛かる、然るに阿片は容量が少くても比較的金が高いので、運搬費を調節することが出來る。夫れであるから金に代へるものとしては阿片を作らなければならぬ狀態であります。波斯あたりの商業地は阿片の豐凶に依つて、景氣不景氣を受けると云ふことであります。夫れであるから阿片は金に換へる唯一の貿易品であります。波斯阿片は支那に輸出するのみでありますが、國際聯盟に於ても阿片會議に於ても、米國の主張に依つて阿片の取引を漸時取締るやうにしたい。醫藥としての必要だけを作り夫れ以上の栽培は止めて貰ひたいと云ふことを米國の委員は云つて居ります。而し容易に波斯阿片の栽培は止むものでは無い。歐米の方にも支那の方にもドン／＼と這入つて來ます。西比利亞鐵道に依り、又は船に積んで波斯阿片が上海に密輸入されて居ります。此の密輸入する船は直に差押へて仕舞ふ。香港で差押へられる阿片の量は非常のものであります。香港政廳の阿片は僕等でも金さへ出せば買へる。商人は之等差押への阿片を買つて商賣して居ります、最上等の阿片は印度阿片で二三等阿片は波斯阿片であるが、差押へる阿片は重に波斯阿片であるが、之れで一般に十分に供給することが出來るので、軈て印度阿片を驅逐すると云つて居ります。

支那は昔から阿片を禁止した制度があるが、今の國民政府は禁止して居ない、從つて國民政府の永續する限り阿片に對する需給は禁止しないと思ふのであります。臺灣の如く警察力が完備し又教育方面からも阿片の害毒に關して臺灣人の頭に注入して居るが、夫れでも臺灣の阿片制度を無くするには三十年掛ります。後藤さんは五十年は掛かると云はれた。昔の計算で過去二十年未來三十年、其の位は臺灣の如く警察力の能く行き屆いた處でも掛かるのであります。況んや支那の

如く警察力の無い國では臺灣の十倍五百年は掛かるのであります。五倍掛るとしても二百五十年を要する、二百五十年と云ひますと怜度米國が獨立して漸く百五十年でありますから夫れ以上の長年月を要する。兎に角未だ支那と云ふ國は阿片を禁止することの出來ない國であります。然るに條約に依り印度阿片を輸入することを禁じて居りますが事實はドン〳〵支那に輸出せられて居ります。而し夫れは今説明した本當の波斯阿片であると云つて居ります。支那は非常に阿片に依て弊害を與へる、弊害を與へる結果何處かに衝突が起るものと思はなければならぬ。之より考へて見ると東洋の安寧と云ふものは支那の阿片問題ある以上禁絶することは出來ない。阿片を何處からか持つて來る。之等の點から東洋の未來の安寧と云ふものは非常に考へねばならぬと思ふ。故に阿片問題に關しては專賣局當局者は、本當に阿片のことを研究する人を擧げて研究せしめる要がある。專賣局は臺灣の阿片をして二十年後に絶滅するにしても、我々は東洋平和の爲に依然として研究を繼續する必要があると思ふのであります。

（續く）

臺灣に於ける民族研究の提唱（承前）

塘翠　西岡英夫

民俗研究と郷土研究と地方色

領臺前に於ても亦た領臺後今日に至るまで、その間或は官廳の事業として、或は個人篤學の士の手に依つて、我等が唱道する所謂民俗學の研究資料となるべき事項が調査蒐集されて、幾多の文献が今日に存して居るけれども、これはかの風土記の類で多くはまだ組織的に、民俗學上より考究されて居ない、殊に生蕃に關しては、云はゞ概括的の調査研究に過ぎないのみならず、未完の域を脱し得ないのである、これは要すに臺灣が所謂その昔、南支那地方人の移住地であり、從つてその移住民たる今日臺灣人と稱する人々の祖先が多く、云はゞ出稼人の類で未墾の地を開拓して成功しやう、未開の地に踏み入つて遺利を得やうと云ふ希望の下に海を渡つてこの地に活動したもので、從つて恁うした人々は學問には緣の遠いものであつた。その後、移住した人々の子孫が此處に永住し、支那の版圖として清朝の治下に二百餘年の長きに在つたが、住民の多くが農耕を業とする人々であり、即ち南海の孤島として支那本土と距り、この文化の影響も受くること尠く、清朝の政治も充分行き屆かず、島内に兎角匪亂多く、唯だ天惠に浴して耕すの狀態であつたから、時には學者や篤學の士が輩出しないでもないが、餘り多くなく、而もこの學者と云はれ篤學の士と云はれた人々も、何れも孔孟の學とかこの詩文に秀いたもので、決して民俗や郷土に就いての研究は餘り行はなかつたものである。かの臺灣府誌の如きも、先づ臺灣に於ける

諸般の事項を採錄したもので、今日に於ては貴重な文献には無論相違ないが、然しこの書の如きは廣汎に亙つて各方面の記事を蒐輯したもので、我國の風土記の類である。今日云ふ民俗學とか鄕土研究とか云ふものゝ一資料であると思ふ。從つてその當時に於ては臺灣に對する民俗學上の研究は行はれて居なかつたとも考へられる。唯だ臺灣の事情を蒐錄したに過ぎない、この他淡水廳誌や噶瑪蘭廳誌等も全くその地方の風土記であると云ひ得る類のものである。決して民俗學上から觀て充分な調査考究の產物であるとは云ひ得ない。

近時唱へらるゝ民俗學上の研究と云ふものは、卽ち一民族なり、一國民なりを目的として、この民族や國民が古來から今日に至たるまでの民俗、卽ち風俗習慣言語思想性質等の諸般の事項に於て調査考究するのが目的で、或は他の民族や國民と比較對照の要もあるべく、或は古來より變遷も考究せねばならない、又時代の變遷に伴ひ、その或ものは滅びその或ものは將に滅びんとするものも、探求してこれを蒐集することも勿論一要件である。既に一民族なり一國民さてはその一國民中の一地方民に對しても、同樣の事項の研究をするのは、民俗學上の研究と云ひ得るのであつて、一民族の占據地域はその民族の鄕土であり、一國民の住する國家も一鄕土であつて、鄕土なる言葉は決して一國家中の一地方人の生活する地方の意味のみに用ゆべきものでない、卽ち其處に廣義狹義との差異が存するのである。民俗學上からは決して恁うした廣義とか狹義とか云ふ區別はしてない。であるから、今日鄕土研究と云ふことが一部篤學の士に唱へられ、研究に調査に努力された居るが、これは多く狹義の鄕土と云ふことになつて居るらしい。だから民俗學上の研究中にこの鄕土の研究が含まれて次第であると思ふ。臺灣に於ける民俗學上の研究と云ふことは、恁うした意味からすると、正に臺灣と云ふ一地方に於ける居住人に對する研究であるから鄕土研究と云つて可いのである。

又た地方色と云ふ言葉に、近時よく聞かされるが、これは一つの鄕土の民俗なりその他の事項が、他のそれとは全然異つて珍しく、その鄕土特有の地方的色彩を放つものを云ふのであるから、これが研究も畢竟するに民俗學上の研究に歸著するのである。而もこの研究は鄕土研究と同樣、狹義の鄕土卽ち地方と云ふことになつて居る。唯だこの地方色と云ふものゝ中には、動植物やその他の自然界の奇現象も

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

含まれて居るので地方色と云ふのは、何のことはない、一地方が有する特種の色彩と云ふ廣い意味の下に、これを認めるものであるから、地方色の研究は時に動植物學上は勿論、自然科學の研究事項ともなり得るのである。

これを要するに、民俗學上の研究と云ひ、鄕土の研究或は地方色に就いての考察と云ひ、何れも一民族一國民乃至は一國中の一地方民に就いての、風俗慣習その他言語、或は思想氣風と云つた世相を構成する諸般の事項を、古今に渉り比較研究して、その對研究物の他と異り、特有なきを究むれば可いので、それには古い文献の閲讀も必要だし、古考の言も大切であり、現に親しく實地を踏査し、この見聞に努むるのも一方法である。何れの民族でも何れの國民でも、彼等には彼等としての特有な民俗を有することは言を俟たぬ所で、これが考究することは、其處に他の研究と異なる興味と實益が存するのである、然しこれは他の科學の如く直接の功果影響は認められないから今日に於ても特種の研究、好事家や篤學の士の手に依つてのみ行はれて居るに過ぎないから、日本に於ても然り著しい發達はまだ容易に認められないのを甚だ遺憾とする。

南方支那民俗と臺灣人の關係

臺灣が既述の如く我國の植民地とし、我大和民族たる内地人と稱する民族と、臺灣人と稱する南方支那民族の子孫と、更に生蕃人と稱する南洋系の民族と、恁う三民族を包擁して居る土地であるから、大和民族の我等内地人から觀れば、生蕃人は勿論臺灣人の民俗は悉く我と異り、耳目に入るもの總てが珍しく奇異なものばかりで、實に臺灣は帝國の領土に於ける一異鄕であると云ひ得る。從つて領臺當時ならいざ知らず、領臺三十餘年の歲月を閲した今日、この臺灣を天地として我等内地人が活動するには、我等内地人と常に接觸する、四百餘萬の大多數人たる臺灣人を理解しないでは、決して活動が出來得るものではないのである。臺灣人を眞に理解するには、如何しても臺灣人の有する民俗を考究しないではならない。卽ち臺灣に於ては民俗學上の研究が一大要件であると考へる。古來から未知の地に行つたらまづその土地を知り土著民の風習を理解せよとか、鄕に入つては鄕に從へとか云ふ言葉が屢々聞かされる、祖先の地を遠く離れて所謂異鄕の地に活動するには、まづその土地の如何なるかを知らねばならず、土著民の俗習を理解しなければならない。土地の如何なるかを知らずに行くは無謀であると同時に、土著民の俗習を解さないのは、彼

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

等に親しみを持つことが出來ないことになる。土著民に親しみを持たぬなれば彼等は敵視するであらう、妨害も敢て行ふであらう、侵入者としての危害は免れ得ないと思ふ。臺灣の如き場合は恁うした危險や不利は甚だ尠い、それは臺灣が帝國の版圖として清國より授受したからで、在臺の土著民は所謂新附の民であるからである。然し彼等から見れば異なる民族である、我等は新附の民であると云つて彼等から我に親しまんとして居るから、侵入者と云ふことも思はず、敵視もせずに共存共榮を期して融和して居る、これは聖恩の洽きに因るものである。

然し更に考へると、恁うした好い都合の場合は餘りないので、これは邦家の爲めに慶賀祝福せざるべからざる所であるが、恁く彼等が我に新附の民として親しむに於ては、一層我等は母國人として内地人たる地位よりして、彼等を眞に理解せねばならないことを痛感する。臺灣人を眞に理解するには、その一歩として彼等の民俗を考究して、大に參考としてこれに對せねばならない、徒に新附の民として輕々に彼等に接するに於ては、思はぬ所に相互の錯誤が生じ、惹いては寒心すべき結果を認めぬとは云ひ得ない。前述の如く以前法院職員が、縱令自己の任務遂行上の參考の爲めとは云へ、臺灣慣習研究會を組織し、臺灣慣習記事なる雜誌を刊行して、斷片的に調査研究の結果を發表した如き、又た立法資料の爲めとは云へ、總督府が巨費を投じ、學者をしてこれが調査研究を行つた臺灣舊慣調査會の如き、何れも觀方に依つては、正に民俗學上の研究が行はれたもので、その功果は蓋し大なるものがあつたのである。

それで臺灣の民俗卽ち臺灣人を理解すべく研究する民俗は、その多くが南方支那地方、福建廣東の兩地方のそれに同一であることは、研究者のまづ注意すべき一大條件である。これは云ふまでもなく、既に屢述せる通り、今日臺灣人と稱する四百餘萬の多數人は、その往昔、福建廣東の兩地方卽ち南方支那地方から移住した人々の子孫であるからである。けれども南方支那地方のそれと臺灣の風俗とを比較すれば、兩者の間に同一のものは可なり多いが、また更に臺灣人特有のものも多く認めらるゝのである。これは今日の臺灣人の祖先が臺灣に移住して以來、兎に角二百餘年間清朝の治下に在つたので、自然に彼等の間に祖先の地方の風習その他が、漸次臺灣に於て行ふことが不便になつて來たり、或は臺灣で滅びたものがあつたりして、種々の原因で何時とはなしに、互に差異を生じて來たので、これは

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時の力、世相の變遷が因となつたものと斷ずる、尤も舊慣墨守の弊著しいのは支那民族の通有性であつて、支那民族である臺灣人にこの弊は可なり今でも甚しいから、一面に於ては、南方支那地方の民俗と同一のが多いと同時に南方支那地方には既に滅びても、臺灣に殘存今日に傳はるもの尠くないさうだ、さればこの點は臺灣を民俗學上からの研究には、充分念頭に置いてかゝらねばならないと思ふ。それはよく南方支那地方卽ち厦門福州汕頭さては廣東の各地方を旅行したが臺灣を視たり、又た臺灣を視て恁うした各地方を視察した人が、臺灣の民俗は對岸のそれと同一であると思ふが、これは同一であると云はれても無理からぬことで、既に臺灣人が南方支那地方の移住民の子孫であると云ふことでも判る、從つて臺灣人を眞に理解すれば、對岸地方卽ち福建廣東の地方人も理解するに難くないとの推論が得られる、但し臺灣は日本の領土として日本政府の治下に在る一方、對岸地方は支那政府領土であるから、現時の支那の狀勢から彼等の受くる影響如何を、更にこれに加味して考察するの要が大にあるのである。

內臺人融和と民俗研究の提唱

領臺既に三十餘年植民地の統治としての功績は大に中外の賞贊を博し、淸國治下の時代は勿論、領臺當時のこれにも比すべからざる發展に面目一新多々益々進展しつゝ臺灣は今や東西から押寄する文化の潮に浴しつゝ、各方面の文物は日々新陳代謝して、軈ては全く舊態が存しないやうになるかも知れない。然し一方で支那民族の通性たる舊慣墨守の弊は、容易に排除し得ないので、幾分多くは時の力と勢で排除さるゝとしても猶これが存在を認めらるゝのであるから、今更に民俗學上の研究の要はないと斷ずるのは早計であると思ふ、何しろ二百餘年以來傳統して來た彼等の民俗は、斯く時の力と勢の支配を受くると雖、決して容易に滅びるものでは無論ない況んや舊慣墨守の弊ある彼等、容易に改めることゝを敢行しないのは明白であるからこの意味に於ても民俗學上から彼等を研究するの必要を大に認め唱へるのである。

內臺人の融和と云ふことは、先來から盛に稱へられて居るが、これは臺灣が帝國の領土である以上、臺灣人が我新附の民として生存する以上、大に共存共榮の上から云つても結構なことで、一日も早く實績が示されたいものと思ふ而してこと內臺人の融和と云ふことは臺灣と云ふものが如何なる地であり、臺灣人が如何なる人々であるかを思ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と、この事は誰も必要であることを認めぬものはなく殊更にこれを唱道するまでもなく、自然に恁うならねばならないのであらうと考へる、ところが今日に於てはまだ充分實績が示されてないのは遺憾であるが當然歸著せねばならぬこの事項が然か行はれて居ないのはさて如何なる所以かと云ふと、當局なり各自個人的にもそれは相當種々の手段で努力して居るが、事まだ及ばざるのは眞に相互の理解がないからであらうと推察する、臺灣人が我等内地人を理解し我等内地人が臺灣人を眞に理解してこそ、内臺人の融和の實が示されるのであるから、今充分に實績が示されて居ないのは、この相互間の眞の理解がないからではあるまいかこの點は大に世の識者に教を乞はんとする所である。

假に卑見の如くなれば、この缺點を補ふには、相互に民俗の研究が必要であると云ふに歸著する、聊か我田引水説の如くではあるが、相互の融和と云ふことは民俗を異にして居る兩者が、互にその異なる民俗を尊重して共通點を見出し、改善を施して打つて一團とするか、その異なる點を參考として各自を理解するにあるのである、さうなれば誤解もなく、衝突もなく、圓滿に交際が出來融和を見るに至るのである、斯くするには民俗を尊重して研究するに限ると思ふ、時代は變遷し、民俗もこれに伴ひ文化の進歩に連れて、幾多の變化は勿論あるが、その民族なり國民を支配する彼等傳統の民俗は決して民族なり國民が滅亡せざる限りは決して滅去するものでないから、その民族や國民、更に狹義に云へば地方民の有する俗習其他の民俗を研究することが、軈てその民族なり國民なりを眞に理解する事になるのであると結論するに躊躇しない、この意味に於て我等は臺灣に於ても民俗學上の研究が盛に行はれんことを切望する。

前述の如く臺灣に對する民俗學上の研究の要は甚だ難しい議論めいたことになつたが、一面民俗學と云ふものが一民族なり一國民なりを研究主體として取扱ふのであるから風俗慣習言語その他、彼等の世相をなす諸般の事項も然りであるし、叉た傳統とか口碑とか、歌謠の類の文藝的のものまでもこれを含むのであるから啻に民族なり國民なりを、眞に理解するのみならず、其處に文藝的の研究資料が得られ、或は滅びたもの、または滅びんとするものなその探究も行ふことになるので、研究の目的は民俗でも、恁うしたものは史學的の參考にもなると云ふもので、趣味の上からでも大に有益にして興味多く、なか／＼他の學問との交

際も多いのである。殊に我等が臺灣と云ふものを研究の主體とし、臺灣人と云ふものを考究の主體として、民俗學上から研究することは、既に內地とは全然異つた鄉土で、我等大和民族とはこれ亦た別種な民族たる臺灣人、乃至生蕃人であるから、所謂地方色として異彩を放つそれ等が悉く珍しく、研究の好材料となるのである、而も從來行はれたそれとは趣を異にし、組織的に專門的に民俗學と云ふ一科學の下にこれを研究することは、學界に貢献することも蓋し僅少でないと信ずる、況んや臺灣に於ける民俗學上の研究は、前述の如き意義があり、且つ同種民族の對岸、即ち南支那地方は、一葦帶水の地位にあり、古來より今日まで依然として、相互間の交際は密にして在臺內地人は臺灣を根據にこの方面の活躍も、一使命であるのを思ふとまづ臺灣に於ける民俗學上の研究は、當然盛に行はれねばならぬことゝ考へる。

今や臺灣にも文化的進展の著しきを見、新しい各種の研究が漸次盛に行はれ發表され唱導されるに於て、我民俗學上の研究が、從來時々これが研究の結果を公にさるゝに拘らず、一部篤學の士の手のみに委ねられる、世上に行はれないのを聊か遺憾とす偶々斯學上からの研究に微力を致しつゝある立場から、この機を以て一文を草してこれを唱導し、大方の教を乞ふのである而も生蕃人に就いてもこれが研究は甚だ必要であるが、これは蕃界開發に伴ふて行ふことゝするが可いと思ひ、まづ第一として臺灣人の民俗の研究を唱導する。事甚だ非生產的で且つ間接的に功果を收めるこの研究ではあるが、內地に於ける斯道の研究が漸く盛んになりつゝあるから、臺灣でも一つ研究しやうではないかと考へて、敢てこれを唱導する、所說誤りあれば幸に叱正を賜りたい。(完)――二・八・二〇――

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南洋覗記

室田有

「可愛いゝ子には旅をさせろ」の俚諺は意味頗る深重である、人の口碑から永久に消ゆることなきこの金言を生んだ吾等の先輩は豪い。之を單に可愛い子には苦勞をさせろ位の意味に取つてはならない。

幕末志士のうちには足跡天下に遍しと曰はれた人もあつたが當時の天下は猶ほ未だ日本六十餘州を出でなかつた。松陰先生天下のことを憂ふるの餘り足を所謂當時の天下の外に踏み出さんとして遂に捕へられた。徳川三百年の長い間日本の果て〳〵に高い籬根を結び繞らしてあたらこの名俚諺の作者の眞意をも徹底せしめず、其の意義を狹い六十餘州の内に縮めて、そこゝに意氣鬱勃たる快男子が伸ばしたくて堪らぬ脛を御法度の繩に縛つて神州とやら瑞穗の國とやらの狹い圈内に跼蹐せしめた結果は、廣い太平洋の東にも南にも吾が物たり得べかりし幾多の豊土を空しく碧眼紅毛の異人さん達の手に歸せしめ、今更人口や食糧の問題に壓迫せらるゝ苦しまぎれに白人の横暴の帝國主義のと犬の遠吠のやうに吠えて見ても Too late だ。嘗て葡萄牙や西班牙の盛であつたのも彼等がその可愛い子等に旅をさせたからだ。和蘭がかの尨大なる領土を東洋に持てゐるのもさうだ。アングロ・サキソンが世界到る所に頑張つてゐられるのも彼等の旅行本能の偉大なる賜物だ彼等は World を See せしむる事を教育の一大要件と心得てゐるそんな所そこらの人々の様に Book を See したり World を Hear したりするのとは譯が違ふ。

日本人にはクラシックの價値が分らないのと同様に旅の價値が分らない。日本今後の教育に於て前者を重んずることによりて日本人をもつと深め、後者を重んずることによりてもつと大きくすることが出來やう。

同文書院が傳統的の大旅行は言はずもがな、内地に於ても彦根高商の如きは既に南洋の修學旅行を試みた。南支南洋への發展を標榜する我校(臺北高商)の金看板もぐづ〳〵してゐると何所かの武者修業者にはづして行かれる。本年は何時になくいろ〳〵の故障に惱まされたが校長の努力、學務當局の了解、父兄や生徒の奮發によりやつとの事で南支南洋の修學旅行を決行することになつた。

維時昭和二年七月三日(日曜)午前七時一行は旅裝も甲斐々々しく臺北停車場に集合した。校長始め學校の職員生徒父兄の誰彼が首途を祝福してくれる。かくて七時二十分暫し見ざるべき臺北の空を見送りつゝ發車、八時十八分基隆停車場に著けば水泳部の監督に來てゐる諸教授が出迎へてくれる。税關の檢査も濟んで少憩の後ランチで開城丸に乘船、十時十五分水泳部の職員生徒に送られ互に別れを惜しみつゝ出帆する。水泳部の猛者のうちには防波堤のさき迄見送つてくれたものがあつた。

晝食を認むる頃船は淡水沖に出る。このあたりから針路は漸次西に向ひ懐かしき觀音、大屯、七星の山々は次第に遠く小さく淡くなりつゝ退いて行く。海は稀なる凪で油の池の樣だ。船は滑るやうに進む併し惜むらくはドック入り前のことて且つは速力三、四哩に及ぶ黒潮の逆流に惱まされて船足は早くない。爲に厦門の入港は後れて十二時半頃になる。

何時も乍ら親切な旭瀛書院の岡本院長と澁谷氏に迎へられて上陸。時間が無いので鼓浪嶼丈を見ることにし先づ旭瀛書院を訪れて少憩。成績品を見せて貰つたり書院諸般の説明を聞いたりして岡本氏が十年一日の如く氏一流の教育主義の下に孜々として倦まず籍民又は中華國民の子弟を教育し慈父の如くに慕はるゝ所以をつく〴〵感ぜしめられた。堂内には勅

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

語の額が掲げられてある。又他の所には孫中山先生の遺書や肖像も掲げられてあつた。中華民國の子弟を教育するには勿論彼等の理想を尊重する用意が無くては叶ふまい。本當の支那人を造ることが支那の爲にもなり日本の爲にもなるのだ。本當の日本精神と本當の支那精神とは兩者を結ぶ鎖鑰であるといふやうな意味のことを岡本氏は言はれた。いかにもさうだと思ふさうして互にその理想を了解し合ふことが大切であらう。南支那の一角、厦門は鼓浪嶼の島よりかういふ方面に獻身してゐる岡本氏の仕事は貴い。かういふ心持の人がもつと各方面の人達の間にもあつて欲しい。

それから領事館に到り高井領事に丁度始まつてゐる支那の對日經濟絶交に就て生徒の爲に座談的の講話をして貰ふ。日本の山東出兵に對する抗議の手段として對日經濟絶交をやるといふことは既に聞き及んでゐた所であるが今は吾々は丁度そのシーンに來てゐる譯である。厦門は丁度今日から實行することに極まつたのであるが諸準備の整はぬのや其他の關係でまだ大したことにはなつてゐない。諸工會等ではやることに極めてはゐ乍ら財源等も思はしくないのか、夫程に氣乘がしてゐないのか、糾察隊の制服なども未だ揃はず從つて其人員も揃はず市の狀況は殆んど平常と變りはないやうに見受けられた。この分ならば邦人のお神さん達が笊を隱して豆腐買ひに行くといふ程にもならぬであらう。然し領事は相當憂慮して居られる模樣であつた。

出帆の時間ギリ〳〵に本船に歸へる。一等船客は大抵船を棄てゝ獨逸人二人と自分とのみが取り殘されて食堂は淋しいことゝなり。此獨逸人はロイドの社員で英語を話す。談會々日本の美術に及ぶやそのうちの一人は余に見せる物ありとてキャビンに歸り六七寸位の錦の袋に入れたものを持つて來て見せる。中を開けると高さ七寸幅五寸奥行一寸五分程の栴檀の木で前は觀音開きの扉を爲し全體が一つの龕を爲し扉を開けば芳香鼻を突いて數體の佛像の刻んであるのが現はれる全體が全く一箇の木片で出來てゐるのだ。内部の細密精緻なる細工には一驚を喫せしめられる。物は古いものではない。現代

の工人の作ながらよく出來てゐた。彼は三百金を投じて買つて來たといふがそれ位の價値はあらう。買主なる彼は勿論そのワークマンシップを嘆賞してゐた。乃ち大事さうにもとの錦の袋に納めキャビンへ持ち歸へる。

翌日七時頃船は汕頭に入る。石井東瀛學校長外數名の人々に迎へられ朝食後上陸、市中を見物して日本人俱樂部、博愛醫院、東瀛學校、領事館等を歷訪し汕頭ホテルで晝餐の饗應を受けた。十數年前に訪れた汕頭とは面目を一新してゐるの感がある。曾つて此所に遊んだ時は狹隘なる支那式の陋巷と思つたのであるが我が東京藏前の高工出身である民國青年技師が主腦となつて市區改正を企てゝ既に六年、街路は廣まり洋式建築の店鋪は整然として軒を竝べ曾つて來た所とは全く違つた所へ來たかの感があつた。然り此の面目の改新は啻に外觀の改新とのみ見るべきではない。こは實に青天白日旗に象徴さるゝ新中華民國の若人が胸に抱ける理想の實現に外ならない。自覺は自然反抗を生む。利權回收運動、外教排斥運動等々彼等の諸運動は彼等が自覺の表現である。之は丁度自覺しかゝつた青年が大人に反抗して生意氣と思はれるのに等しい。

我等の先輩が生前に異人を殺して見たり、長門の沖に洋艦を砲撃して見たりした樣に彼等は盲滅法に排外運動をやつたり、何かしてはゐるが然しこれは若い理想の一種の跳きと見てやらねばなるまい。警察に軍隊に昔の俤を一新してゐる有樣は大に買つてやるべきである。

三民主義の內容に就ては彼等の仲間にもいろ〳〵の異なれる見解を抱懷してゐる者があるさうではあるが、兎に角軍隊の訓練に、學校の教育に之を中心に振りかざしてどし〳〵若き心に叩き込みつゝ之によりて支那を一新し之を統一せんとしてゐる努力は決して輕々に看過すべき事實ではない。之は確かに今日迄唯利を以て動き又動かさんとした所のやり方とは違ふ。心の中心から動き且つ動かしてかゝることに氣付いた彼等の未來は、例令前途は遠いとしても蓋し光明があると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

謂はねばなるまい唯血に燃え易き學生青年を餘りに利用して輕擧盲動せしむることは弊害の及ぶ處啻に學生青年の前途を誤るものゝみでないことに注意しなくてはならぬ。汕頭ホテルに廣東駐在貿易通信員である商工省の遠藤氏（山口高商出身）が居られたので學生の爲に南支に於ける對日經濟絶交に就き一場の講話を請ふ。氏は詳しい調査書を按じてその結局不成功に終るべき所以を詳說せられた。

東瀛學校は現石井校長の潑溂たる意氣の下に著々經營の効果を收めつゝあるのであるが、同校を訪るゝものはその庭前に先代校長の靈に捧げられし碑石を見て坐ろに胸迫るの思ひを禁じ得ざる經驗を持つであらう。第一代校長村岡駿夫氏は大正四年より同八年迄在職四年、校の基礎を確立して其功沒すべからざるものありしが不幸任地に病沒せられ、第二代安重龜三郎氏も亦大正八年より同十三年迄在職して任地に病死せられる。此の貴い犧牲の前に誰か肅然たらざるものがあらう。碑前に謹んで敬禮を捧げざるを得ないのであつた。

石井校長に招かれて同校の屋上に登れば汕頭市の内外は指呼の中にあり。石井校長前後左右を指して具さに說明してくれられる。すぐ東隣と思はるゝ位の所に旭日旗を高く輝かしてゐる宏壯なる洋館は我が帝國領事館である。河を隔てゝ角石の丘上宛も城廓の如くに巍然として聳え立てる豪壯なる煉瓦建の建物は何だと問へば之は米國浸信派のミッション經營に成る角石中學であるといふ。建物は宏大なものだが遠目にも何となく廢墟の感があるのも道理之はかの教育權回收運動の爲に無期休校の止むなきに至つた學校の一つである。歐米人が多くの人と多額の金錢とを用ひて宗教に教育に多年培ひ來れる支那人は漸次自覺し來りて泰西の學問思想の光に於て自己の立場と價値とに眼覺め歐米人が政治上の實際に於て社會上の事實に於て不當の優越態度を示し或は不純の慾望を包含する場合に之に向つて反抗の態度に出づることは歐米人より見て己が孵へしたる雛に啄まるゝの歎ありとするも亦止むを得ない所であらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十一年春北京大學に於て開催せられたる非宗教大同盟會の會合以來公然その反抗運動を起したのは牛角を矯め過ぐるの嫌ありとするも冷やかに觀ずれば之亦自然の勢である。各種利權之回收と共に國民生活の中心をなす教育權の回收は理論に於ては同情しなくてはならぬ運動であらう、只外人の教育權を我が手に收むるといふ消極的方面の運動に止まらず回收したる教育權を如何に活用するかの積極的方面の施設により多くの努力を爲す必要があらう。自分は元から支那革命の大成國家確立の基礎は教育に在りと思つてゐた。一二の勢力家や手腕家で決して國家が確立するものではない。我が日本の維新の大業は明治五年の小學校令によつて愈々確立したものと自分は思つたゐる。筆は大分横道に外れたが汕頭の教育權回收運動の實際は中々に徹底的であつたやうだ。爲に目下休校中の外國人經營の學校は小學校に二校、中等學校に四校ある。東瀛學校を除く外、外人經營の學校は全滅の姿である。

潮州には曾て行つたことがあるので別に強いて再遊したくもなかつたが、韓退之が憲宗皇帝に佛骨の表を奉りて貶せられた歷史的の名所であるから學生には是非一度見せたいと思つたのであるが時間がなくて行かれない。止むなく日本人會で退之が作又筆と言はれゐる白鸚鵡の賦の碑文の石摺を頒けて貰つて纔かに心を遣つた。

汕頭市中には排日的のポスターがないではないが最も眼につくポスターは寧ろ三民主義の徹底を目的とするもの社會生活經濟生活等に規範とすべき文句など眞面目なものであつた。唯汕頭の入口なる舊砲臺跡の城壁に筆太々と「廢除不平等條約」の七大文字は如何にも眼に立つ。

出帆時刻ギリギリに艀舨波止場に駈けつけると何ういふ人間だか知らぬが巡警にとつゝかまつてピストルを差し付けられ乍ら捕はれ行く者があつた。どうやら政治犯らしい。こゝにも藻掻きの支那が見えるやうな氣がする。

ボイコットはまだ緩漫な爲に日本船の荷役は出來てゐた。本船も荷役の出來るお陰で三時の出帆が五時になつてやう

く出帆、こんなことならもつと見學が出來たものを。

汕頭で乘り合はした船客にJ君といふ一青年があつた。臺灣の人で曾つて東都に遊學したが中途で學校をやめ今は汕頭で一ッ角の實業家であるといふ。香港に行く迄よく話した。日本語も流暢で中々よく談ずる。汕頭は市場としても又富源地としても無限に廣い奧地を控えて有望なる活躍の天地であると言つてゐた。又彼は支那の商賈は活動する地方の幾つものダイアレクトをマスターすることゝ官憲に巧く取り入ることの必要を說いてゐた。彼自身はその言ふ所を實現してゐて政府に彈藥などを入れてゐる。從つてその他の貨物でも政府御用の札を立て、ボイコットがあらうが一切心配なくどしどし入れて行けるといふ。韓江の河口は角石方面よりかけて一帶の花崗岩である。東京震災後の復興建築の材料として之を搬出すべく採掘の許可は得てゐるのだが今はその儘になつてゐるといふ。汕頭奧地の富源は實に大なるものがあるので例令ば松脂などを土人に採らして買い集めても大きな儲けになると言つてゐた。

翌七月六日、普通ならば朝早く香港に入るのであるが船夫自身と風と潮とのコンディッションが揃つて惡いので午後二時半になつて漸く入港した。中和洋行の岡本氏が棧橋に迎へに來てくれられ色々と世話をしてくれられる。費用の節約上いろいろ無理なことを賴んで置いたのであるが同氏は一行の乘り替へるべき南洋郵船のチエリボン丸に話をして船室を取つて置き荷物も身體も卽刻乘り替へて宿泊も船中で出來るやうにと親切なる計らひをして置いてくれられた。荷物はランチで沖のチエリボン丸に運ぶやう船に依賴し身體丈上陸して先づ臺灣銀行に金を取りに行く殊更外國では先立つものは金だ金がなければ一寸先は闇だ。もう三時過ぎで金庫は締つたのであるが岡本氏の電話で特別に開けて貰ひ必要な丈の金を出した。臺銀の窓先きには曾つて臺北中學で師弟の關係を結んだ安藤君がゐた同君には卒業以來會つたこともなく制服の學生姿よりネクタイ、ワイシャツの紳士姿と變つてはゐるが會へばやつぱり昔の俤が懷しく異鄕の事とて一入の親みを感

じさせられる、金のことも同君の手によつて親切に處辨せられた。

三井や領事館の挨拶もすみ一二買物などを濟ませ岡本氏が一行の爲の厚意である晩餐に呼ばるべく南唐といふ香港一の支那料理屋に行く。支那料理屋といふと直ちに不潔を豫想さるゝのであるが、流石大香港一流の支那料理屋丈あつて洋風の三層樓、宏壯にして清潔、廣いフロアーを東京の大洋食屋に見るが如く天井に屆かぬ間仕切りで幾つものコムパートメントに別つてある。岡本氏は特に闥を排すれば直ちにルーフガードゥンに出て市中やピークの夜景を望み得るべき最も高いフロアーの一室を擇んでくれられた。香港よりかけて南洋一帶支那料理屋のあるところは總べて之れ支那南方料理の勢力圏内である。サーヴの仕方も料理法も從つて其の味ひも北方料理とは違ふ、南唐の廣東料理は確かにうまいコース又コース腹脹くるゝも尙ほ飽くことを知らない。臺北一流の江山樓や蓬萊閣も料理の相撲では恐らく南唐には及ぶまい。唯瓜子（コワチー）は北方料理に出る黑色のものゝ方が鹽氣もあり、殼を破るに易く中味もうまい樣に思ふ。然し南方人に言はせると南方料理の鹽氣なく油氣あつて口にあてるとずべ〳〵としたあの白色の瓜子の方がうまいといふ。その味が分る迄は或は共に南方料理を語るに足るの資格がないのかも知れぬ。實は南洋を旅行中前後七回この料理の饗應に預つたがこの白色瓜子の中味を味はひしもの通計十箇にも及ばなかつたこと程左樣にその中味をとり出すことが自分には六つかしかつた。

九時頃チエリボン丸に來て泊る。船は沖にあるので香港の夜景を望むには最も好都合である。港内に碇泊してゐる數多の船の千燈萬燈、漣の靜かにゆらぐ港の水に金鱗銀鱗を浮動させてゐるのも美しいが四層五層の大厦高樓より洩るゝ火影ピークの山腹一面に點々として輝やく燈火の澄める夜空にきらめけるはエメラルドの如き南天に鏤めたる無數の珠玉の如き星晨と共に甲板に彳める遊子の魂を奪ふ夜の香港の美觀である。

明くれば七月七日、朝七時前に會社のランチを廻してくれたので一同上陸買物をしやうとしたが店の明いてゐる所が少

ないので困る寫眞班の大事な寫眞機が具合悪くなつたので是非手頃なのを求めねばならぬと班主任は懸命に寫眞機屋を探し廻る、やう〳〵手頃なクオーターサイズを探しあてゝ買ひ入れる。ピーク颪しがサツと吹いて雲の行かひ怪しと見るまに霈然として覆盆的驟雨が降り始めた。九時半のランチで本船に戻る。岡本氏も見送つてくれられた。十時出帆。是れより愈々生れて始めての南の海を航するのである。港を出ると風遽かに強く浪急に高く、時々急雨船を見舞ふ。ヴィクトリア、ピークも何時しか波間に沒して滿目唯見る水と空、船は圓海の中心にあつて行けども〳〵その中心を去らず。二千哩バタビアの空は遠い。

八日、空は晴れてゐるがモンスーンは眞向から吹いて可なり強い。船の速力平均僅かに六哩二分、心細い限りである。船長始め船員の誰彼とはマージヤンの取り持つ縁に追々親しくなつて船の住居もだん〳〵と居心地がよくなる、感冒の氣味にて心地稍惡し。

九日、晴、風少しく　ぎて溫度却つて涼しくなる。船脚も少し早くなつて平均七哩二分、稍意を强うする。喉が痛むのでドクターに燒いて貰いたいと思ふが貨物本位の船故ドクターは居らない。ボイさんに、嗽藥を作つて貰つて含嗽をする。

十日、日曜、心地よく眼が醒める、昨日よりは氣分がよい船も大分早くなつて今日は平均八哩四分を走つた。

十一日、月曜、喉は藥のお蔭で大分よいが鼻水が出て氣分はよくない、朝のうちはよく晴れてゐたので遠く西の方巍峩たる山脈の連なれるが見える。之れは交趾支那の太平洋に一番出張つてゐる所で日露戰爭の時露國に對する佛國の好意によつてかのバルチツク艦隊が一時休憩し諸物資の供給を受けたカムラン灣を抱ける四千尺程の山々である。夫も午後には識らぬうちに姿を消した。

十二日、火曜日、少々惡性のモンスーンに海は大分荒れ出し時々スクオールに見舞はれる、夜に入りて風浪愈々高くビ

ユー〳〵と鳴る音中々物凄い。從つて船もかなり動搖する。頭が變挺になつて食が進まない。學生も大分弱つて見える。

十三日、水曜、雨降り溫度下り、時々烈しいスクォールがやつて來る、雨は文字通りに横に降つて船の窓に直角に敲きつける音がピシ〳〵と鳴りあたりは朦朧として咫尺を辨じ難くなる。船は警戒の汽笛を鳴らしつゝ進む、嘘か本とか學生の一人は船員がボート降ろせの用意をしたと報じ來たるに至つて大船に乘つた心持に聊か動搖を來たす。感冒が直らないで聲がかすれて變だ。H生ひどく弱る。脚は脚氣の氣味で頭が痛いといふ。サルーンに寢かして頭を揉んでやる。I生も麻雀をやつてゐる途中から小間物店を開店すべく立つた。AをHに附き添はせて寢かす。

翌十四日、木曜、朝六時半頃眼が覺ると頭痛を覺える。Kからコロタインを貰つて飲む。一同稍元氣附いたので天候の惡くなつた爲めに延ばしてあつた船內見學をやる事にし船長に賴んで船中を巡視しつゝ船內生活、組織部署の概略、船の操縱、諸作業に就ての講話を聞き見學をさせて貰ふ。九時より二時間に亘り甲板から機關部迄廻り歩き乍ら説明講話を聞く。

今日は愈々臍の緒切つて始めて赤道を横切るのである。宛もよし今宵は舊の六月十六日月は正に滿月である。何條徒らにキャビンに惰眠を貪ることが出來やう夕食を濟ますや一同はデッキに上つて時の來るを待つ。月明かければ夜目にもベンギキ島の船首に近づき來るを認めることが出來る。この島は之れ赤道線に近きを示す目標である。ボーイさんは氣をきかしてデッキに卓子と椅子を竝べてくれる。右舷の方には之れも南洋に働きに行く連中が座を擴げてビール罎を竝べ浮かれ出してゐる、こつちはサイダに煎餅に果物の罐詰で校歌を唱へ應援歌を誦しては仰いで月明の南天を眺め俯しては銀龍躍る南溟の深淵に見入つて興趣轉た盡くることを知らない、月の光天に滿つれば星辰數まばらにサバーンクロスの影は淡い。忽ちにして嚠喨たる汽笛一聲朗らかに響いて高く天中に徹し深く海心に透り遠く千波萬波の彼方に消えて六千三百二十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八噸のチエリボン丸は今や地球の腹帶、赤道をフツと横切つて北半球より南半球へと走り移つたことを天地宇宙に報ずる。デッキの人々は皆萬歳！と叫んだ。時に爪哇時の午後十時三十三分之れから先は北斗七星は北天に低く北極星は隱れて太陽は北天をめぐる。違つた世界に來たといふ感を覺えることはひどい。かくて夜半迄もデッキに詩情を行つて猶殘り惜しく寢に就いた。

十五日、金曜、朝來空曇る、もう船に在る日も終りに近づいた。毎日の船の進程表を樂しみに眺むるのももうお仕舞にならうとしてゐる。板一枚下は地獄の上に生死の運命を共にした船員達と別れる日も迫つた。朝食後一同は高級船員の人達と共に甲板でカメラに入つて紀念の撮影をする。午後一度スクオールに會つたが天候大して惡くもならず、一同頗る元氣、南ボルネオ海の島々が我等を迎へ送つて行先の近きを示す。ボルネ本島も遙かに望見出來る。夜に入りて船はビリトン島と錫に名高きバンク島の間なるカスバル海峽を通過する。夕食後上甲板に上つて見るとメンダナオの燈臺が明滅して島人の家の燈さへ見える。月明らかに海を照らし影繪のやうな島は眠るが如く靜かである。

十六日、土曜日、夜のうちにカスバル海峽を通過して船は既に爪哇海に入つてゐる。此の日空澄み爪哇の海の朝は春のやうである。西の空僅に雲を止め旭日に紅を染めて深い南洋の紺碧に映じてゐる。時々一行を悩ましたサウエストのモンスーンは何時しかイーストモンスーンに早變りしてゐるが唯柔らかに頰を撫でるのみで海迄が南洋は平和其ものである。

夜に入りて船は遙にバタビアの沖に著く、夜の事とて仕樣がない。萬燈海に閃めくタンジョンプリオクを前に眺め、都の殷賑をば空に映ずる火事の如きあかりに示せるバタビアを遙かに望みつゝ空しく碇を海に下ろして假泊夜の明けるのを待つ。しやう事なしに機關長を先立ちに船員等は太公望を始める。大きく板を船側に下ろして其の上に立ち、燭光強き電燈を水面近く下げて魚を寄せ先づ餌にするサヨリを捕へてから釣を垂れる。夜は汽車も走らぬ南洋の事とて大小の魚族諸

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

君も夜は稼がぬことに極めてゐるのか船員等の餌に釣られる氣まぐれものが少ない。之では見てゐても面白くないと思つてゐる所へボーイさんの趙君が送別の麻雀戰をやらうとの挑みに應じてサルーンに歸つた。

十七日、日曜、夜があけると間もなく和蘭政廳の移民官が先づやつて來て取調べを始める。パーサーに陪して二三の質問に答へるとオール、ライトでパスポートに何やら印しをしてくれる。無事上陸が出來るわけだ調べが一通り濟むと役人はモータボートで引き上げる。船はやがてタンジョンプリオク港に靜々と入つて行く。船が岩壁に著かうとする頃多くの群集のうちに坂井君の姿が見える。群集の多くは爪哇人馬來人印度人などで、半裸體のサロン姿を眺めては愈々以て南洋といふ所へ來たのだなと思はせられる。やがて船が岸にピッタリ著くと坂井君や日本人會の人達が上つて來て迎へてくれる。異國の空に先づ嬉しきものは緣故の人である。

導かれて船を下り、長さ六百六十六哩、幅員五十六哩乃至百三十五哩、面積四萬九千百九十七平方哩を有する常夏の地(The Summer Land of the Worel)憧れの島、爪哇の土を始めて踏みしめた。通關も無事に濟んで荷物は宿の人に托し、身は自動車の人となつた。タンジョンプリオクよりバタビア迄はまだ六哩ある。坦々たるアスファルトの道は光る程に固く滑らかでオートの上の乘り心地は頗る良い。運河に沿ふたアッサムの並木路は繪にしても惡くはない。土耳其帽を被りジアケツを著、腰から下には往々赤い色のサロンを卷いて自轉車に乘つて走る色黑き土人も珍らしく、左肩より右脇へと垂れたスランダンの中に子供を入れて左前の所で抱へてゐる跣足の婦人も奇異に見られる。

自動車はウエルトフレーデンはグノンサクなる箱根ホテルの玄關先に止まつて今日からは海の宿りを捨てゝ二週日は陸の宿りをすることゝなる。箱根ホテルはビズネス・クオーターを離れて閑靜な住宅地域に在つて、敷地のゆつくりした蘭領特有の瀟洒たる一構である。常夏の國は晝の苦熱を忘るべく當然夜を樂しむ工風がなくてはならぬ譯だ椰子マンゴウの木

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の間を洩るゝ涼風を豐かに容るゝ設備が必要な筈だ。

爪哇に旅する者の第一に目に付くことの一つはその住宅がこの條件に適つてゐることであらう、即ちポルチコが廣く取つてあつてウォールを設けぬから奥の間に接する一方を除いては前も左右も明けつぱなしになつてゐる所が多い。然らずんば明けつぱなしの部分を多くしてゐる。その廣いポルチコには大きなシエードを飾つた電燈が一つ二つ三つ天井から下つてゐる、そのシエードは此地以外には餘り見られぬ樣式のもので金屬製の骨に派手な模樣の入つた薄絹を張つた深い天蓋樣のもので直徑一尺五寸、二尺、二尺五寸もあらうと思はれるのがある。廣いポルチコの此の彩燈の下には卓子や籐椅子が備へてあつて家族は此所に或は夕食を取り或は食後を讀書や團欒に樂しむのである。

夕景に住宅地を逍遙すれば綠樹蔭細やかなる所整然と敷地を竝べた幾多の住宅には皆この美しい燈が下つてゐて宛も明るい盆提燈の竝んでゐるがやう。肌の白い美しき人、白衣姿も淸楚たる紳士など凉しい光に凉しい夕風を浴びて語り樂しめる樣は見るだにすが〳〵しさうである。土地が廣いせいか住宅は孰れも飽くまで廣く敷地を取つて椰子や鳳凰木などの樹が勢よく繁つて庭を蔽うてゐる。バタビアでは殆んど總べてが平屋で二階作りは滅多に見ない。新市街の方は商店でも廣い庭のまん中にあるのが多く、町といへば廛舖軒を竝べて櫛比してゐる所と心得てゐる我々にはこゝは町といふよりは寧ろ公園であるかの感じがする。

ホテルの話から大分脇道の方へ迷ひ込んでしまつた……箱根ホテルも間口全體の幅のポルチコを持つてゐて普通の住宅の樣にフローアはタイルで敷きつめてある。例の飾燈は左右で二つ下つてその下には卓子と椅子が置いてある、こんな明けつぱなしの謂はゞ戸外見たいな所にこんな椅子や卓子や電燈などを置いてよく盜まれぬものだね、と問へば何所の家も皆かうして置くので決して盜まれるといふことはないといふ。それは土人や支那人は夜間大きなものを持つて步くこと

を禁じられてゐるからださうな。臺灣あたりでも之を實行したら差し詰雞泥棒などは無くなるだらう。ポルチコの眞中から奥へ中廊下が通つてゐてその左右が部屋で、部屋の最も通りの方へ近いものはポルチコに接してゐる譯である中廊下は裏側のポルチコとでも謂ふべき食堂に通じてゐる之も矢張り三方あけつぱなしのウォールなしである。各客室もタイル敷で何も敷いてないからチト固すぎる感じがするがどこのホテルでも此の通りで之も涼しさを唯一の條件として出來たものであらう。

部屋の一方にはベッドがあつて心地よく洗濯せられ糊付された眞白な蚊帳は入口の所を左右に開いて左右の隅より垂れた大きなフックに絞つて引つかけてある。此フックはホテルによつて眞鍮の所もあり水牛の角のところもあつた。敷布團にはやはり雪白のシーツが蔽ふてあつて其の上には二つのクッション位の厚さの枕が重ねて置いてある。ベッドは大きいダブルであるから二人で寢る時此の枕を一つ宛使用するのかも知れぬが重ねて使つてもよいのだらうと思つて自分は時々二つ共使つて眠つた。その本當の枕と直角にベッドの眞中にも一つ不可解な長い三尺か三尺五六寸もあらうと思はれる枕様の物が縱に横たへてある。之が所謂南洋の抱枕といふものださうな之を抱いて寢ると涼しいのだといふ説明を聞いたのであるが自分は南洋旅行中、遂に其の使用に慣れず從つて其の效能を體驗せずにしまつた大抵は邪魔なものとして脇の方に押しのけて寢たのであつた。

或人は又之は寢冷えを防ぐ效能があるもので土人などは裸のまゝ寢るが之を腹に當てゝ抱いてゐるからお腹を冷やさぬといふ。又或書物には二人で寢る時の境界線になるのだと書いてある。之なら人の體溫と自分の體溫との衝突を防ぐ熱のバッファーとなる譯で消極的に涼さを得るデヴィスと見られる。ベッドの反對の側にはウォードローブがあつて携帶の衣類や一寸した荷物は大抵は入る。その側にはタウエル・ホースが置いてある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大抵何所も同じだ窓は大概硝子戸と鎧戸との二重になつてゐてその鎧戸の方は棧の間の開閉が自由になつてゐるから風雨の時の外は硝子戸を明け放ち鎧戸を閉ぢて錠を下ろしその棧を開けて置けば夜間泥棒を防ぎつゝ涼風丈けは入れることが出來る。かうして寢れば南洋の夜は暑いことはない夜の明け方などは寒い位である、ホテルによつては薄い毛布の入れてある所もあり入れてない所もある。入れてない所では何か自分で持つてゐるものを引つかけて置かぬと風を引きさうだ。

箱根は吾が縣内の名所である。箱根ホテルと名のるホテルの主人は若しや同縣人ではないかと聞いて見ると靜岡縣人だとのことであつた。箱根八里を越えれば三島だ緣のないことはない譯だ。（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農村 市街地 信用組合金融事情（二）

泉　芳德

貯金

二百七十一組合の貯金總額は一千八百四十五萬四千五百十五圓にして一組合平均六萬八千〇九十八圓なり、最高臺中州の十三萬四千二百九十六圓、最低臺東廳の二千百四十二圓にして今一組合平均貯金額の多き州廳より順位を示せば左の如し。

州廳	一組合平均貯金額	順位	一組合平均資金總計に對する%
臺中	一三四、二九六	一	六四・六
臺南	五五、三四〇	二	五〇・一

臺北	五三、六二六	三	五四・四
高雄	四八、二四七	四	四六・四
新竹	三五、七七二	五	四五・二
澎湖	二五、三六二	六	三〇・三
花蓮港	一五、三二九	七	一九・二
臺東	二、一四二	八	七・四

（更に貯金の預入引出共隨意のもの所謂當座貯金と預入引出共に一定の期間を設けあるもの所謂定期貯金とに區別せんとすれども其の資料蒐集に時日を要し本調査書の間に合はざりしを以て更に後日詳記せんとす）

借入金

組合借入金總額は百六十八萬四千四百〇七圓、一組合平均借入金額は六千二百十五圓にして組合資金中借入金の占むる割合は五%二に過ぎず。一組合平均借入金の多少を州廳別に比較するに其の最も大なるものは花蓮港廳の二萬五千九百四十九圓にして澎湖廳の一萬二千二百五十二圓之に次ぎ最も少きものは臺南州の三千六百五十一圓、臺中州の三千七百七十八圓等なり。

今一組合平均借入金の多き州廳より之を順位及一組合平均資金總計に對する割合を示せば左の如し。

州廳	一組合平均借入金額	順位	一組合平均資金總計に對する%
花蓮港	二五、九四九	一	三二・五
澎湖	一二、三五二	二	一四・八
臺北	九、五一二	三	九・六

高雄	七、八七八	四	七・六
新竹	六、二九四	五	八・〇
臺東	五、一〇〇	六	一七・六
臺中	三、七七八	七	一・八
臺南	三、六五一	八	三・三

花蓮港廳、澎湖廳に於ける借入金の多きは組合數の少きと更に同地方に於ける總ての狀態が資金の不足を來たしたるを推定し得べし、臺北州に於て他州より比較的多きは事業組合の相當普及と共に各種事業資金の借入の多き爲と更に住宅建築資金として低利資金其他の資金を借入れたるが爲なるべし。

借入金を種類別に區別するときは借入金總額百六十八萬四千四百〇七圓の中

低利資金	三八五、七四六圓	（年賦）
普通借入金	八七二、三四九圓	（定期）
年賦償還借入金	四二六、三一一圓	（年賦）

右に依り之を年賦に依るもの定期に依るものとに區別すると

年賦	八一二、〇五七圓
定期	八七二、三四九圓

にして年賦に依るものは借入金の四八％二、定期に依るもの五一％八を占む、年賦に依るものは政府の低利資金と勸業銀行の年賦償還資金なり、定期は臺灣銀行其他の銀行より借入れたる普通のものなり。

二、資金の運用

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一組合平均資金總計は一二四、〇四〇圓なるに其の資金は如何なる割合を以て運用せられつゝあるかを見るに貸付は一組合平均九五、二五九圓、預ケ金は一組合平均二八、二九二圓其他四八九圓にして其の割合を示せば左の如し。

種別		金額	%
一組合資金合計		一二四、〇四〇円	一〇〇・〇%
內譯	貸付金	九五、二五九	七六・八
	預け金	二八、二九二	二二・八
	其の他	四八九	〇・四

貸付金、預ケ金以外の其の他は有價證券又は組合の設備等に使用し居るものなり。

貸付金

貸付金の一組合平均は九五、二五九圓にして其の最高は臺中州の一四五、五九二圓、高雄州の九四、七二四圓之に次ぐ又貸付金一組合平均の最も少きは臺東廳の二九、六六三圓新竹州の六一、六五〇圓之に次ぐ今貸付金の一組合平均の多き州より順次掲ぐれば左の如し。

州廳	一組合平均貸付金	貸付金總額
臺中	一四五、五九二円	九、六〇九、〇六一円
高雄	九四、七二四	三、八八三、六七五

臺南	九三、〇五八	五、七六九、五八八
澎湖	八九、一八七	四四五、九三七
花蓮港	七二、一八八	二八八、七五〇
臺北	六五、八五五	二、八三一、七五七
新竹	六一、六五〇	二、八九七、五四三
臺東	二九、六六三	八八、九八八

（更に貸付金の一組合平均を金額別に調査すると共に年賦、定期、當座等の種類別に調査依して普通最も多く行はるゝ貸付金額並其の種別を知らんとしたるも其の資料蒐集に時日を要し本調査書の間に合はざりしを以て更に後日詳記せんとす）

預金

預金の一組合平均は二八、二九二圓にして其の最高は臺中州の六四、五八一圓にして臺北州の二四、三九六圓之に次ぐ、又預金の最も少きは臺東廳の二三〇圓にして澎湖廳の七三三圓之に次ぐ、今預金の一組合平均の最も多き州より順次揭ぐれば左の如し。

州廳	一組合平均預け金	預け金總額
臺中	六四、五八一圓	四、二六二、三三二
臺北	二四、三九六	一、〇四九、〇一〇
臺南	一八、七六三	一、一六三、三〇四
新竹	一六、〇二八	七五三、三一〇
高雄	九、六九三	三九七、四一三
花蓮港	九、三三七	三七、三四七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

澎湖	七三三	三、六六四
臺東	二三〇	六九一

更に預金を五、〇〇〇圓未滿五、〇〇〇圓以上一〇、〇〇〇圓未滿、一〇、〇〇〇圓以上五〇、〇〇〇圓未滿、五〇、〇〇〇圓以上一〇〇、〇〇〇圓未滿、一〇〇、〇〇〇圓以上に區別して之を見るときは左の如し。

	組合數	組合數に對する割合	金額	預金總額に對する割合
五、〇〇〇圓以下	一〇五	% 三九・八	円 二六六、六五七	% 一・七
五、〇〇〇圓以上 一〇、〇〇〇圓未滿	三六	一三・六	二五二、八七三	三・三
一〇、〇〇〇圓以上 五〇、〇〇〇圓未滿	七七	二九・二	一、九八一、四二四	二五・八
五〇、〇〇〇圓以上 一〇〇、〇〇〇圓未滿	二七	一〇・二	一、八六五、四〇八	二四・三
一〇〇、〇〇〇圓以上	一九	七・二	三、四四五、七一八	四四・九
計	二六四	一〇〇・〇	七、六七二、〇八〇	一〇〇・〇

之に依て見るときは五、〇〇〇圓以下のもの最も多く一〇、〇〇〇圓以上五〇、〇〇〇圓未滿之に次ぐ更に地方別に之を見るときは左の如し。

州廳	五千圓以下 組合數	五千圓以下 金額	五千圓以上一萬圓以下 組合數	五千圓以上一萬圓以下 金額	一萬圓以上五萬圓以下 組合數	一萬圓以上五萬圓以下 金額	五萬圓以上十萬圓以下 組合數	五萬圓以上十萬圓以下 金額	十萬圓以上 組合數	十萬圓以上 金額
臺北	一四	一九、一六九円	一〇	七六、四六五円	一〇	一九二、八六三円	八	五八〇、七七三円	一	一七九、七三九円
新竹	二六	二〇、五三七	三	一七、一九一	一三	三〇七、八四六	—	—	三	四〇七、七七六
臺中	九	一四、〇九二	一〇	六六、五〇一	二〇	五九五、九三〇	三	八四二、九九一	一四	二、七四二、八一六
臺南	二七	三九、一〇四	九	五九、五一三	一八	五一二、六三二	七	四四一、六四四	一	一二五、三八五
高雄	二二	二四、三三一	四	三三、二〇二	一五	三三九、八七九	—	—	—	—
澎湖	三	三、六六四	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	二	六九一	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	二	五、〇六五	—	—	一	三三、二八〇	—	—	—	—
計	一〇五	一二六、六五七	三六	二五二、八七二	七七	一、九八一、四二四	二七	一、八六五、四〇八	一九	三、四四五、七一八

更に預ヶ金と貯金とを比較するに一組合平均貯金額は六八、〇九八圓にして預ヶ金は二八、二九二圓なるを以て貯金の四二%に當る。今預金の多き州より順次其の割合を見るときは

州廳	一組合平均預け金	一組合平均貯金	貯金に對する預け金の%
臺中	六四、五八一円	一三四、二九六円	四八・一%
臺北	二四、三九六	五三、六二六	四五・五
臺南	一八、七六三	五五、三四〇	三三・九
新竹	一六、〇二八	三五、七七二	四四・八
高雄	九、六九三	四八、二四七	二〇・一
花蓮港	九、三三七	一五、三二九	六〇・九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

澎湖	七三三	二五、三六二	二・九
臺東	二三〇	二、一四二	一〇・七

預ヶ金の預ヶ先に付ては未だ聯合會なき爲總て之を銀行に預ヶ入れつゝあるものと見て可なり。

三、金利

金利は之を貯金、借入金の如く所謂受信的業務の金利と預金、貸付金の如く所謂授信的業務の金利とに區別し全島の平均金利に依り之を詳説せんとしたるも之が調査資料の蒐集に時日を要し本稿には間に合はざりしを以て現に各州組合に於て取扱ふものを掲記して大要の觀察を爲さんとするに止め更に金利に付ては改めて詳細の調査を爲さんとす。

貸付金利息(最高)

州廳	三錢五厘未滿		三錢五厘以上四錢未滿		四錢以上四錢五厘未滿		四錢五厘以上五錢未滿		五錢以上	
	組合數	平均利息	組合數	平均利息	組合數	平均利息	組合數	平均利息	組合數	平均利息
臺北	一	厘 三二	三〇	厘 三八・九	八	厘 四三・七五	二	厘 四八	—	厘 —
新竹	六	三三	三四	三八・七	二	四五・〇〇	—	—	—	—
臺中	八	三三・五	四九	三七・九	七	四三・〇〇	二	四八	—	—
臺南	—	—	三七	三九・一	一九	四四・〇	六	五〇	—	—
高雄	二	三三	三〇	三七・五	五	四三・四	二	五〇	一	六〇
澎湖	一	三四	二	三九・〇	一	四四・〇	一	五〇	—	—
臺東	—	—	二	三七・五	一	四五・〇	—	—	—	—
花蓮港	—	—	一	四〇・〇	二	四五・〇	一	五〇	—	—
計	一八		一八五		四五		一四		一	

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

右に依て見るときは、貸付金の最高金利は「三錢五厘以上四錢未滿」のもの最も多く四錢以上四錢五厘未滿のもの之に次ぐ而して實際貸付けられたるものは三錢七厘五毛（年一割三分六厘九毛）より四錢（年一割四分六厘）の範圍内のもの最も多し、

貸付金利息（最低）

州廳	二錢未滿 組合數	二錢未滿 平均利息	二錢以上二錢五厘未滿 組合數	二錢以上二錢五厘未滿 平均利息	二錢五厘以上三錢未滿 組合數	二錢五厘以上三錢未滿 平均利息	三錢以上三錢五厘未滿 組合數	三錢以上三錢五厘未滿 平均利息	三錢五厘以上四錢未滿 組合數	三錢五厘以上四錢未滿 平均利息	四錢以上 組合數	四錢以上 平均利息
臺北	三	厘 一七・〇	六	厘 二三・五	四	厘 三〇	一六	厘 三四	八	厘 三九・五	二	厘 四三・五
新竹	二	二一・五	三	二三・三	六	二九	一八	三四・五	一三	三八・六	—	—
臺中	—	—	三	二三・三	二四	二八・七	二八	三三	二	三八・〇	—	—
臺南	—	—	三	二三・三	七	二九	一八	三四	二四	三八・五	九	四四・六
高雄	—	—	一	二〇・〇	三	三〇	一〇	三三・九	一三	三八・九	四	四四・七
澎湖	—	—	—	—	二	二八・五	—	—	二	四〇	一	五〇
臺東	—	—	—	—	—	—	一	三五	一	四〇	一	四五
花蓮港	—	—	—	—	一	二八	一	三五	一	四〇	一	四五
計	五	—	一六	—	四七	—	九二	—	八二	—	一八	—

貸付金最低利息は「三錢以上三錢五厘未滿」のもの最も多く三錢五厘以上四錢未滿のもの之に次ぐ。
以上に依り本島組合に於ける貸付金利率は三錢以上四錢未滿の範圍内に於て貸付けらるゝもの最も多しと云ふべし。

貯金利息（最高）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

州廳	二錢未満 組合數	二錢未満 平均利息	二錢以上二錢五厘未満 組合數	二錢以上二錢五厘未満 平均利息	二錢五厘以上三錢未満 組合數	二錢五厘以上三錢未満 平均利息	三錢以上 組合數	三錢以上 平均利息
臺北	一五	厘 一七・六	一一	厘 二三・九	一五	厘 二七・八	二	厘 三四・五
新竹	一	一五・〇	二四	二二・三	一五	二八・四	—	—
臺中	五	一八・六	三七	二二・九	二一	二七・六	三	三六・〇
臺南	五	一六・六	四四	二三・四	一三	二七・三	—	—
高雄	八	一五・七	三五	二三・八	七	二七・一	—	—
澎湖	—	—	三	二二・六	二	二七・〇	—	—
臺東	一	一八・〇	一	二〇・〇	一	三〇・〇	—	—
花蓮港	—	—	三	二三・六	一	二七・〇	—	—
計	三五	—	一五八	—	七五	—	五	—

貯金利息の最高は二錢以上二錢五厘未満のもの最も多く二錢五厘以上三錢未満のもの之に次ぐ而して實際に於て二錢以上二錢三厘六毛卽ち年七分三厘—年八分五厘八毛。

貯金利息(最低)

州廳	一錢未満 組合數	一錢未満 平均利息	一錢以上一錢五厘未満 組合數	一錢以上一錢五厘未満 平均利息	一錢五厘以上二錢未満 組合數	一錢五厘以上二錢未満 平均利息	二錢以上二錢五厘未満 組合數	二錢以上二錢五厘未満 平均利息	二錢五厘以上三錢未満 組合數	二錢五厘以上三錢未満 平均利息
臺北	—	厘 —	三	厘 一三・九	二	厘 一八・四	—	厘 —	—	厘 —
新竹	一	八・〇	一五	一三・八	三	一九・二	—	—	—	—
臺中	八	七・三	四八	一三・四	九	一七・二	—	—	一	二四
臺南	—	—	二六	一三・五	三三	一八・二	二	二三・五	—	—

州廳										
高雄	二	七·五	一六	一三·六	三	一七·六	—	—	—	—
澎湖	—	—	三	一四·〇	二	二〇·〇	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	三	一九·三	—	—	—	—
花蓮港	—	—	一	一三·〇	三	二〇·〇	—	—	—	—
計	二	—	一四二	—	一〇五	—	二	—	一	—

貯金利息の最低は一錢以上一錢五厘未滿のもの最も多く一錢五厘以上二錢未滿のもの之に次ぐ而して實際に於ては一錢二厘以上一錢四厘の範圍内に於て取扱はるゝもの最も多し。

借入金利息(最高)

州廳	二錢未滿 組合數	二錢未滿 平均利息	二錢以上二錢五厘未滿 組合數	二錢以上二錢五厘未滿 平均利息	二錢五厘以上三錢未滿 組合數	二錢五厘以上三錢未滿 平均利息	三錢以上三錢五厘未滿 組合數	三錢以上三錢五厘未滿 平均利息	三錢五厘以上 組合數	三錢五厘以上 平均利息
臺北	四	厘 一八·二	五	厘 二三·八	二	厘 二七·八	六	厘 三三·三	一	厘 三六·〇
新竹	一	一六·〇	三	二四·〇	二	二六·八	四	三〇·七	三	三七·六
臺中	六	一七·五	九	二〇·五	六	二八·〇	八	三三·二	四	三七·二
臺南	一	一八·〇	八	二四·三	五	二七·八	二	三一·〇	一	三六·〇
高雄	—	—	二	二四·四	七	二七·二	三	三四·〇	一	五〇·〇
澎湖	—	—	三	二三·〇	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	一	二四·〇	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一八·〇	一	二五·〇	二	二六·七	—	—	—	—
計	一三	—	四一	—	四二	—	二三	—	一〇	—

借入金利息（最低）

州廳	二錢未滿 組合數	二錢未滿 平均利息（厘）	二錢以上二錢五厘未滿 組合數	二錢以上二錢五厘未滿 平均利息（厘）	二錢五厘以上三錢未滿 組合數	二錢五厘以上三錢未滿 平均利息（厘）	三錢以上三錢五厘未滿 組合數	三錢以上三錢五厘未滿 平均利息（厘）
臺北	一一	一七・三	一〇	二三・二	三	二六・八	—	—
新竹	五	一七・四	八	二三・三	九	二六・七	—	—
臺中	一〇	一七・六	一二	二〇・三	七	二八・二	五	三四・〇
臺南	六	一七・九	一一	二三・五	九	二七・三	三	三五・六
高雄	三	一八・〇	一六	二三・六	一	二六・〇	二	三四・五
澎湖	—	—	三	二三・〇	—	—	—	—
臺東	—	—	一	二四・〇	—	—	—	—
花蓮港	二	一七・九	一	二五・〇	一	—	—	—
計	三七	—	六二	—	三〇	二六・〇	一〇	—

（未完）

島情

臺灣貿易統計（昭和二年九月）

臺灣總督府稅關

◆貿易額比較

（其ノ一）

外國貿易	二年九月	十五年九月	二年累計	十五年累計	増減（●）
輸出	四、三六八、二一一円	四、七二七、八一二円	三一、九九九、五〇二円	三六、三三六、〇一五円	●四、三三六、五一三円
輸入	三、九六七、二一八	三、四五七、九一六	五〇、三〇二、五九三	四五、九八八、九三四	●四、三一三、六五九
計	八、三三五、四二九	八、一八五、七二八	八二、三〇二、〇九五	八二、三二四、九四九	二二、八五四
輸出（入）超過	四〇〇、九九三	一、二六九、八九六	（入）一八、三〇三、〇九一	（入）九、六五二、九一九	—

（其ノ二）

内地貿易	二年九月	十五年九月	二年累計	十五年累計	増減（●）
移出	一〇、七九三、七七六円	九、二六六、五五五円	一六四、四四〇、五五七円	一六八、五五二、一三五円	●四、一一一、五七八円
移入	一〇、四八一、二七二	一〇、五四五、三七三	八五、五〇二、四三五	八八、一七二、七九二	●二、六七〇、三五七
計	二一、二七五、〇四八	一九、八一一、九二八	二四九、九四二、九九二	二五六、七二四、九二七	●六、七八一、九三五
移出（入）超過	三一二、五〇四	（入）一、二七八、八一八	七八、九三八、一二二	八〇、三七九、三四三	—

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆輸出

品目		九月 數量	九月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
石炭	噸	三五,九九二	四〇四,八九七円	四三〇,七三三	四,七九四,三三三円	五四八,二四〇	六,一五六,三三六円	●一一七,五〇七	●一,三六一,九〇三円
包種茶	斤	八四一,八〇九	六一七,三三三	五,九七一,八四四	四,四三〇,五三〇	六,〇一九,四三一	四,六〇一,七三一	●四七,五八七	●一七一,三一一
烏龍茶	同	一,七五七,三四四	一,〇九八,七四三	六,三四六,六三〇	四,〇九六,五八三	五,七五三,四五五	四,〇八〇,一〇七	四九三,一六五	一六,四七六
綿織物	碼	一,六九四,九五七	四四一,四八六	九,一三五,八四五	一,九七〇,九七五	一四,四五七,〇五二	三,八六二,九七四	●五,三二一,二〇七	●一,八九一,九九九
鹹魚及乾魚	斤	七七〇,九二五	一五一,四四九	二〇,一六五,五八五	二,四九七,二二三	七,八〇〇,九〇三	一,四一三,一四六	一二,三六四,六八三	一,〇八四,〇六六
砂糖	同	三六七,〇五二	三五,五四六	一七,九二一,七六九	二,三三六,〇〇二	一七,六三四,九七六	二,四六四,八〇四	二八六,七九三	●一三八,八〇二
酒精	升	三三八,五〇〇	一〇六,三五七	四,四五一,七六〇	一,四〇八,一六五	四,〇七三,八〇〇	一,三七〇,四七二	三七七,九六〇	三七,六九三
樟腦	斤	五九,五〇〇	五九,二〇五	七七五,三〇〇	九七二,五三九	一,〇二四,六三三	一,七一三,六一三	●二四九,三三三	●七四一,〇七四
鉛	同	八〇三,六一六	三二四,七一六	三,八六〇,五九四	一,五四五,一九五	五,四四九,七六七	一,六三九,四八九	●一,五八九,一七三	●九四,二九四
セメント	同	二,六七五,六二〇	五三,〇〇五	四一,四七二,三八九	八〇六,八四七	六九,三五一,一〇四	一,四八九,五八〇	●二七,八七八,七一五	●六八二,七三三
絹及絹綿織物	碼	二三七,九三四	一六八,三八九	九七一,〇二四	六三〇,〇五二	九〇〇,三九〇	五五一,七三二	七〇,六三四	七八,三四〇
貝柱	斤	七八,四八四	九三,六四四	四三五,五二四	五一九,七六二	三六六,七四二	四六九,九〇四	六八,七八二	四九,八五八
苧麻	同	一二七,七〇五	三七,二九七	一,三〇一,三八二	四四六,三一五	一,一三三,八九七	四三四,一一四	一六七,四八五	一二,二〇一
紙	同	二〇九,四六五	一六,〇一六	二,五〇〇,〇六三	二〇九,二六一	四,二三三,五九三	三五五,二九一	●一,七三三,五三〇	●一四六,〇三〇
芭蕉實	同	三六九,四九〇	一五,二五三	三,五九一,六九一	一五一,四〇二	七,一五二,一三七	三九六,三三六	●三,五六〇,四四六	●二四四,八三四
其他諸品		—	七五四,八八五	—	五,一九四,三四九	—	五,三三六,六二六	—	●一四一,二七七
計		—	四,三六八,二二一	—	三一,九九九,五〇二	—	三六,三三六,〇一五	—	●四,三三六,五一三

◆輸入

品目	単位	九月 數量	九月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
大豆油糟	斤	九、八九七、四五二	四〇九、五〇八円	二三〇、〇六八、四一八	九、四三三、〇七三円	一九一、五一八、五一六	九、九六八、八六六円	二八、五四九、九〇二	•五四六、七九三円
米(籾共)	同	一五、〇七〇、五〇二	一、一九六、一九九	一九〇、四六九、九六一	一四、八八一、〇五七	九三、五三四、五三一	八、六三五、六〇二	九七、九四五、四三〇	六、三四五、四五五
硫酸アンモニウム	同	一一、五九〇、三〇三	八六三、一〇五	六四、四三三、六四四	五、〇一一、三七四	四六、〇三五、六五〇	四、三八〇、七八六	一八、四〇六、九九四	六三〇、五八八
砂糖	同	九七、四四九	八、七三三	三〇、二八四、三八三	二、八三三、七六四	二五、三三五、三一〇	三、一五一、三〇〇	四、九四九、〇七三	•三三八、五三六
大豆	同	二、一四九、八〇三	一三六、九三三	三三、三六九、三三五	一、九一三、九八八	三六、五三九、三八三	二、五三三、〇六〇	•四、一六〇、〇五七	•六一八、〇七二
ガンニー袋	箇	一一〇、〇〇〇	五一、二〇〇	二、五二一、六八九	一、三二五、八七九	二、四八三、九九九	一、七三三、五〇六	二八、六九〇	•五一七、六二七
木材	立方尺	二二五、六七二	一四〇、八五七	二、八八五、四七三	一、九五七、九九四	二、〇〇九、〇六三	一、四一七、一〇七	八七六、四一〇	五四〇、八八七
燈油	ガロン	—	—	二、一九五、三〇九	一、〇一八、三六六	一、七六五、〇四六	八六三、一九二	四三〇、二六三	一五六、〇七四
鹹魚	斤	三〇、八八三	五、三八〇	一、三五九、四一八	一〇五、八六九	一三、〇六四、八四八	九一五、八五八	•二、一七〇、五四〇	•八一〇、〇一九
小麦	同	四三〇、一一三	三一、五三六	二、四八五、八七九	七九四、八七六	八、〇三〇、一一三	七〇九、九四七	三、四五五、七五六	八四、九二九
阿片	同	—	—	一二、五〇〇	二一七、〇〇〇	三三、三三三	八七六、三九五	•二〇、七三三	•六五九、三九五
包蓆	枚	五五二、六〇〇	五四、三〇九	三、四九四、一〇三	四〇七、四七二	三、八五九、七三〇	六八七、五三三	•三六五、六六八	•二八〇、〇六一
葉煙草	斤	一九五、一九八	八九、四九一	二、〇三五、一七二	八六五、六三五	一、一七六、四一四	六一五、九三八	八四八、七五八	二四九、六八七
鐵	同	二六一、九三二	一八、九四九	六、九五五、三三八	五四八、八三〇	六、八一三、八五一	六〇八、一九八	一四三、四八七	•五九、三六八
棉花	同	一四一、三四六	六七、九五九	四四〇、六五一	一九五、五九〇	五四七、九五六	二七三、四〇九	•一〇七、三〇五	•七七、八一九
黄麻	同	二七、五七九	三、五四四	四〇七、〇六三	五七、一四七	二、四九七、一一六	四二六、三三八	•二、〇五〇、〇〇三	•三六九、一八一
禮拝紙	同	一三一〇、五〇四	二八、〇〇一	一、三五一、三三一	三九〇、五六八	一、一七七、八四〇	三三八、二七三	七七、四九一	•三七、七〇四
石炭	噸	—	—	一九、八八九	四七〇、一九六	七、九六八	一五六、六〇一	一一、九三二	三一三、五九五
苧麻布	方碼	二四、四六八	六、六六六	九五〇、六三四	二一〇、七五四	一、三〇一、四一三	三一九、三七五	•三五〇、七七九	•一〇八、六三一
毛織物	同	一三、八三三	二一、九七五	一五七、一六八	一九〇、九三四	一七三、七五三	二四七、四三八	•一五、五八四	•五六、四九四
綿織物	同	四〇、五七七	二四、八二一	四〇七、六三五	二七一、三四四	三九三、四五五	三〇五、九〇八	一五、一七〇	•三四、五六四
陶磁器		—	一〇、六〇九	—	一四四、五九五	—	二三七、四九二	—	•九二、八九七
原油及重油	ガロン	六六、〇七六	一三、三八一	一、〇一五、一七七	二〇三、六三八	九四九、三五〇	二一〇、八五六	六五、八二七	•七、二二八

揮發油	同	四,九八二	四,一七三	一五九,一九二	一四二,九六四	二一〇,三六三	二一〇,四〇六	●五一,〇七一	●六七,四四二
唐紙	斤	二四三,四五九	一九,六三三	一,六一六,三〇六	一二四,九八三	二,〇九八,六〇九	二〇一,〇三七	●四八二,三〇三	●七六,〇五四
綠豆	同	二五六,四一二	一六,八四三	二,八五八,五六九	一八五,三三七	二,七八三,八六二	二三九,〇五一	七五,七〇七	●四三,六七四
錫	同	一五,二四九	二七,六七一	一〇七,六三三	一九二,七八四	八五,四三〇	一五三,四一七	二二,二〇三	三九,三六七
豆素麺	同	二七,三〇三	七,六八三	四〇一,二七六	一〇九,九一九	四一七,四一〇	一二九,三〇五	●一六,一三四	●一九,三八六
胡麻子	同	七三,九二五	一三,八九三	六三七,四八七	一一四,四四四	七〇五,二四〇	一一五,九八〇	●六七,七五三	●一,五三六
パラフィン、ワックス	同	二一,二二一	三,九八六	一六九,九八一	三六,六一七	三四八,一九五	八五,一八〇	●一七八,二一四	●四八,五六三
其他諸品		—	七〇二,一八三	—	六,一七七,七〇二	—	五,二六二,八〇一	—	九一四,九〇一
計		—	三,九六七,二二八	—	五〇,三〇三,五九三	—	四五,九八八,九三四	—	四,三一四,六五九

◈移出

品目		九月 數量	九月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
砂糖	斤	二二九,九〇〇	一八,五七六円	六四八,四六〇,〇六一	九〇,六八四,三五〇円	七三四,三〇二,八一三	九六,三一二,四一九円	●八五,八四二,七五二	●五,六二八,〇六九円
米	同	八六,四九三,五八五	八,四六二,三三三	四三四,七五五,〇四六	四四,三七一,五二八	三五一,一一三,二九二	四〇,一七二,八〇七	八三,六四一,七五四	四,一九九,七二一
芭蕉實	同	一〇,五四四,三三〇	五六四,八九〇	一三四,三六八,二七九	七,三六四,四二九	一五一,四〇五,〇五八	九,三〇五,二一二	●一七,〇三六,七七九	●一,九四〇,七八三
酒精	升	五三七,二〇〇	二八二,九六三	五,一六四,七九〇	二,七一八,五四九	六,二八一,七八〇	三,三九三,一九八	●一,一一六,九九〇	●六七四,六四九
木材	立方尺	一九,三一六	五五,二〇六	九四八,九三三	二,一四一,五〇〇	九六四,九五七	二,三三八,九三四	●一六,〇二四	●一九七,四三四
樟腦油	斤	二七九,七六一	七四,九三九	三,八三九,九七二	一,四〇八,九四六	四,五八一,一五二	二,三六二,五一七	●七四一,一八〇	●九五三,五七一
鰹節	同	二五〇,〇九一	二四三,〇四〇	一,一九五,五六五	一,一二五,六〇七	一,二二七,二八二	一,三五〇,二三九	●三一,七一七	●二二四,六三二
模造パナマ帽子	箇	一九二,九〇〇	九六,五五〇	一,六五九,一二〇	七七〇,九六〇	三,〇九九,二〇〇	一,一五三,一五五	●一,四四〇,〇八〇	●三八二,一九五
鳳梨罐詰	打	四一,二〇九	一四三,五九六	六九八,五三三	二,六二六,六〇二	四三〇,三三七	一,五四九,二八七	二六八,一九六	一,〇七七,三一五
樟腦	斤	四,五三六	八,九一〇	三八九,四〇一	五九七,五三一	六七九,三四二	一,二八五,五一九	●二八九,九四一	●六八七,九八八
計	同	四,八九一,四二八	六九,五四五	七一,五一七,二九四	一,〇一八,八三九	五九,五三三,四七七	一,一四二,二二〇	一一,九八三,八一七	●一二三,三八一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

石炭　噸	九,五三八	七九,三四〇	一〇三,七四一	一,一三三,七五三	一〇一,六四一	一,〇二八,五〇一	二,一〇〇	一〇五,二五二
食鹽　斤	三,二〇〇	一三一	五七,四〇五,四九〇	五一四,三一三	八九,八五四,二四〇	六七九,四三一	•三二,四四八,七五〇	•一六五,一一八
鮮魚介　同	四,八〇〇	一,四四〇	二,七三八,八四五	八二一,四九〇	一,九〇三,五四八	五八一,四三〇	八三五,二九七	二四〇,〇六〇
切乾薯　同	四,一六八,二〇〇	一六八,九〇四	三七,四四八,三五〇	一,五一二,八九一	二,七四八,四〇〇	五〇八,五二〇	三四,六九九,九五〇	一,〇〇四,三七一
其他諸品	—	五三二,五一三	—	五,三三九,二六九	—	五,三八九,七四六	—	五〇,四七七
計	—	一〇,七九三,七七六	—	一六四,四四〇,五五七	—	一六八,五五二,一三五	—	•四,一一一,五七八

◎移入

品目	九月 數量	九月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
綿及絹織物	—	円 一,七〇一,〇八六	—	円 一〇,四三〇,〇七二	—	円 一四,三六一,三九八	—	円 •三,九三一,三二六
鐵　斤	七,五九〇,三一六	六七九,五〇七	六二,六四四,七六三	六,〇六四,六五七	四四,八八九,六九四	四,九四九,八五九	一七,七五五,〇六九	一,一一四,七九八
鹹乾魚　同	一,九八七,七二七	三三五,一五九	三二,七三二,八八九	四,一六〇,五五〇	一九,三五三,六八〇	三,五四〇,二七七	一三,三七九,二〇九	六二〇,二七三
肥料　同	一〇,〇八〇,七〇六	三九八,一〇〇	七二,一〇三,六七六	三,一九一,九五四	六二,四八九,七一三	三,一二五,九一九	九,六一三,九六三	六六,〇三五
小麥粉　同	一,七九三,三一〇	一九九,一九〇	一九,一四三,四六三	二,二〇二,六九五	二一,九〇三,九一八	二,六六七,八六六	•二,七六〇,四五五	•四六五,一七一
木材　立方尺	二四七,七〇七	二八九,一三一	二,三〇〇,五〇一	二,六六六,九〇六	二,〇九九,九二七	二,五〇六,九九八	二〇〇,五七四	一五九,九〇八
紙	—	二四二,八二三	—	二,二一八,五五六	—	二,三七七,一四七	—	•一五八,五九一
錫　斤	七三七,四三五	三三一,一五四	三,八二四,〇六四	一,四五八,二三四	六,九三二,四九六	二,〇六二,九六五	•三,一〇八,四三二	•六〇四,七三一
鐵製品	—	二三七,四四六	—	二,三三一,五一四	—	一,八四三,四〇八	—	四七八,一〇六
麥酒　打	一八,七六四	九二,八〇〇	四三一,三六六	二,一七八,八一六	四五五,一八七	二,一六九,六五二	•二三,八二一	九,一六四
紙卷煙草　千箇	八一,五〇〇	一八九,一九六	六二九,三六〇	一,四五七,八〇六	六五九,五二〇	一,五四五,一二五	•三〇,一六〇	•八七,三一九
絲類	—	一七〇,三四六	—	一,三二五,三五一	—	一,五七五,九九一	—	•二五〇,六四〇
各種ノ罐詰	—	一五九,六四一	—	一,四一八,〇四〇	—	一,四四八,五六〇	—	•三〇,五二〇
カンニー壺　箇	二三八,三〇〇	九一,八二〇	二,五九二,二五〇	一,一四七,三三九	二,八〇二,五〇〇	一,六一二,〇〇九	•二一〇,二五〇	•四六四,六七〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

清酒	打	一,一五〇	一〇,六七四	八一,〇一九	七三九,八八八	七八,二九〇	七一三,六四二	二,七二九	二六,二四六
メリヤス肌衣		—	三三四,三一五	—	八七六,八九二	—	九三四,二四六	—	•五七,三五四
自轉車同部分品及附屬品		—	一三五,五五九	—	一,〇八二,六七〇	—	一,一〇九,五三二	—	•二六,八六二
毛織物		—	三三七,一三三	—	六二三,二四五	—	七〇八,三八五	—	•八五,一四〇
燐寸	哥	一六六,三〇〇	一二五,五六一	一,二六〇,一三八	九〇二,〇四二	一,一〇五,二四九	八四一,九〇六	一五四,八八九	六〇,一三六
菓子類		—	八二,四二六	—	六八二,三三九	—	六八八,七一三	—	•六,三七四
麥	石	一四,八〇〇	二九三,八五六	五三,八三四	一,〇七一,〇五三	三一,〇五九	六八三,三四三	二二,七七五	三八七,七一〇
製帽原料		—	二一,三〇〇	—	三七九,二〇六	—	七五七,四八六	—	•三七八,二八〇
米	石	九七五	三八,七三一	一三,一五一	四六六,三三三	二〇,五〇八	七八四,九四八	•七,三五七	•三一八,六一五
陶磁器		—	八二,九九三	—	六九四,四四四	—	五八三,八五三	—	一一〇,五九一
砂糖	斤	四八七,〇九五	一〇三,九八一	二,四四五,八三一	五六三,五一五	二,五三四,一四一	六二六,九三四	•八八,三一〇	•六三,四一九
石鹸		—	五七,八七五	—	六〇五,六二〇	—	六二二,五三四	—	•一六,九一四
醤油	石	一,三三一	六九,〇八七	八,九五二	五三三,四五六	八,五一八	五一八,八二五	四三四	三,六三一
燈油及輕油	ガロン	一三四,四九〇	六六,二五一	一,〇六六,五〇五	五一四,二〇三	一,一八〇,九三五	六二〇,〇八〇	•一一四,四三〇	•一〇五,八七七
仕組板		—	四三〇,〇九七	—	五四〇,一三三	—	五九六,四三一	—	•五六,二九八
自動車同部分品及附屬品		—	九一,九九九	—	六六一,五一四	—	四四七,七二九	—	二一三,七八五
其他諸品		—	三,七一一,〇三九	—	三二,五四四,五六二	—	三一,二四七,一三一	—	一,二九七,四三一
計		—	一〇,四八一,二七二	—	八五,五〇三,四三五	—	八八,一七三,七九二	—	•二,六七〇,三五七

◈港別貿易額（其ノ一）

港別	輸出	輸入	計	二年累計	十五年累計	増減（•）
基隆	二,一八一,一九七円	一,七九九,八三八円	三,九八一,〇三五円	四五,三九五,九一七円	四三,四二二,三〇六円	一,九七三,六一一円
臺北	一,七二九,六四一	一四〇,六二九	一,八六〇,二七〇	一〇,一八二,六一四	一〇,四一五,〇五三	•二三二,四三九

	移出	移入	計	二年累計	十五年累計	增減（・）
淡水	九三、〇六六	一六五、一〇五	二五八、一七一	二、七四五、五九七	二、六九五、四七一	・五〇、一二六
安平	—	五六、七四八	五六、七四八	一、一六四、二七七	一、二二三、七一一	・五九、四三四
高雄	三二三、六〇六	一、七七六、一九九	二、〇九九、八〇五	二、八五四、五〇〇	三、四一〇、三〇八	・一、五五五、八〇八
其他諸港	五〇、七〇一	二八、六九九	七九、四〇〇	九六〇、一九〇	一、一五八、一〇〇	・一九七、九一〇
計	四、三六八、二二一	三、九六七、二二八	八、三三五、四二九	八二、三〇三、〇九五	八二、三二四、九四九	・二一、八五四

（其ノ二）

港別	移出	移入	計	二年累計	十五年累計	增減（・）
基隆	八、八二七、六一七円	七、五七二、三一八円	一六、三九九、九三五円	三八、三七九、八五七円	四二、八二三、四八二円	・四、四四三、六二五円
臺北	—	—	—	—	—	—
淡水	—	—	—	三、〇〇〇	六、〇〇〇	・三、〇〇〇
安平	二、五五二	八〇二、七一三	八〇五、二六五	七、三九八、〇六〇	八、九五八、七二九	・一、五六〇、六六九
高雄	一、九六三、六〇七	二、〇七〇、〇一九	四、〇三三、六二六	一二、八九六、二七五	一三、四三〇、九一五	・五三四、六四〇
其他諸港	—	三六、二三三	三六、二三三	一、二六五、八〇〇	一、五〇六、八〇一	・二四一、〇〇一
計	一〇、七九三、七七六	一〇、四八一、二七二	二一、二七五、〇四八	五九、九四二、九九二	六六、七二五、九二七	・六、七八一、九三五

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金融統計

財務局金融課

◆銀行預金貸出金殘高表

昭和二年八月末島内各銀行預金貸出金殘高左の如し。

種類	金額	種類	金額	種類	金額	種類	金額
公金預金	五、五二九、九五七円	預金手形	二、一〇五、三〇八円	證書貸付	二五、八二三、五〇一円	買入外國爲替	四五四、六五一円
當座預金	一三、四五〇、一八八	日本銀行預金	二八、七四一、六三〇	手形貸付	四二、〇六二、三六五	日本勸業銀行貸付	四七、三九五、二四五
特別當座預金	四一、九一五、三三九	貯蓄預金	六、一三三、三〇四	當座貸越	三三、三六〇、二二三	貯蓄銀行貸付	一、三七六、四二三
通知預金	二、二八六、〇〇八	合計	一三五、五一三、一〇二	割引手形	一〇三、八五六、八九九	合計	二三五、七七九、八〇〇
定期預金	一三、六四七、七四七	前月	一三一、五四五、二八八	荷付爲替手形	一一、六〇一、五八一	前月	二四一、六八八、二二五
別段預金	二、七二三、八四二	前年同月	一〇〇、一六二、八三五	利付爲替手形	五八、九一三	前年同月	二三九、四三八、五四一

備考　日本勸業銀行貸付には臺灣銀行取扱の代理貸付を含む

之を地方別に示せば左の如し

州廳別	預金	貸出金	州廳別	預金	貸出金
臺北州	七六、〇〇六、三二八円	一二五、七六七、四〇三円	澎湖廳	三五八、九八二円	二七〇、八五六円
新竹州	四、八六五、八九五	一九、八七一、〇八九	臺東廳	一、〇二四、六七六	一、一五一、五三三
臺中州	一五、二二〇、九三〇	三一、八二九、六五一	花蓮港廳	四四四、五一一	一四二、二五六
臺南州	一七、九五八、一八七	四九、四九五、四九三	合計	一三五、五一三、一〇二	二三五、七七九、八〇〇
高雄州	七、六四二、五九三	一四、八一五、五二八			

◆重要物産別銀行放資殘高

品名別	昭和二年六月末	前月末	增減（△減）
砂糖	四九,四九九,二四七円	五五,三四五,九四九円	△五,八四六,七〇二円
米	一四,二四四,二九八	一三,七五九,五三八	一,四八四,七六〇
茶	一,一八六,三二〇	一,一六四,六七四	二一,五四六
樟腦	五一六,〇七五	七五四,一五九	△二三八,〇八四
金塊	六二八,三〇〇円	六四六,三〇〇円	△一八,〇〇〇円
酒精	二四三,〇六一	五五,〇二〇	一八八,〇四一
石炭	六,三七一,四三九	六,五〇九,六四九	△一三八,二一〇
合計	七二,六八八,六四〇	七七,二三五,二八九	△四,五四六,六四九

◆重要物産別銀行放資額累計

品名別	昭和二年六月迄累計	前年同月迄累計	增減（△減）
砂糖	二九,四二〇,九六五円	三一,四七一,三〇八円	△二,〇五〇,三四三円
米	五七,一三五,六九四	六一,二一二,四八〇	△四,〇七六,七八六
茶	三,二四八,六六一	四,三九三,二〇三	△一,一四四,五四二
樟腦	一,〇六六,四二三	二,七〇五,二八三	△一,六三八,八六〇
金塊	二,一九六,六〇〇円	二,六二五,九三〇円	△四二九,三三〇円
酒精	一,七三七,五一九	九九三,一八七	七四四,三三二
石炭	一四,二九五,三二七	一三,六五九,二〇五	六三六,〇二二
合計	一九九,一〇一,〇七八	二〇七,〇六〇,五八五	△七,九五九,五〇七

◆重要物産別銀行放資殘高

品名別	昭和二年七月末	前月末	增減（△減）
砂糖	五七,二〇八,五〇五円	四九,四九九,二四七円	七,七〇九,二五八円
米	一七,一八二,四四四	一四,二四四,二九八	二,九三八,一四六
茶	一,三七五,八六七	一,一八六,三二〇	一八九,六四七
樟腦	五一四,六五七	五一六,〇七五	△一,四一八
金塊	六四六,〇〇〇円	六二八,三〇〇円	一七,七〇〇円
酒精	二四三,一九〇	二四三,〇六一	一二九
石炭	五,四三七,〇八五	六,三七一,四三九	△九三四,三五四
合計	八二,六〇七,七四八	七二,六八八,六四〇	九,九一九,一〇八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◇重要物產別銀行放資額累計

品名別	昭和二年七月迄累計	前年同月迄累計	增減(△減)
砂糖	一八、〇一六、七七八円	一三、八七二、七九二円	四、一四三、九八六円
米	七二、五六九、七〇三	七六、四五六、四四三	△三、八八六、七四〇
茶	三、九四六、四〇六	五、六四五、八四四	△一、六九九、四三八
樟腦	一、〇六六、四二二	三、一八五、七七五	△二、一一九、三五三
金塊	二、三八八、〇〇〇円	三、一四一、六〇四円	△七五三、六〇四円
酒精	一、九七七、九二五	一、四四九、四八二	五二八、四四三
石炭	一六、三四二、五四六	一五、七三七、九五二	六〇四、五九四
合計	二三六、三〇七、七八〇	二三九、四八九、八九二	△三、一八二、一一二

◇手形交換高表(昭和二年六月分)

手形交換所々在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	四、八〇三枚	一、五〇一、一〇五円	三四三、八九四円	三一四円
臺北	二二、八八二	一五、五六五、六四七	七、一七五、九六〇	六八〇
臺中	二、三五五	三、五四四、〇〇八	一、九八二、三六六	一、五〇四
臺南	一一、七八九	二、八四一、五五〇	九四四、一四七	二四一
高雄	四、六七五枚	二、二八七、六四八円	一、〇八五、四八五円	四六七円
計	四六、五〇四	二五、七三九、九五八	一一、五三一、七五〇	五五三
前月	四八、三〇八	二八、八〇七、六四九	一四、三三九、二六四	五九六
前年同月	四七、一四〇	一九、九〇五、七八五	六、六三二、〇五二	四二三

◇手形交換高表(昭和二年七月分)

手形交換所々在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	五、三二八枚	一、七九一、五三四円	四九八、五七七円	三三六円
臺北	二四、〇二三	一四、六七五、三六二	六、四三二、八一六	六一〇
臺中	二、八九八	三、三三九、一九六	一、四六〇、〇五六	一、一五二
臺南	一一、九五三	三、三〇五、三三七	一、〇三三、三五六	二七六
高雄	四、三〇三枚	一、九七二、四〇九円	八六八、五六六円	四五八円
計	四八、五〇五	二五、〇八三、八三八	一〇、二九三、三七一	五一七
前月	四六、五〇四	二五、七三九、九五八	一一、五三一、七五〇	五五三
前年同月	四八、八四二	二二、二一〇、五七一	七、五二〇、六二六	四五四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆臺北物價指數表（昭和二年九月末）

品目		本月	前月	前年同月
白米	(一)	二三八・三七	二四一・三七	二五五・八一
在米	(一)	一四四・七三	一五〇・〇〇	二〇三・〇七
清酒		三二一・四三	三二一・四三	三二一・四三
麥酒		一七三・〇〇	一七三・〇〇	一七三・〇〇
紅酒		二三三・三三	二三三・三三	二三三・三三
澤庵漬		三三三・三三	三三三・三三	二三六・四六
小麥粉		一六三・七七	一六三・七七	一五七・七三
砂糖	(十)	一五六・五四	一五四・三六	二四八・一一
鰹節	(十)	二〇七・八一	一九六・六六	二三八・五九
味噌		一三三・八四	一三三・八四	一四一・五三
醤油		一三八・六三	一三八・六三	一五〇・〇〇
鴨卵	(十)	二〇五・七一	二〇〇・〇〇	二三三・八五
火油		一三〇・五一	一三〇・五一	一三八・四六
鹽		一四〇・九一	一四〇・九一	一四〇・九一
煙草		一八〇・〇〇	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇
烏龍茶	(一)	七九・六九	八五・六八	九四・八七
包種茶	(十)	一三七・九三	一三一・〇四	一三七・九三
白木綿	(十)	一四六・八三	一四二・八五	一六三・六九
綿布	(十)	二三八・九一	一三六・五〇	一三三・五三
洋紙	(一)	一六五・二一	一六九・五六	一八三・六〇
日本紙		二三八・八八	二三八・八八	二三三・三三
杉板		一六六・六六	一六六・六六	一六六・六六
杉材		一七五・〇〇	一七五・〇〇	一八七・五〇
洋鐵		一四三・一〇	一四三・一〇	一五七・八九
鉛		一三一・二五	一三一・二五	一五六・二五
銅		一三六・三三	一三六・三三	一三三・六五
煉瓦		二三六・〇八	二三六・〇八	二〇八・七〇
日本瓦		一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
板硝子		一二三・五〇	一二三・五〇	一二一・六五
セメント	(一)	一六七・六四	一七三・五三	一八五・三九
燐寸		二三三・三四	二三三・三四	二三七・一六
石油		一五三・二八	一五三・二八	一四一・八一
石炭		一七〇・〇〇	一七〇・〇〇	一五〇・〇〇
木炭		二五三・三三	二五三・三三	二六〇・〇〇
薪		二五七・一四	二五七・一四	二七一・四三
平均	(十)	一七六・三一	一七五・九七	一八三・三五

備考　本表は大正三年七月の物價を一〇〇として計算せり(十)印は騰貴(一)印は低下を示す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□平均指數五箇年對照表

月次	昭和二年	昭和元年大正十五年	十四年	十三年	十二年
一月	一七八・四〇	一九〇・七九	二〇三・一三	一九一・八一	一九一・六四
二月	一七八・八三	一九〇・九五	二〇三・三〇	一九一・九四	一九五・三二
三月	一七八・三九	一八八・三一	二〇〇・六〇	一九一・三三	一九六・〇六
四月	一七七・三七	一八八・二五	二〇〇・三二	一九一・五九	一九六・〇一
五月	一七七・六四	一八六・〇二	一九二・五〇	一九四・一六	一九五・二七
六月	一七八・二七	一八五・二〇	一九二・八七	一九二・七六	一九五・〇七
七月	一七七・五〇	一八五・一一	一八五・一〇	一九一・六一	一九〇・八六
八月	一七五・九七	一八四・六六	一九五・二七	一九二・九二	一九〇・五六
九月	一七六・三一	一八三・三五	一九五・六三	一九八・三〇	一九二・〇四
十月	―	一八二・五四	一九二・三八	二〇二・四一	一九〇・三三
十一月	―	一八一・五七	一九三・一六	二〇五・〇二	一九三・三八
十二月	―	一八〇・〇七	一八九・七四	二〇三・三三	一九三・六六

□各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	二年八月	十五年九月	十四年九月	十三年九月	十二年九月
本月平均	一〇〇・九	九六・一六	九〇・三	八八・九一	九一・八〇

昭和二年度前期分州稅徵收成績

内務局地方課

昭和二年度前期分州稅徵收成績は高雄州第一位を占め新竹州、臺南州、臺中州、臺北州の順序を以て之に亞ぎ、前年度同期に於ける成績と比較するに高雄州は第二位より第一位に新竹州は第三位より第二位に進み臺南州は第一位より第三位に低下し臺中、臺北の兩州は前年度同樣第四位第五位の成績を示せり。

昭和二年度前期分州稅徵收成績表

州	科目	調定濟額	收入濟額 納期限迄	收入濟額 調定濟額ニ對スル歩合	收入濟額 前年度同期ニ於ケル歩合	收入濟額 歩合増△減	收入濟額 納期限後	收入未濟額
臺北州	月稅	四二、六三四円	三六、九二一円	〇・八六六	〇・八七四	△〇・〇〇八	二、五二一円	二、一八三
	營業稅	五〇〇、〇〇六	三七二、七七九	〇・七四五	〇・七六八	△〇・〇二三	四八、〇三六	七九、一九二
	雜種稅	一二〇、五〇三	九一、一九八	〇・七五七	〇・八〇六	△〇・〇四九	四、三五六	二四、九八九
	計	六六三、一三四	五〇〇、九〇八	〇・七五五	〇・七八〇	△〇・〇二五	五五、九〇三	一〇六、三二三
新竹州	月稅	二〇四、〇九九	一九九、四六二	〇・九七七	〇・九七一	〇・〇〇六	二、八五一	一、七八六
	營業稅	二一八、八六〇	二〇〇、〇五七	〇・九二五	〇・八八八	〇・〇三七	五、三二八	三、四八五
	雜種稅	三九、三九九	三六、六八〇	〇・九三〇	〇・九五三	△〇・〇二三	一、三六七	一、四五二
	計	三六二、三五八	三四六、一九九	〇・九五五	〇・九四二	〇・〇一三	九、四三六	六、七三三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺中州	戸税	一三〇,二三九	一二六,八八九	〇.九七四	〇.九四七	〇.〇二七	二,一〇七	一,二二三
	營業税	二三八,四五六	二一九,一二三	〇.九一九	〇.八九〇	〇.〇二九	九,五〇一	九,八四二
	雜種税	一一五,三一八	一〇八,一八六	〇.九三八	〇.八九七	〇.〇四一	三,一四六	三,九八六
	計	四八四,〇一三	四五四,一九八	〇.九二八	〇.九〇七	〇.〇二一	一四,七五四	一五,〇五一
臺南州	戸税	一六三,九五一	一五六,三二〇	〇.九五三	〇.九四九	〇.〇〇四	二,六九三	二,九二八
	營業税	三〇九,七〇八	二八九,五一〇	〇.九二四	〇.九二六	△〇.〇〇二	八,七六〇	一一,四三八
	雜種税	二一三,二四三	二〇七,七九四	〇.九七四	〇.九七八	△〇.〇〇四	三,五二一	三,九三八
	計	六八六,九〇二	六五三,六二四	〇.九五一	〇.九五二	△〇.〇〇一	一四,九七四	一八,三〇四
高雄州	戸税	六八,三三三	六六,九六二	〇.九七九	〇.九七九	―	四三四	九三七
	營業税	一九七,四二四	一八八,四一三	〇.九五四	〇.九四一	〇.〇一三	六,〇九〇	二,九二一
	雜種税	一八二,六四八	一七四,一八〇	〇.九五三	〇.九五一	〇.〇〇二	五,一〇三	三,三五五
	計	四四八,四〇五	四二九,五五五	〇.九五七	〇.九五一	〇.〇〇六	一一,六二七	七,二一三
合計	戸税	六〇九,二二六	五八六,五六四	〇.九六二	〇.九五四	〇.〇〇八	一三,五九六	一〇,〇七六
	營業税	一,三六四,四六五	一,一七九,八八二	〇.八六四	〇.八五九	〇.〇〇五	七七,七〇五	一〇六,八七八
	雜種税	六七二,一〇一	六一八,〇三八	〇.九二〇	〇.九二三	△〇.〇〇三	一六,三九三	三六,六七〇
	計	二,六四四,八〇二	二,三八四,四八四	〇.九〇一	〇.八九七	〇.〇〇四	一〇六,六九四	一五三,六二四

備考

一、本表ハ定期賦課ニ係ル年税ヲ掲記セルモノナリ

一、本表ハ各税共納期限十日目ノ現計ヲ掲記セルモノナリ

漢詩

兒義彥負笈在廣島八月初七日來臺留半月將去率賦長句

上山蕉庵

吾兒覲省見眞情。乍覺蕭齋和氣生。頑健未勞溫凊手。暌違久念笑談聲。傳家勿忘守清白。報國須期效赤誠。書劍歸來復何日。燈前話別到三更。

愛國婦人會臺南州部重修五妃廟丁卯十月工竣乃擧落成之典余參拜賦此述感

三屋清陰

魁斗山頭碧樹陰。滿城士女捧香臨。墓前肅拜無言淚。也是忠貞愛國心。

故廟重修香火新。幾群羅綺起紅塵。五妃貞操過西子。路畔效顰不見人。

・次潤菴先生見寄韻

藤波千溪

早晩尋前約。遊蹤問水濱。翹頭見明月。對影作三人。却怕清光照。偏驚白髮新。君詩何艶麗。敏思壓庭筠。

讀昭和詩文集題後

辜蔎盧

文化無畛域。從知吾道東。錚々流逸響。習々挹清風。韻事山公啓。詩編元相工。低徊時展卷。古調入絲桐。至道猶齊魯。誰從一變分。論才高八斗。爲學探三墳。從此邦交締。先收文字勳。體天知樂畏。端有賴諸君。

汝窯藕瓶

伊藤壷溪

分插翠芳伴香茗。豆青瑩潤魚紋竝。市人不解汝州奇。却把龍泉比周鼎。

祭紅古方鑪

橘皮環鑪隱々生。西紅寶石巧燒成。清晨掃案焚香坐。霞蔚雲蒸小赤城。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

孕江選

ゆうかり秋季大會句抄

芝掃くや爽かに飛ぶ芝の露　花吾
爽かに森ぬきんでゝ劍淨寺　零々
秋祭諒闇明けも間近なる　素山
菊の鉢洗ひ上げたる朝餉かな　不二居
秋祭り昔から休む畑に在り　瓦全城
土盛りして竹園の中の菊畑　洋々
日當れるロツプケースや菊の鉢　壺陽
萬壽菊温泉宿の庭に盛りなる　淡水
爽かに旭あたる赤榕若葉かな　ゆたか
沼尻や石龜多き秋の水　天羊
がじまるの門の奥なる菊花壇　天章
菊の鉢玄關までも竝べけり　まさる
相思樹の竝木埃りや秋祭　たけを
からくりの廻り舞臺や菊人形　非文
一束の野菊あげあり土地公祠　蒙人
狭き土間菊ばかりなる花屋かな　狂洋

觀菊や日本服の鄭夫人　東洲
苗呉れし人を上座の菊見かな　水溪
菊の香や疊替へたる大廣間　博史
秋水や眞菰の中の群家鴨　霞門
秋水に臨みて古りし異人館　夢涯
白菊を生蕃壺に活けにけり　きゆう
秋水や遅れ咲きたる布袋草　塘翠
嬉嬉溺ぐ土橋の下の秋の水　香涯
秋の水隼魚を掠め去る　天江
輪乘せて出づる渡舟や秋の川　卦字樓
病院の窓に竝べる菊の鉢　小笑子
菊薫る垣の細道通りけり　夕果
かろ〴〵と一葉漂ふ秋の水　石舟
朝風のわたる二期穂や爽かに　眞砂
銃を脊にわたる溪流爽かに　一里
秋水に嗽ぎすなはち詣でけり　玄外
秋の水瀨石傳ひに渡りけり　南山
爽かに色變りたる樹海かな　青原
日曜や山の手町の菊日和　靜雪
大屯に浮ぶ朝雲爽かに　孕江

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

自九月二十二日
至十月十九日

九月

▼二十二日
・臺北大龍峒保安宮に孔子祭執行、總督臨場
▼二十三日
・衞生會議總督府に開催
▼二十五日
・全島陸上競技大會圓山グランドに擧行さる
▼二十七日
・全島中等學校長會議開催
・田中軍司令官バロン分遣隊視察
▼二十九日
・臺北商工會總會
▼三十日
・總督府動力問題會議を開く

十月

▼一日
・郵便年金、簡易保險事務取扱實施
・高雄臺東間橫斷道路開鑿開始
▼二日
・臺南兒童健康相談所開設
・臺北市學校對抗水上競技會を行ふ
▼三日
・總督府評議會開かる
▼五日
・總督府評議會終る
▼六日
・總督府評議會特別委員會開かる
▼七日
・臺北州水產會漁夫表彰
▼八日
・基隆郡農事講話を行ふ
▼九日
・全島中等學校陸上競技會擧行
▼十日
・一二等郵便局長會議開催
・上山總督阿里山視察に向ふ
▼十一日
・高雄商工會總會を開く
▼十二日
・島內各銀行預金利率引下
・朝香宮奉迎打合會を開く
▼十三日
・總督府評議會特別委員會開かる
・勤儉貯蓄デー、文敎局宣傳を行ふ
▼十四日
・第四回全島產業組合大會臺中に開催
▼十五日
・新竹州竹南郡竹細工講習會を開く
・產業組合大會優良組合及功勞者表彰
▼十八日
・總督府評議會開かる
▼十九日
・豐田內務局長中南部視察に出發

人事消息

木山警務局長　九月二十六日上京
赤石定藏氏　十月二日歸臺
森　秘書官　十月一日上京
皿谷庶次氏　同上
高木友枝氏　十月六日歐洲旅行へ出發
木下交通局總長　十月六日上京
酒井　娍氏　十月八日樺太へ赴任
近口時五郎氏　十月十一日內地へ
森下中研技師　十月十一日內地へ
楢原博士　十月十三日上京
平山寅次郎氏　同上
西垣農學博士　十月一日來臺
片山工務課長　十月十六日上京

山中圖書館長　十月十六日上京
小川運輸課長　十月十七日歸臺
小泉理學博士　十月二十二日內地へ
坂本素魯哉氏　同上
島田臺銀頭取　十月二十三日上京
古賀三千人氏　同上
本山警務局長　十月二十七日歸臺
赤司初太郎氏　同上
木村泰治氏　同上

任命

昭和二年府報自第二百五號至第二百二十七號

○昭和二年九月二十六日
臺灣總督府交通局書記　山岸金三郎
任臺灣總督府交通局參事
臺灣總督府交通局書記　田中儀一郎
同　松浦信次
（各通）
任臺灣總督府交通局副參事
臺灣總督府技師　岩澤潔
任臺灣總督府交通局技師
立川昇
正木喜三郎
（各通）
任臺灣總督府交通局技師
臺灣總督府交通局技手　交野清一
任臺灣總督府交通局技師
篠原寬二
任臺灣總督府臺北高等商業學校教授
正五位勳六等　有田吉人
杉本音吉
（各通）
高雄州協議會員ヲ命ス

○昭和二年九月二十七日
臺灣總督府事務官　角田廣次
警務局長本文平不在中代理ヲ命ス

○昭和二年九月二十六日
臺灣總督府秘書官　竹屋春光
上京ヲ命ス

○昭和二年九月二十七日
臺灣總督府地方技師　宇敷赳夫
東京、兵庫、石川、宮城、福岡ノ各府縣下及北海道廳下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府典獄　松井晟千代
上京ヲ命ス
臺灣總督府技師　上瀧嵬
一時歸府ヲ命ス
臺灣公立中學校敎諭　田中惠一
東京、京都、廣島、長崎ノ二府二縣下及朝鮮ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年九月二十九日
飯田吉英
任臺灣總督府技師
鳥居敬造
任臺灣總督府技師
復興局技師　六角兵吉
任臺灣總督府技師
臺灣總督府醫院醫官
補臺灣總督府臺北醫學專門學校助敎授　水谷元德
任臺灣總督府醫院醫官兼臺灣總督府臺北醫學專門學校敎授
臺北州警部兼臺灣總督府屬　瀧末治郎
任臺灣總督府地方理事官
臺灣公立中學校敎諭　大橋熊藏
任臺灣公立中學校敎諭
臺灣公立中學校敎諭　奧村幸福
任臺灣公立中學校敎諭
臺灣總督府技師　飯田吉英
殖産局農務課勤務ヲ命ス
同　鳥居敬造
殖産局商工課勤務ヲ命ス
同　六角兵吉
殖産局商工課勤務ヲ命ス
臺灣總督府醫院醫官　水谷元德

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺北醫院勤務ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　瀧　末治郎
臺南州勤務ヲ命ス
臺灣公立中學校敎諭　大橋熊藏
補臺南第二中學校敎諭
臺灣公立中學校敎諭　奥村幸福
補嘉義中學校敎諭
臺灣總督府臺北醫學專門學校敎授　末盛進
東京、京都、新潟ノ各府縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府師範學校敎諭　渡邊節治
東京、京都、大阪、新潟ノ各府縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府技師　三宅勉
歸朝ノ途次東京、神奈川ノ各府縣下へ出張ヲ命ス
臺灣總督府翻譯官　森新一
上京ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　長谷川錄郎
東京、大阪、愛知、廣島、福岡、長崎、佐賀、鹿兒島ノ二府六縣下へ出張ヲ命ス

○昭和二年十月一日
臺灣總督府文敎局長　石黑英彦
臺灣總督府評議會員ヲ命ス

○昭和二年九月三十日
臺灣總督府地方理事官　瀧　末治郎
臺灣公立中學校敎諭　大橋熊藏
（各通）
依願免本官（以上內閣）
臺灣總督府交通局總長　木下信
臺灣總督府交通局技師　池田季苗
（各通）
市區計畫委員會委員ヲ命ス
陸軍少將　佐藤子之助
陸軍一等主計正　吉橋太一郎
（各通）
市區計畫委員會委員ヲ囑託ス

○昭和二年九月二十九日
臺灣總督府地方理事官　酒井娍
任樺太廳事務官

○昭和二年十月三日
臺灣公立實業學校長　小出梅吉
東京、宮城、新潟、石川ノ各府縣下へ出張ヲ命ス
臺灣公立中學校長　河瀨半四郎
東京、神奈川、山形、德島ノ各府縣下へ出張ヲ命ス
臺灣公立高等女學校長　小野正雄
東京、大阪、京都、愛知、岡山、廣島ノ三府三縣下へ出張ヲ命ス

○昭和二年十月四日
臺灣總督府交通局總長　木下信
東京、名古屋、神戸、門司、仙臺、札幌ノ各鐵道局管內へ出張ヲ命ス
臺灣總督府醫院醫長　恩地功
東京、京都、福井ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

○昭和二年十月五日
師範學校敎諭　三木英太郎
任臺灣總督府師範學校敎諭
臺灣總督府師範學校敎諭　深井米次郎
任臺灣公立中學校敎諭
臺灣總督府師範學校敎諭　三木英太郎
補臺中師範學校敎諭
臺灣公立中學校敎諭　深井米次郎
補臺南第二中學校敎諭

○昭和二年十月六日
地方海員審判所審判官兼遞信局技師　高橋百千
任臺灣總督府交通局技師
臺灣總督府屬　近藤純治
任臺灣總督府地方理事官

○昭和二年十月一日
臺灣總督府地方技師　島田彌市
熊本縣下ヨリ東京、和歌山、宮崎、廣島、靜岡ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

○昭和二年十月六日
臺灣公立中學校長　柳澤久太郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京、大阪、茨城、千葉、兵庫、廣島、大分ノ二府五縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府技師　市川雄一

東京、大阪、京都、宮城ノ各府縣下竝朝鮮關東州及南滿洲ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府圖書館長　山中樵

福岡、長崎、鹿兒島ノ三縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　近藤純治

臺南州勤勉ヲ命ス

○昭和二年十月七日
臺灣總督府事務官　渡邊廣

臺灣總督府鐵道職員共濟組合規則第五十一條ニ依リ審査會審査委員ニ指定ス
臺灣總督府事務官　能澤外茂吉

臺灣總督府鐵道職員共濟組合審査會審査委員ヲ免ス

○昭和二年十月七日
臺灣總督府醫院書記兼臺灣總督府屬　久保八二

任臺灣總督府地方理事官
臺灣總督府地方理事官　近藤純治

依願免本官
臺灣總督府地方理事官　久保八二

臺南州勤務ヲ命ス

○昭和二年十月八日
臺灣總督府地方理事官　久保八二

依願免本官

○昭和二年十月十日
臺灣總督府技師　伊澤眞吉

鹿兒島市ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府中央研究所技師　森下薫

東京、京都ノ二府下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　福原本輝

鹿兒島、石川ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣公立實業學校長　樋口孝

東京、大阪、愛知、廣島ノ二府二縣下及北海道廳下ヘ出張ヲ命ス
臺灣公立高等女學校長　本田善八

東京、大阪、兵庫、山口、福岡熊本ノ二府四縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣公立實業學校敎諭　中林直俊

支那廈門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年十月十日
臺灣總督府地方技師　磯田謙雄

任臺灣總督府技師
臺灣總督府技師　磯田謙雄

內務局土木課勤務ヲ命ス
臺灣總督府醫院醫長　本名文任

（各通）
臺灣總督府醫院醫官　塚原義夫

臺灣地方病及傳染病調査臨時委員ヲ命ス

○昭和二年十月十二日
高雄州警部　宮本周次郎

任臺灣總督府地方理事官
臺灣總督府地方理事官　宮本周次郎

臺南州勤務ヲ命ス

○昭和二年十月十三日
臺灣總督府地方警視　青木健一

任臺灣總督府地方理事官
臺灣總督府視學兼臺灣總督府屬　安達左京

任臺灣總督府地方警視
臺灣總督府理方理事官　宮本周次郎

依願免本官
臺灣總督府地方理事官　青木健一

臺南州勤務ヲ命ス
臺灣總督府地方警視　安達左京

高雄州勤務ヲ命ス
臺灣總督府事務官　鈴木秀夫

東京、京都、宮城、新潟、石川、愛知、和歌山、岡山、廣島、鳥取、島根、山口ノ二府十縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年十月十四日
臺灣總督府視學官　山口重知

東京、京都、長野、奈良、福岡ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府臺北醫學專門學校教授　廣畑龍造

東京、大阪、山山ノ各府縣下及北海道廳下へ出張ヲ命ス

○昭和二年十月十四日

地方技師　荒池忠吉

任臺灣總督府地方技師

八板志賀助

任臺灣總督府技師

臺灣總督府專賣局技手　星野不二男

任臺灣總督府專賣局技師

○昭和二年十月十四日

臺灣總督府地方技師　荒池忠吉

臺南州勤務ヲ命ス

臺灣總督府技師　八板志賀助

總督府官房會計課勤務ヲ命ス

○昭和二年十月十五日

臺灣總督府交通局技師　片山活三

上京ヲ命ス

臺灣總督府典獄　松井晟千代

歸任ノ途次三重、奈良ノ二縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府交通局技師　長沼淺造

東京、札幌ノ兩鐵道局管內へ出張ヲ命ス

○昭和二年十月十八日

臺灣總督府法院通譯　平瀨隆之助

任臺灣總督府法院通譯

臺灣總督府法院通譯　平瀨隆之助

補臺南地方法院通譯

○昭和二年十月十九日

臺灣總督府殖產局長　高橋親吉

東京ヨリ愛知、靜岡ノ二縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府技師　山田拍採

同　梅本英太郎

(各通)

東部亞弗利加へ出張ノ序ヲ以テ歐米各地へ出張ヲ命ス

○昭和二年十月二十日

臺灣總督府交通局參事　戶水昇

兼任簡易保險局書記官

○昭和二年十月二十一日

臺灣公立實業學校敎諭　野中鐵二

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調査課

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

北京帥府顧問シンプソンの支那時局觀……一
北京大學文科中國學門課程公表……二
馮・靳戰より唐の對南態度の緩和まで……三
奉張晉閻開戰記……六
奉天山西兩軍の軍事狀況……七
河南山東兩軍戰爭の發端……一三
湖廣に於ける共產軍の經過……一四
中國關稅實況……一八
一九二六年の支那對外貿易(一)……二五

香港

一九二六年に於ける香港人口……三〇
香港の發達に關する香港總督の演說摘錄……三〇

比律賓

總督代理の第七回立法部に與へたる敎書(二)……三三

佛領印度支那

印度支那の漆(二)……三七
印度支那人口統計……四三

暹羅

暹羅に於ける產業組合促進運動の成績(續)……四四

英領馬來

馬來半島の籐(上)……五五
馬來半島の華僑……五九

蘭領東印度

爪哇マヅラに於ける古々椰子物產の生產輸出入及消費(二)……六二
蘭印に於ける株式會社の運轉總資本金……六九
蘭領東印度貨物稅率表……七〇

其他

北米より極東に至る……七一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□北京師府顧問シンプソンの支那時局觀

已より遙に偉大なる人物袁世凱の模倣者として現はれて來たのが張作霖である但し前者に比すれば後者は多く有利なる環境を有したるのみならず能く前人のなしたるものを進歩發達せしめた。即ち袁に比すれば張はより良き教師武器兵工廠等を有した上、獨佛兩國を合せたと同じ廣さの豐饒なる領地を管理した。約十年間に張が武器軍需品兵工廠等に費した金は五十萬弗に達したが、名實共に備はつた砲兵を有するものは今日支那廣しと雖も張作霖あるのみ。目下彼は野砲兵五十二箇中隊と外に大口徑及中口徑の砲多數を有して居る。

かくて長城内にある諸軍との衝突が避け難くなると、彼は唯一の財源たる農産物より來る收入を擧げて軍備の擴張を行つた。千九百二十年彼は十萬の軍隊を整へ始めて關内に進入したが越へて千九百二十二年には彼の兵力は十八萬と稱せられた。當時彼は山海關の險を踰えて吳佩孚軍と雌雄を決し、後千九百二十四年には其全兵力二十八萬に増加し三度之を動かすに至つた。

殆ど年中行事の觀ある支那内亂の目的は如何といふに、支那に於ては戰爭は最も利益の多い商賣であるからである、これは國内の何處に行はるゝとも、列國より最惠的取扱を受くる保護された産業であつて、支那の將軍が下級指揮官に投じた資本は彼等が敗北せざる限り毎年數百割の利子を贏す。故に戰鬪は富裕なる都市の占領を目標として行はれる。例へば上海の如きは蔣介石に對して三千萬弗を貢いだが其大部分は蔣自身の懷に入つた筈である。從つて一切は極めて安直に賄はれる。今一個師團平素の人員を一萬とせば之が維持費年額百二十萬弗だけれども實際は其四割減であるのを常とする。

、支那で軍人たることは一の商賣である。しかもこれは怠け者の職業だ。此の點は將官も兵卒も異る所はない兵士は主として農民の間から募集される。彼等は一年を通じ唯衣食の爲めに勞働する。農夫一箇月の食料は僅かに墨銀一弗八十六仙之を英貨に換算せば三志十片を以て足るしかも若し富裕なる土地に駐屯する場合、彼等の指揮官

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は更に毎月の配當を各人より要求する事を得る譯である（十月中旬上海タイムス紙）。

□北京大學文科中國學門課程公表

北京大學文科は十月一日に始業と定められ、其の文學科及史學科の課程を九月二十七日附公表されたるが、文學科の課程表は左の如し。

【第一・二學年】

中國文學研究法 二時間 歷代史家文選 二時間 諸子文選 二時間 漢魏六朝文選 二時間 漢魏六朝詩選 二時間 毛詩楚詞要義 二時間 訓詁名物學 二時間 中國文字聲韻概要 二時間 詞學源流 一時間 詞選 一時間 論孟要義 二時間 以上必修科目

中國文學史 二時間 中國史學概要 二時間 中國美術史 二時間 中國哲學史 二時間 歐米文學史 二時間 世界文化史 二時間 佛典譯文研究 二時間 駢體文作法 二時間 小說選 二時間 中國曲律 二時間 外國文 二時間 以上選修科目

【第三・四學年】

中國文學研究法 三時間 歷代史家文選 二時間 諸子文選 一時間 唐宋元明清文選 三時間 唐宋元明清詩選 二時間 詞選 一時間 中國聲韻沿革 一時間 古籍校讀法 一時間 毛詩楚詞要義 二時間 公牘文 二時間 經學通論 二時間 以上必修科目

中國古禮學 二時間 中國古樂學 二時間 中國古器物學 二時間 中國古歷數學 二時間 周易學 三時間 尙書學 二時間 春秋學 二時間 考古學 二時間 目錄學 二時學 言語學 二時間 外國文 二時間 以上選修科目

又史學科の課程表は左の如し。

【第一・二學年】

中國史學概要 三時間 歐米史學概要 三時間 中國上古史 二時間 中國中古史 二時間 歐洲上古史 二時間 歐洲中古史 二時間 中國政書提要 二時間 中國學術史 一時間 歐米學術史 一時間 論孟要義 二時間 以上必修科目

世界文化史 二時間 政治思想史 二時間 外交史 二時間 宗敎史 二時間 美術史 二時間 社會學 二時間 政治學 二時間 言語學二時間 中國史學名著講演 二時間 歐米史學名著講演 二時間 佛典譯文研究 二時間 外國文 二時間 以上選修科目

【第三・四學年】

中國史學研究法 三時間 歐米史學研究法 三時間 中國近古史 二時間 中國近世史 二時間 歐米近世史 三時間 日露近世史 二時間 經學通論 二時間 地理學 二時間 人類及人種學 一時間 以上必修科目

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□馮靳戰より唐の對南態度の緩和まで

唐生智獨立せんか唐生智は目下專ら南京進擊を以て念と爲し居ればば河南方面に於て馮玉祥軍と衝突を發生するには至らざるべく、靳軍の利用は意中に在るべきも、河南に向つてに非ずして之を安徽境に向はしめ唐に代つて南京派各軍を壓迫せしめんといふに在らん。ルーター社の上海二十一日電報は唐が獨立を宣言すべしと傳へらるゝ旨を記せり（九月二十二日—上海・漢口電）。

馮靳の戰は馮軍の勝に歸す靳雲鶚軍の敗戰の結果殆ど馮軍の勝利に決定したるが如し。靳軍は現に數部分に分れて敗走し、其の主力は既に九月十六日以來南陽境内に出現し、一部分は轉じて隴海路沿線に向つて退却したり（九月二十一日—漢口電）。

馮軍急進通許陶封に集中　靳軍京漢線より退きし後、馮は隴海線の鹿鍾麟軍の背後に增兵を行ひ、石友三鄭金聲の兩部は既に京漢線より北上し通許陶封に集中したり。是に於て馮軍主力は既に漸次に東路方面に退けり（九月二十二日—濟南電）。

唐汪和協　汪兆銘顧孟餘は二十一日夜九江より漢口に歸り、二十二日中央黨部の洗塵會に莅む。唐生智は幹部を派して均しく列席せしめたり（九月二十三日—漢口電）。

唐軍の劉興は程潛部の武器を押收す九月十八日頃武漢第三十六軍劉興は唐生智の密令を奉じ蕪湖一帶の程潛軍隊を驅逐せんとし、遂に直ちに江蘇省境に迫り、二十二日蕪湖にて富雙英彷部の武器を押收したり。南京湖南派領袖將軍譚延闓程潛等は唐の態度不明なるを責めて國民政府既に組織し成立を告げたり。凡そ我が同人は自ら應に成見を消除して共に國是を謀るべし。我が公明達當に能く諒察せらるゝ所ならん云々といへり（九月二十二・三日—上海電）。

奉天山西の對峙　石家莊事件に關し、奉軍は目下軍隊を南方に輸送し、正定に在りては吉林軍第十五師汲金純部約三萬人を駐め、新樂縣には第二十師第二十八師を駐め、淸風店には第十四師を駐め其の他定州保定定興徐水の各路には第三四方面軍各數千を駐めたるが中にも保定には相當の大部隊を置き且つ軍糧竝に軍需品を滿載せる數列車あつて停車場内に停留し出發を待ちつゝあり。又最近北京方面よりも時に保定及正定に向つて軍需品を輸送しつゝあり。又山西軍に對しては正定なる軍隊中より步哨を出して正定河の前岸に至り、其の附近には散兵壕を設けて山西軍と對峙し、往來の旅客は嚴重なる檢査を受く。山西軍は前に國民第三軍の徐永昌部にして、十數日前既に邯鄲順德より撤退し、目下主力部隊を井陘に駐め、其の數約三萬あり。其の一部約千名の兵力を以て石家莊に駐め、竝に步哨を正定河附近の線に設けて奉天軍を監視しつゝありといふ（九月二十四日—某消息）。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山西は張孫氏の請を婉辭す　何佩瑢は孫傳芳の命を受け閻錫山に面晤し、二十四日夜北京に歸り復命せる大意に云く、閻氏は極力奉天側と手を携へんことを願ひ、奉天軍が石家莊を通過せんには何の阻碍をも加へざるべし。只我が山西は國民黨の一分子となり、一切の行動表面上絕えて其の國民黨の看板を忽視する能はざれば、石家莊の撤兵する能はざるは是が爲なりと。其の辭は婉柔なるも、其の意は甚だ强硬なるに似たり。

河南戰の末聲　馮氏は唐生智が出でゝ調解の任に當れるに對し、二十二日附電報を以て婉答を發し靳部の武裝を解除し馮軍下に改編することを主張したり。

山東軍靳雲鶚を援けんとす　靳は勢馮氏に敵せざるを以て小戰の後靳部を周家口、上蔡、商邱の一帶に移し救援の至るを待ちつゝあるが、夏邑なる張敬堯より山東軍師の救援あるべき通知に接したり。靳は二十一日羅山に移駐し唐生智と往來甚だ密なり。二十三日靳は親しく二十餘名を隨へ羅山を出でゝ武勝關に赴き、京漢車に乘じて漢口に到り唐生智に面商する所あらんとすといふ。

靳軍の東移　靳雲鶚軍は漸く隴海線南方なる山東軍の左翼に向つて移動せるが、これ實に山東軍と協力して馮玉祥軍に當るの作戰に係る(以上九月二十五日—濟南電)。

孫傳芳軍の對南準備　孫氏は既に天津を離れ、九月二十五日午後濟南に到著、張宗昌氏と會晤し軍事上種々の打合せを爲し、二十六日直ちに南下の途に上る。

孫軍補充と張大元帥の援助　孫傳芳軍の損失補充は一箇月の日子を要するものなるが、目下揚州なる主力の一部を津浦線方面に集中せしめたれば、揚州清江浦方面の兵力は單薄を免れず。山東軍は徐州附近の軍隊一部を蚌埠に移し隴海線方面にては山東軍は九月十九日より馮軍に對する戰鬪の準備を命令したり。目下孫軍の兵力は約六萬あり。南軍にして北進せざれば專心休養を力むべく、清江浦に入れる南軍は正式軍隊に非ずして土匪式のものなれば重要視するの必用なし。張大元帥は孫傳芳氏の要求に對し既に許容を爲し、軍費糧食は中央政府より籌措し、軍械は奉天・吉林・黑龍江の三省分擔とし、既に步兵銃及彈藥二百萬發と他の機關銃迫擊砲等を接濟したり(以上九月二十五・六日—濟南・天津電)。

南軍は後退し馮軍は隴海線に　南軍は李宗仁の地位動搖の結果、長江を渡りて北の方津浦線に進める第七軍の內部に動搖を生じ、是が爲め第四十四軍は九月二十三日に江北を放棄し江南に向ひて退去し、隴海線方面なる馮軍の布置は第一線を馬牧集に置き鐵甲車隊及二團の兵力あり。歸德には楊虎臣李虎臣の軍一萬あり。開封一帶には孫治公、劉鎭華の部隊を駐在せしめつゝあり(九月二十五日—濟南電)。

南京對唐の武力解決　南京政府は唐生智軍の壓迫に對抗せんが爲め李宗仁軍の一部を召して蕪湖に赴かしめたるが、唐生智は先づ全力を用ひて江西省を解決し、迴りて朱培德をして武漢邊に入らしむる

策を取る。朱部の王均一個師團は既に唐生智側に傾けるに似たり。然るに朱培德が遲疑して決せざれば王部を第三軍以外に置き江西軍の殘部を收合して別に一軍を編成し、王を親軍々長に充て全然湘鄂軍の系統に入らしむべし(九月二十六・七日—上海電)。

唐・馮の妥協は對南京用兵の爲め　馮玉祥は唐生智の提議せる媾和條件に對し全然承認せりとの說あり。馮玉祥側は河南の南部に在る魏益三所部に對して既に撤退を命令し、改めて上蔡に向ひて駐屯し攻新の列に加入せしむ唐生智側も亦武勝關以北の吳尙葉淇の二個師は既に命を下して孝感を撤回せしめ、湖北・河南の間は既に合作を實行せるに似たり。此の合作の關係に因り唐生智は續いて大軍を派して東下し、第三十五・第三十六の兩軍を聯合して南京を取らんことを計ることゝなるを以て、唐は極めて滿足を表せり。かくて安徽より北伐するの計畫を拋棄し、第三十六軍廖磊・唐哲明の二個師をして采石當塗に向ひて前進し南京攻の準備を爲さしめつゝあり(九月二十七・八日—漢口・上海電)。

南京新政府には法律の基礎なし　唐生智は九月二十一日夜突然として殘留せる中央黨部を解散し、同二十三日に至り又緊急會議を開きて對南京の態度を議す。汪兆銘出席して南京遷都の事を說明したれば、唐氏は以爲へらく南京政府には法律上の基礎なしと雖も認めて事實上の政府と爲し、不即不離の關係を維持し新設の政治分會を利用するに如かずと。終に此の議を決定せり。所謂武漢政治分會は同二十一日の成立にて唐生智・顧孟餘・陳公博を選みて常任委員とせるものなり(九月二十四日—漢口電)。

南京政府は中央政治會議を取消す　從來中央政治會議は黨務及政府行政の最高機關なるも弊害多きの故を以て現に之を取消さんことを決定し、中央黨部及國民政府は各其權限に隨ひ一々其權利を行使すべければ各省の政治分會は同じく之を解散し同時に革命軍中の素質不良なるものを裁汰し、總司令を設けずして軍事は悉く軍事委員會より統轄することゝしたり(九月二十五日—上海電)。

浙江獨立は上海財閥と關係あり　李宗仁・程潛及白崇禧軍は江蘇の何應欽軍に向つて猛烈なる壓迫を開始したり。故に蔣介石・胡漢民・何應欽を擁護せる浙江省政府は事態の既に急迫せるを見、突然何應欽を擁して獨立するの態度を執れり浙江派の獨立と上海の財閥とは密切の關係あるが、新南京政府の前途は既に財閥と相離れたる爲め致命打擊を蒙ることゝなれり(九月二十九日—上海電)。

李程兩軍の對唐宣戰　唐生智軍は九月二十三日よりして、安慶・屯溪・徽州の三方面より東北方に向ひ移動を開始せるが、兵額合計五萬人に上る。たゞ程潛・李宗仁の兩部は決定して唐生智と戰を作さんとする結果、第一劉興の軍を壓迫することに決し、第六軍の楊源濬・胡斗光の二個師は皆既に陸續として當塗常州に向ひ出發したり　唐部第三十六劉興軍は此地を四圍せる李宗仁・程潛軍に對し極力防備警戒し居れるが、第七軍と劉軍とは蕪湖の東南十五英里を距る地點に於て

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

兩軍の前哨戰發生し第七軍の方は擊退せられたり(九月二十九日—上海電)。

唐生智の對南京態度緩和の三因　(第一原因)湖北の西方々面なる楊森が曾て數回宜昌沙市の各地を侵擾せるに拘らず終に未だ逞しうするを獲ざりしは實に資望甚だ低く四川の大軍に對し絕えて號令の能力なきに因れり。しかるに今回吳佩孚を擁し出さば四川將領中の吳氏と歷史的關係あるものは倶に加入せざるを得ず。故に吳楊聯合軍の團體は實力頓に厚く氣燄大に揚るのみならず、其の地勢優良にして高きより下きに臨むの利あり。加ふるに唐軍の主力は多く下江に集中せるを以てす。故に此の時吳楊聯軍が眞に能く一致せば軍實の接濟[illegible]けず。勢に乘じて東下し進んで武昌漢口に逼らば誠に唐生智心腹の巨患とならん。(第二原因)西南方面には目下譚系の舊部及許克祥ありて湘南に盤據し、同時に復た貴州省の全權を掌握せる周西城が後援となるあり、現在にては湘軍の派別複雜にして一の純粹なる反唐團體を組織せんこと容易ならず、且つ現時南京に在る賀耀祖・葉開鑫は二將共に純反唐なるも亦殊に近きに就きて援助するの機會なければ何れも單獨にては反りて唐軍の制する所と爲るを恐れ居るも、若し吳・楊聯合して出兵に傾かば貴州の周氏は必ず首として是に響應じ反唐的湘軍が內部より是を聲援せば其の勢の畏るべきは當に正西方面の一路に讓らざるべし。(第三原因)西北方面の襄陽は昔より軍事上の重鎭にして近頃に至り張聯陞此の地に盤據し居りしも、今回張は共產派に逐はれ襄陽の全屬は悉く共產黨の支配に歸し、同時に張の舊部及其の他の各農團を舉げて共產軍を編成したれば、久しからずして所部を率ゐ漢口に沿うて東下し唐生智驅逐を實行せんと聲言し居れり。故に唐氏も亦毫も是を輕視せずして對應策に腐心し居れり。以上の三因あるにより唐氏は一方劉健に向ひ旣に釆石を通過し當塗に集中せる湘軍を安徽邊境に駐め漸次に緩進せしむることを電令し、又一方は推倒を決意せる南京政府に對し近來は緩和なる態度を持するに至れり蓋し長江上游が彼に反對する形勢の如何を靜觀し然る後再び機を見て對南京態度を決定するの意向ならんといふ(十月三日—漢口消息)。

□奉張晋閻開戰記

十餘年間保境安民を標榜し天下の形勢を觀望しつゝあつた山西の閻錫山が突然として奉天の張作霖討伐を宣言し、疾風迅雷的に省境に兵を進め京綏線及京漢線兩方面の奉天軍前衞を襲つて、之を潰走せしめ、一週日を出でずして西は柴溝堡から張家口、宣化と浮足立つた奉軍を追擊して、十月五日には早くも雲州に迫り南は石家莊を一氣に打ち破つて、今や正定の奉軍第一防禦線を脅かし、一面中路

の山西軍は霊邱から淶源を經て直隷省境に向ひ、刻々大部隊を以て東を指し、三路相呼應して北京を目標に進攻を續けて居る。第一戰に敗れた奉天側は諸將領を召集して最高軍事會議を開き對抗一般方略を定めた上で、張作霖の名で閻錫山の不信を鳴らした宣戰布告を發すると、閻の方でも之に對し「僞大元帥の張作霖を驅逐し、國民革命を完成する」旨の通電を發した。

奉天軍の作戰は山谷戰を避け平野戰にて一大決戰をなし、一擧に山西軍の主力を叩き潰すの策を取り、京綏戰の方は長城に據つて張作霖の吉林軍で唯嚴重防備するに留め張學良・韓麟春等の主力を京漢沿線正定附近に集中し、此の方面で決定的の會戰を試みる積りらしい。張宗昌の山東軍と孫傳芳の軍は連絡を取つて隴海線より打つて出づる形勢を示して居る河南の馮玉祥を押へ、場合に依つては自ら進んで同沿線を積極的に西進し、靳雲鶚軍あたりと呼應して馮玉祥軍を攻擊する一方、京漢線の大會戰に背後から山西軍を脅かすの策に出づるかも判らない。一體今回の事端が奉天側の石家莊開け渡し要求に對する閻錫山の激昂といふ丈けが直接原因でない。馮玉祥が閻軍の後押しとして殆ど三路の山西軍と共同戰線に起つの勢が甚大原因であらう。然し彼れ馮の討張目的が衷心からの革命完成も閻錫山應援にありとは思はれない。馮の眞目的は山東進出奪取に在つて、あはよくは北京をも自分の手に收め度いといふ彼れ相應の大野心を藏して居るものと觀るのが近からう。段祺瑞・安福派の暗中飛躍・唐生智の聲援・南京派の北伐などは畢竟景物に過ぎない。何れにしても支那の事はお先眞暗で明日の雲行も豫側し難いのが定例である（十月六日—支那事情）。

□奉天·山西兩軍の軍事狀況

奉晉兩軍は終に軍事時期に入る　前に大同方面に集合せる商震軍は其後忽ち京綏線に沿ひ張家口方面に向つて前進せり。乃ち九月二十七日に奉天軍が永嘉堡附近の鐵路を毀壞して統軍の東進を阻止せるが爲め奉晉兩軍の衝突を惹起せり。又一方石家莊に在る山西軍は僅に步兵二團あるのみにて其防備極めて薄弱なるに似たり（九月二十八日—張家口電）。

柴溝堡の開戰　奉晉兩軍は二十九日午前より柴溝堡に在りて衝突を起し遂に開戰に及び全線に連亙せるが、奉天軍前第十軍々長于珍は二十七日張家口に派遣せらる。此處にて高維嶽に會晤し、同時に張作霖氏の命を奉じ、高部中より暫く一部軍隊を調撥して于氏の統率に歸せしめらる。于珍は卽時新部を率領して柴溝堡の前敵に赴きしといふ（九月二十九日—張家口電）。

奉晉軍隊の比較と現に守れる防地　奉天軍の主力は察哈爾都統高維嶽軍（奉軍第九軍）には兵力約三萬、其の大著軍約一個旅あり、其の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

兵力の配置は平地泉及び豐鎭附近に在り。集中せる騎兵は約一個旅にて其他は西將堡・柴溝堡・陽門堡・張家口等の處に集中す。晋軍は綏遠に都統高唐の所部約二萬人あり。大同の天鎭附近に在るは第八軍譚慶林の騎兵一個旅・楊愛源の一個旅にて、是等の兵力を合せて三萬人に逾ゆ(以上京綏線上にある兩軍)次に京漢線なる兩軍を擧げんに、先づ奉天軍は三四方面軍を以て主力と爲し、其前線は正定・定縣間に在りて、軍隊は第十五軍(汲金純)第十六軍(胡毓坤)第十七軍(榮臻)にて約三萬あり。又保定附近に在る軍は第八軍(萬福麟)第十一軍(王樹常)にて約二萬あり。又任邱河間附近に在る軍隊は第二十九軍(戢翼翹)にて約二萬あり。高碑店涿州附近には吉林軍第五方面軍(張作相)同第十五師及補充旅一個旅約一萬五千あり。又之に對する晋軍は順德高邑・石家莊・獲鹿・井陘等正太路一帶に在るを第三軍徐永昌、第四軍傅存懷、第五軍傅汝鈞、第六軍豐玉璽等の四師とし、計三萬餘人ありといふも、尙ほ多少の變動あるを免かれざらん(九月三十日ー調査)。

馮唐閻の聯盟成立　閻錫山は九月二十九日討奉通電を發して後直ちに左翼總指揮商震・右翼總指揮徐永昌に電令し奉天軍に對して攻擊を開始したるが、かく山西閻氏が奉天に對し強硬なる原因は唐生智代表曾典球・馮玉祥代表伍連鋭が、九月二十四日太原に到着して後、積極運動の結果閻氏は二十五日總司令部に於て商震・徐永昌等の重要將領を召集して會議を開き席上閻氏は奉天軍側の強硬に石家莊退出を要求せしに不滿を表し、左右將領より更に奉天軍出動の消息を報告したれば、閻氏の對奉天態度は始めて決定を見、同時に馮・唐・閻の聯盟亦之に因りて成る。是に於て二十九日遂に討奉通電を發し宣戰を實行せり(十月一日ー上海電)。

段派の縱橫策閻唐に及ぶ　閻錫山の背後に段祺瑞派の活動ありとの巷傳は全く虛傳とは思はれざる情狀あるを見る。所謂段派の活動とは南方の兇威中より北方の時局を救出し、閻錫山と唐生智とを結合せしめ、南は唐を中心勢力とし北は閻を中心とし各々に國民黨軍及奉天軍を牽制せしめ機を伺ひ政權を掌握せんとするものにて、其の大體計畫は(一)北方に對しては閻錫山をして奉天派に一擊を加へさせ、僞に某巨頭を目標とし、能く時代思潮を理解するの新派に對しては力を竭して之と提携すること。(二)南方に對しては唐生智をして一切北方に野心ある群小新軍閥を掃蕩せしめ、一方閩粤方面に潜入せる共產軍を牽制せしめて北方に對する妥協の基礎を造らすこと。(三)馮玉祥個人に對しては亦應に徹底的に驅逐すべしと雖も、しかも國民軍の實力亦侮るべからず。宜しく之をして岳維峻・方振武等と共に山東の張宗昌軍を警備せしむること、の三項なるが傳聞によれば段唐兩氏間には既に一種の默契あり。漢口方面には段派代表の駐まれるありといふ(十月上旬ー支那側情報)。

山東軍の大擧河南攻め計畫　奉天山西兩軍の惡化せしより山東軍は豫め馮玉祥軍が運城より山西に入りて、閻錫山を助くることを防

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

がんとて、劉志陸・孫奎元・徐源泉・張敬堯をして大舉して河南を攻め先づ河北を取り開封の劉鎮華部と共に合して開封鄭州を攻めしむる計畫を立て居れり。而して馮軍も亦其の擔任せる山東攻擊を實行せんと欲し既に重兵を歸德方面に集中せり(十月二日—濟南情報)。

柴溝堡・張家口の奉軍敗戰　奉天側の騎兵一個師と山西側の三個師とは九月三十日より既に柴溝堡附近に在りて大衝突を開始し激戰すること二晝夜の久しきに亘り、奉軍利あらず。之に因りて張家口は不安の狀態に陷り、十月二日朝高維嶽既に自動的に宣化に退き、張家口の警察署長亦職を離れ、該地は遂に山西軍に占領せられたりと傳へらる(十月三日夜—某方情報)。

奉天系幹部の具體戰略五項　(一)津浦線は第一方面軍より要隘を扼守し暫く保境の主旨を持す。(二)閻錫山今回の反奉は馮玉祥を後援と爲せるを以て該路を最も重要とす。第二第七方面軍(直・魯軍)は應に原定の步驟に依り努めて開封・鄭州に向つて發展し、以て馮・閻の聯絡を斷つべし。此の路の總副指揮は仍ほ張宗昌・褚玉璞を以て分擔せしむ。(三)閻錫山は奉天側の主力軍が京漢線に在るに因り、京綏線に對して猛攻す。其の意兵力を分散せしむるに在るも、其の實閻の目的は仍ほ京漢線を注重す。此の線は張學良・韓麟春より指揮を擔任し先づ守勢を取る。(四)京綏路方面は既に張作霖・湯玉麟より總副指揮を分擔し、一切原定計畫に依つて進行し、亦應に先づ守勢を取るべし。(五)討閻の事に關しては大元帥より(一冬)二日附電を發するを除くの外、應に再び一明令を補ひ以て中央が已むを得ず兵を用ふるの苦衷を申明すべし(十月三日夜—北京情報)。

奉天軍の京漢線集中　京漢線上に在る奉天軍は山西軍が積極的進攻の勢に鑑み兵力集中の必要を感じ、既に京漢全線に散在せる奉天軍に命じて一律に高碑店一帶に集中せしむ目下各該軍は均しく陸續として集中しつゝあり(十月四日—某方消息)。

馮・閻兩軍將に大に戰はんとす　馮玉祥軍は約一周間前即ち九月二十七・八日頃既に閻錫山との協定成立し遂に豫西・豫南の各軍を鄭州附近及隴海線歸德方面に集中せしめつゝあり。蓋し馮は奉晉開戰の虛に乘じ直ちに山東省を攻めんとするに在り。而して開封歸德等隴海線路各軍の總指揮は鹿鍾麟之を擔任し、鄭州に集中せる軍隊は馮玉祥親しく指揮に任じ、目下既に山東を攻取するの行動を開始するに似たり。顧ふに馮玉祥の意志は僅に山東を奪取するに在らず。其の最後の目的は北京をも併せ取らんと欲するに在り。今京綏線方面には馮軍更に一兵一卒をも派せざる事實より之を觀れば、該方面は全く山西軍の擔任に委し、馮軍は先づ山東を取り、繼いで北京を攻取せんとすること明白なり。故に山東軍も之に對し極力防備しつゝあれば近き將來に馮・閻兩軍が該方面に在りて大戰を開始するは既に疑ふべからざる狀況なり(十月四日—某方消息)。

京漢路奉天軍の總攻擊　京漢路方面にては、十月三日より山西の便衣隊千名は滹沱河に據れる奉天軍を襲擊したるも擊退せられ、其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の半數は虜にせられ、奉天軍の後方部隊は陸續として該方面に向つて行進し、四日より戰鬪を開始し、五日山西軍に向ひ總攻撃を行ふ手筈なり(十月五日—天津情報)。

馮軍の兩路北進　馮玉祥は閻錫山を援助せん爲め第一第二の兩軍主力に命じて鄭州に集中せしめ、鹿鐘麟を總司令として北京方面に向つて發展するに便じ、一方又別動隊を以て道を隴海線に取り、張宗昌・孫傳芳兩軍の聯絡を截斷するに便せり。(十月五日—天津情報)

定州以北奉晉兩軍の戰　山西軍は張垣を占領せし後に於て戰略上より京綏線方面にては先づ消極的態度を持ち、一方京漢路線に沿ひては山西軍第一軍の主力部隊を以て轉じて攻勢を取る。奉天軍は既に退いて定州の北部に至り、東西に羽翼を張るの陣勢を成して山西軍の來り撃つを待ち設けたり。是に於て五日夜より起り六日の朝迄に終局せる兩軍の主力戰開始され、奉天軍第三四方面軍の山西軍主力に對し激烈なる戰を作せるに拘はらず、山西軍の進撃頗る急にして稍奉天側に不利なるを以て、作戰上の關係に因り奉天軍は七日朝自動的に定州を放棄して保定の南方に集中し、山西軍の大部隊を誘ひて保定平野に入れしめんと力む。故に奉天軍の總攻撃實行は將に十日前後に在らんとすといふ(十月五六七日—某方情報)。

軍事眼より觀たる奉軍の陣容　京綏・京漢の兩路に於ける奉天軍の陣容を觀るに、すべて軍事上の布置は路程の遠近と正比例を爲すものなれば、之を標準とし彼我の攻防を斷ずべし。柴溝堡事變發生の後、該堡以西の停車場はすべて山西軍の奪ふ所となれり。山西軍の集中地點は大同にして攻撃の目標は張家口ならん。大同より張家口までは僅に三百支里にして汽車にては半日程に過ぎず、運輸至りて便利とす。奉天軍は平日山西の閻氏を信ずること深かりしより事前に何の準備もなく、軍隊の策源地は北京に屬せり。北京より張家口までは約四百支里内外にして大同張家口間に比すれば百餘支里の遠さあり。當時後方軍隊の策應を料るに戰線を短縮するを妙とす。故に奉天側は一切を顧みず、夜間に急に退いて下花園を守れり、該地は北京を距る僅に百四五十支里にして軍隊の輸送に便なり。山西軍は奉軍戰略の神變に對し自ら照顧及ばざるの苦あり。中間に時間の餘裕を生ぜしめ、陣地の工事を鞏固にし集中亦速なり。故に此の路の奉天軍は稍反攻に出で山西軍支えずして直ちに潰ゆ。かくて進まば宣化の克復は蓋し問題にあらず。又京漢線に在りては、初め山西軍の出動せる時奉天軍の正定に在るものは僅に第十五軍汲金純部のみ。而して山西軍の集中地點は自ら石家莊を主とすべし。正定より石家莊に至るには僅に二十八支里にして進攻自ら易し。其時奉天軍の大部分は保定の左右及北京天津の一帶に在り軍隊集中の便利を謀るには同じく戰線を短縮せざるべからず。望都より保定までは七八十支里なるに望都の正定を距ること百二十餘支里あり。故に望都に集中すれば山西軍の前進を阻むに足り、又能く陣地を布置するに便なり。陣地既に成れば砲火を先とし歩兵戰に用なし。しかも時既に秋末に當り青

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

梁参謀も皆取入れ後なれば、一望平坦なり。奉軍高きに居て下視すれば射撃中り易きの利あり。韓麟春軍團長は望都に在り。張學良軍團長は仍ほ保定に在りて機宜の策畫中なるが、八日張大元帥より三路攻撃の令を發せられたれば、九日夜か十日の朝には當に捷報に接すべきなりといふ(十月七日―某軍事家談)。

奉軍總攻撃令　保定第三・四方面軍團長等に對し張作霖氏は大元帥の資格を以て八日附下の如き三路(京漢・京綏・隴海)總攻撃令を下して曰く、「閻錫山・馮玉祥ソヴィエット露西亞に勾結し共和に背叛し赤化を推行す。前に令を下して討伐せしめたると同時に閻錫山が翻然悔悟し以て和平を維ぐを盼むこと各記錄に在り。玆に敵軍の情狀を查するに、純ら前進陣容たり。我が軍は共和を鞏固にするが爲めに計り、自ら應に攻撃を施行し以て赤氛を靖むべし。(一)本令到著の時、張學良・韓麟春は應に第三四方面管轄の各軍隊を率領し、保定より定められたる陣地を經過し、石家莊に向つて進發すべし。(二)本令到著の時張作相・湯玉麟は應に第五方面管轄の各軍隊を率領し、下花園より宣化・張家口を經過し、大同に向つて進發すべし。其の萬福麟部は仍ほ原定戰線に依りて進攻すべし。(三)本令到著の時、張宗昌・褚玉璞は應に第二・七方面の各軍隊を率領し、濟南徐州より東明・曹州・夏邑等の地を經過し、開封・鄭州・運城に向つて進發し、大軍到る所の地には務めて黎庶を安輯するを以て主と爲すべし」と。以上の令は九日午前二時頃前方各軍事長官に到達せし筈なれば少くとも同午前五六時の頃各路とも總攻撃を開始すべしといふ。

南京政府と馮・閻との北伐協定　馮玉祥が石家莊にて發表せる馮・閻南京の三方面の北伐協定は既に全く成立し、其の大體方針は既に確定せり。卽ち何應欽・白崇禧の軍隊は楊州を以て起點と爲し東部海岸方面を擔任し、海州を經て青島に入るべし、李宗仁軍は浦口を以て起點と爲し、津浦線に沿ひて一氣に北上すべく、何健劉興の軍隊は安徽より徐州に出で該地を以て中心と爲し、後方防守事宜を擔任すべく、鹿鍾麟軍は歸德より徐州に向つて出動し、卽ち徐州に在りて李宗仁軍と師を會して北上し山東を平定すべく、其の北京に進攻するの責は專ら閻錫山より擔任すべし。若し必要の時に至らば馮軍の一部をして京漢戰線に加入せしむべし。而して今後の地盤に至りては、大體の分配を決定せること下の如し。(一)北京地方　臨時閻錫山・徐永昌二氏より之を維持し、北方政治問題は關係各方面の聯席會議を以て之を解決す。(二)商震軍は北京占領後天津に赴き京奉線と津浦との連絡を截斷し、後續部隊の到著を俟ち奉天を關外に驅逐す。(三)何健軍は安徽を中心として安徽境に駐り、以て唐生智軍と南京派各軍との緩衝地と爲し、根本的妥協に資す。(四)何應欽・白崇禧・李宗仁の各軍は徐州攻下の後、一部は江北に留り大部分は江蘇・浙江二省に撤退し、南京政府の基本軍隊に充たらしむ。(五)馮玉祥軍は河南を中心として河南境に駐り、山東に在りては關係軍隊を斟酌して留め、以て膠濟・隴海二路の連絡を保持す(十月初旬―天津外紙)。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

京漢線奉軍の總攻開始と勝利　京漢線方面の奉天軍中路第十六・第十七軍は望都の線に向つて後退し、一方右翼第十軍も亦曲陽より後退せるが、今や準備の完成するに隨ひ、左翼第二十九軍は突然攻勢に轉じ山西軍の右翼を旋廻して前進を開始し、八日安國を占領し、同時に中路第十六第十七軍は第十五軍を命し、八日朝より攻勢に轉じ、十月十日に至り全線に亘り總攻擊を開始し一齊に前進し、中にも第二十九軍は前日より苦戰惡鬪すること五日間十日に始めて定州を占領したる爲め、山西軍遂に支えず、鐵路に沿つて後退する能はざるに依り、一部は鐵路の西北方に向ひ、一部は西南方山地に向つて潰退したり。蓋し今次奉軍戰勝の直接原因は左翼第二十九軍の旋廻に在り。該軍の損失稍大にして軍長戢翼翹も負傷したるも、山西軍は退却の際鐵路を離れたる山地に向つて潰走したるを以て一大失敗を招き爲めに致命的大打擊を被るに至れり。又奉天軍の別働隊は德州より正太鐵路を衝擊し石家莊の後路を截斷せんことを謀り、別に大名より進軍せる直督軍孫殿英軍は早くも石家莊を占領せんとするの勢あり。此の役山西軍の約一師團は全軍覆沒の厄に罹り、旅長二名團長七名も皆戰死せりといふ(十月十一日—天津消息)。

奉軍今後の策戰は京漢線より京綏線へ移らん　京漢線一帶に於ける奉天軍は既に攻勢に轉じたるは明白なり。然るに今後の策戰は最も暴虎馮河的の猛進を爲すべからず。山西軍にして若し能く完全に其の敗兵を退却せしめ、兵力を淶源方面に集中せば、奉軍の之を攻擊するは頗る困難ならん。且つ同時に京漢線直隸南部より來るの馮軍の攻擊に對し充分の準備あるを要す。是れに因つて石家莊より娘子關を攻擊するの法はあるべきも娘子關以西深く山西境に入れば兵の運用上奉天側に不利なり。故に今後奉天の採用すべきは京漢線方面の安全を得て後、更に京綏線方面より山西軍に猛擊を加へ、更に天鎮・陽高・大同の各方面より山西省に進攻を得策とすべしと某軍事家は語れり(十月十一日—北京消息)。

閻軍既に娘子關に總退却　奉天軍の總攻擊に敗れたる閻氏は既に山西軍に命ずるに娘子關に向つて總退却すべきを以てし、又京漢線正面の奉天軍は該方面に向ひ出動せる直督軍と完全なる聯絡を取り威力益々雄厚となり。正定石家莊の占領も近日内に在らんとす(十月十二日—北京消息)。

奉直督軍相會して石家莊占領　奉天軍飛行機の偵察報告に據るに。直督聯軍と奉天軍の騎兵とは既に石家莊を占領せるが、當時山西軍の損失は甚だ大にして其の大部分は阜平方面の山地に向つて逃竄し、奉天軍は第十軍を以て既に追擊中にて、奉天軍の主力は平山方面に向つて進擊中なり。又是の役に於ける奉天側の鹵獲品は現に判明せるものに步銃一萬挺大砲迫擊砲等七十門機關銃三百挺俘虜一萬人以上あり。又石家に建築されたる倉庫等に屯集されある多數の軍需品も其の鹵獲する所となれり。又京漢線方面の奉天軍は曲陽の西方阜平に向ひ山西軍を追擊中なり。かくて京漢線軍事正面の各軍は十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

月十三日新樂に在りて集中し、右翼は既に獲鹿に到着す。

山西軍失敗の主因　今次山西軍大敗の主因は約下の如き七點に在り。(一)奉天軍兵力の推算あまり少きに失す。(二)山西軍には實戰の經驗なく實力兵器皆頗る缺乏の弊あり。(三)奉天軍の戰略上山西軍對應の狀甚だ明瞭ならざらしめたり。(四)戰略上奉天軍を石家莊に誘引し、而して馮軍と力を協せて攻擊する能はざりしこと。(五)馮軍は直魯軍及唐生智・靳雲鶚等の牽制する所と爲り、有效的に山西軍と呼應する能はざりしこと。(六)國民政府分裂後は南方の各派皆獨立の形を成し、力を併せて北進する能はざること。(七)戰局の奉天に利あるを以て、閻に內應を許し居るもの躊躇して進まざりしこと。

涿州を占領せる山西便衣隊の第一回失敗　十月九日出發し同十日黎明涿州に進入占領せる山西便衣隊は該地方一帶の土匪より成れるものにて、只短銃手榴彈爆彈を有するのみなるが、急を聞きたる豐臺の奉天兵一團は十日直ちに涿州に向ひ該城停車場を距る一支里の地にて下車し進んで便衣晉軍を擊ち破り急追急攻の結果烏合の匪隊は其夕七・八時頃城內に放火掠奪を恣にし畢りて四散逃竄せり。十二日より。十三日朝に至るまでの間に城內城外の匪隊を一掃し、俘虜は既に長辛店の收容所に送り去れり(十月十四日—北京消息)。

奉軍の具體的戰略　十九日奉軍各幹部協議の結果大體の決議下の如し。(一)京漢線の最前線は獲鹿を以て止と爲して一時前進を中止し、該方面の兵力を整理の後、石家莊に集中し、務めて迅速に第二段の娘子關攻擊を準備するを求む。(二)京綏線の最前線は柴溝堡を以て止と爲して、一時前進を中止し、該方面の兵力を張家口に集中し有力の騎兵を以て、一枝隊と爲し、懷安方面に迂廻す。(三)かく前線に於ける準備中、務めて迅速に涿州門頭溝及密雲等の處の山西軍を撲滅せんことを求む。(四)近畿各地の不靖に歸する後を俟ち張學良、張作相等各前線の幹部を召還し、再び山西に攻入る具體的計畫を決定す。以上の四項は十九日既に張作霖氏より裁決し各關係軍長官に向つて命令を發したり(十月二十日—某方消息)。

□河南・山東兩軍戰爭の發端

徐州以西の山東軍動員　北方奉天・山西兩軍の開戰するや、河南の東境なる馮玉祥軍も亦漸く東方に逼るの勢あり。直隸・山東聯合軍の最前線は碭山以西の楊集一帶に在りて現に直隸第三師團張遜延の全部駐屯し、近日に至り防禦最も嚴なり。十月四日夜、馬牧集に駐れる馮軍と小衝突を爲し、双方僅に十餘發の發銃のみにて相分れぬ。(馬牧集は碭山・楊集・柳隄閭以西に在りて。河南東境の邊陲にして元と馮軍の陣線に歸しありし地)直隸山東當局は徐州以西の防線を鞏固にする爲め、もと各處に駐防せる各隊伍を移して西進せしめ、碭山下

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

樓一帶に重兵を集結して先ずれば人を制するの準備を爲し、六日動員令を下し、第六軍及第三師並に第一第二の兩混成旅騎兵團等に通知し六日午前八時に出動せしめ、直隷第三師張部を以て前鋒に任じ、徐源泉を中路隴海線總指揮と爲し、(一)直隷第三師は從來の姿勢を以て涿山・方樓間に在り、河南東境に向つて厳密に警戒して同本軍の集中を掩護すべし。(二)第一旅馬龍章部は原防地より碭山に向つて發し、第二旅趙懸勳部は涿山の西北なる大李莊に向つて發し、均しく右側を擔任し、單縣に駐れる山東軍第二十四軍潘鴻部と聯防すべし。(三)蕭縣に駐れる騎兵團申駿五の部は至急に勤務事務を結束し、八日拂曉を限り同龍集に至りて命を待ち、鐵路の左側に任じ、永城に駐れる第二軍張敬堯部と聯絡せしむ。(四)第六軍第二十三師五十五旅丁來源部・六十三旅倪古魁部・八十三旅王殿忠部は均く黄口・楊樓一帶より碭山縣の卞樓附近に向つて出動し此に集中すべし。(五)豐縣に駐れる第六軍徐團は八日を限り碭山に到達し馬龍章旅長の指揮に歸すべし。(六)暫留第三十三旅秦毅(第六軍)部は黄口に駐りて防務に服し、接防到達の後を俟ち命を候ひ前進すべし。(七)彈藥と給養所とは大李莊に設く。但し第三師及第一第二の兩旅給養所は碭山に設け野戰病院は黄口に設く。六日野戰病院々長何章衛生大隊長侯宗嶽は均しく隊を率ゐて歩行し。徐西より發すべし。右の計畫にて出發せる各部隊は一人每に歩兵銃と子彈二百粒を給し、別に迫擊砲彈一百顆機關銃彈五千粒を與へ、均しく六日中に補充を畢りたるが、張宗昌よりは戰時軍令四條を頒ち徐州に到達せり。即ち「(一)軍紀恪守(二)協同動作(三)敵情を虛報せざれ(四)敵の銃器を俘獲せよといふ是なり。

東路軍隊の徴集　徐西軍事の急發により東路に駐れる第三・第一の兩軍は相續いで徐州に返り、必要の時四方に向ひ援助せしめ、第三軍程國瑞部第二十六師黄鳳岐第四十六師央傑の兩部は均しく運河より徒歩して徐州に集り西關一帶に駐紮せしめ、運河に駐れる炮兵四旅林泰部第二團は五日に一營を徐州に徴せられ、其の第三團何潤五の部も六日に迫擊砲等を持ち續いて徐州に來り餘部は續いて出動し、且つ安徽北部一帶に向つて移動するの說あり。東路の防務に至りては暫く第一軍第十三師顧震部・第四軍方永昌部第十一軍張宗輔より維持せしむ。

中路は七日まで變動なし　中路の正面には戰爭なければ防線未だ變動せず。孫傳芳軍第四師上官雲相部第七旅第十三團は近く徐州に在りて、補充を了り次第其の團長劉廣濟より率領し六日夕兵車に乘じて徐州に至り夜間出發して蚌埠に赴く。(以上十月七日—徐州消息)

□湖廣に於ける共產軍の經過

一勞農政府の發酵　唐生智は漢口に在りて汪兆銘及顧孟餘の二人と一勞農政府を組織するの事を談判するに似たり(九月二十四日—ル

ター上海電)。

馮・唐の合作條件　唐の提出せる條件は大約二點あり。(一)馮は須く唐生智と一致の態度を取りて南京新政府に對すべし。(二)馮は須く信陽を以て高桂滋部に歸して駐紮せしめ、同時に河南の南境なる魏益三の部隊を北方に移調すべし(同二十三日漢口電)。

ガロンの新策略　ガロンは漢口に留り常に洛陽なるボロヂンと相聯絡して馮・唐の爲め其の合作を謀りつゝありといふ。但し同將軍が漢口より上海に出で浦鹽から露國へ歸るべしとの說あり。聞く馮玉祥の軍中には露國の軍事顧問尙ほ多く、今回馮・蔣戰爭中には大に活動し、馮軍の最後勝利を得たるは多く此等の顧問の力に出でたりといふ(同二十三日—上海電)。

共產軍の廣東東部橫行　江西省より廣東省へ竄入せる葉挺・賀龍の共產軍は已に汕頭上游の大埔・松口・三河壩を突破し潮州に向ひ進軍中に在り。王俊軍は敗れ錢大鈞の軍は行動不明なり。汕頭司令部は現に揭陽に向ひ撤退するの準備中にて市內は動搖せり。尋で聞く共產軍隊は已に潮州を占領せりと。故に汕頭地方の中國官長は已に退却し、同地には劫掠行はるゝこと已に數事に及べり(九月二十・二十四日—汕頭上海電)。

農民軍の響應に驚ける李濟琛　葉賀軍は潮汕に進入し惠陽の農軍と結合し紫金に在りて進發しつゝあり。李濟琛自ら惠陽に赴きて師を督し省防は歐陽駒に渡して代理たらしむることゝしたり。葉賀軍は農民軍の內應を得たれば東江の軍事は緊張し來れり。錢大鈞部は興甯・梅縣に集中し、二十一日大埔を防守せる王俊部は南の方潮安に退き汕頭は震動せり。駐防軍は銃器子彈を船に移して不虞に備へつゝあり。陸豐は農民軍に攻陷せられ縣長は香港に逃れ省に向つて援兵を請へり(九月二十三日—廣州・香港電)。

張部黃祺翔部廣州に歸著　二十三日朝張發奎部黃祺翔は部隊を率ゐて廣州に到著し、李濟琛及省政府は委員を派して黃沙に赴き歡迎したるに、同軍は命を奉じて歸廣休養するに到りたり。孫中山氏の民と結合するの訓を忘れざれば各方面の幸に疑はるゝなからんことを祈るとの布告を發したり(九月二十三日　香港電)。

共產軍無抵抗にて潮・汕占領　現に大埔に於ける賀・葉兩軍は二十三日午後四時半潮州に進入し、王俊軍は撤退して汕頭に返る。汕頭市內は之が爲め大混亂を生じ、二十四日より葉軍の先鋒は汕頭市に出現し、市內の農民工人と呼應し、先づ公安局監獄を破りて囚人を釋放し、市內の商店は悉く門を閉ぢ警備司令部以下の軍人政客は其の前日よりして皆支那船に乘じて上海香港に逃げ去り、二十五日午前五時二十分葉挺自身入市したり。日本軍艦宇治・蔦の二隻は二十四日陸戰隊を派して上陸せしめ僑民を保護し領事館を警備せり。又葉挺入市後市內の秩序は已に恢復せり(九月二十六日—香港電)。

陳濟棠軍の葉軍歸附　王俊と錢大鈞とは梅縣に在りて、相合し將に福建に入らんとす。葉挺軍は二十二日潮州に入り揭陽よりせる陳

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

濟棠軍と聯合し二十四日汕頭に向ひ進軍す。葉挺軍の前驅となりて跳梁せる農民軍の一部は已に汕頭市に入れり（九月二十四日ー汕頭電）。

赤旗汕頭全市に飛揚す　葉軍入汕の後、錢大鈞・王俊の軍は退いて揭陽に至り、二十四日朝汕頭全市中には赤旗閃き滿ち商店は皆閉息して開市せず（九月二十五日ー香港電）。

赤・民聯合して惠州博羅進攻　潮・汕陷落の後王・何各軍の殘部は海陸豐に向ひて撤退したるが赤軍は潮州属民軍と聯合し進んで惠州博羅を攻め形勢極めて緊張せり。李濟琛は黃祺翔をして第四軍六千餘人を率ゐ夜中に惠州に赴き、別に入伍生三團を派し廣九鐵路を扼守せしめたり（九月二十六日ー香港電）。

賀・葉潮汕に共産政府を設けんとす　潮汕占領の賀・葉共產軍は自ら北江方面より廣州に入るの張發奎・黃祺翔軍と諒解ありと稱し、南昌に在りて組織せる革命委員會の精神に依り潮州或は汕頭に在りて國民政府を樹立し福建・廣東の兩省に跨り大に聲勢を張らんことを計畫しつゝあり。又該革命委員會は即ち八月南昌に在りて、孫文氏生前の組織に依りて組織せるものにて、委員二十五名よりして成り其の主席團を鄧演達、宋慶齡・賀龍・譚平山・惲代英・郭沫若の六名と爲す。中にも有名なる創作家前武漢政府宣傳課長郭沫若を政治部主任兼交涉使と爲し、徐光英を公安局長と爲す。其他有名なる共產黨たる楊石魂周恩來等均しく之に參加せり（九月二十六日ー汕頭電）。

共產軍遂に敗退す　九月二十六日黃紹雄部は松口にて大勝し、惠州方面の廣東當軍も亦進展したれば、二十七日正午より葉賀軍は二路を分ちて汕頭を退出し、分れて揭陽・澄海に向へり。姚雨平は陸兵六百を率ゐ飛龍・安平及汽船二隻に乘じて汕頭港に入り、陳濟棠の到着を待ちて上陸し、汕頭の治安は農民軍及工會にて維持することゝなれり（九月二十七八日ー香港汕頭電）。

賀葉退去後汕頭の無政府　賀龍二十五日に入汕し、二十七日揭陽に去り、葉挺は潮州に在りて戰の準備を爲し、陳濟棠・黃紹雄の軍を抵禦するに便すと雖も、一般形勢は賀葉軍に不利なるを以て、賀は汕頭總商會に軍費四十萬元を要求したり。商會は只其の半額を承認するのみにて主要商人は悉く香港に避難し、市内の商店は門を閉ぢ全く無政府狀態を呈し人心恟々たり。省軍は大隊未だ到着せず錢大鈞黃紹雄各部會合して賀葉軍を包圍し來り共產軍の影甚だ薄し（九月二十八・九・三十日ー汕頭香港電）。

張發奎軍歸廣後の影響　武漢軍事が道を江西に取りて南下せしより、自稱第二方面軍張發奎軍は九月下旬陸續として廣東に歸れるに、李濟琛は表面是を歡迎せるも、李部は事實上決して張軍の主力第四第十四軍の黃祺翔・朱暉日兩軍の敵に非ず。故に李派の勢力大に動搖し、市上亦「汪精衛擁護」、「地盤割據の惡勢力（軍を指す）を打倒せよ」、「粵人治粵」などの傳單さへ出づるに至り、李系の財政廳長馮祝萬・公安局長鄧彦華・軍事廳長徐景宗等皆辭表を提出したり。張發奎は身香

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

港に居り黃・朱二人をして廣東の地盤を解決せしめんとす。是に對し李濟琛は潮汕警備司令王俊が賀・葉聯軍に敗られ陸豐に在りて辭職を申出でたるを機とし、張發奎に委するに東江各軍を以てし、黃祺翔を前敵指揮とすることに決し若し能く戰ひて共產軍に勝たば潮汕司令を張に繼がしむることゝしたり。張は是を諾し惠州に赴きて戰を督し。黃は既に兩團を派して東江に向ひ戰を助け師長李漢雲を指揮としたり。

廣東全く張軍に占めらる　張發奎は二十八日既に廣東に入り、事實上軍政兩方面共李の勢力を奪取せり。張が李濟琛の宴に赴くや大略下の如き相談を爲せりといふ。(一)唐生智と決絶すること。(二)李に汪兆銘を擁せしめ、汪を催促して廣東に歸るやうすべく勸む。(二)兩廣の軍閥團體を鞏固にし朱培德に聯絡せしむ。(九月二十九・三十日―香港電)

奧局漸く變化　廣東の淸黨委員會は張發奎に解散せらる。李濟琛は大勢日に非なるを見、東渡大演習參觀の舉あらんとし、從前南京政府と關係ありしを改めて武漢側と提携することゝなり、各要職は張派人物の據る所となり、黃紹雄は張に聯絡し葉挺亦張の粵人治粵の新政策を贊成するが如し。又香港汕頭間の交通恢復し、廣東總司令部は十月一日に收束され、其の事務は八路總指揮部に渡され、各機關の總指揮より直轄するは各軍の司令部・黃埔學校・各師・各要塞及衞隊司令部・航空軍需各兵工廠等なり。かくて孫科が南京より軍費の急送を電催し來れるに對し廣東は返電して云く汕頭事變並に張發奎部を收回せる爲め軍費が重り命に應じ難しと。これによりて張が武漢に聯絡して南京に反對せるを徵すべきなり。(九月二十九・三十日―廣州・香港・上海電)

張は軍事廳長に就任　張發奎は十月一日軍事廳長に就任し第二師長朱暉日は公安局長に任じ、前軍事廳長徐景棠は日本大演習參觀を名と爲し二日に東渡すべく、朱の公安局長となるや李濟琛のクーデターに依り五箇月監禁のものを釋放し、一般の樣子は明に汪兆銘を支持し武漢派に親近するの傾向あり。又汕頭の賀葉軍に對し張軍は明に親善提携の口吻を洩せり。されば賀龍軍は二十七日夜再び汕頭に入りて市政府を組織し、現金の出港を禁じ、省軍は軍艦上に退歸せるが該軍は現に惠州を總兵站と爲しつゝあり。(十月一日―香港電)

奧東の共產軍漸く振はず　梅縣なる錢大鈞軍は陳濟棠軍一團と相合して潮州を占領し、王俊軍は陳軍一團と相合して右翼軍となり、大埔方面より三河壩の葉挺軍を壓迫し、惠陽方面の賀龍軍は東莞方面を迂廻し、梅縣より北上して江西に入り、王俊の警備隊巡警は十月二日より汕頭市内に入り治安を維持せり。是に於て反共軍亦汕頭を占むるに至れり(十月二日―汕頭・香港電)。

張の擁李と右派の汕頭市　張發奎は不日(一)李濟琛擁護(二)貪官汚吏土豪劣紳の肅淸(三)共產黨反對(四)國民黨員の一致團結を宣言せんとし、明に南京政府に反對せるは、其の前に南京政府の武南合作

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を唱ふるは西山派の陰謀なりといひ、中央特別委員會を目して紊則を紊亂せるものと爲して痛く攻撃を加ふるを以て知るべし。而して又黄紹雄軍二萬五千人が九月三十日汕頭に入るや左派二人忽ち隱匿し、右派團體の勢力再び市上に顯はれ、市內各處に貼附せる宣傳文は一變せり。賀葉軍の汕頭に在る前後七日に過ぎず、而して總商會より搾り取りし現金は實に十二萬元に達すと雖も、一朝賀葉軍の退去するや粤軍市內に入り來り全汕既に平穩に歸せり。（十月三日—汕頭電）

□中國關稅實況

國人（中國人）の吾が國（中國）關稅問題に對し、最も心痛せるものは、吾が國（中國）稅源の外國人の爲めに抑制せられ、關稅自主の不能となり、主權は其損害を受け、經濟の束縛せらるゝ事なり。然るに數箇月來目前の關稅狀況を詳細に考慮すれば、心痛すべきものは更らに大なり。關稅の自主不能は、異日條約の改正により、即ち補救の法無きにあらざれども、目前の心痛に堪へざる狀況に至りては、國人（中國人）の根本的覺悟を有するにあらざれば、即ち將來關稅の自主するに至りし後と雖、恐らくは即ち關稅自主の利益を見ること能はざるべし。所謂目前最も心痛すべきものは、關稅の行政權にして、完全に自己の使用する外國人の手を藉り、而かも此外國人の我を支配し得るは即ち一として吾は我より取らざるは無し。吾が國（中國）は關稅を有するに至りしより今日迄で、常に統系ある財政々策無く、海關は外國人の手を藉り、最も重要なる財權をして、其操縦を受けしめ、財政に政策無きを以て、最も好き稅源をして、建設の用と爲すを得ざらしめり。

茲に項を分ちて之れを略言すれば、吾人の關稅問題に對し、應に力爭すべきものは、僅かに自主の一項に止まらず、其他尙或方法を設けて之れを補救すべきものあるべし。

（一）關稅の收入額・預入・引出及分配

辛亥革命以前、海關の事務處理員は、外國人を用ひしと雖、而かも總稅務司は稅金に對し、直接管理權無く、其權限は各開港場の稅務司に命令し、稅率に從ひて徵收せしめたるに過ぎず。稅金の預入及其引出と分配は、悉く各海關道或は海關監督によりて處理せられたり。此制度は未だ正式に預金すべき銀行無く、復た引出と分配とに嚴守すべき章程無きを以て、弊害百出せり。辛亥に至るに及び、各省は紛々として獨立し、稅金に動搖を來したるを以て、總稅務司は即ち所有稅金を一外國銀行に預入し、竝びに各省の運用を拒絕すべく命令せり。外交團は同時に亦干涉し來り、此後關稅は完全に稅務司の管理に歸し、竝びに各國銀行委員會を組織せしめ、該委員會をして外債及賠償金の支拂を監督せしむべく要求せり。吾が國政府（中國政府）は

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

民國元年正月より之れを許さざるを得ざることゝなりしかば、是に於て所謂保管銀行を有するに至れり。每月九日、十六日、二十三日及月末の最終日に於て、各開港場の稅金は匯豐銀行に集中し、再び該行より保管銀行に分配し、以て外債及賠償金を支拂ふことゝなれり。其後吾が國(中國)の借款に對する信用は、維持するを得たりと雖、而かも大幅は即ち著しく傷害せられたり。

海關稅金及通商港を距る五十支里以內の常關稅金の外、總稅務司は亦他に徵收權を有するものにして、內外商船の噸稅・民船の容積稅・中國商船の船號登錄費、中國商船の鑑札費、內外商の海關章程違犯の罰金、更らに九龍拱北兩關の百貨厘金・砲臺の經費、各處特設の江捐(江稅)、河捐(河稅)等を徵收す。又長江の陸谿・武穴・湖口・安慶・大通の五處は、上下する船客貨物の常に出入せざる港なれども、其徵收せる厘金は、江漢關に護送交附せらるなり、但し其金額は甚だ僅少なり。總稅務司の徵收せざる稅金にして、外債の擔保となれるものには、上海・杭州・蘇州・九江の厘金あり。而して此四處の厘金收入は今や皆已に地方の截留する所となれり。

外債賠償金の計算は、每月總稅務司より稅務處に報告し、海關、常關の收入及詳細なる支出は、即ち三箇月每に二回報告す。此種の報告は、一種の案に備ふる性質を有するに過ぎざるなり。

(二) 關稅配分の順序

關稅の徵收後、其支出には一定の順序あり。而して始めて支出するものに又三種あり、(一)稅關經費、(二)銀行の手數料、(三)外交團の許可を得て政府(中國政府)に交附する特別金即ち是れなり。

海關の經費の增減するは、海關の設置數の多少によりて決定するものなり。最初設置されたる海關は計十四處なりしを以て、每年の海關經費は、七十餘萬兩に過ぎざりしが、其後陸續として各關の增設を見、今や四十處の多數に上りしかば、其經費も亦五百七十萬兩に增加せり。各關の經費は事務の繁簡によりて定り、最少なるものは、每月一千餘兩に止れども、上海の海關は即ち每月十萬元を要す。各關の每月送金するには、先づ其經費を天引す。正確なる經費に對し、稅金の不足せる龍州・思茅等の如きは、即ち其近隣の稅關より之れを協濟す、各海關監督の經費は、亦海關より支出し、政府の特別金に至りては、防疫費、治河費及其他所謂治安費或は建設費の如きにして、此種金額の支出は、外債賠償金の先にあり、然れども其影響は外債賠償金の額に及ぼすにより、外交團の許可を受くべし。前項の各金額の分配されたる後、關稅に對し優先權を有するものは、即ち外債、賠償金及賠償金を擔保となせる內債にして、其次ぎは善後借款、更らに其次ぎは即ち關稅剩餘を擔保とせる內債なり。若し更らに剩餘あれば、即ち政府は自由に使用し得べし。然れども斯くの如きは即ち現在恐らく容易ならざるべし。

(甲) 外債

洪楊の亂起るや、上海當局逃匿せるを以て、領事團は我に代り保

約に依りて貨物税を徴收し、遂に後來海關行政權の外國人の勢力に屬する途を開きたり。辛亥の變には、上海當局亦逃匿し、稅金を處理する者無く、外債賠償金に對する積立金缺乏せるにより、外國銀行委員會は、遂に干涉し、漸次所謂保管銀行及債權の先後順序を生ずるに至り、並びに總稅務司をして此後名は我が官吏なれども、其實は卽ち外國人の派遣委囑せる財政監理官たらしめたり。中國の外債は、一八八六年の匯豐七厘借款に始まり、一八九四年復た匯豐と再び借款を締結せり。然るに此兩借款は皆銀借款にして金借款にあらざれば、其金額は尙少く、兩借款の合計一千七百餘萬元に過ぎざるなり。一八九五年に及び、卽ち匯豐借款三百萬磅、瑞記借款百萬磅(カッセル)借款百萬磅、露佛借款四億法を締結せり。一八九六年、一八九八年復た英獨借款を締結し、兩借款の合計三千二百萬磅なり。以上の各借款は、皆海關の稅收を擔保と爲せるものにして、第一次の一八八六年借款を除きなば、其用途は悉く甲午中日戰敗の賠償金に充當せるものなり。吾が國(中國)は之れより以後、財政は遂に日々不拔の地に陷れり。

最も信賴し得べき海關稅を擔保として借款せるものなれば、其創痛は實に深し。卽ち政府の此項に依る政費は、遂に缺乏を來し、海關制度は永く外國人の支配を受くることゝなり、借款各國は皆關係を有するを以て、其經濟の支配を受くることゝなり、從ひて國際政治も亦其支配を受け、其他借款契約の如き、既に報告及時效の一規定無く、割引、利息、爲替等種々の損失を受け、期限又長く、寬に伸縮するを得ざる契約あり。(例へば露佛より受取りたる金額の如き、一千四百餘萬法に過ぎざれども、滿期の日に至りなば、卽ち三千餘萬法となり、英獨より受取りたる金額は、二千八百餘萬磅に過ぎざれども、滿期の日には卽ち七千萬磅となるなり。)之れを以て財政々策を言へば、眞に其可なるを知らざるなり。民國二年又五國善後の大借款あり。其合計額は二千五百萬磅にして、此借款は鹽關の兩稅を擔保と爲せるものに係り、用途は裁兵、鹽稅整理其他行政費の用と爲し、而して鹽稅を擔保と爲せる關係上、外國人を置きて稽核所會辨と爲せり。民國六年後、關稅增加せるを以て、此借款は借款契約第四條により、遂に完全に關稅より償還することゝ爲れり。此借款の支拂時の爲替は、一定の所在地に限られず、例へば若し日本金高く英磅安き時、卽ち英磅券を持つ人は、日本に在りて其支拂を請求し得べく、之れ其他の契約に比して損失なり。而して露佛借款と同樣なり。

(乙) 賠償金

甲午の役にて、吾が國(中國)は既に堪へ難き累を受け、庚子の變に對し、各國は天津北京條約の故智に從ひ關稅を指定し、賠償金に供せしめたり。然れども其當時海關の收入は尙少かりしを以て、賠償金を五類に分ちて交附することに定め、其總額は四億五千萬元なり。而して一九四〇年の滿期日に至りなば、合計九億餘萬元を要するなり。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

並びに所謂賠償金取扱銀行を設け、海關の税收不足は、更らに通商港を距る五十支里内の常關税を指定して之れを補足することゝ爲せり。之れにより又五十支里内の常關税の徴收權は、劃然として海關の兼管に歸し、而して總税務司の職權は遂に日々增大せり。

甲午の役により、吾が國(中國)は關税を指定して借款を起し、以て日本に賠償せしが、今日尚其累を受けり。庚子の變に對し、吾が國(中國)は借款を起さずして關税收入を償還資金に指定せしが、不幸中の幸と稱すべきなり。一九〇八年、米國は賠償金の一部分を返還し、中米の教育費と爲すことを首唱せるを以て、吾は益を得ること少なからざるなり。歐戰に吾が國(中國)は加入せるを以て、獨奧の賠償金は取消すことを得たり。露國の亂起りしを以て、吾が國(中國)は先づ支拂を差控へ、幸に取消すことを得たり。英・日・佛・白・和は、最近亦自動的に賠償金を返還せり。其方法は等しからずと雖、但し其金錢は吾が國(中國)の爲めに用ふるものなれば、補はること少からずと謂ふべし。今各國中賠償金の返還を提議せざるものは、唯西班牙、葡萄牙、諾威、瑞典の諸國のみにして、而かも此數箇國の金額は、當年の總額の百分の一にも及ばざるなり。

獨逸賠償金の民國六年取消せるより後、三四年內國公債不穩なるにより、總税務司は內債の兼管により、其信用を維持する見起を以て、政府に對し、每月百二十萬元を提出し、三四年內國公債の用に供すべく其許可を要求せり。是れより後、(一)三四五年利拂、(二)十三年庫券の償還及利拂。(三)十四年公債の償還及利拂等は共に獨逸賠償金より支出せり。奧賠償金の取消せる後。其金額は少しと雖、亦既に三四年公債の償還用に指定せり。民國六年、中國は歐洲大戰に加入し、對獨奧賠償金は卽ち取消し、對英・佛・伊・米・日・白・葡各國賠償金は卽ち皆全部五年延期し、唯對露賠償金は卽ち僅かに一部分のみ延期せり。此五年內の各賠償金額は、合計五千餘萬兩にして、卽ち總税務司に交附して管理せしめり。民國七年發行せる七年短期公債は、卽ち總税務司に託せる此延期賠償金を擔保として發行せるものなり。

露國に內亂起るや、吾が國(中國)は之れと絕交せるにより、其未延期の部分も亦之れを停止せり。故に民國九年、政府は支拂停止の金額を利用して內國銀行の立替金を返濟し、三四年公債を償還し、三四年公債の滿期後、五年及七年長期公債の償還用に供することを得たり。其延期賠償金は七年短期公債に支出交附せる外、尚之れを擔保として十一年公債、使領庫券、教育庫券を發行せり。民國十三年、中露協定成立し、對露賠償金は、擔保の滿期後、卽ち教育費として用ふべく指定せり。

賠償金の延期滿期後、情勢に變化を來し、各國中賠償金の返却を希望するもの、或は爲替問題より紛糾を生ぜるもの等あり。賠償金の返却を希望せるものは、英・日・米にして、米國先づ昔より返却せざりし金額全部を返却し、並びに中米委員會を組織し、完全に自由

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に之れを管理せり。英・日は返却を聲明せりと雖、而かも其支配權は卽ち其政府に於いて操れり。紛糾を生ぜるものは、佛・白・伊の金法問題の如き是れなり。

金法問題は、此數年來既に政治上の重大問題となり、中間の爭は數年に亘りしが、竟に段政府より米金債券を發行し、之れを解決せり。對佛の解決は、（一）中法銀行（中佛銀行）極東支店の債務を償還し、（二）中佛の慈善事業を爲し、（三）中國の爲め中法銀行の資本に加へ、（四）中法銀行の缺損を清算償還する爲めに用ふることゝなれり。白・伊兩國に對する解決は、卽ち更らに賠償金の支拂を數年間延期するに過ぎざるなり。而して金紙幣價格の上下により、吾が國（中國）の受くる損失は、實に僅少ならざるものにして、卽ち若し紙幣を以て計算すれば、毎年支拂ふべき金額は約百二十萬元となり、金貨を以て計算すれば、約六百萬元にて足るなり。若し條約に記載されたる金は、金銀紙幣を指すものにあらずして、卽ち金銀貨を指すものなりと解するも、其解釋は妥當なりと云ひ難きなり。然れども他日此問題は、吾が國（中國）の財政史上一大問題となるべし。

（丙）內　債

外債賠償金の爲め、關稅の政府收入額は既に著しく累を受けたり。然るに民國以後、更らに復た關稅を擔保として內債を起すに至れり。甲午庚子の役に於いて戰敗せることは、極めて不幸なることにして、賠償金を支拂ふに至りては又不得已ることとなり。而して民國の內債は、其用途及募債方法の深く研究するに足るものを細審すれば、吾が國（中國）の內債は、甲午の商人間より募債せるに始まり、此金額の用途は專ら中日の戰費に供せり。一八九八年、日本に對し第一次の賠償金を支拂ふ關係上、復た公債を募集せり。辛亥の時、袁世凱は愛國公債を募集し、至急の需要に充當せり。然れども此三公債は共に的確なる擔保無かりしを以て、應募範圍は廣からず、且つ其當時の銀行制度は發達せざりしにより、其強制發行或は購買は亦容易ならざりき。民國元年財政は更らに窮乏を告げしが、一時外債を募集すること能はざりしを以て、遂に八厘軍需公債及元年公債を發行せり。元年の用途は、（一）中國銀行の資本を增加し、（二）銀行の立替金を償還し、（三）各省の濫發せる紙幣を回收する等にあり。尙此公債も亦確實なる擔保無かりしを以て、應募範圍は廣からざりき。民國三年政府は三年公債を發行し、總稅務司を內國公債局協理に任じたれば、此れより以後、我が國（中國）の內債は遂に外國人の手に歸したり。此公債の募集方法は、各省及各僑民間に委員を分派して募集せるなり。民國四年、政府は三年公債の成績佳良なりしを以て、復た所謂四年公債を發行し、其條件は三年公債と同一となせり。洪憲の變の爲め、財政部は章程に從ひて利拂すること不能となり、且つ又中國交通兩銀行の兌換停止されたるを以て、三四年公債は、深く其影響を受け、昔日の預備金は利拂金となり、悉く低價なる紙幣となれり。總稅務司は卽ち對獨宣戰後、對德賠償金を三四年公債の擔保用に供

せるを以て、政府の賠償金を內債基金に充つることは、此れより端を開きたり。即ち民國十年對獨賠償金の支拂を停止せる部分は、政府に於いて三四年及七年長期公債基金に充當することを得たり。三四年公債は、擔保確實となりしを以て、其信用甚だ厚く、民國十三年市場に於いて遂に「額外債票」(預定額以上の公債)を現せり。額外とは財政部より總稅務司に通知せず、重ねて三四年公債の番號付けを發行せるものなり。當時市場騷然となりしかば、總稅務司は即ち檢査後明となれるものは、指定の金額を償還するに決定し、其期限は是れを問はざることゝなし、餘は財政部に其消毀を請ひ、事件は落著せり。然るに此れより總稅務司の信用は日に堅實となり、而して政府の信用の日に陥落せるは亦憐むべきなり。

洪憲の帝制には、金錢を用ふること莫大なりしを以て、二十萬元の五年公債を發行し、烟酒稅を以て其擔保となせしが、而かも其應募甚だ少く、卒に民國十年に至り、整理案中に歸入せる後、即ち數の如く募集するを得たり。所謂募集せる金錢は、實は未抽籤の新華儲蓄彩票を回收せるに過ぎず、亦三四年の省別に募集せるものゝ比にあらざるなり。故に三四年の滿期後、獨・奥・露に對する賠償金は、即ち五年の基金と爲せり。民國六年は、內債の募集無く、民國七年は、即ち所謂長短期の內債を募集せしが、其金額の巨額なることは從來曾て見ざりしものにして、聯合軍各國全部に對する延期賠償金を擔保と爲し、短期計四千八百萬元、長期計四千五百萬元を募集せるなり。始め政府は僅かに獨逸に對する賠償金を擔保として短期公債を發行し、中・交兩銀行の缺損を償還すべく、四五割引の中・交兩銀行紙幣を割引無しにて計算せんと欲せるに過ぎざりしが、商會聯合會は是れを聞き、極力反對し、皆此方法は、全國民の負擔する稅收を以て、少數人或は少數銀行の投資を償還するに異なる所無しとなせり。政府は是に於いて又長期公債を發行せるものにして、凡そ公債を購買せるものは、長短各半せり。然れども此次の公債は、其用途及募集方法の如何に論無く、商會の反對は、殊に毫も理由無きにあらざるなり。七年公債の利拂に就きては、初め指定せる金錢無く、唯民國十年に至り、即ち整理案中に加入せるなり。

民國八年政費不足せるにより、政府は八年公債五千六百萬元を發行せしが、而かも其擔保品の甚だ不確實なりし爲め、市價は十餘元に低下せり。

民國九年、政府は總稅務司に命じて關稅剩餘金を擔保となさしめ、六千萬元の金融公債を發行せしが、割引中の中・交兩銀行紙幣を割引無しに計算して應募せり。此公債は表面北京市民の損失を彌縫するに似たれども、實際利益を得たるものは、即ち中・交兩銀行紙幣を貯蓄せる人に過ぎざるなり。

民國十年は、關稅の剩餘金甚だ多額に上り、爲替高値を唱へしを以て、財政當局は、關稅剩餘金を擔保と爲し、整理案公債を發行し、以て國の信用を尊重せんとせしが、惜むらくは、我が國(中國)は內

外債の負擔尚多く、未拂の俸給も亦多額に上れるを以て、皆整理し得るにあらざれば、國の信用を尊重し、利益を均霑せしめ難きなり。此案の成立後、公使團は極力是れに反對せしが、此整理案内に含まれたるものは、(一)軍需八厘公債、(二)愛國公債、(三)元年公債、(四)五年公債、(五)七年長期公債、(六)八年公債、(七)金融公債等是れなり。民國十一年、政府は七年短期公債の擔保たりし對露賠償金の延期部分滿期となれるを以て、是れを擔保と爲し、十一年一千萬元を發行せり。此公債の用途及金額は、公開して大衆に示すことゝなせども、而かも政府は唯中國銀行をして全部引受けしめたり。是れ即ち購入を引受け取扱ひたる始めなり。

民國十二年、政府は使領庫券及教育費の宛無きを以て、中國銀行をして使領庫券五百萬元、教育庫券百萬元の發行を引受けしめ、共に對露延期賠償金を擔保と爲せり。

民國十三年、奉直戰爭の爲め、政府は對獨賠償金を擔保として十三年庫券を發行せしが、然かも此公債は政費の爲めと稱して發行せるなり。故に總稅務司は更に親しく巡警の經費を支出し、一輿論は騷然たりき。

民國十四年、政府は五年公債の滿期なるを以て、即ち對獨賠償金を擔保として十四年公債を發行せしが、此公債に對しても外國人は極力反對せり。其理由は、政府は無擔保の外債を顧慮せずと云ふにあり。

以上の各內債中、整理案の各債に就きて言はゞ、毎年二千五百餘萬元を要し、賠償金の擔保となれるものと、今年償還すべき內債とを合計すれば、元利合計銀三千九百八十四萬餘元なり。此數年間關稅の收入増加せるを以て、公債は皆期限通りに元金は償還せられ、利子も支拂れたり、故に整理案內の各債を昔日安價に購入せるものは、皆巨利を占めたり。今年は軍事關係により、稅收日に減退せるを以て、恐らく影響を受けざりしもの無かるべし。

(三)

南京條約により、初めて通商港を開きしが、外國貿易の關稅徵收は、只相當の率を以て徵收することに規定せられたり。然るに洪楊の亂起るや、吾が國(中國)の徵稅官逃匿せるを以て、英・米の領事吾れに代りて徵收し、所謂從價百分の五なる率を生じたり。此れより後、天津條約、馬凱條約の締結により、所謂裁厘加稅の議唱導せられ、華盛頓條約の締結により、所謂從價百分の五及二分五厘の附加稅を實行せり。昨年關稅會議の開かるゝや、吾が國(中國)は遂に自から民國十八年を以て關稅自主の期日なりと定め、二分五厘の附加稅は、今年春より吾が國(中國)は已に自動的に實行せり。然るに各國の多くは之れを默認せしが、而かも改約せるものにあらざるを以て、他日自主は、恐らく改約後にあらざれば、其實行容易ならざるべし。海關の初めて設けられたる當時、外國人の徵稅官たりしもの無かりしが、一八五四年、上海道臺の租界に逃居するや、即ち海關公署を租界に設け、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英・米・佛領事より外國人を派遣し、關稅を代收せしめたり。天津條約の成立するに及び、始めて我が國(中國)より外國人を選募して稅關事務を補助せしむべく明記せるものにして、是に於いて卽ち所謂稅務司なるものを生ぜしなり。其後又各開港場に於ける稅務司の上に、一の總稅務司を設け、北京に駐在して事務を處理することゝなりしが、總稅務司は海關一切の行政權を掌握するものなり。一九〇六年、稅務處成立し、總稅務司は遂に該處直接の監督を受くることゝなりたり。然るに條約及外債賠償金の各關係により、總稅務司は常に獨立して其職權を施行し得るのみならず、財政部より總稅務司は內債の兼管を委囑せられたるを以て、其威權は更らに日と共に重きを加へたり。

(四) 結 論

前項の記述により、往昔の事項は已に終れり。將來は卽ち吾人は關稅に對し、特に注意せざるを得ざるものあり。

(一)、關稅は速かに改約を主張し、自主を求むべきなり。

(二)、最も短期日內に速かに本國人(中國人)を採用すべく主張すべきなり。唯此主張を實行するには、(甲)有力者は一切の稅源を專重すべし。(乙)此後は總稅務司をして內債を兼管せしめざるべし。(丙)速かに廉潔なる稅務官を養成就任せしむべし。

(三)、最も重要なるは、目前の內外債賠償金の一度償案の滿期となれる後、作り出されたる金錢及以後增加せる稅金は、一定の統系ある計劃を有すべきにして、所謂計劃は、最少に應用すべきことなり。

(甲)、國人(中國人)は一切の內外債(大小を問はず)の用途及其擧償方法を監督すべし。

(乙)、當丁加稅は輕率に行はず、關稅を擔保として擧償すべし。

(丙)、若し關稅を以て債款を整理せんには、全般を通じて整理すべきにして、任意に特種の債款のみを整理するを得ざるなり。

(丁)、無擔保の公債は濫發すべからず。

以上の各項は明らかに言ひ易くして行ひ難きことを知れども、然かも天下の事は皆人に依りて始めて行はるゝなり。

(上海總商會月報六月號)

□一九二六年の支那對外貿易(一)

概 觀

政事上の動搖、內亂、勞働爭議、爲替の不利、糶業、氣候上の災禍等、支那の嘗め來つた有らゆる盛衰浮沈を考慮に入れる時、一九二六年の支那對外貿易の收めたる成績は豫想外であつて、關稅收入

丈の上より見れば、愉快なる驚異であつた。該報告中に於て、收稅及び貨物の數量の著しき增加と、商人の見地より觀た不成績及び同年末に於ける不振の一般氣配とを、說明し一致せしめんと再參試みた。一九二六年は、大いなる期待と又等しく大いなる失望の年として說明し得る。對內地運送は常に困難を感じたのみでなく、不可能なることも屢々あつた。生產は勞働爭議で往々阻害された。重稅及び多數とは相場を押上げ、其結果外國市場に於て支那品は人氣を失墜した程であつた。支那人輸出商は實に、銀爲替の暴落に感謝すべきであつて、同暴落は相場の均一を助長する所があつた。輸入貿易は、顯然たる買の欲望及び二嵐の凪每に又對內貨物輸送の可能性ある每に提出されたる數多の照會に依つて、常に景氣付けられ、其結果多量の投機的輸入となつたので、同年末迄に諸集散地市場は、引渡未濟貨物及び引渡不能貨物を以て充溢されはしたが、別に驚くには當らない。

同年中の內亂及び政治上の錯綜とは、同國歷史上異常なるものであつて、下文に考究する同年の各港貿易の概觀より見らるゝ如く、常規の方針にて貿易の開發を許された地域は殆んどなかつたのである。

關稅收入

一九二六年度に於ける徵稅額總計は七八、一二二、二七六海關兩で、飢饉救濟用附加稅として徵稅されたる額(二、三一三、六八五海關兩)は上記の額に含まれてゐない。前二箇年の徵稅額と比較すれば、同年の徵稅額は、一九二五年度よりは八、二五二、二七三海關兩の增進を示し、一九二四年度よりは八、五二七、一四五海關兩の超過を示してゐる。內亂、罷業、掠奪に依り、同年の貿易擴張の上に諸種の困難のあつたことを考慮する時、上記の數字は驚くべきであつて、其唯一の決論は、利益の有無はどうであつたにしろ、明らかに活潑なる商動のあつたといふ事實である。同國一般情況の激烈なる騷擾となつたのは唯年末に及んでであつて、自然一九二七年に於て今一層擴延される結果となるだらうと云ふことも亦事實である。輸入稅徵收額の總計は四二、八五五、〇二六海關兩であつて、一九二五年の數字より六、四八八、〇四五海關兩、卽ち前記總增加の約四分の三の增加を示してゐる。この收入側より見たる頗る滿足なる成績は、勿論大部分は輸入增加に歸因するものであるが、然し銀爲替下落(殊に下半期に於ける)の自然の結果であつて其下落は、金貨を海關兩に換算したる時、五分稅貨物の價格に昂騰を來した。輸出稅徵收額總計(二六、二六三、七八七海關兩)は、前年の同數字より一、六九五、〇〇九海關兩の超過を示し、其中一五二、三四一海關兩は、沿岸貿易に於ける增加である。噸稅徵收額も亦前年より多額に上り、外國船に於て二六四、三八六海關兩、支那船に於て二〇、一八四海關兩の增加は注目に値する。一九二五年に於ては、外國船より徵收した噸稅は、其前年に比し約一二六、〇〇〇海關兩の衰落を見(この減退は殆んど英國船に歸するものである)、支那船よりの徵稅額は五二、〇〇〇海關兩計りの增加を示した。故に一九二六年の外船噸稅に前年に失

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ひたる地盤を回復して尙餘りあつたが、同時に亦、支那船噸稅の進步は些か阻害された觀がある。然し支那海運が內亂の爲めに爭はねばならなかつたあらゆる困難を思へば、驚くには當らない。若し通行稅の徵收額に於て、三六七、六九一海關兩の減少がなかつたとすれば、同年總徵稅額の前年に對する增加は、尙一層著しきものがあつたであらう。通行稅は如何なる期間に於ても恐らく輸出入稅よりは一層正確に(實際に完成されたる)商取引の額を示すものである。蓋し、同稅は、條約港より內陸の實際に消費者に販賣せられる究極的市場に搬入され、又、內陸より之等諸港に輸出の爲めに搬出される貨物に賦課される、輸出入稅の半に等しき課稅を示すものである。而して、或場合、商人は通行券を提示するよりは寧ろ釐金稅を納付することを好むことは事實であるが、輸入稅に著しき增加を見るに反して、通行稅徵收額に減落のあつたことは、政治上其他の混亂の爲め內陸に搬入し得なかつた積荷が條約港に「充血」してゐたことを、公平に示すものと考へられる。徵稅に最も大なる增進を示したのは上海であつて、其增加は前年に超過すること六、六八二、四四三海關兩であつた。次いで、廣東は一、五四一、八七三海關兩の增加を、哈爾賓は六三〇、六一二海關兩の增加、大連は六二一、八二四海關兩の增加を示した。又、膠州二〇〇、〇〇〇海關兩以上の增加を、沙市、厦門、蒙自は各々一〇〇、〇〇〇海關兩以上を增加してゐる、天津及び秦皇島は合せて六四六、二五九海關兩、即ち最も激烈なる減落があり、蕪湖は之に亞ぎ三八七、九九四海關兩の減少を示し、次は漢口の二二二、五三八海關兩及び九龍の二一三、〇六四海關兩である。其他九江、江門及び北海も各一〇〇、〇〇〇海關兩以上の大減落を示してゐる。

海關及び常關の總收入(飢饉救濟附加稅を含まず)は八二、六二六、八七六海關兩、即ち二二、八六七、四一五磅(同年平均英國宛爲替相場三志一$\frac{3}{8}$片)であつた。純徵稅額は海關常關合して六四、九四八、〇二〇海關兩、即ち上記爲替相場で一〇、一一四、三〇一磅で、右純徵稅額より外債及び償金に支拂ひたる額は、四七、七四一、三九〇海關兩即ち七、四三四、七二七磅である。一九二五年の海常兩關の純徵稅額合計は五九、三六七、三一〇海關兩にて(同年の英國宛爲替平均相場三志五$\frac{7}{8}$片)一〇、三五八、三五八磅に相當するに反して、一九二六年の純徵收額は(約五、五八〇、〇〇〇海關兩の增加を見たのに)唯一〇、一一四、三〇一磅に相當し、而も一九二五年に四三、〇〇〇、九三四海關兩即ち七、五〇二、七六七磅が支那の對外負債に支拂はれたるに反して、一九二六年の同支拂額四七、七四一、三九〇海關兩は、唯七、四三四、七二七磅に相當したことを考慮すれば、爲替の變動が支那にとりて如何に重要であるかを容易に首肯せられるであらう。

外國貿易

一九二六年に於ける支那の對外貿易額(商品のみにて地金及び金銀貨幣を除く)總計は、一、九八八、五一六、〇二四海關兩、即ち前年(一、七二四、二一七、八八一海關兩)に比して二六四、二九八、一四三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

海關兩。一九二四年の額に比して一九八、五二〇、八七九海關兩の増加を示してゐる。此顯著なる成績は、一部は輸出入貨物の増加に歸するものであるが、亦價格の昇騰（特に輸出品の）、及び海關兩に換算した輸入品價格を昇騰せしめた銀爲替の下落に依つて招來したものであることも確實である。總輸入より、外國産品の再輸出を控除したる純輸入の見積額は、一、一二四、二二一、二五三海關兩で、前年の成績に比較し一七六、三五六、三〇九海關兩の増加を示し、又支那産品の輸出總額は、一九二五年に比し、八七、九四一、八三四海關兩の増進があつて、其總額は八六四、二九四、七七一海關兩であつた。

之等の數字は、支那對外貿易の差額が尚支那側に不利なるを示すもので、輸入超過は、一九二六年の一七一・五百萬兩及び一九二四年の二四六・四百萬兩に對し、同年は二五九・九百萬兩となる。該差額が、何の位まで輸入超過に歸するものか、又何の程度迄爲替の變動及び價格の昂騰の結果であるか、限定することは殆んど不可能であるが、然し誰しも達する當然の結論は、支那人民は、其大部分の商品を自國で生産し得ないで外國に仰いで居り、一方自國産品は、外國市場に於て、類似の外國産品の爲め頗る猛烈なる競走に遭會することである。

下表は國別商品貿易を示し、過去三年間の支那外國貿易の發展を示すものとして何かの興味があらう。

（單位千海關兩）

國別	純輸入額			輸出額			超過額 一九二四		超過額 一九二五		超過額 一九二六	
	一九二四	一九二五	一九二六	一九二四	一九二五	一九二六	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
香港	二三八,三五五	一七二,七八九	一二九,九七六	一七三,一六三	一一四,七一五	九三,八〇二	六五,一九二	—	五八,〇七四	—	三六,一七四	—
澳門	七,六八九	八,二七二	三,八七三	五,〇八七	四,〇六八	二,五一七	二,六〇二	—	四,二〇四	—	一,三五六	—
佛領印度支那	一〇,〇八三	一五,五七六	五一,五〇四	三,六七五	六,九四〇	一八,四三四	六,四〇八	—	八,六三六	—	三三,〇七〇	—
暹羅	二,三三六	一〇,五〇八	一六,五四五	三,二七三	四,七九九	七,三四一	—	九四七	五,七〇九	—	九,二〇四	—
英領馬來	八,九一六	九,〇二六	九,八八九	一九,六一七	二三,七八六	三〇,〇六〇	—	一〇,七〇一	—	一四,七七〇	—	二〇,一七一
蘭領東印度	二〇,四九六	三六,八〇八	三一,三四〇	九,三一七	一〇,二一七	九,三九〇	一一,一七九	—	二六,六九一	—	二一,九五〇	—
英領印度	三八,七三九	四八,七三七	七九,〇七二	一一,四三六	一二,七七七	一五,九二三	二七,三〇三	—	三五,九六〇	—	六三,一四九	—

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

土耳古、波斯、埃及、亞丁、其他	七七三	二、五六〇	一、二六二	一八、五五六	二〇、五八四	三三、六二四	—	一七、七八四	—	一八、〇二四	—	二一、三六三
英國	二五、二九三	九二、四五八	一二五、五八三	五〇、二五一	四七、六四三	五五、八三六	七五、〇四二	—	四四、八一五	—	五九、七四七	—
獨逸	三八、五三九	三三、一四六	四五、三八二	一五、九四九	一六、四二七	一七、七六〇	三三、五九〇	—	一五、七一九	—	二七、六三三	—
和蘭	二〇、四四〇	一〇、九四八	一〇、四九九	一三、五〇一	一〇、七五五	一七、八〇四	六、九三九	—	一、九[illegible]	—	—	七、一〇五
白耳義	一八、三六七	一〇、七五七	一四、三四六	三、四二〇	三、九〇五	三、五九六	一四、八四七	—	六、八五[illegible]	—	一〇、七五〇	—
佛蘭西	一〇、四二四	一三、三二四	一六、七九一	四五、〇九六	六六、〇七七	六八、一四六	—	三四、六七二	—	五三、七六三	—	五一、三三五
伊太利	六、二三六	六〇、三九一	九、〇九二	八、九四八	九、九〇三	一三、二六六	—	二、七一三	—	三、八六四	—	四、一七四
露西亞及西伯利亞	八、六一二	一、八四四	二一、四四四	四六、三五九	四七、九六二	六四、一二〇	—	三七、七四七	—	三六、一一八	—	四二、六七六
朝鮮	九、四四三	八、四六七	一〇、一六〇	三〇、八五五	三四、七八二	四六、三七六	—	二、四二三	—	二六、三一五	—	三六、三一六
日本（臺灣を含む）	三九、七九一	二九六、二四六	三三一、五五一	二〇一、一七六	一八六、三三七	二一一、七四一	二八、六一五	—	一〇九、九〇九	—	一九、八一〇	—
比律賓	三、一二四	五、二〇四	五、二九七	四、二八四	四、七一四	六、六六三	—	一、一六〇	四九〇	—	—	一、三六六
加奈陀	一五、五五二	七、一七七	二四、〇三七	一、一〇七	一、二六六	一、六七四	一四、四四五	—	五、九一一	—	二三、三六三	—
米合衆國（布哇を含む）	一八六、三八七	一三八、六六三	一八五、〇六六	一〇〇、七五五	一四三、一五三	一五〇、一一三	八五、六三二	—	—	四、四九〇	三四、九五三	—
其他の國	一八、七三八	一一、三三六	二二、五一三	五、九五九	五、六四三	七、一一〇	一三、七六九	—	五、六九三	—	一四、四〇三	—
計	一、〇一八、三二二	九四七、八六五	一、一三四、三三一	七七一、七八四	七七六、三五三	八六四、二九五	二四六、四二七	—	一七一、五一二	—	二五九、九二六	—

該表研究に當り留意すべき點は、支那海關表中には原產國又は到著國は輸出入業者の申告に依り、船荷證券及び積荷指圖書の券面通りに記載してある。例へば、アントワープより仕出されたので白耳義原產として記錄されたる商品は、或は實際は獨逸原產かも知れないのである。

惟て上表に立歸つて記述しやう。香港との直接輸入貿易は、一九二五年には前年に比して著しき減落があり、一九二六年には更に五二・八百萬兩の減少を示し、又輸出貿易も二〇・九百萬兩の衰落を示してゐる。該輸出入の衰落は、同年の多半に渡つて行はれた廣東の罷業の爲に、外國貨物及び支那產品は餘儀なく同港以外の商路を取りたるに歸因する者である。英國よりの輸入は、一九二五年の額より二一・三百萬兩を增加してゐるが、尙一九二四年の成績には及ばない。然し乍ら、一九二六年の支那輸入額を前年の同額と比較するに當りては、爲替の下落が外國貨物の海關兩價格を騰貴せしめた事も考慮に入るべきであ

ろ。輸出側に於ては、爲替の昇落は輸出額に影響を及ぼさないが、然しこの場合にも價格の昇落は年々の輸出總額を比較するに考慮しなければならぬ。偖て英國向の輸出は、一九二五年に比して八百萬兩、一九二四年に比して五・五百萬兩の增加を見た。日本との貿易は、貿易額のみより判斷すれば一般に增進を示し、輸入に於て三・五百萬兩、輸出に於て二五百萬兩を增加してゐる。米合衆國との貿易差額は、一九二五年に於ては支那側に四百萬兩の出超を示したが、一九二六年には米國向輸出額に前年より六九百萬兩を增加したるに拘らず、一變して六九百兩の入超を示した。之は米國より輸入額に四六百萬兩の增加を見たるに因るものである。新嘉坡及び海峽植民地、和蘭、佛蘭西、伊太利、露西亞、朝鮮、土耳古、波斯、埃及及び比律賓は、輸出入貿易差額の見地よりすれば、從來支那の最良顧客である。新嘉坡、佛蘭西、露西亞、朝鮮及[illegible]近東との貿易は、著しく支那側に有利なるを示してゐる。—（未完）（Chinese Economic Journal, No. 6, June, '27）

香港

□一九二六年に於ける香港人口

香港領事の報告に依れば、同地衞生局調査に係る昨一九二六年六月末に於ける香港人口の公表せられたるもの左の如し。

支那人以外の外國人（陸海軍關係を除く）	一六、五〇〇人
支那人	八五七、九二〇人
内譯 ヴイクトリア市部（ピーク區を含む）	四六五、〇〇〇人
香港島各村落	三三、〇四〇人
九龍（新九龍を含む）	二〇〇、〇〇〇人
九龍租借地	八七、五〇〇人
水上居住者	七二、三八〇人
合計	八七四、四二〇人

備考 一九一五年度の人口と比較する時は四六%の增加を示し、又非支那人は十年以前に比較し三、一〇〇餘の增加なり。

□香港の發達に關する香港總督の演說摘錄

香港總督は去る九月一日香港立法委員會に於て次年度政廳豫算案—提出に際し、過去三十年間に於ける香港の發達並に其の財政史に就

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

き一場の演舌を試み「過去三十年間、團匪事件、日露戰爭、一九一一年の支那大革命、其の他世界大戰及其の後今日に至る支那内亂等幾多の事件に依り香港の財政的地位は幾多の試練を經たりと雖、而も之が爲當香港の發達は何等の障害を受くること無く今日の強大を致したり。依つて余は香港の將來に對し全然樂觀し得る充分の確信を有するものなり。而して香港は英・支兩國人の協同に依り成就せられ得る結果の一の驚異なる例證にして、將來も尚一層良好なる結果を期待し得べき事を確信す」と結んでゐる。

該總督の演舌は稍々誇示に失したる傾があるが、過去三十年間に於ける香港發達の經過を知るの好參考となり、香港經營の現在並に將來に對する總督の所見の一班を示すものと思はれる故左に其の要旨を摘錄しようと思ふ。

一八九七年より昨年に至る三十年間に於ける香港の發達を敍する爲、一八九七年及一九二六年に於ける財政、人口、出入船舶數を示せば

財政	一八九七年	一九二六年
剰餘金	五四八、九六四弗	八、一一三、四八二弗
歲入	二、六八六、九一四弗	二一、一三一、五八一弗
歲出	二、六四一、四〇九弗	二三、五二四、七一五弗
人口（陸海軍關係を除く）	二四三、五六五人	八七四、四二〇人

出入船舶數（外國貿易に從事するものにしてジャンクを除く）

總噸數	一一、一二四 五九九噸	二六、九八三、一九〇噸
	（内英船六七%）	（内英船五四%）

であつて、歲入に於て八倍餘、人口に於て三倍餘、外國貿易船舶數に於て二倍餘の夫々增加を示してゐるが此實に驚異すべき記錄であると述べ、尚同期間に於ける歲入の推移に關し同期間中前後三回の逆運を經驗した。即一九〇八年に於て前年の過度の投機熱に依る經濟界の不振、一九二〇年に於ける世界大戰後の財界不振、並に一九二五、二六年に於けるボイコットの影響を受け歲入の上に不尠減少を見たる事があつたが何れも容易に此の困難を切拔け、歲入は右全期間を通じ常に健實なる發展を遂げてゐる。殊に歲入の內容に付て見るも、一九二六年に於ける重なる歲入科目は十五箇にして之より生ずる收入は歲入總額の七七・七%を占め、一八九七年に於ても同樣の科目より生ずる歲入は當時の歲入の七四・三%を占めたること次表の如くである。

	一九二六年	一八九七年
租稅	三、六三六、六六八弗	四二九、一三六弗
印紙稅	二、九二八、三三九弗	二五二、二一六弗
阿片專賣	二、八三一、三〇五弗	二八六、〇〇〇弗
酒類稅	一、八三五、三四五弗	（一九〇九年新設）
煙草稅	一、一八六、三一三弗	（一九一六年新設）
郵便料金	六九八、四〇七弗	二六八、六一六弗

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

土地收入	六六四、一〇五弗	二四一、七九八弗
鐵道	五三八、〇四五弗	（九龍租借地を含まず）—
水道	四七一、六七九弗	一一〇、〇四七弗
酒類販賣特許料	三九三、八九八弗	六七、一三六弗
土地拂下	二八六、三四二弗	二二四、五〇〇弗
渡船特許料	二四七、一三〇弗	—
車稅	二四〇、一五六弗	四三、三二三弗
利子	二三七、四四四弗	四、五七六弗
日用品市場收入	二三二、五九四弗	七〇、五一九弗
合計	一六、四二八、七七〇弗	一、九九七、八六七弗

右各科目を吟味するに何れも健實妥當なるを示せりとて香港財政の基礎甚だ鞏固なるものある旨を述べ、又人口狀態の變遷に就き過去三十年間に行はれたるセンサスの結果は次表の如く

一九〇一年	二九〇、一二四人	（陸海軍關係を除く）
一九一一年	四六四、二七七人	（同）
一九二一年	六八六、六八〇人	（同）

にして最初の十年間に於て六〇％、次の十年間には四七％の增加を示して居り昨一九二六年の概算八七四、四二〇人ではあるが不正確を免れず、次回の一九三一年のセンサスに於ては恐らく相當大なる增加を示すべきは疑なしと述べ、更に船舶出入狀況に言及し前述一八九七年に於ける出入船舶はジャンクを含まざるも、一九〇二年に於けるジャンク船を含む外國貿易に從事せる船舶總噸數は二一、三三三、五六六噸なりしが一九二四年には一躍して五六、七三一、〇七七噸のレコードを作つた。同年に於けるジャンクを除ける外國貿易船舶數は三〇、二四〇隻、此噸數三五、四七一、六七一噸にして之を同年の倫敦及紐育港に比するに

	各種出入船舶噸數	ジャンクを除く外國貿易出入船舶噸數
香港	五六、七三一、〇七七噸	三五、四七一、六七一噸
倫敦	四七、〇六四、九七五噸	三二、五五七、四六六噸
紐育	四〇、〇二二、五〇三噸	三七、七七三、〇〇〇噸

にして當香港の世界最大港の一たることを確證してゐる。又一九二五、二六年のボイコットは當港出入船舶の上に不尠打擊を與へたるも而も右は單に一時的のものであつて、支那に於ける貿易狀況常態に復する時は其の回復速かなることを確信すと樂觀的觀察を爲し、香港が借金政策に依らず其の獨自の財政を以て能く過去三十年間に於て見たるが如き驚異すべき發達を遂げたる事は、正に英帝國の何れの部分に於ても之に優るものあるを見ずとて一八九七年以來遂行したる經常的並に臨時的土木事業の重なるものを擧げ、九廣鐵道英國線の外は總て年々の歲入に依り處理したることを指摘し、特に九龍租借地の發展に言及し、水道々路等鐵道以外の各種の土木工事は總て年次歲入を以て遂行し以て今日の隆盛を來したるものなりと述べ、尙香港に於ける重要なる土木工事をも列擧し、又新嘉坡海軍根據地築造費二五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

萬磅の寄與も亦經常歲入より處辨したる事を附言し、又先年の對英ボイコットに拘らず本年初に於て政廳の有したる剩餘金三、四八六、二九〇弗の多きに達したる如きは、吾人の意を強うするに足るものあると同時に、香港を再び南京條約以前に於けるが如き Barren Island と爲す等の暴言を爲すの餘地無からしむるに足らんと云ひ、尙吾人は今後も引續き當領發達の爲計る所あるべき旨を述べ、五百萬弗公債發行の件に言及し、飛行場建設に關し之が築造に依り世界商業飛行の發達に參加するを得んと述べ、最後に前述の「將來も尙一層良好なる結果を期待し得べき事を確信す」と結んでゐる。

（香港デーリー・プレス九月二日所載）

比律賓

□ 總督代理の第七回立法部に與へたる教書（三）

通信事業

島内運輸の安全適切なる組織と共に、重要にして必要缺くべからざるものは郵便局、電信、電話、及無電設備による、村落間及び島内通信の組織である。此の必要に應ずべく事業は着々進捗中ではあるが、今だに未完成のもの多く殊に無電通信の發達に於て然りである。昨年は十三市區に有線電信局、隔離せる地方に九つの無線電信局の設立を見た。六十九の市區及び郡には電話による電報配達の設備がなされた。延長一、七〇〇粁を越ゆる電信線が更に架設せられ、通信を開始し、新電信局が十一建設中である。九箇所の無線電信局が裝置を終へ、十一は現在建設中である。比律賓無電會社は放送計畫を實施し、現今では群島のあらゆる部分に到達し得る樣になつた。大洋横斷線が現在敷設中である。政府はマニラ、イロイロ、セブー間に至急電路を設置する爲に使用すべき新しき、より能率の大なる海底線を敷設中である。此附加新線はダヴアオ、サムボアンガ、イロイロ、セブー及びマニラに於ける新無線電信局の通信と相俟つて、南方群島をば非常にマニラに接近せしむる事になるであらう。郵便物の輸送は多くの市區に於ける自動車の使用增加により、より頻繁迅速に行はれて來た。然し乍ら今尙適當なる通信設備を有せざる邊鄙なる地方が多くあるのである。バタネス諸島は此の最も著しき例である。マニラに達し得る能率を有する中央無線電信局と共に、諸島の何れにも之に附隨する小無線電信局を設置せねばならぬ。無電事業の尙一層の擴張及改良に對し充分なる援助を與へられん事を希望する次第である。

昨年無線電信法として知らるゝ法令第三二七五號が通過した。此は職員の增加及び資金の追加支出を要する商務交通部に對し一定の義

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

務を課してゐる。之に對する準備が必要である。該法令は又立法府より特許を得ることに關する必要條件より船舶を免除する樣訂正すべきである。

訂正自動車取締法も前會期に於て制定された。然し行政部が審議の時間を有せざりしこと、及び其が幾多の杜撰な點を有して居た事の爲めに、土木局長の勧告によつて拒否された。該法令は訂正され再び提出さるゝことであらう。各位が該法令に付直ちに御考慮あらん事を希望致す次第である。

銀行代理店及び地方金融機關

限られたる資力を有する相當の私人、及び餘裕の極く少い商企業に相當の利率の利子で相當の期限と條件の下に、少額の貸金を供給する施設が今尙非常に必要である。不幸にして賃銀勞働者及俸給被傭人間に收入を見越して、法外なる利率の下に金を借りる習慣が廣く行はれてゐる。此の金は建設的企業に用ゐらるゝことは殆んど無い。其は稼がざる前に金を費すこと、及其の特典に對し多額の利子を拂ふこと以外に何等意味が無いのである。此種の借金は阻止すべきであるが、同時に此は節儉の習慣が充分に發達する迄は繼續しさうであるといふことを認めねばならぬ。貧困なる私人に對する暴利及虐使に對して充分なる保護を與ふる法律が制定さるべきである。此の問題に關する法律が前會期に通過したが、此は尙多くの希望殊に認可されたる高率の利子に關する希望が殘されて居る。

一方に於て金を借りても創始し經營せんとする農業及商業の諸事業がある。是等企業に從事する人々の多くは、彼等が商業銀行組織により要求さるゝ必要なる抵當を有せざるが故に、普通の銀行利便を得られないのである。一九一五年の以前より地方信用組合の組織を許可する法令が通過して居る。現在に於ては是等組合で仕事をしてゐるものはあるが、事態にうまくあてはまつてゐない。是等には尙多くの缺點があり、役に立たない經營法が多かつた。其の上其等の組合は組合が最初に組織されたる主義より離れて仕末つたのである、卽ち是等組合は節儉を奬勵し、同時に組合員に對し正當の利率に於て少額の貸付をなすべく計畫されたものであつた。彼等組合の資本は組合員自身の積立金より得る筈であつたが、今までのところ大した成功であつたとは言はれない。もしも是等組合が設立當時の主義に基いて事業を繼續してゐたならば、如何ばかりの成功を獲らしてゐたであらうか。何となれば一九一八年に於て是等組合法令により米穀資金より一、〇〇〇、〇〇〇比を借用する許可を與へられてゐたのである。該許可は是等組合の多くの資本を急速に增加するといふ結果になつた。然しながら多くの場合に於て、其の組合を組合員各自の積立より成る資金を以て事業をなす產業相互組合から、數個の有力なるものが、斯くして借入れたる資金の大部分を得、それに利益を得て他に再び貸付くるが如き組織に換へて仕末つたのである。米穀資金より得たる借入金の分配によつて釀されたる好ましからぬ事狀の矯正に若干の進展

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は見たけれども依然滿足すべき情態には達してゐない。地方信用組合は彼等の最初の主義に復り、彼等が嚴正に相互組合として見事に役目を果し得るや否やを決する機會を與ふべきである。亦地方信用組合が應ぜず、又は應じ能はざる必要に應ぜしむる特種農業銀行を設くべきである。現行法律の缺陷を訂正し、施政方法を變じ、農業銀行の設立を可能ならしむべき法案が各位の御考慮を煩はす爲提供さるる筈である。

大マニラ市

近接市區を併合して一管轄下に置くか、若しくは一定の事業を同一管轄系統内に置く事によつて大マニラ市を建設する問題は、前會に於ても各位の注意を喚起して置いた問題である。當市及其の郊外はもしも滿足なる發展進歩が實現されんとするには、今重要なる改正を要する發展のステージに到達してゐる。當市は遙か以前から其の政治的境界を越へて膨脹して居る。吾々は共同の問題を有し、而も一致せる施政を有せざる廣大なる首都の地域を有してゐるのである。更に重大なる事には、此の地域は、比島政府及あらゆる政府活動の根源地である。當地は又數百の市區より學徒の來集する本群島敎育の中心地である。マニラは比島政府の所在地にして地方政府の所在地ではない。此の事情が認められ且市の政治的區域がその管轄的、敎育的、財政的、商業的、社交的範圍と等しく擴張さるゝのが適當である。故に余は現在の市區を一中央組織に合併せしむるか、或は是等の市區の公道、衞生、警察其他普通業務の施行をば同一系統に屬せしむるかによる大マニラ市の建設に對し、各位の御考慮を求むる次第である。

前回合併若しくは統一せんと努力せるも失敗せるは、重に利害關係を有する政黨より提出されたる經濟的並に政治的見地に基く強力なる反對に歸し得らるゝのである。近接市區居住民の多くは高率の課税を恐れて合併に反對してゐる。然し此の反對は他の國に於ては市區合併當時の不動產を、都市、郊外、地方に區別し都市の便宜利益を受くる程度に應じて、各階級に税率を定むる事により、壓服されてしまつてゐる。又或る場合に於ては、合併させたる地方に對する課税は或る特定の年限内は、或る額以上に增加せしめざる樣規定した。更に合併に對する反對は、近接市區に於ける闘鷄場、ダンスホール、酒場及特種產業組織の營業に付與せられたる特種利害關係より起つた。此の根據から來る反對の多くは、或る年限内は現在の位置に於てかゝる設備の繼續を許し、彼等の一般禁止が立法部の法令によつてのみ實施せらるゝものなることを規定することにより打勝ち得ることが判明した。

若しもマニラがより大なる責任を履行せんとするならば、必要缺くべからざるものゝうちに、周圍の地方に通ずる並木道及大道の開發、改良せられよく舗裝せられたる道路系統の築造、廣大なる低地々方の排水及埋立、廣き橋梁の架設、北港地方の發達等がある。是等の計畫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、本マニラ市の現在の財源を超過する莫大な金額を要求するのである。前述せる諸改良の内二、三のもの例へば、パシッグ下流の架橋、全群島に關係あるマニラ港灣の開發の如きは、一部分比島資金を以て建設すべく、又現存街路の改良、並木道及大道系統の開發及低地々方の排水埋立工事の如きは、之により利益を蒙る土地の課税及排水又は改良せられたる土地の賣却により、一定年限の後には全費用を充すに充分なる金額を得るが如き方法に依つて財政を處理し得るのである。

現在に於ては市令は低地々方の所有者に該土地を埋立てることを要求して居る。然しながら此の市令の一般實施は、土地所有者に對し不當にも埋立の全費用を一時に支拂はしめんとする困難の爲めに實施困難である。其の上市も亦廣大なる面積の低地を有してゐるが、此の埋立は財政的に不可能であり、此を埋立てずして民間所有地の埋立を強制する事は不公平である。然しながら市をして二十箇年若しくは三十箇年の市債の發行を許す事は容易な事である。此の收入に依つて市は全低地々域の埋立費に充當するに充分なる資金を得る事が出來るのである。民間所有者は利子の低率なる年賦で容易く費用を支拂ひ得るであらう。市は其の低地を埋立改良して高價に賣却する事により埋立費を償還し得るであらう。總ての低地を同時に一樣に埋立てるのが利益である。かくの如く大規模に取扱はれたる場合の事業費は此を小規模の多くの個人買主に委せるよりも遙かに少額で濟むであらう。此の方法は他の都市にも行はれて成功してゐる。

街路の改良に關して、市は現在或る種の土木改良費の六〇％を、此れによつて利益を蒙る土地に特別課税する事により支拂ひ得るの權能を有してゐる。然しながら實際困難なる問題は、よつて以つて事業に資金を供し其の經費の分前を支辨すべき市資金の缺乏である。短期間不動產稅に端數的增加を課し、かゝる稅の收入が附加稅法の下に於て諸計畫を實行すべき運轉資金をなす事に許可が與へらるべきである。リザル大道の擴張改良方法は、郊外に容易に到達し得る大道及多くの混雜せる部分を緩減する他の大道を設くるに用ひ得るのである。市街路の擴張及直線化が、改良費を償ふ程充分に價値の增加を生ずることを證明すべき例證は、他の都市より豐富に得られるのである。

行政法第二四四二項によりマニラ市は、比島政府が市内に於て享くる特權及免稅、竝に群島首府所在地の故を以て課せられたる負擔を考慮して每年一百萬比の補助金を得て居た。然し豫算令に挿入せられたる但書に依り、數年間は實際上此の條項を廢止されたと等しく市は何等比島政府の援助を受けてゐないのである。若しも玆に紹介せる如き大マニラ市の建設が成就されたならば、以前に現在のマニラ市に與へられた比島の援助は、新しきマニラ市に對し總ての利便、殊に官立學校はあらゆる州の總ての居住民に自由に開放さるべきものなりとの條件にて與へらるべきである。

首都行政區域と同等の廣さの首府自治體の創設は市政の形式にある變化を伴ふべきである。近年大都市の組織及行政に關しては合衆

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國及其他諸國に於て多大の進步を見た。 市當局を委員會組織とする事及市に管理人を設くるの計畫は、 數多の重要都市に採用されてゐる。是等の變化は非常な節約を齎し、 且行政の效果を大いに増加した。 大都市の管理は全く實業的事業であり、 他實業事業が處理さるゝ如く處理すべきである。 近代は黨派的政治に依りて一般に市政計畫より全く離れてゐる傾向がある。 大實業事務操縱の經驗と能率とを基礎として選ばれた、 少數の指命、 若しくは選擧委員が才能ある市管理人を通して仕事をなすとき最も滿足すべき結果を齎すものである。 斯る形式の組織がマニラ市の現在の區域或は更に大なる合併されたる地理的區域に適用せらるるならば、 其は明かに現在の施政方式に勝る發展となるであらう。 此改革を提議せる法案及び現代的市組織形式に關する證據を陳述せんため、 報告は其内に各位の御考慮の爲め提出されることになつてゐる。

前回に各位の御考慮を煩したく首都海岸地方を治むる現行法に或る修正を加へんとする議案を提出して置いた。 是等の修正は此點數年間に得た經驗に基き、 不公平なる點及缺點を除去して該法を明瞭にし、 現在與へられてゐる大なる一般利害と、 より協調せる施政の形式を與ふべく立案されて居るのである。 比島政府が島部水道施設に必要なる資金を得るために發行されたる大公債に責任あるが故に此の合併事業の衝にあたる團體の管理に對し有效なる發言權を與へられて居り、 而も團體管理は地方的及政治的利害關係の支配より出來得る限り引離して置かなければならぬのである。 此の提議修正案に關しても各位の愼重なる考慮を煩はし度いと思ふ。

佛領印度支那

印度支那の漆（二）

第七節　製漆と漆製品

一、漆濾し

予め綿の床を置いた幅約〇・六〇米突の長い帶狀木綿の漆濾し器にソン・ナ或はソン・ニの生漆を載せ、 木綿帶の兩側から交互に出來るだけ巻き疊込み丁度長き腸詰狀のものを作り、 其一端を定著せるものに結び付け、 他の一端をバンヴアンと呼ばるゝ木製の廻轉機に定著し、 漆が木綿を通過して流れ出る樣充分なる捻りを加へるために職人が廻轉機を廻すのである。 斯くして木綿より搾出する漆は木綿帶の中央下に置ける受容器に滴下する。

この行程は必要な品質を得るに至る迄幾度も反復するのであるか、 併しその時は中の綿床をその度毎に取り換へなくては不可ない。

二、透明漆　（ゾエ二（Giau二）

本漆は漆漉しせるソン・ナ漆に煮桐油を混交して得られる處のもので、この混交は夏季ならば二日、冬季ならば約三日間攪拌機の中に入れて混交の目的を達するのである。この方法は安南人の行ふ最も普通の方法である。

本漆は平らな毛の硬い特殊の筆に依つて目的物に塗られる。本漆を木に塗れば、木は薔薇色掛つた濁黄色となり又それが乾燥した時は透明となつて木理を數へ得るに至る。安南人は本漆を家具人力車の塗料として最も盛んに使用してゐる、又鐵道會社は貨車の外部及内部の塗料に之を利用してゐる。

透明漆の製造に使用される桐油はトラウ(Trau 學名 Aleurites Montana, Wils.)の種子より採つた油である。本油は漆に混ずるに先ち軟かな火にかけ煮る必要がある。この煮油については それが沸騰しない様に細心な注意を必要とする。沸騰させては不可である。煮る際表面に小泡が上昇し始める時は、丁度沸騰せんとする前兆なるを以て火から容器を取り外さなくてはならない。而して暫くして再び之を火にかけるのである。かくて出來上つた漆が鐵棒の上に一樣に伸展し且絲の樣な粘り氣を有する樣になればこの煮漆の作業は完全に終つたのである。土人はこの作業を頗る六數しいものとしてゐる。卽ちその時間は二時間を越えては不可なること、又如何なることがあつてもその間瞬時も注意の目を外されないこと等である。

三一、朱色漆　(Son son)

漆は赤彩付けることが出來る。併し鑛物性の色具は適しない。最もよく使用されるのは辰砂朱である。朱色漆は土人語でソン・ド或はソン・ソンと呼ばれその含有率は次の通りである。

〇・六〇〇基瓦　生漆ソン・ナ或はソン・ニ

〇・三〇〇同　煮桐油

殘りは朱であるがこの量は一定してゐない。

漆を三日間攪拌器の中に入れ攪拌し、次で朱を混入し再び十二時間之を攪拌するのであるがこの行程中油を加へ最後に必要な流動性を有する狀態となればそのまゝ集團せしめて之を靜置す。

土人漆製造者は二種の朱を使用してゐる、一は支那産のソン・タウ(Son Tau)といふ粉末で價格は屡々高價を唱へる。他はソン・タイ州のソン・ロ(Son-lo)村産の石黄(Ocre)でソン・タ(Son Ta)と稱ふ粉質である。この搗き粉末となつた赤石黄を水に入れ、之にボケ(皂莢屬サイカチ屬 Gleditschia australis, Hemsl 或は Gleditschia pachycarpa, Balansa)の莢を加へ二乃至三時間之を煮る。而してそれが終れば莢を取り出し、それを暫く靜置する、斯くて二日間の後には石黄は器の底部に沈澱するがその時器を傾けて上部の水を流し底部の石黄が自然に乾くまでこれを放置せるのである。これを漆に合はされば、地方華客向きの頗る不體裁な朱色漆が出來上る。これは支那産の朱から作られる顏料に比較すればずつと價値が劣る。支那産朱を使用したものは紫色を帶びた濁赤色の頗る美麗なものである。しかし漆

工はタック・カオ(Thach-Cao)と稱する燒村末石膏を合せて作る。この顔料は又比較的高價である。

四、黑漆 (Son den)

生漆若くはソン、ジオイ(Son nhi)漆に硫化鐵及松脂を加へて黑漆を作る。その含有割合は次の通りである。

濾漆(ソン・ナ漆の一等品、或はソンマ、ジヤオ中等品〇・六〇〇基瓦
松脂(混合せる前に一度沸騰せしむ) 〇・二五〇同
硫化鐵(Phen den) 〇・〇五〇同

この混合物は大いなる容器に入れて一日或はより以上の間攪拌を續ける。この攪拌作業は木製の短柄のパレットを用ひて行ふのであるが、これは丁度船の舵によく似た形のものである。本作業は長く且困難である。空氣と硫化鐵との酸化作用により美しい黑色を呈するに至る迄これを續けなければならない。この美麗な黑色塗料を大量に生產する爲めにはこの手にて行ふ攪拌作業を機械にて行ふ樣に代へる必要がある。この作業は旣に日本人漆工の實際行つてゐる所である。

若干の漆工は本作業の終に小量の藍を加へて色合を良くす。この黑色塗料は特殊のもので或特殊の漆工の如きこの塗料の使用に際しては非常な注意を拂つてゐる。

この簡單な本漆の製造は佛蘭西工業家全體の注目を惹いてゐる。或者は本黑漆を非常に迅速な方法で製してゐる。卽混合物を緩かな火の上にかけ、鐵バケツ內の液を絕へず振動せしめて作るのであるが、併し本法による製品は前記せる方法による製品よりも品質劣等である。而して本方法は冬季間中行はるゝのみである。一年の中この季間は漆を濃厚ならしむる傾向がある。

混合物たる松脂(Dau nhua thong)の中、黑漆第一等品に使用さるゝものは松の新芽より採つたものを使用せる、新芽を偏平な容器に入れ每日太陽に曝露せしむ。その期間は二箇月間續くのであるがその間小量の水を注意して注ぐ。水は絕へず蒸發作用を爲す。かくて水に被れた極く小量の松脂を採るのである。この水と太陽の熱及ゴム巾の一種のヂヤスターゼの混合作用の下に表面に徐々に油質の帶綠白色の物質が構成さる、一見コパールの如きものであるがこれが黑漆の製造上の特殊原料となるのである。この製法は注目すべきもので事業としても多分相當の收益を齎し得るであらう。

不浸透性土人用マスティック(Mastic indigènes imperméable)(土名Son ni)之は濃き護膜脂狀の堅き捏り物である、本物質は木の鋸屑、生漆(ソン・ニ及ニュオク・ティエク Nuoc thie 混合)、粘土、捏り米粉、龍眼(土名Nhan 學名 Nephelium longana, Camb.)の碎實から構成してゐる、本品は漆を塗る目的物の穴及罅隙を塡塞し其表面を一樣にする目的の爲めに使用する。又此外に本品を漆塗の粗塗にも使用する。

五、Son lom

本品は細く碎いた粘土を篩にかけ、それに小量の水を加へたものに

生漆を混じた半流動體の捏り物である。

六、Son lot

これは前記 Son loan マスティックを塗りたる上に、筆を以て上塗するソン・ティツ(Son thit) 漆に附けた名稱である。

七、Son gan

これも濃いマスティックであるがその濃度は Son loan よりもずつと薄い。生漆(Son thit) 及木の鋸屑より作られたもので粘土は混じない。これは最も廣く使用され特に竹製の船、手桶、鉢等を不滲透ならしむるために利用されてゐる。實際に又頗るその効力が大である。角或は骨製のパレットを用ひて接合或は塡塞する。

八、Dat so

このマスティックは次の物質より出來上つてゐる。

生漆(ソン・ニ)	二の割合
粘土粉	一同
湿めしたる土人製紙	一同

これ等の物質は非常によく混和する。普通二時間で出來上る。乾燥も頗る速い。故に需要に應じて續々と製造し得るのである。又製造品は非常に硬いものを作り得るのみかこれに依て型に嵌めて製する型物なども作り得、且相當小さなものをも作り得ることが出來る。又土人がこれで作つた品は宛然木で作つた彫刻品の樣に見える。 又若し混合せる紙の分量が少き時は粘土の含有量が非常に強くなるが故、マスティックは壞れ易くなる。

支那人は本マスティックを古い良質の漆の擬ひ品として盛んに使用してゐる。彼等は本品の色合を赤褐色とし、圓形或は板狀の彫刻藝の上に取りつける。時には伸展性の強きものを作らんがため、又蒸發性を防がんがため油を混入することがある。かうしてこれに色を附け浮彫の上を刀にて傷くればその痕跡を殘す程度の柔軟性のものとするのである。

九、漆糊 (Colle de Laque, 土名 Ho coap)

糊質のものでその成分は次の通りである。

生漆(ソン・ニ)	一の割合
米糊 (Nep)	二同
荔枝實の粉末(Poudre de grainl de litchi, 土名 Long nhan)	一の割合

以上の混合物を約十五分間攪拌して本物質を造るのである。

本物質は普通家具類部分品の膠着劑及糊著劑として利用する。部分品が離れ〻となつた時等これによつて糊著けすれば非常に耐久力強く、容易に離れず無理に離さうとすれば寧ろ剝ぎ取れる程に粘力が強い。熱湯に浸けても同じである。

此糊は其利用法續々と發見せられつゝあるが、唯都合の惡い事は其糊付の跡に黑き痕跡を止める事である でよく乾燥せる時その上に色を塗つて之をかくしてゐる。此糊は安南人の家庭に於て非常に利用

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

されてゐる。

賛澤品の貼付に利用さるゝものには、生漆ソン・ニを二の割合、木鋸屑を一の割合に混合し利用してゐる。これは又前述した漆糊より良い質のものである。

第八節　土人の漆塗り工程

漆塗は最も普通木或は金屬に利用されてゐる。

木に漆を塗る時は、木面にある氣孔が一樣に塗り潰され密着して宛も木の一部分を爲すかの如くなる。非常に硬質の木に利用する時は勿論利用し得らるゝが塗つた漆が屢剝げる事があり、充分に密着しない缺點がある。併し黑漆は木にも金屬にも何方にもよく密着する。

安南人は使用する木を非常に選擇する。殊に供祭具に使用する木等はその最も好き不好きのある所であるが、主として使用さるゝ木は木蘭の種類である。印度支那に於てこの木蘭の木は東京及北部安南地方の山林に頗る豐富である。この木は帶黃白色を呈し、時に薄い綠色を帶びた黃色のものもある。土語で註)ヴアン・タム(Vang-tam)と呼ばれ、漆塗の目的物として盛んに搜索されてゐる所のものである。

註、本木は船舶室內備付品に使用さるゝヴアージニア百合の木(Tulipier de Virginie)と頗る類似してゐる。このヴアージニア百合の木は濃白色の色相を持つ。

この白木質のものが最も普通に使用されてゐる。殊に土人一般が非常に多く利用してゐる丸盆及圓筒狀の箱の製造に使用されてゐる。

本木で小さき薄板を作り漆を塗りて色を付け、一方盛んに搜し求められてゐる雌竹で作る薄片の代りに利用されてゐる。然し現在では漸次之に代りつゝある傾向がある。

漆を塗る前に、その木は充分鉋をかけ、接合目等は出來るだけ緻密にする必要がある。指物師が家具或はその他の品物を作り之に漆塗りを施こさんとする時、漆塗師は漆塗りに先ちその品物をよく調べ必要に應じてソン・ホを以て表面の細き目を塞ぐ。又その際特に木の接ぎ目或は穴等は最も注意して塗らなければならぬ。

このソン・ホの使用したものは次の行程により出來上りが頗る良くなる。即輕石(土語Da bot)を以て先づ最初の磨きを加へ、次でソンホムを塗り、更にTa phiと呼ばるゝ赤色の石を以て磨く。最後にソン・ロ(Son lo)を塗り、柔かき石(Da-mai 或は Da-nam)を以て最終の磨きをかけるのである、以上の仕事は漆塗工により又磨きは婦女子によつてなさる。

併し黑く漆塗るには、前記各種の工程を經て最後の磨きをかける際、特に楝屬の一種であるソアン(Xoan)の木で作つた木炭の篩ひにかけた極く細ひ粉末で之を磨くのである。物によつては八回許り引き續き磨きをかけると非常に美しくなる。日本に於てはホウノ木(朴)(Magnolia hypoleuca S. et Zucc.)で作つた炭を利用してゐる。この炭は朴炭と呼ばれ六〇基瓦八十圓迄の價格で賣買されてゐる。

以上の各研磨作業が施された木製の品物は、次に愈々漆塗りの行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

程に入るのであるが、その表面の手觸り頗る柔かで丁度やき藥を塗つた陶器の樣な感觸がある。

漆の著色はデリケートな工程を經る。既にソン・ジヤウの項で油を混ずる事は述べたが、この油は鑛物性のものは使用出來ない。如何といふに、鑛物性のものは非常に急速に酸化し或物によつては黑色に變色せしむるからである。

朱旋砂、酸化蒼鉛、二硫化砒素（雄黃）及或種の石黃等余輩の識れるものとしては以上のものが鑛物性著色劑として使用され、赤、灰、黃色のものを作る。されど中以下のもの〻著色劑としてはまづアニリン染料が使用されてゐる。

植物性著色劑としては、余は藍（青色劑）あることを知るのみである。又これに雄黃を混じ、植物性綠色からオリーブ綠色迄の各種の綠色劑を作つてゐる。漆の著色に非常な熟練せる手腕を持つ日本人は名を指し示すに困難な他の著色劑を使用してゐる。故に今日では大部分その特徵ある製造物はその製造者の名を以て稱ばれてある程である。

漆工は漆（ソン・ジアウ）に著色する際はその著色する物質の分量をよく判斷して混合する。漆塗りには Chi chep と呼ばる〻筆刷毛を用ふ。この刷毛は竹製の二本の薄片を重ねその間に平行に多くの牛毛を挾んで作つてある。この毛は冬季のものを使用する。又人髮をも用ひる。これを用ひて著色漆の小點を目的物の上に塗るのである。その塗方もその刷毛の方向を同一方向に向け且一筆で塗る必要がある。再度塗りは不可である。若し仕損じの場合は、再び磨いて著いて居る漆を取り除き、再び漆塗りの最初の行程より初めなければならぬ。これが透明漆（ソン・ジアウ）を塗る場合は幾度も塗りをするも構はない。唯色漆の場合のみ必ず一刷毛で塗らなくてはならない。

漆を塗られたる物の乾燥換言せば硬化は一寸時間がか〻る。乾燥せる日よりも濕潤の日が急速に乾燥することは注目に價することである。この硬化を速める爲め、漆塗りを終つた物を臺座で壁を仕切つた暗室に置き、適當の濕氣を保つ樣にしてある。尚又この室はしつかり締め切つて完全に塵埃や昆蟲等の入り込み、塗り立ての漆の上に止まらぬ樣之を防いでゐる。

硬化迄の所要時間は濕氣の日で約二日、乾燥せる日で四五日間である。硬化を捗らす爲めに河內に住む日本人漆屋は次の分量のものを漆に混入する。その割合は漆〇・六〇〇基瓦に對して二〇滴の割合に混ずる。

糖汁	二〇の割合
グリセリン	八〇同
アニリン（Auramine—コールタールより採つた一種の黃色々料）	一同

（未完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□印度支那人口統計

（本數字は一九二六年度年鑑に據る）

印度支那各國別人口及密度表

國別	人口	面積（方里）	密度
交趾支那	四、〇〇八、九八九	三、六三〇・八二	一、一〇四・一六
東京	七、〇五六、七五六	六、八〇七・七八	一、〇三六・五七
安南	四、八〇三、八〇六	九、七二五・四〇	四九三・九四
柬埔寨	二、五三九、四七四	一一、三四六・二〇	二二三・八二
老撾	七八八、八三五	一三、八七四・九〇	五六・八五
廣州灣	二一一、六〇九	五四・五九	三、八七六・三三
計	一九、四〇九、四六九	四五、四三九・六九	四二七・一五

人種別人口

日本人	交趾支那	一二
	東京	一四〇
	安南	二
	計	一五四
歐洲人	交趾支那	一二、五五〇
	東京	一二、六〇三
	安南	二、二二二
	柬埔寨	一、七三〇
	老撾	三五一
	廣州灣	二四一
	計	二九、六九七
支那人	交趾支那	一六六、三五七
	東京	四五、五四八
	安南	七、〇一一
	柬埔寨	一三二、〇〇一
	老撾	二、三六三
	廣州灣	二一一、〇〇六
	計	五六四、二八八
印度人	交趾支那	六一六
	東京	二六五
	安南	七九
	柬埔寨	三三二

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

	計	一、二九二
遅羅人	東京	一四
	安南	二、七八四
	老撾	一三
	計	二、八一一
安南人	交趾支那	三、三一七、九六七
	東京	六、三〇五、二〇一
	安南	四、二八八、四四七
	柬埔寨	一三四、八〇五
	老撾	一三、五〇一
	廣州灣	三六二
	計	一四、〇六〇、二八三
柬埔寨人	交趾支那	二九四、六八三
	安南	五
	柬埔寨	一、六〇〇、六〇六
	老撾	二八
	計	一、八九五、三二二
其他の土人	交趾支那	二一六、八〇四
	東京	六九〇、二一五
	安南	五〇六、〇二六
	柬埔寨	六七〇、〇〇〇
	老撾	七七二、五七七
	計	二、八五五、六二二
總計		一九、四〇九、四六九

遅羅

□遅羅に於ける産業組合運動の成績（續）

準備金

組合の純益は凡て下記の目的を以て準備金として積立てられる。

（一）組合の活動範圍擴張の資金を準備し、外部より借入金を仰がざること。

（二）非常支出に充當する準備金として保持すること。

（三）組合を確固たる根底に置き、一般に其信用を强固にすること

準備金は(a)利子(b)加入料(c)地代(d)罰金より積立てる。

(a)利子　組合は銀行よりの借入金に六%の利子を支拂ひ、十二%を以て組合員に又借しする。其差より得たる利益は準備金とする。

(b)加入料　新組合員は五銖の加入料を支拂ふことになつてゐる。

(c)地代　組合中には土地を所有するものがあり、この土地を借地人に貸付けて年々地代を徴收する。

(d)罰金　正規の期日に借入金の拂戻を怠りたる組合員に對しては罰金を課する、組合規則に依れば、總會が利率を引上げたり又は罰金を課したりすることになつてゐる。

準備金は十二%の利子を以て組合員に貸付けられる。次掲の內譯は二四六八年の貸借對照表より引例したものである。

組合員への貸付金		三九八、六五七・三九銖
銀行よりの借入金	二六一、一六五九七銖	
組合員以外よりの預金	七、二三九、四二同	二六八、四〇五・三九同
組合員貸付金用準備金		一三〇、二五二・〇〇同
現金手許有高		五、四五〇・一五同
組合所有地價格		二、五一五・五二同
銀行現金殘高		一、九八七・三三同
準備金總計		一四〇、二〇五・〇〇銖

有準備金は運轉資本の三四・三一%なるを示してゐる。

尙運轉資本と準備金との比較統計を年別に掲ぐれば次の如くである(單位銖)。

年次	組合數	年末に於ける運轉資本額	準備金	運轉資本に對する準備金の步合
二四五九	一	三、二〇〇・〇〇	九五・〇〇	二・九六
二四六〇	一三	五九、五四八・六一	三、五九六・七五	六・〇四
二四六一	一四	五四、一八六・六四	七、一八二・五五	一三・二五
二四六二	二六	一六七、三三九・五五	一二、四七〇・四[illegible]	七・四[illegible]
二四六三	六〇	二四三、五五一・八八	二三、〇三三・七三	九・六一
二四六四	六〇	三三六、五八五・九[illegible]	五三、九〇八・二〇	一五・七三
二四六五	六〇	三〇三、八三八・〇八	七三、五九一・三九	二四・八九
二四六六	六四	三〇八、四〇七・四九	九一、七四三・六六	二九・七五
二四六七	六九	三三三、二四三・五三	一四三、〇二二・三五	四二・九二
二四六八	七七	四〇八、六一〇・二九	一四〇、二〇五・〇〇	三四・三一

上表を研究するに當り說明を要するは、二四六二年及び二四六三年に於ける準備金の示せる步合が、二四六一年に比して低落せる點であるが、之は、二四六二年に十二新組合が組織されて運轉資本八二、七〇〇銖を要し、又二四六三年に於ては三四の新組合が登記せられ、一三一、二八〇銖の運轉資本を要したる事實に依るものである。新組合が設立され大資本を要すれば、準備金步合も自然低下する譯である。

組合の地產

組合は次の理由で土地を所有する

(一)　組合員中には土地を要するも、組合に對する債務の爲めに直

に購入するを得ない者があるが故に、組合は其組合員に賣却する爲めに之等の土地を購入した。

（二）脫退員が債務決濟の爲めに組合に土地を讓與する。

二四六八年末の貸借對照表に依れば、組合は七地區の土地を所有し其價格二、四二九銖である。この土地は組合員が借入れ、機會あり次第に賣拂はれる。

預　金

組合が運轉資本を得るの今一法を記載することは、特にこの方法が堅實なる信用に一脈の光明を放つものであるが故に望ましいことである。

既述の如く、組合借入金の唯一の出所は元來暹羅商業銀行であるが、二四六七年末に及んで、組合に預金する團體を生ずるに至つた。元來組合への預金は、組合規則に依り定期預金に限られ、而も暹羅商業銀行が組合貸付金に課する利率よりも低率であるのみならず、政府の保證もなく、又絶えず主腦者の管理を受けることも出來ないので不安である。然し彼等は産業組合なるものに確信と興味を有するものであつて、同年より引續き預金をなしてゐる。

組合の運轉資金を引出し得る財源が別にあると云ふ事實は、公衆の信賴の如何に高きかを啓示せるのみならず、而も亦、斯る預金が増大する時は同運動を更に擴延するの道を開示するものである。

組合員の地位

次表は組合設立當時の借入金額を示すものである（單位銖）。

縣名	組合員數	舊負債支拂額	家畜購入額	種子購入額	農具購入額	土地購入額	其他	計
ピツトサヌローク	四九二	二〇、七一三	二、五七七	一七、四三五	一、八六〇	二〇〇	二三、七四五	七四、五四〇
ロブブリー	八〇三	一九一、一〇四	二四、一四八	三七、〇九五	一六、七一三	二四、二七〇	二六、一五六	三一九、四九五
アユテイア	二九	五、七七四	五五〇	一、一五六	三、八二〇	八〇〇	一五〇	一二、二四〇
計	一、三二四	二一七、六〇一	二六、二七五	五五、六八六	二一、三九一	二五、二七〇	四九、〇五一	四〇六、二七五

上表より見れば、組合設立當初組合員に前貸されたる貸付金の五・三五六%は、舊負債の淸算に當てられた。之に亞いで大なる支出は、二四六二年に於ける米收の不作の爲めに、消費用及び種子用に購入したる米であつて、この勘定の貸付金は五五、六八六銖即ち資本金額の一三・七%となつてゐる。

同運動に加入前の組合員の地位は斯の如くであつた。而して、收入

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の主要財源は米作であり、借入金は舊負債の清算、飯米及び種米購入に大部分を費出し、又二四六〇年及び二四六二年に不作のありたる事實を以てすれば、彼等の物質的進歩は必然遲々たるものではあつたが、然し彼等現下の地位は、豫期通りの良好さを示してゐる。

偖て組合員の產業組合運動より得たる、物質的利益の概要を述べやう。記憶すべき一事は、彼等の入會期間に著しき長短のあることで、中には長年會員となつてゐるものがあるかと思へば、極僅かで脫退するものもゐて、組合員の得たる利益に就て正確なる觀念を與へることは困難であるが、次項に依り其幾らかを拾得されたい。

(一) 負債減少

上記の表によりて見れば、組合設立當初に於ける、組合員の借入額は四〇六、二七五銖に上り、平均一員當り約三〇六銖で、二四六八年末の各年檢閱報告に依れば、一員當りの平均は二六四銖である。この減少歩合の遲々たるは次の諸事實に依るものである。

(a) 年々新合合員の加入があり、初期の組合員よりは多くの資本を要したること

(b) 組合員が借入金を返戻したる時は、通常或は土地を購入し、或はラプ・フアク(Rap Fak)制度に依つて土地を手に入れ、或は又家畜を購入して、彼等の地位を改善する爲めに、更に新しく借入を乞ふこと。

備考—「ラプ・フアク」とは、土地所有者に無利子の貸付をなし、之に對して自己の農作用地を手に入れる制度で、所有主は、刈入後なれば何時にても、借入金を返濟して土地の返戻を受けることが出來る。

(c) 組合員中には彼等の借入金を返濟し次第脫退する者があつて、組合員の總數は減少した。斯る脫退者の數は一五八名の多數に上つた。

如上の事實は、一員當りの負債減少平均歩合の遲々たりしを語るものであるが、然し次表に依りて研究すれば欠勝減少でなかつたことが判明する。二四六八年度末に於ける借入總額は六六四、二四七・九六銖に上つたが、同日附の貸借對照表には三七三、七六二、五七銖となつてゐて、二九〇・四八五・三九銖卽ち全貸入額の四三・七三%を返戾したことを意味してゐる。

過去十年間に於ける組合員の借入額を示せば次表の如くである。

(單位銖)

年次	舊負債支拂額	家畜購入額	種子購入額	農具購入額	土地購入額	其他	計
二四五九	三三〇・〇〇	五五六	—	—	二〇〇	一、九一四・〇〇	三、〇〇〇・〇〇
二四六〇	三八、九四五・〇〇	二、八〇七	一、一一六・〇〇	二六〇・〇〇	—	五、四三九・〇〇	四八、五六七・〇〇

二四六一	四三四・〇〇	—	一、五八二・四七	—	六〇〇	一、三六六・〇〇	三、九八三・四七
二四六二	二七、九二七・〇〇	一三、七〇一	五〇、五九九・〇〇	三、八一三・〇〇	八、八四八	五、〇六五・〇〇	一〇九、九五三・〇〇
二四六三	六三、四二一・六五	一二、三三三	七六、三七一・〇〇	八四四九・〇〇	三、八一五	一六、六六八・八五	一七七、八五九・五〇
二四六四	四、五七一・八五	三、〇一〇	三、〇八一・八六	四〇〇・〇〇	一、八〇〇	六、〇九九・五〇	一六、九八三・三一
二四六五	二一、七三六・五五	一、三三〇	二、三四三・〇〇	五〇〇・〇〇	五、五三〇	四、〇五九・五〇	三五、三七五・〇五
二四六六	二七、四二五・一四	四、五八五	一、七九六・六六	一、三三四・〇〇	四、一六〇	一三、一四九・六三	五二、四四〇・四三
二四六七	三一、八五三・三五	五、八五八	五七〇・〇〇	一、五八四・五〇	二五、七四七	一九、九〇三・〇〇	八五、五一四・八五
二四六八	七五、三八四・九四	二、八六六	一〇〇・〇〇	六、〇六〇・〇〇	三四、三〇六	三三、九八三・五三	一四〇、六七三・四三
計	二七九、九〇八・四八	五三、八五六	一三六、三六〇・九九	一三、三八九・五〇	七五、〇八〇	九六、六五三・九九	六六四、三四七・九六

(二)組合員所有地の增加　上表より見れば、二四六八年度末に於て七五、〇八〇銖の借入金が、新地所購入に費消されてゐる。組合員の多くは既に所要資金の幾何かを有してゐたし、不足額は銀行よりの借入金で之に充當せられた。他の組合員も自分自身の資金か、又は今一層ヂャングルを清掃して土地を得た。

加入當初に於ては、組合員は舊負債を免れなければならなかつたので、地位の改善は餘り出來なかつた。故に組合より借入たる資金で土地を取得することは、唯二年前に初まつたものと云つても差支ない。組合員が債務を免れれば、彼等の地位を改善し初めるから、土地の取得は將來益々增加するに相違ない。

(三)栽培增加　米作增加は顯著であつたが、然し、組合設立當時の統計の存せざるが故に、增加の程度に就て明確なる數字を與ふることは困難である。而も栽培增加は新地所の購入、低當に入れたる地所の買受け、ヂャングルの新清掃等に依り明瞭であり、且つ是は凡て組合よりの借入金に依りて出來得たと云ふも間違はない。

(四)家畜購入　農夫を知る者は、又家畜が彼等にとつて如何に援けになるかも知るであらう。上表を見れば、五三、八五六銖は家畜を購入して、斃死したる家畜と取換へ又は增加したる栽培に充當した。檢査官の報告に依れば、如上の福惠に加ふるに、組合員の生活標準の改善に著しきものがあり、茅屋は木造家屋に、葺き屋根は波板の屋根に換へられた。

今や組合員は、增水期或はもつと有利な機會に於て、或は何時にても欲する時に於て販賣する爲め、收穫米を控置しておくことが出來るのである。彼等は最早金に困り債鬼に責められて、乾期又は收入期に賤

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて收穫米を賣却するが如き愚はしない。

共濟組織は、唯物質的利得のみでなく、又少からず組合員の品性を築き上げたものと云へる。玆に組合員の受けた精神的利益に付て二三例證し、以て讀者の判得に便しやう。

(一)共濟主義に依りて與へられたる物質的利益は、外形上に一變化を生ぜしめた。組合員は金錢を浪費することなく、今や一層彼等の安寧を思ひ、彼等の運命の進展を望むやうになつた。

産業組合村に於ては賭博も亦減少して來た。もし賭博をなす組合員があれば仲間より、組合瓦壞の有力なる起源なりと見做され、組合より放逐される。

(二)共濟精神　産業組合村には竊盜のあることは稀有であると明言する。組合員はお互ひの財産を看守守護し、是は甲の所有あれは乙のもの等と考へることなく、一組合員の財産をも組合財産の一部であると認めてゐる。少しでも財産を竊取さるゝことがあれば、組合は早速其埋合せの爲めに犧牲者に貸付をなさねばならないので、つまりは夫丈組合が貧乏となるべきである。

檢閱官は屢々報告してゐる。一組合員の家畜が盜取されると、他の組合員連は其家畜の跡を追うて出て行く、時には殆んど全組合員が集まる。是は組合員間に普及せる共濟精神なるものが、竊盜に對する絶えざる障碍であることを示すものである。

二四六八年度の年度檢閱に際して、檢閱官は次の事實を報じてゐる或組合の組合員の二人が私事を爭ひ、村長の力にも及ばない重大事件に發展して、正に法廷に立たんとしたが、時に組合は總會を開き、同事件を温かく裁いた。斯してお互に法律沙汰に及びたる二家族とは打つて變つて再び友人として握手した。

上記は、共濟組織なるものが、組合員の物質的、精神的、智的標準の改善の上に齎し得る二、三の例に過ぎない。

最後に當り次の事實を述べ得る。農民救濟手段としての共濟組織の働きは、今日の慶成功を收め該組織を暹羅に創設したるは、當を得たものであることを十分に立證してゐる。若し組合の運轉資本と準備金とを比較する時、組合は信じ得ざる短日月に組合自身の資本を著しく築き上げてゐる事實に直に氣付くであらう。尙、組合の信用又は財政上の地位を調査すれば、暹羅に於ける産業組合運動の確固たる根底の一つを悟るであらう。政府が試みに共濟組織を取りたる過去十年間を徵するに、特に成功を收めてゐるとは主張されないが、然し少くとも、是に使用せし時間と勞力とに相應な成績を收めたるものと云ひ得る。

如上の諸記事を更に詳述する爲め次の二表を添付する。

I表　産業組合財政上の地位（單位銖）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

組合名	等級	組合員 設立當初	組合員 二四六八年末	銀行より借入れたる運轉資本 設立當初	銀行より借入れたる運轉資本 二四六八年末迄の累計	二四六八年末迄の銀行への拂戻額累計	二四六八年末に於ける銀行よりの借入金殘額	二四六八年末に於ける外部よりの預金額（利子共）	二四六八年末に於ける準備金
二四五九年									
ピツトサヌローク									
Wat・han	二	一六	四七	三,〇〇〇・〇〇	一四,五七八・四七	九,一八七・七七	五,三九〇・七〇	—	四,九六二・八一
二四六〇年									
ロツブブリー									
Ban Kluey	二	一四	二一	六,〇〇〇・〇〇	七,二〇〇・〇〇	七,二〇〇・〇〇	六六五・〇三	—	三,一八二・〇三
Ban Klang	二	一〇	一三	三,六〇〇・〇〇	六,九三九・九一	五,三三八・五八	一,六〇一・三三	—	二,六六〇・九六
Ban Song-Phinong	三	一三	一四	四,六七〇・〇〇	六,〇九七・〇〇	六,〇九七・〇〇	六九三・九六	—	二,九五四・一七
Ban Samrong	三	一五	一三	三,八〇〇・〇〇	六,一四〇・〇〇	五,一四一・七五	九九八・二五	—	三,〇二九・五七
Phon Thong	四	一〇	一五	五,〇〇〇・〇〇	七,一〇〇・〇〇	四,五四三・八六	二,五五六・一四	—	四,三六五・六九
Ban Mi	三	一〇	一三	四,七四〇・〇〇	六,五五七・一七	五,七三三・九三	八二四・二四	—	二,八八六・四五
Bang Pung	二	一二	一八	三,六〇〇・〇〇	九,〇四六・〇〇	七,七七五・三〇	一,二七〇・七〇	—	三,三三五・五一
Ban Shi	三	一二	一一	三,三五〇・〇〇	六,〇八〇・〇〇	四,〇八〇・七五	一,九九九・二五	—	二,八三七・八六
Talay Chupsorn	三	一六	二〇	二,六〇〇・〇〇	九,一二九・八八	七,七一八・三八	一,四一一・五〇	—	三,七一八・七五
Photalat Keo	二	一九	二五	六,五八〇・〇〇	一四,九五〇・〇〇	一四,六〇二・二九	三四七・七一	八四五・二五	六,〇八二・二四
Ban Kayai	三	一六	一六	三,一四〇・〇〇	九,五七七・〇〇	七,九三三・三九	一,六四三・六一	—	四,〇三三・四六
二四六一年									
ピツトサヌローク									
Prom Piram	三	一九	二一	一,五八五・〇〇	四,〇五五・〇〇	三,七六〇・四四	二九四・五六	—	一,四四九・四四
二四六二年									

ロップブリー									
Ban Pawai	三	一三	一七	八、〇六〇・〇〇	八、一六〇・〇〇	五、三三三・〇八	二、八三七・九一	—	三、〇三四・九三
Po Katon	二	一七	一七	四、七〇〇・〇〇	七、四〇〇・〇〇	五、六八七・一三	一、七二一・八八	—	一、九八五・〇五
Kok Katiem	四	一七	二四	三、八五〇・〇〇	七、五一〇・〇〇	一、四〇九・八四	六、一二〇・一六	—	三、一九九・六五
Klong Yai Klai	二	一五	一四	三、六〇〇・〇〇	九、二三一・〇〇	八、九八六・一九	二三五・八一	八二一・六七	一、四四四・六四
Pa Tan	三	一六	一五	四、六〇〇・〇〇	四、八一〇・〇〇	二、九九二・九三	一、八二七・〇七	—	一、九二八・四八
Po Pi Hai	三	三八	三一	一五、六四〇・〇〇	一六、二四〇・〇〇	一一、七二九・五三	四、五一〇・四七	—	五、七七一・四三
Tanon Yai	二	三八	五〇	一五、三〇〇・〇〇	二六、四一〇・〇〇	一九、九三七・〇七	五、四七三・九三	三、二二五・八三	六、三九六・三三
Tanon Ke	二	一六	一六	三、一〇〇・〇〇	四、七一〇・〇〇	四、〇八五・〇六	六三五・九四	—	一、四四一・八三
Bang Kanmak Tai	三	一八	一八	六、一四〇・〇〇	八、一六〇・〇〇	五、一八六・〇五	二、九七三・九五	—	二、六六一・七七
Bang Kanmak Nua	三	一七	一七	七、一〇〇・〇〇	八、〇〇〇・〇〇	四、九四七・九五	三、〇五三・〇五	—	二、七九四・五八
Klong Sai Bua	四	一八	一六	五、三七〇・〇〇	五、三七〇・〇〇	一、三三四・六六	四、〇四五・〇四	—	二、四〇六・〇三
Ta Din Neo	二	一六	一七	五、〇〇〇・〇〇	八、七六〇・〇〇	六、八四四・一六	一、九一五・八四	六〇八・七五	一、八二七・〇一
二四六三年									
ピットサヌローク									
Ban Bang Sai	三	一七	二一	二、二五〇・〇〇	四、三三一・〇〇	二、二七〇・七一	一、九六〇・三七	—	八九九・九七
Bang Kwan Ma	三	二三	二三	四、一五〇・〇〇	五、六〇〇・〇〇	二、七五九・四八	二、八四五・九四	—	一、七三〇・三三
Ban Mai	四	一七	一五	二、三〇〇・〇〇	二、六五〇・〇〇	一、四一九・七六	一、三三〇・二四	—	一、〇一〇・四五
Ban Ta Rong	三	一二	一五	二、三〇〇・〇〇	四、三五〇・〇〇	三、三六一・〇九	九八七・九一	—	八六六・八二
Wat Lon	三	一二	一七	一、七〇〇・〇〇	三、〇五〇・〇〇	二、〇三一・一一	一、〇一七・八八	—	八九八・五〇
アユティア									
Bang Krasan Klang	三	一七	二〇	•七、一四〇・〇〇	一〇、九一〇・〇〇	四、九三四・八八	五、九七五・一三	—	三、四四四・八六
Bang Kian	三	一二	一一	五、一〇〇・〇〇	五、五三〇・〇〇	三、〇五〇・一四	二、四七九・八六	—	一、七九一・〇二
ピットサヌローク									

Wat choong Nang	三	二〇	一八	三、〇五〇・〇〇	三、〇五〇・〇〇	一、六一五・二〇	一、四三四・八〇	—	一、一八七・〇五
Ban Don	二	一五	二三	三、一〇〇・〇〇	七、四二〇・〇〇	四、六〇七・六九	三、八一三・二一	—	一、三八〇・六五
Ban Krok	三	一四	二六	二、七三〇・〇〇	三、六三〇・〇〇	二、一八六・六四	一、四四三・三六	—	九九〇・三七
Ban Rai	四	二八	二三	五、三〇〇・〇〇	五、四〇〇・〇〇	三、八五八・二〇	三、五四一・八〇	—	三、二一八・七八
Ban Ta Po	三	一二	一二	一、三五〇・〇〇	一、五二〇・〇〇	一、三〇八・〇六	三三一・九四	—	三八五・七七
Ban Klong Mahatthai	三	一三	二三	二、一〇〇・〇〇	二、一〇〇・〇〇	九六四・三七	一、一三五・六三	—	八一八・一七
Ban Ta Naprang	四	二八	二五	六、〇〇〇・〇〇	六、五〇〇・〇〇	三三〇・六一	六、四三五・五五	—	三、七〇七・七八
Ban Wang Somsa	三	一二	一四	一、四〇〇・〇〇	二、三〇〇・〇〇	一、三三二・六九	九六三・二一	—	五二一・六七
Ban Makam Riang	三	二五	二八	五、三五〇・〇〇	七、三六〇・〇〇	四、四九八・四三	三、八六一・五七	—	一、九六五・七三
Ban Ngeu Ngam	四	一三	一二	一、七五〇・〇〇	一、七五〇・〇〇	八四八・九九	九〇一・〇一	—	六六九・六三
Ban Klong Tan	三	二九	二六	二、四五五・〇	二、七四五・〇〇	一、七七二・〇九	一、〇三四・五〇	—	九六六・三八
Ban Hang Lai	三	四七	四〇	七、二〇〇・〇〇	七、二〇〇・〇〇	三、八二三・〇四	三、三七七・九六	—	三、六九一・〇八
Ban Had Yai	三	三	二〇	二、三六〇・〇〇	二、三六〇・〇〇	二、三六〇・〇〇	二四三・九	—	八六六・三三
Ban Ta Mafuang	三	二七	二四	二、一五五・〇〇	二、一五五・〇〇	一、一五八・五一	九九六・四九	—	一、〇五九・七七
Wang Pra Si	四	三一	二九	二、八三〇・〇〇	二、八二〇・〇〇	一、六八五・五二	一、一四四・四八	—	一、三三八・〇〇
Ban Wang Won	三	一五	一三	一、七六〇・〇〇	一、八六〇・〇〇	一、六四九・五七	二二〇・四三	—	六五二・一二
Ban Sanam Klee	三	一七	一五	一、九〇〇・〇〇	二、二二〇・〇〇	一、三六七・九七	八五三・〇三	—	七〇四・九四
Ban Had Takoo	三	一四	一七	二、九〇〇・〇〇	二、二五〇・〇〇	二、〇三五・七	一、三四六・四三	—	一、一九〇・三七
ロップブリー									
Ban Manao Wan	二	一七	一七	五、九〇〇・〇〇	八、五二六・〇〇	六、四八三・一九	二、〇四三・八一	六〇八・七五	一、九七四・〇五
Ta Rab	二	一五	一五	五、七四〇・〇〇	七、六五〇・九二	五、一一四・四三	二、五三六・四九	六六六・二五	二、〇三四・二〇
Ban Chiang Nga	二	一七	一八	三、六〇〇・〇〇	五、二〇〇・〇〇	五、二一〇・〇〇	六〇四・〇五	八〇六・六七	一、〇七七・七五
Ban Sam Ruan	三	一三	一三	四、六〇〇・〇〇	五、五九〇・〇〇	四、五五六・〇四	一、〇三三・九六	—	一、五三七・〇四
Tai Ban	四	三	二三	七、二三〇・〇〇	一〇、四九九・〇〇	四、四二五・八五	六、〇七三・一五	—	二、九七八・三二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Rang Kahn	三	一五	一六	六、六四〇・〇〇	八、一九〇・〇〇	三、五一七・八五	四、六七三・一五	—	二、六六三・四一
Sanam Chai	三	一五	一五	七、〇〇〇・〇〇	九、九五〇・〇〇	五、八四六・九一	四、一〇三・〇九	—	二、三八九・三八
Klong Ta Nen	三	一六	一六	六、〇〇〇・〇〇	八、六六〇・〇〇	四、四七五・三九	四、一八四・七一	—	一、九九七・八三
Pak Klong	三	一四	二	四、三五〇・〇〇	一三、八五〇・〇〇	八、九八五・六六	四、八六四・三四	六六六・三五	一、八九七・七六
二四六六年									
ロツブブリー									
Klong Po	三	一六	一九	七、四三〇・〇〇	一二、三九一・〇〇	二、六五三・八八	八、七七七・二三	—	一、一三三・三八
Na Wat	三	一四	一四	五、七二〇・〇〇	八、七三九・〇〇	三、七八九・一四	五、九四九・八六	—	七四一・八三
Wat Nok	三	一三	一一	四、〇〇〇・〇〇	五、七〇〇・〇〇	三、〇七七・九三	三、六三三・〇八	—	五三六・六五
Bang Koo	三	一三	一五	一、二八〇・〇〇	七、二四〇・〇〇	三、六四三・四三	四、六九六・五七	—	六三三・六三
Klong Chim	三	一六	一四	六、五〇〇・〇〇	一三、〇〇〇・〇〇	三、七三四・一九	九、三七五・八一	—	一、三一七・八九
二四六七年									
ロツブブリー									
Ban Mok	三	一三	一三	四、六〇〇・〇〇	五、九四〇・〇〇	四八五・六五	五、四五四・三五	—	五五六・〇五
Wat Sing Tong	三	一四	一四	三、九〇〇・〇〇	六、三六四・〇〇	一、七八四・九五	四、九七九・〇五	—	四九一・三一
Sai Yoy	三	一三	一四	五、八〇〇・〇〇	一二、六五〇・〇〇	九二三・〇三	一〇、七二七・九七	—	九六一・三四
Klong Ta Pin	三	一五	一八	四、一〇〇・〇〇	六、〇五〇・〇〇	一、七〇九・三〇	四、三四〇・七〇	—	四五〇・三三
Bun Yai	三	一五	一六	六、二〇〇・〇〇	六、八四〇・〇〇	一、六四九・六五	五、一九〇・三五	—	五八〇・五〇
二四六八年									
ロツブブリー									
Klong Takop	—	一三	一三	五、七〇〇・〇〇	五、六〇〇・〇〇	七〇・八〇	五、六三九・二〇	—	一七四・五五
Wat Bhinyo	—	一四	一四	六、七〇〇・〇〇	六、七〇〇・〇〇	—	六、八七三・三八	—	三三・〇三
Ban Kracheng	—	一三	一三	五、三五〇・〇〇	五、三五〇・〇〇	—	五、五三〇・一三	—	二〇三・五八
Wat Paknam	—	一三	一三	六、四〇〇・〇〇	六、四〇〇・〇〇	—	六、四四四・六三	—	四七・六八

Ban Dab	ー	一七	一七	一〇、六〇〇·〇〇	一〇、六〇〇·〇〇	ー	一〇、七〇二·四〇	ー	一四七·六〇
Kok Lamphang	ー	一九	一九	一一、六〇〇·〇〇	一一、六〇〇·〇〇	ー	一一、七一八·九一	ー	一七三·四九
Ban Kok	ー	一九	一九	一一、六〇〇·〇〇	一一、六〇〇·〇〇	ー	一一、六〇〇·〇〇	ー	一四四·〇〇
Ngeu Rai	ー	一八	一八	一〇、七五〇·〇〇	一〇、七五〇·〇〇	ー	一〇、七五〇·〇〇	ー	一三四·七五
ピツトサヌローク	ー	四九二	五三	七二、六七五·〇〇	一〇四、二七四·四七	六一、〇九三·五三	四三、三九四·二一 ※二四·二九	ー	三三、九四〇·六五
ロツプブリー	ー	八〇三	八六一	二九九、五〇〇·〇〇	四三三、四二八·八八	二三三、七二一·三三	二〇九、三一六·八八 ※一、九六三·〇四	七、二三九·四二	一〇一、〇二八·四六
アユテイア	ー	二九五	三一	一三、二四〇·〇〇	一六、四四〇·〇〇	七、九八五·〇三	八、四五四·九八	ー	五、二三五·八九
總計		一、三二四	一、四一四	三八四、四一五·〇〇	五五三、一四三·三五	二九二、七九九·八八	二六一、一六五·九七 ※一、九八七·三三	七、二三九·四二	一四〇、二〇五·〇〇

II表 二四六七、六八年度産業組合員の見額收支（單位銖）

（※は暹羅商業銀行に於ける貸方殘高）

縣名	組合數	組合員數	栽培面積 計	栽培面積 一員當り平均	籾の產量 計（キエン）	籾の產量 一唻當り平均（サト）	家庭用貯籾額（キエン）	同年度收入 籾販賣	同年度收入 其他	同年度收入 一員當り平均	同年度支出 計	同年度支出 一員當り平均	剩餘金 計	剩餘金 一員當り平均	キエン當り籾販賣見積價格
二四六七年															
ピツトサヌローク	二五	五〇六	七、八七七	一五	二、三九三	二三·二九	九六四	六六、四七五	二八、九五二	一八八	三二、五八四	六四	六二、八四三	一二四	五〇
ロツプブリー	四二	七二五	二三、三八〇	三二	五、六〇一	一九·一六	二、三三八	一七〇、一八九	五二、一九〇	三〇六	七八、九九七	一〇九	一四三、三八二	一九八	五二
アユテイア	二	三三	一、二三二	三七	一四六	九·四八	一一七	一、五三四	七四五	六九	二、七六〇	八四	四八一	ー	五二
計	六九	一、二六四	三二、四八九	二六	八、〇四〇	一九·七九	三、四〇九	二三八、一九八	八一、八八七	二五三	一一四、三四一	九〇	二〇六、二二五	ー	ー
二四六八年															
ピツトサヌローク	二五	五二〇	一〇、〇二四	一九	一、六一二	二二·八五	八九一	三五、五七五	三一、七四二	一二九	三六、六九七	七一	三〇、六二〇	五九	五〇
ロツプブリー	四五	七六四	二六、二六九	三四	五、六五三	一七·二一	二、五一六	一六三、〇九八	五八、五九九	二九〇	九一、九五〇	一二〇	一三九、七四七	一六九	五二
アユテイア	二	三一	一、一八〇	三八	二〇七	一四·〇三	一〇一	四、九九二	八二五	一八八	二、九六〇	九五	二、八六七	九二	五二

計	七三	一,三二五	三七,四七三	二八	七,四七二	一五・九五	三,五一八	二〇三,六六五	九一,一七六	三二四	一三一,六〇七	一〇〇	一六三,三三四	一二四	一

（「ザ・レコード」及暹羅政府發行「産業組合促進運動」より）

英領馬來

□馬來半島の籐（上）

第一　概　念

籐（ロタン）とは重に東洋熱帶に產する多數の攀登性棕櫚で、丈夫な曲り易い莖に付けた名稱で、弘く家事及工業用に使はれて居る。商業上最も重要なる籐は Calamus 及び Daemonorops であるが、其の他は Kurthalsia, Ceratolobus, Plectocomia, Plectocomiopsis 及び Myrialepis に屬して居る。馬來群島は世界產額の大部分を產してゐるが、就中其の大部分は新嘉坡から輸出されてゐる。

最初籐は垂直な植物で、多年小型に止まつて居るが、長く柔かな鞭狀のものゝ助けで攀ち始める、之れは內屈した棘のあるもので、周圍の植物に賴るよすがとなるものである。屢々籐は或る間隔な土地に逼ふて匍匐し高樹の頂迄達する。莖は甚だ長く、時には二百呎を超えることがあつて、最も長い植物の中の一つである。根から一本の莖が出るが、稀には數莖乃至百本以上に及ぶこともある。

莖の大さと厚さ、纖維の張力、葉の大さ、土壤の要素は各籐の種類によつて非常に相異して居る。馬來には凡そ百有餘種あつて、其の中の一半は商業上に知られてゐるが、他は餘り知られて居ない。大形のものはよく利用される。地方的には多種類を用ひるが優良品は輸出に供して居る。

第二、採集並に加工法

一、森林中の採取

普通都市を離れた所で、地方の土人サカイ又はジャングルに棲む土人によつて行はれて居る。先づ大さ、長さ、張力、色彩によつて樹を選び分けるが、概れ一種類の籐を採集する。莖の根元で切込み、下部を取出し其れを支へる樹から莖を引下す。若しも莖が多ければ成熟したもの許りをとる。未成熟なものを切れば木は枯死する。葉と軟かくて用のない上部とはパラン（土語）卽ちジャングル・ナイフの刄で切り取ると綺麗にとれる、上部に附著する葉鞘は二つの枝又はざら〳〵とした荒い面の間を引張つて取除いて終う。次に莖は約十六呎の長さに斷られる、之れは一端重ねて五十本百本の束に包裝なして採集夫の家近くの小屋に運び入れる、此處で籐は或る買手に對して引くり返され

るまで其の儘にしておかれる。ジャングルに棲む人々は屢々籐採集の爲め特殊な部落に一時的キャムプをすることがある。

二　仲　買　人

或る區域で籐全部を採集せる時、又は採算取れる樣になれば、普通河に流して都會に接近した所迄運ばれて買手に引渡される。買手は屢々河の上流まで遡るが此の際支那人が其の代理者である。最初の買手は單獨でやるか又は小都會の何某と共同して商賣をする。其の支拂ふ價格は通例少額で殊に目立つて惡い部分を排除したがる。部落にやつて來る商人は屢々籐を大きな港に積出しする他の内地商人に賣却する。新嘉坡に到着するまで數回仲買人の手を經るが、此の際各商人は少しづゝ選別をする。乾燥の爲めに減耗りをするが、成長不充分なものは偶々棄却せねばならない。斯くて乾燥の程度が充分になる迄には數箇重量共に可なりの損失をするのである。

三、新嘉坡の取引

新嘉坡に到着した籐は又多數商人の手を經るのである。是等は等級に分けられて特別な取扱ひを受ける。表面に多少蠟狀の皮があつて、自然の光澤のあるものは「Lunted」土語(Renti)を施す。此の方法は竹二本の間隙を擦るにある。此の行程が完全に終れば、流水に清洗して、白い砂を振り掛け、日に晒し、硫黄の燻りで漂白なして、更に級分けなした上倉庫に入れる。級別は色彩、長さ、内節の直徑と品質の一樣さによつてなされる。次に籐は市場に出廻る樣に積出しの爲め包裝される。最良品は歐米に向けられ、不良品は國内に使用されるが、家具製造用として支那に送られる。他の籐は餘り綿密な取扱ひを受けぬが大抵のものは積出し前に洗はれて乾燥される。大體に於て直徑小なるものは粗目のものよりも高價である。

新嘉坡には積出し籐の加工に從事する支那人が澤山にある。新嘉坡到着の前後に施す加工には非常に經驗がある。採集及び取扱上に組織が完備すれば一層品質一樣で貴重なものを得ることが出來よう。過去十五箇年に平均の供給量は減退の傾向を仙つた。是れは或る部落で貴種を採集し過ぎた爲めと採集と取扱ひに不注意が行はれた結果である。

第三、籐の種類

英領馬來の大部分の籐に就いては餘り知られて居ない。次に述べんとするものは、馬來半島の重なる籐に關して或る森林官吏の實地による手記からとつた簡單な記述である。

一、Rotan Sega or Rotan Sega Perak
(Calamus Caesius Bl.)

最も優良で、細く高くからみつき、曲り易いが質強く、採集も容易である。色々な土地に生育して、上流森林の粘土質土壤や、河堤の砂質土壤に生えるけれども、新鮮なる沼地には繁茂しないと云はれてゐる。天然には馬來半島、スマトラ、ボルネオ及其の他の馬來群島に產する。多年採集の結果天然の供給は少量となつた。野生のものには馬

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來半島、ボルネオ及びスマトラの栽培地から補給されて居る。馬來半島の栽培園は小範園ではあるが大抵の州に發見せらるゝ。栽培籐は五六年間實生し間も無く刈取られるが、商業的には十年又は十五年迄は完全に發育したものでない。よく成長した株は百本乃至百五十本以上の莖があつて、百呎乃至百二十呎以上に達することがある。一つの林から百五十六本の莖を算へた事がある。此の籐は領内では敷物、椅子、籠の製作や或る種の紡織に用ひられ、歐洲では椅子等に使はれる。

莖には枝が一本も無い。若い頃莖は刺のある葉鞘によつて被はれ成長すれば多少蠟質の光澤を持ち、直徑〇・二—〇・六吋となる。節の間の長さは七吋—十四吋で、此の節は節の間の直徑と殆んど變らない表面にはつやのある黄色で、滑かな上層は横に筋があつて、心は灰色を帶び、割ることが容易である。葉は中助の續きである刺多い鞭狀の附屬物を附屬して居る。附屬物を含める長さは六—八呎、附屬物を除けば一呎九吋—二呎六吋となる。葉片は六對乃至八對あつて、長さ六—九吋、幅一—一・五吋で、表面淡綠色、裏面は白色或は灰綠色を呈してゐる。葉片の下側は銀灰色で、之れはロタン・セガ・アエルの帶綠色なると比較して最も顯著なる特長である。

二、Rotan Sega Ayer, Rotan Sembuang, or Rotan Sega Badek. (Calamus palustris Griff?)

此種の籐は普通河川又は沼地に發見される。豐富でないが、一定の地域に產出をする。一株よりの莖は多いけれども、ロタン・セガ程に多產でなく、生長期間が比較的に短かいと云はれる。長さ百二十呎。葉片の色はロタン・セガと異つて下側帶綠色である。莖の色は稍々淡黄色で、條は非常に脆くて籐は水分を多量に含む關係上、ロタン・セガに比してざらついて、堅くない。節の間は八吋乃至十四吋、直徑約〇・八吋であるが、普通は約〇・四吋である。他の籐の一時的代用品として使はれる外、偶々サカイ人又は馬來人に使用される位のものである。時には水牛を曳く爲めの三股繩に纏まれる。丈長く割けないが長期の晒しには堪えない、耐水性の點から海岸の漁網に澤山使用される輸出の際は砂中で清洗をする。通例ロタン・バランの名前で輸出せられ其の主要市場は新嘉坡である。

三、Rotan Semambu or Malacca Cane (Calamus scipionum Lour.)

印度支那より、馬來半島を通じてスマトラ及ボルネオ地方に產する普通大型の登攀する籐で、低地又は高地の何れにも生長し、上昇し始める前に十五本以上の若芽を出して大きな株を作る。莖は全く圓く直徑〇・六吋乃至一・二吋に達する。間節は八乃至五六吋以上からあり、節は中々部厚い。表面は磨いた時の樣に滑かで、取出した儘では帶綠黄褐色である。心は暗灰色を呈する。丈夫で、曲り易く、容易く割くことが出來る。ステツキは取引上「マラツカケーン」の名稱があり、是れに數種類があつて、重なる三種類を擧ぐれば次の樣である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

クリーム色又は淡黄色のステッキは淡黄色となる迄充分注意して乾燥したもので、マラッカ・ステッキの中最も重要であり、殊に極上品はステッキ當り二十五磅又は三十磅に賣却せられた。

斑點の附いたステッキは荒い砂利の上で乾燥して出來た美しい形のある淡色のものである。時に不良品があつて人工的に彩色を施してある。

燻煙ステッキは淡色乃至暗褐色の種々の色合のもので、色彩は燻煙や油で處理して出來たものである。ステッキの頭に小穴を穿つて是れに椰子油を注ぎ込み薪火の燃えて居る所に振下げて製作をする。普通各ステッキを眞直ぐに保つ樣に下部に錘りを附ける。着色の程度によつて燻煙には二、三日乃至二、三週間を要する。燻煙したステッキは淡色のものよりも製造容易であり、是れには不完全なものが材料として供給される。

時に淡色又はクリーム色のステッキは可なり緻密に作られる。最初の二、三日間全く日光の通じない空氣の冷却した場所で乾燥する。其の後四十日間各日に上方に竹の葉鞘から取つた硅酸質の毛を敷いた木片で磨きを掛ける。此の間中ステッキは太陽の直射光線から寒冷で通風の好い場所に保ち濕氣より避けねばならない、濕氣を呼べば黴菌は忽ち殖えて、籐は荒される。其他の念入りな加工の方法も用ひられて居る。

高價なマラッカ、ステッキに附けられた價値は概ね人工的である。最上級品は認められる樣な疵の無いこと、一樣な色彩を帶びること、直徑が揃うて居ること、卽ち直徑約7/8吋であり、間節三十八吋以上でなければならぬ。一つ以上の特色を缺くステッキは價値が薄いが、兎も角長さや其他の點が同一であれば、ステッキとして丁度持つて來いである。

先づステッキが採取されたら間節の長さを選擇する。適當な間節のものを選んで、兩側にある其の一部分は出來得る限りを含めて取る莖は選擇した間節の下部約八吋乃至一呎の所で切取り、上部間節の殆んど全部を取る。莖から切取つた一本の長さは各五呎半乃至六呎半である。乾燥が終ると、餘分の所は除かれる。斯くして籐は加工濟のステッキよりも二呎以上長い所で切つたものを積出す。是れは柄を曲げるのに恰好である。

マラッカ、ステッキの製造に間節の短か過ぎるロタン、スマムプーの莖はロタン・チンチャンと云つて割合に値打ちが低い。傘の柄、煙突や瀧管の掃除具に使はれ、割つたもの或は割らない儘で家具に使はれる事もある。

時々他種の籐で頗る間節の長いものがあるが、是れはマラッカ・ケーンとして用ひられ、大部分の供給は一種のものゝ樣である。

ロタン・スマムプーに就いて簡單に述べると次の通りとなる。一つの根から數個の莖が出て是れには枝が無く、非常に長くて四百呎以上に達することがある。葉毛は大きくて而も刺多く、長さ十二ー十四呎、

で葉鞘から成長して居る。「葉の長さ八呎に帶綠色の葉鞘には短かき、平坦、短劍狀の黄色の刺がある。一呎ー三呎の葉莖には根元に突起した一吋大の平たい刺がある。幅廣く槍鋒狀の葉片は長さ一ー三呎、幅二吋で交互に附いて居る。」

此の植物は弘く馬來半島に分布してゐるが、豐富ではない。大抵はパハン州の一地方に產するが、ネグリ・スムビラン州のジエレブ地方にも可なり多いと云はれてゐる。

四、ロタン・セニク Rotan Cenik
(Korthalsia sp.)

是れは長細い籐で弘く分布して山麓に可なり豐富である。一本の根に六十乃至百本の莖が生え、二百呎以上に達する。莖は淡黄色で、品質も好い。籐の中では一番細く、直徑〇・二乃至〇・三吋で、割合揃つて居る。間節は四ー十四吋で、節は其れ程大きくはない。蟻巢に使はれる一對の擴大した葉鞘があつて、色彩は帶褐色、刺は殆んど認められない。葉は卷鬚の所で二呎四吋乃至三呎。卷鬚の長さ二ー四呎。葉七ー十對。長さ九ー十一吋、幅一-1/4乃至二吋。領內で使用されるが、中々丈夫なものである。水牛曳用の三股の繩によられ、料理用具の柴となり、マッティング、魚網や籠用として利用される。輸出用に採集せられ、其の儘市場では他の種類のものと混ぜられる。輸出前に砂中に洗ひ、細い點に於て第二位、惡臭のあるロタン・ブソクに混入される。(未完)

□馬來半島の華僑

一九二一年海峽植民地政廳調べによる人口推定並に一九一一年土侯州の國勢調査とによれば當領內の人口總數は二、七三四、二七六に達し、此の中九八五、四七二即ち三割六分が支那人である、併し之等の數字は商業上の勢力として支那人の重要さを示すものでない、就中東南亞細亞の要港たる、新嘉坡は三八〇、三九二で、其の中の七割二分即ち二七五、三七〇迄が支那人である、次に彼南も亦商業の中心地で人口一五二、六四二を有し、此の中支那人は八四、三九一即ち五割五分を占めて居る、是等の支那人及び彼等の祖先が今日の兩港を築き上げた貢献者なのである。今重なる分布の狀態を示すと次の通りである。

政治的區分	支那人數	合計	總人口に對する支那人の割合
海峽植民地			
新嘉坡	二七五、三七〇	三八〇、三九二	七二
彼南	八四、三九一	一五二、六四二	五五
プロピンス・ウエルズリー	三四、九九五	一四一、一一五	二四
ディンディンス	二、五七九	一二、九八[illegible]	二
マラッカ	四三、七三九	一五三、〇〇八	二八
馬來聯邦州	四三三、二四四	一、〇三七、〇四四	四一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

馬來保護領（ジョホールを除く）	四七、七五九	六八六、八二〇	七
ジョホール	六三、四〇五	一七一、三八三	二七
合計	九八五、四七二	二七三四、二七六	二八

支那人は英國人の渡航前に半島に於て錫を採掘して居つた。而も大多數の家族は總てを掘り盡しても住み慣れた所に對する精神的の憧憬から其の地方に滯在してゐたのである。彼等は殆んど全部支那の福建廣東の兩省から渡來し其處で支那人の習慣なる「ギルド」又は「公司」なるものを組織する。其の一はあらゆる支那人が所屬して居る。是等の商業上の組織は組合員相互の爭ひを調停し、外部からの侵入に對して防衛する手段によつて領域内に於ける經濟生活に非常な勢力を振ふものである。

土人勞働者は錫坑の樣な荒い仕事には適しない故、支那人は本國から勞働者を募集して居る，此の交通は支那港からの苦力運送が東南亞細亞の船舶業の重要なる項目となつて居る程大規模なものである。

馬來半島に在住する支那人の階級は重に商人、坑夫、勞役者、家僕の四つに分けられる。勞働者は更に鑛山勞働者と栽培園勞働者に分けらるゝ。此處は支那人にとつて實に好商の勞働鄕である．以前には鑛山苦力の多數が亂暴であつて、今日の樣に平和でなかつたが、偶々一人が他の上役となつて獨立の職業となつた。支那人苦力を栽培園に使用するになつたのは最近の事である。

坑夫、商人其他の支那人の富者（多少の例外はあるが）は鑛山勞働に輸入された多數の苦力から成上つたもので、是等の人々の商業道德は南方支那の諸省民を代表するものである。坑夫は殊に舊式採掘法（多數の勞働者を必要とする）に適してゐるが、次第々々により科學的方法に代り、數商の支那人經營地にも新式の機械があり、英佛國の如く科學的遣り方で作業をして居る。舊式から新式に進歩するに連れて從來は鑛業用機械の賣買が有望である。此の地方、特に新嘉坡　彼南・コーラムポには支那人の富者が澤山に居る。其の財産は支那人が彼等の未知な擔保又は作業に手を出さない故投資々本の捌口が無く忽ちに増加したものである、護謨の栽培既植の栽培園の買入に一時的資本が流動したに過ぎなかつた。支那人は自由に余殘を使ひ利益ある商品に對する大市場を造つた。海峽植民地、聯邦州及び保護領は夫れ〳〵ダイヤモンド、寶石類、骨董品、高價な家具、鏡、價格顯著な物品の市場であつた。

支那人は消費者に達する迄の西洋物貨の交易を行ふ商人である。又支那所有園の面積は絕えず增加して居て（大部分支那人徑路による）小額の取品も全く如何なる遠隔な地方にも見受ける支那人店舖によつて行はれる。

土人支那人印度人の必需品に關する取引、白晳人種の食料品取引は大抵海峽生れで英國臣民に屬する支那人に集中して居る、是等の支那人は利敏き商人で、困難なる取引もやるが、通例各自の熟れた方面の商貨及び白色人種の滿足すると思ふ商貨を選んでやつて居る。或る支

那人の如き數種の店舖を構へ、屢々大都市の大商人は村落の小支那人商人に金融をつけ、斯くして彼等の取引一切を支配して居るものもある。

支那人の小資制度は領內各地方に行き渡り、機械類を除く總ての商賣に及んでゐる。近年支那人は遊金を護謨園に提供し、今日最大所有者は支那人「東家」又は「商人王」と呼ばれて居る。之等の栽培園への供給は普通園所有者と或る方法で結托した支那人商業組織の方法で行つてゐる。

支那商人の多數は信用も厚く、英國人から商品に對しても、亦原料買入れの前貸金にも大信用を博して居るが、米國製造業者は信用を本領內に擴げるに足ると認める前愼重に周圍の狀況を研究する必要があると見て居る。之れは他の外國人の如く取引に正直ではない事を意味するものではないが、多くの場合輸出商と結託して居る。獨立を主張するには多大の條件を必要とする。米國輸出業者は信用を求めんとする上等の店舖を探し出さないが、之等の要求は餘り大規模でない商店から來るであらうと云つて居る。若しも財政上の地位が良好であつても支那人店舖は輸出入の方法と慣習を了解せず、結句米國輸出業を促進する商取引に達しない。

海峽植民地にある二三支那人商館は海外より直接一般商貨を輸入するに成功して居る。此の上英國自動車商人と同樣の基礎で米國自動車製造會社と契約せる支那人輸出入會社が二三ある。其の他大規模輸入業を經營するに必要なる資金を持ち又は融通を受け得る支那人會社が澤山にあつて、他日支那人は海峽植民地に於ける輸入業取引に非常に重要なる位置を占める樣に成るであらう。信用は米國に於ける如く、引續く商取引に成功することによつて、逐次向上して行くものである。何故信用が充分認められる樣に成つてから擴げなければならない理由の一は、大多數の支那人實業家が產物や特に製造綿の輸入業に賭博を常習として居るからである。從つて商品價格が一朝暴落すれば從來銀行の信用を得て居た商館は忽ち破產して終う事に成る。支那人商社に對する米國の信用は普通の利從では保證しない、充分信用を與へる米國輸出業者は國內の事情に精通せずとも、賭博の爲めに觀客に資金を給與して居る商人であるかを見分けることが出來る。

海峽植民地の支那人は永い取引の結果商人及スペキユレーターとして信用を博して來た。海峽生れの支那人は蘭東印に於ける支那人の樣には投機をやらない。が護謨等の發達殊に新落地に於ける護謨栽資の設けられたことは投機に對する新大地を開拓したものと云へる。市場の沈滯が緩慢な時は危險がないけれども、急激に來る時は非常な影響を齎すものである。海峽產の支那人に信用を擴げる輸出業者は熱帶特有產物の取引の傾向、護謨、錫、コプラ、椰子油に對する世界市場タピオカ、砂糖、其他の主要產物同樣、製造綿に對する市場に對して常に注意を拂はなければならない。

(Special Agents Series. No. 218)

蘭領東印度

□爪哇マヅラに於ける古々椰子物産の生産輸出入及消費（二）

第五章　椰子物産の消費

古々椰子物産の領内消費高は詳細に判明して居ない。一九一六年より一九一九年までは、總ての古々椰子物産の消費量は年一人當り九。七瓩と計算されて居た。本指數は、一九一七年に行はれた古々椰子樹數調査に基いて爲された生産見積よりして算出されたものである。

今の所爪哇及びマヅラに於ける古々椰子樹數の新數字は發表されてない故に、古々椰子物産及び其の消費量の再見積は不可能である。其の上消費狀態は常に變化するものである。米の收穫高及び第二作物收穫高の多寡が古々椰子物産消費狀態に及ぼす影響に關しては、農業評議會は、一般に米の不作は常に古々椰子物産の消費減少を伴ふと云ふ決論を下して居る。

バンタム及びバタヴイア州に於ては、椰子を賣却するもの及び米を充分に所有して居る者多く、割合に貧困者が尠ない故に、米收穫の影響は比較的尠ない。

プリアンゲル州に於ては米作不凶は古々椰子物産の消費增加を伴はないものと見られ、寧ろカッサーヴ及び甘藷の消費增加を伴ふ樣である。

チエリボン州にありては、消費は恒久的であつて、眞の食料不足の場合に於てはカッサーヴの殘滓及びガドウン（Gadung と稱し學名 Dioscorea Hispida Dennst 一種の球根作物なり）を食し、古々椰子物産の消費は極く僅かの增加を來したのみである。

ペカロンガン州にありては、食料不足の場合に於ては、人々は、椰子果を、主要食料たる米を供給することの出來る人の所へ持つて行くことに努める。

スマラン州のプールウオダヂ、デマク及びサラチガ地方に於ても亦同樣である。

ジヨクジヤカルタ及びマヂウン州にありては、古々椰子物産の消費は概して恒久的であつて、其の間スラカルタ州に於ける古々椰子物産の消費が多いことは、其の土地がより繁榮して居ることを示すものである。

亦ケヅー及びバンジヨマス州の古々椰子栽培地に於ても、消費狀態は祭月を除く外は餘り變化しない。本地方の山地に於ては椰子果の市場搬入が常に行はれて居る。

ケヂリ州にありては、米及び玉蜀黍の不作の場合には椰子果の不時

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

採集が行はれる、其の結果、より多くの椰子果が仲買人に提供され且つ未熟果をコプラに製造する比率が非常に高くなるのである。本州に於ては椰子果を貯藏或は所有すると云ふことは相當な豫備財を持つて居ると同樣であつて、不作の場合に、その御蔭で銀行に對する債務を支拂ふことが出來ることが屢々あるのである。

スラバヤ州及びマヅラ島に於ては、米作不良と古々椰子物産の消費との關係に就いては何等解らない。

ベスキ州に於ける古々椰子物産の消費は、絶對に副食物としてのみである。收穫不良の場合には消費數量は減退する。

本報告よりする時は、古々椰子物産の消費量は、何處に於ても年々不同であることが判明する。

然し乍ら人口の増加と共に消費量も亦確かに増加するであろう。若し、年一人當りコプラの消費高を常に九・七瓩として見る時は、コプラとして計算した古々椰子物産の總消費量は次の如くとなるであらう。

一九二二年（十一）三三九、〇〇〇　一九二三年（十一）三四一、〇〇〇
一九二四年（十一）三四四、〇〇〇　一九二五年（十一）三四七、〇〇〇
一九二六年（十一）三五〇、〇〇〇

即ち人口の増加に依り總消費量は優に二〇、〇〇〇噸増加する勘定である。一九一七年の生産高は三七五、〇〇〇噸と概算されて居るが、而し、現在に於ける標準及び實際生産は幾何の額に昇つて居るやは不明である。土人社會に於ては、今の所、古々椰子の植付は餘り好んで行はれない樣である。

爪哇に於て製造されるコプラ油の内、其の幾何が爪哇に於て消費されるであらうか。若し、椰子油（土人の製法を以つて製造された油）が、外國並に外領に少しも輸出されなかつたとするならば、次の樣な表が出來る。

年次	工場製油産額（千立）	油の輸出（千立）			爪哇製の工場製油の消費	
		外國へ	外領へ	合計	千立	住民一人當り（立）
一九二二年	約 三五、三六二	一六	五七四	五九〇	三四、七七二	一・一〇
一九二三年	同 四三、二〇四	一、四四三	八三二	二、二七五	四〇、九二九	一・一六
一九二四年	同 五四、二五四	七、九三五	一、八四五	九、七八〇	四四、五七四	一・三六
一九二五年	同 七八、五四八	一〇、三八七	二、九一九	一三、三〇六	六五、二四二	一・八三
一九二六年	同 八七、二六六	一六、五〇三	二、四八三	一八、九八五	六八、二八一	一・八九

此の工場製油の消費指數は激増を示して居る、殊に、古々椰子の收穫が豐かでなかつた年であるにも拘らず、一九二五年並に一九二六年

に於ける消費量は、其の前年の消費量より著しく增加して居ることが一寸不思議である。工場製油の內輸出されたもの比率を來せば、次の如くである。

年次	外國竝に外領へ	爪哇に於ける消費
一九二二年	一・七%	九八・三%
一九二三年	五・三%	九四・七%
一九二四年	一八・〇%	八二・〇%
一九二五年	一七・〇%	八三・〇%
一九二六年	二一・七%	七八・二%

右に示す通り、比率に於ては輸出は增加を示し、領內消費は減退して居る。

工場製油消費量增加の割合は地方によつて異つて居るが、これに關し農業評議會から受理した報告に依れば次の樣である。

パンタムーバタヴイヤ地方

コプラを賣る方が屢々有利で、且つ製油は單に僅かの收益しかない故に土人製品は減少した。

プリアンゲル地方

本地方に於ては椰子油の土人消費量は一九二五年以來增加しない樣に見受けられる。

チエリボン地方

本地方に於ては、椰子の收穫は主として自己消費用にとして爲される。若し椰子油の不足を生じた時は、チユアミスから補給する。

又市價が多少騰貴した場合には、多量の落花生油が椰子油の代りに使用せられる。

ペカロンガン地方

ペカロンガン郡に於ては、土人の椰子油製造量は機械的に製造された安価な油とは競爭出來ないと云ふので著しく減少した。而し、一般に是等の油は味に於て甚だ劣つて居ると云はれて居る。本地方の首都パンダルに於ては、現在、工場製油レモナーデ瓶一本二九仙の相場であるが、土人製油は同量當り三五―四〇仙である。他の郡に於ては工場製油は斯の樣な優位を占めて居ない樣で、工場製油は重に都會地に於て消費されて居り、田舍に於ては概して手製の油のみを使用して居る。

スマラン地方

プールワオダヂ及びデマクに於ては、工場製油の消費は一九二五年以前の年と比較する時は增加して居ると云はれて居るが、事實そうであるらしい。此の二郡に對しては、工場油の消費が著しく增加したクードウース郡と同樣に、農業評議會は古々椰子物產の生產狀態が復舊し舊狀に戾ることを希望して居る。

サラチガ郡に於ては、工場製油の消費狀態は一九二五年以前の各年と殆んど變つて居らない。又土人の製油量は、一九二二年より今日まで殆んど變らず、油の市價も亦一九二二年以來支那人物も土人物も殆

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

んど變化して居ない。

ジョクジヤカルタ地方

本地方に於ては事實上工場油は殆んど使用されて居ない。古々椰子栽培（南部バントール）の中心地には數人の椰子油製造者が事業を營なんで居る。椰子油は支那人に依り買上げられ、近村の土人消費者に販賣されて居る。

スラカルタ地方

本地方に於ても工場製油は殆んど消費されず、油焰等には總て手製の椰子油が使用されて居るが、住民の大部分はより安値な落花生油を使用して居る。

マヂウン地方

當地方に於ける工場製油の消費量は差程増加して居ない。一般に當地の村落に於ては工場製油は餘り歡迎されて居ない。

ケヅー及びバンジヨマス地方

本兩地方の工場製油消費量は割合に増加して居る。マゲランに於ける工場製油の市價は、リモナーデ瓶一本當り二五仙であるが、土人製のものは三〇仙である。

現在猶若干名の土人製油業者が居るコタラジヤに於ては、工場製油一罐當りの小賣値は八盾であつて、土人製油の買上に對しても支那人は八盾を支拂つて居る。故に土人の大部分は、重に工場製油を買つて居る。

ケヂリ地方に於ても亦工場製油の消費は益々盛んに行はれる傾向があり、其の理由とする所は仍ち、

一、土人製油と工場製油間には單に價格及び味に於て些少の差異あるに過ぎざる事

二、椰子油の製造には多大の時間と勞力とを要し且つそれに對する報酬は比較的尠ない事

三、土人商店主は、一〇乃至一五%の水分を含有して居る土人製油より、寧ろ腐敗度の遲い工場製油に優先權を與へて居ること。

部落民は、椰子果及びコプラを益々支那人乾燥業者に賣出す一方に傾きつゝあるのである。斯の如く、ブリタルには現今僅か數名の製油業者が居るのみであつて、油の消費量は、一箇月當り尠なくも五車を必要として居るのである。

スラバヤ、マヅラ及びベスキの諸州に於ては、工場製油の消費量は増加して居ると云はれて居るがこれは事實でないらしい。

且つ市場市價の統計表に依れば、マヅラのサムパン地方に於ては、手製椰子油の六〇仙に對し工場製油は四五仙である。

其他一地方當りの平均市價は一九二四年以來多少變化して居ることが解る。

爪哇に於ける工場製油の卸賣値は、コプラ油の外國市場市價に順應して一九二五年以來下落の傾向を示して居る。

一九二四年の最後の三箇月に於ては、バタヴイアに於ける二五〇カ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

チ」入一罐當りの市價は七・四五盾、一九二五年は七・八〇盾及び一九二六年には市價は六・八九仙に下落し、又一九二七年前半期に於ては平均六・七二盾であつた。

スラバヤに於ては、二八「カチ」入一罐當りの平均市價は、一九二四年一九二五年共八・六六盾であつたが、一九二六年には八・四三盾に下落した。一九二七年に於ては、數度標準價に達したが、再び下落を示す傾向がある。因に倫敦市場に於ては次の如き下落を示して居る。

	粗製噸當り	精製噸當り
一九二四年	四八 3/4 磅	五三 11/7 磅
一九二五年	四七 9/3 磅	五二 12/6 磅
一九二六年	四七 3/7 磅	五一 5/6 磅
一九二七年一月六月	四二 17/6 磅	四八 10/ 磅

本市價に順應して輸出コプラの相場は下落し、且つ本下落は輸出を阻止するものであることは自ら明らかである。斯くしてスラバヤに於けるコプラのf・o・b・n・u・g相場は、一九二五年の擔當り一九盾より一九二六年には一七・九六五盾となり、又バタヴィアの相場は一八・九八盾より一八・〇三盾となつた。而して一九二六年十一月にはスラバヤ一七・一五盾、タヴィア一七盾を稱えるに至つた。

一九二一年—一九二六年間に於ける爪哇マヅラの對外國コプラ、コプラ油及びコプラ搾糟の輸出及椰子油のコプラ等量

主要輸出港	一九二一年 コプラ等量	一九二二年 コプラ等量	一九二三年 コプラ等量	一九二四年 コプラ等量	一九二五年 コプラ等量	一九二六年 コプラ等量
タンジヨンプリオク						
コプラ	一八、六三八、二一二	一六、八七四、七一三	二〇、二二八、三四八	八、八〇〇、三三六	三、五三二、八三九	一、三四七、五九〇
椰子油(一、〇〇〇立＝一、五〇五七噸コプラ)	七、四七二、三〇五立＝一一、二五一、〇五〇	六、五〇〇立＝九、七八七	一九、五四〇立＝二九、四二二	六五、三〇二立＝九八、三二五	一、九四一立＝二、九二二	二三八、五二六立＝三五九、一四九
合計	二九、八八九、二六二	一六、八八四、五〇〇	二〇、二四七、七六九	八、八九八、六五一	三、五三四、七六一	一、七〇六、七三九
コプラ搾糟	三〇、八六六、四九二瓩	一、八九〇、一四五瓩	一、六四一、三三三瓩	四、七二一、八三三瓩	六、九一五、二二三瓩	七、四九〇、五四一瓩
スラバヤ						
コプラ	二一、一八六、九九六	三、八八五、四〇〇	七、四四四、四五〇	一五、九七八、五三三	二、八六三、六〇七	二、〇八六、四四〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

椰子油	三、五〇七、六六五立＝ 一八、八〇三、七九一	九、九〇六立＝ 一四、九一五	一二、七四三立＝ 一七、六八二	三、八七三立＝ 五、八三三	八、〇〇八立＝ 一二、〇五八	一、九七二、八八三立＝ 二、九六九、〇六四
合計	四〇、〇一九、七五七	三、九〇〇、三二五	七、四六二、一三三	一五、九八四、三六五	二、八七四、六六五	五、〇五五、五〇四
コプラ搾糟	六、六三二、五三五斤	九、〇六〇、七七九斤	七、六七八、一〇一斤	七、〇四三、九四五斤	一〇、八〇六、一六七斤	一〇、九九七、一九二斤
スマラン						
コプラ	二、五四〇、四四八	一、〇八一、五五九	三、四六〇、七五九	三、六八三、一〇三	三、三四二、三三七	四九七、七一五
椰子油	—	—	—	三、二〇〇立＝四、八一八	—	三六立＝五四
合計	二、五四〇、四四八	一、〇八一、五五九	三、四六〇、七五九	三、六八六、九二一	三、三四二、三三七	四六七、七六九
コプラ搾糟	二六、四三九斤	四八、二五八斤	—	一六六、七五五斤	九七、七九七斤	一九一、七四四斤
チラチャップ						
コプラ	三九、三二四、〇四〇	一七、一三五、九六二	一三、〇二九、三〇五	二〇、八三九、九七七	七、三八五、九一六	一〇六、八五九
椰子油	六、三三六、六八九立＝ 九、五三五、六四四	三七立＝五六	一、四一〇、八〇四立＝ 二、一二四、二四八	七、八六三、八二九立＝ 一一、八二九、一三二	一〇、三七七、四四七立＝ 一五、六二五、三二二	一四、二九一、一三〇立＝ 二、五一八、一三九
合計	四八、七四九、六八四	一七、一三六、〇一八	一四、一五三、五五三	三二、六七〇、〇〇九	二三、〇一一、三三八	二、六二四、九九八
コプラ搾糟	六四〇、八七三斤	三六三、四四〇斤	八七八、七〇七斤	九一〇、三九六、六五五斤	一五、五〇三、〇六八斤	一七、四五〇、四三六斤
チェリボン						
コプラ	—	—	—	—	—	—
椰子油	—	—	三六立＝五四	—	—	—
合計	—	—	五四	—	—	—
コプラ搾糟	三九、〇〇〇斤	九〇、三三四斤	—	—	—	—
テガル						
コプラ	九六九、一〇〇	四三一、七八二	六〇九、六〇三	一、六五六、三三八	一、四四九、〇六六	三二一、一四二

椰子油	—	—	—	—	—	—
合計	九六九,一〇〇	四三一,七八二	六〇九,六〇三	一,五五六,三三八	一,四四九,〇六六	三二一,三四二
コプラ搾糟	七,八七四瓩	—	—	—	—	—
パンジョワンギ						
コプラ	一一,三二九,〇四三	一一,三七五,一八	二九,三六〇,一七七	七,八二九,四九一	一一,〇七二,六七三	九,三六五,〇七三
椰子油	四,〇〇五,三二四立=六,〇三〇,六六六	—	—	—	—	—
合計	一七,二四九,七〇九	一一,三七五,一八二	九,三六〇,一七七	七,八二九,四九一	一一,〇七二,六七三	九,三六五,〇七三
コプラ搾糟	—	六六一,三三二瓩	六八二,二二四瓩	一,二六三,一九〇瓩	八三〇,〇五二瓩	一,一三九,二八七瓩
スメネップ						
コプラ	—	—	三四,二七二	—	三,六〇五	—
椰子油	—	—	五一八立=七八〇	—	—	—
合計	—	—	三五〇,五五二	—	三,六〇五	—
コプラ搾糟	—	—	—	—	—	—
コプラ						
パスルアン	—	—	—	—	—	—
ペカロンガン	二三五,八七六	一〇五,五六八	一〇〇,三一八	一八二,八二二	三〇八,九一七	一四七,〇三六
プロボリンゴ	—	—	—	—	—	—
パナルカン	—	五,四六〇	—	—	—	—
アイエル	—	—	三,七〇六	—	—	—
總計						
コプラ	九四,〇一三,六八四	五〇,八九五,六二六	五三,二六〇,九三八	五八,九六九,五七九	二九,九五六,九五九	[illegible]

椰子油	三〇、三二一、五八三立 四五、六四〇、一五二	一六、四四三立 二四、七五八	一、四四二、六四一立 二、一七二、一八五	七、九三五、二四四立 一一、九四八、〇九七	一〇、三八七、三九六立 一五、六四〇、三〇三	一六、五〇一、五六五立 二四、八四六、四〇六
合計	一三九、六五三、八一五	五〇、九二〇、三八四	五五、四一三、一一三	七〇、九一七、六六六	四五、五九七、二六一	三八、六七八、四六一
コプラ搾精	一〇、四三一、八〇三瓩	一五、三七五、三五九瓩	一八、七〇四、三五四瓩	二三、六三二、二八八瓩	三四、一五一、二九七瓩	三七、二五九、二〇〇瓩

□蘭印に於ける株式會社の運轉總資本金

(Korte berichten voor landbouw, nijverheid en handel, No. 34, Aug. 26, '27)

左に掲げるものは所得税特別委員の調査に成るものである（金額單位千盾）

	事業別	調査したる會社數	拂込資本金	所得税法の規定によりて増額したる金額 計	%	總運轉資本金
1	砂糖（雜農業中にも含まれて居る）	一〇三	一四八、七一六	二三九、七〇一	一六一	三八八、四一七
2	茶	五一	一八、八四七	八、三五一	四四	二七、一九八
3	煙草	三一	六四、三九四	六五、三七〇	一〇二	一二九、七六四
4	規那	一四	三、八九八	三、七七一	九七	七、六六九
5	珈琲	三七	九、六四六	七、八四三	八一	一七、四八九
6	護謨	一〇八	一八〇、七五七	三九、九四四	二二	二二〇、七〇一
7	雜農業（砂糖を含む）	一二六	一二〇、七二三	一三三、四七一	一一〇	二五四、一九四
8	鐵道及軌道	一四	六六、八〇六	四六、六五八	七〇	一一三、四六四
9	海運	一四	三〇二、二六七	六二八、六七九	二〇八	九三〇、九四七
10	礦業	一三	四三九、九六一	五一四、二五三	一一八	九五四、二一四
11	銀行及保險	二六	三八四、一九〇	一〇一、五八九	二六	四八五、七七八
12	商業	九二	八六、一五九	一〇七、五九三	五八	一九三、七五二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

13	工業	四六	二六一、九五一	一二五、八一九	四八	三八七、七七〇
14	其他	七九	五一、六三九	二九、三〇七	五七	八〇、九四六
	合計	七五四	二、二四〇、〇五五	二、〇五一、二四九	九二	四、三九一、三〇四

（蘭印情報一九二七年一月十五日第一八一號）

□蘭領東印度貨物税率表

蘭領印度政府土木部長官は、以下に掲げる各港に於て左の如き貨物税を賦課することに決定した。

港名	税額（總重量噸當り）	港名	税額（總重量噸當り）
タンジョンプリオク	〇・四〇盾	チェリボン	〇・三〇盾
テガル	〇・三五	ペカロンガン	〇・七〇
スマラン	〇・五〇	スラバヤ	〇・五五
パスルアン	〇・二五	プロボリンゴ	〇・三五
バンジョワンギ	〇・四〇	チラチャップ	〇・二五
ベンクーレン	一・〇〇	エンマハーフエン	一・〇〇
シボルガ	〇・四〇	プラワン	一・〇〇
アサハン	〇・九〇	マカツサル	〇・六〇
メナド	一・〇〇	アンボイナ	一・〇〇
ベノア	一・〇〇	テロクベトン	一・〇〇
ジャムビ	〇・五〇	レンカト	〇・五〇
パカンバルー	〇・五〇	バガン・シ・アピ・アピ	〇・五〇
ラブアンビリク	〇・五〇	タンジョンチラム	〇・五〇
タンジョンベリンギン	〇・五〇	タンジョンプーラ	〇、五〇
ラングサ	〇・五〇	ローセマヴェ	〇・五〇
シグリ	〇・五〇	ウーレールヘウー	〇・五〇
ポンチアナ	〇・五〇	ナムパス	〇・五〇
サムビト	〇・五〇	サマリンダ	〇・五〇
タンジョンレデブ	〇・五〇	ゴロンタロー	〇・五〇
パンダナイラ	〇・五〇	テルナテ	〇・五〇
プーレレン	〇・五〇	アムペナン	〇・五〇

因に、一般貨物税法第四條第四項の規定に據り、貨物税の賦課される總ての港灣に於ては、一九二八年一月一日以降七月一日までの間丈

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の貨物に對しては總重量噸當り〇・二五盾以上の支拂を免除することに決定された。

一、セメント（ポートランドセメント及び其他のセメント）
二、唐蜀黍
三、糖蜜（流動狀態にあるもの並に固形狀態にあるもの）
四、石炭
五、タピオカ根（原形の儘又は片或は粉）
六、タピオカ屑（粉狀）

(Korte berichten voor landbouw, Nijverheid en handel, No. 40, Oct. 7, '27)

其他

□北米より極東に至る新海底電信線敷設計畫

多年國際通信界に於て最重要視された計畫が、昨日（八月一日）ウエスターン・ユニオン・テレグラム會社の社長ニウカム・カールトン氏の聲明により公表された。同氏の聲明の骨子とする所は、同會社が東西兩半球間の最速線たる北米より極東に至る海底線を敷設する計畫を遂行するといふにあつた。ウエスターン・ユニオンの技術者は電信敷設に對して二つの豫定線を選んだが、一は一千萬弗の費用、他は一千六百萬弗の費用を要するものと見積られてゐる。

新海底線はウエスターン・ユニオンによつて工夫されたパーマリー式であつて北米支那間に一分間二千五百字の一方送信をし得る樣になつてゐる。是等兩國間に於ける現在能力は、双方送信に於て一分間百字である。同會社が太平洋通信界に割込むべく調査を開始するに至れる動機は各方面に於て將來米國の貿易が、西洋より東洋に向つて進展するであつたといふ意見が持たれて居るのに基礎を置いてゐたのである。ウエスターン・ユニオンは、太平洋電信線を時々計畫して居つたのであるが、最近上海にあつた擾亂が新計畫による技術者の活動を速めるに至つたと傳へられて居る。

英米の兵士が支那に上陸しつゝあつた當時に於て、極東倫敦間に使用せらるべき政府及新聞通信線は三本あつたが、支那米國間に於ては僅か一本に過ぎなかつた。その不足は、支那の事情に絶えず密接なる關係を有して居た、在華府官憲に困惑を生ぜしむるに至つたのである。

豫定線

現在考慮中の二線の中、一はコムマーシャル・パシフイック・ケーブル會社線に沿つて敷設せらるゝもので、他は全然新コースでアリユーテイアン群島及日本を經由する北方線である。

北方線は、七千百哩であるが、コムマーシャル線及日本線によつて横斷されてゐるものは一萬哩あり、是を通つて北方線は横濱と連絡せしめられる。若し北方線を選ぶとすれば約六百萬弗の節約となり加之、通信の加速度を計るための仲斷所を設ける事が出來る。北方線を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

選ぶと、費用の節儉が出來るといふ點は別問題としても、時間を短減し得るといふ大きな利益だけでも同線が望ましいといふのがウエスターン・ユニオン當事者の言である。

北方線は太平洋を横斷するものゝ中最短線であるといふ事は、最近の太西洋横斷飛行に選ばれた航路所謂グレイト・サークル・ルートが太西洋横斷の最短距離であるといふのと同じ理由で說明し得るのである。二線とも地圖上で最直線と見える線の代りに、地球の大屈曲線を辿つてゐる。豫定北方線は沙市を發してアルーテイアン群島のダツチ・ハーバー、寧ろアトカの方が好いが、其の孰れかを經由して北日本の函館上海馬尼剌へ連絡する事になつてゐる。

沙市と豫定アルーテイアン群島電信局間は二千哩の距離があり、其處から日本へは二千五百哩、函館から上海が千三百哩、上海から馬尼剌迄が同じく千三百哩ある。此に據つて計算して見ると全距離が七千百哩ある事になる。

北方線は經濟上及速度上の利益があるが、是は線の陸揚に就いて日本政府との交涉問題がある。

本計畫を討議する際、カールトン氏は、外國政府との交涉は進行中であり、支那の狀態は本事業の遲滯を來す者ではないと云つて居る。

新電信線の必要

「太平洋に於ける電信利便の改良を計る必要は年々歲々增々明瞭となつて來た。」と彼は云つた。考慮中の此の計畫は二年以上かゝるものと思つて居るが、現在の情勢ではより多年を要すべきは、事局の研究者にとつて明らかな事である。今や商業的要求のみが、太平洋電信線利便の延長を正當視してゐる事は明白である。最近の出來事は新海底電信線の必要を强調するに非常に役立つてゐる。

使用せられる事になつてゐるパーマリー電信線は、ウエスターン・ユニオンが敷設した種類の中第三番目のものである。其他の二本は米國から英蘭を通過して歐洲及アゾーレスに至つてゐる。パーマロイ電信線に於ては、同時に五乃至六本の通信を送る事が可能であるが、太平洋線の正確なる能力は勿論其の單位の長さにより決定せられるのである。北太平洋線は北米から極東間を最も短い單位に區切る事が出來る。

競爭線としては桑港からホノルル迄二千百七十六哩、ホノルルからミツドウエイ島迄千三百三十二哩、ミツドウエイ島からガム迄二千六百七哩、ガムから馬尼剌迄千六百三十二哩、馬尼剌から上海迄千二百六十四哩である。八百九十九哩の延長を有する日本の電信線はガムと横濱とを連絡してゐる。カールトン氏の聲明はウエスターン・ユニオンがラデイオ・コーポレイション・オヴ・アメリカによる太平洋横斷電送のために通信を蒐集するといふ協議は終止するといふ最近の事實を說明してゐる。

ラデイオ・コーポレイションが此の協約を終へるといふ事は思ひもよらぬ事であるが、一方ウエスターン・ユニオンが其自身のものと競爭する物のために業務を供給し續けるか否やは問題となる。又ウエスターン・ユニオン及ラデイオ・コーポレイション間の協議が有效なる場合には、ラデイオ・コーポレイションが支那と連絡をつける といふのは事實ありそうな事である。此の連絡は未だ作られてゐない。

（八月二日ニウヨークタイムス）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

De inlandsche Meerderheid (H. N. v. d. D. Sept. 30, '27)

Machinisch rietlosinrichting systeem "Shippers-Cordesius" (S. i. N. I. No. 40, Oct. '27)

蘭領印度と大英國 (J. N. Oct. 1, 2, 3, '27)

De beteekenis van Russischen financieelen steun aan inlandsche studenten (H. N. v. d. D. Oct. 4, '27)

De Toenemende onlust in Indië (H. N. v. d. D. Oct. 4, '27)

鐵道完備せる南スマトラの發達 (J. N. Oct. 5, '27)

英領印度

The Petroleum Situation in Burma (Com. R. No. 35, Aug. 29, '27. P. 544)

Prosperity Increases Ceylon's Foreign Needs (Com. R. No. 38, Sept. 19, '27. P. 709)

Opium Not a Cure for Malaria. Mistaken Beliefs (S. F. P. Oet. 3, '27)

其他

Analysis of New Zealand's 1926 Lumber Trade (Com. R. No. 38, Sept. 10, '27. P. 751)

Fish Curing in Ceylon. How Profitable Industry Could be Revived (S. F. P. Sept. 27, '27)

De Uitvoerhandel van Serawak gedurende 1926 (L. N. e. H. No. 39, Sept. 30, '27)

Burmese Funeral Customs. At a Buddhist Funeral (S. F. P. Sept. 30, '27)

□歐　羅　巴□

General

Religious Liberty in the West. By C. Delisle Burns (C. R. Vol. LVIII, No. 10, Oct. '27)

英國及佛蘭西

British Finance Act of 1927 Makes Radical Changes in Tax System (Com. R. No. 35, Aug. 29, '27. P. 521)

De "Empire Marketing board" (L. N. e. H. No. 39, Sept. 30, '27)

Le Budget de 1928 (le T. Sept. 22, 24, '27. P. 102)

和蘭

De troonrede (H. N. v. d. D. Sept. 20, '27)

Opening der staten-Generaal (S. Hb. Sept. 21, '27)

De wijziging van de dienstplichtwet (S. Hb. Sept. 27, '27)

其他

Complete Story of the Soviet Oil Squabble. By Arthur B. Darling (C. W. R. Vol. XLII, No. 7, Oct. 15, '27)

□兩　米　大　陸□

北米合衆國及南米

Geographical Distribution of Foreign Trade in 1926-27 (Com. R. No. 35, Aug. 29, '27. P. 515)

Six Months' Trade of the United States with the Far (Com. R. No. 36, Sept. 5, '27. P. 632)

United States Trade in Coffee, Fiscal Year 1927 (Com. R. No. 37, Sept. 12, '27. P. 677)

De Braziliaansche koffiepolitiek (L. N. e. H. No. 38, Sept. 23, '27)

"The USSR a World Enigma" A Review by J. B. P. (C. W. R. XLII, No. 4, Sept. 24, '27)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Rubber Smuggling Colony to Co-Operate With F. M. S. (S. F. P. Sept. 27, '27)

新西蘭の貿易狀況(一、二、三) (N. O. N. Sept. 27, Oct. 5, 13 '27)

Chamber of Commerce. The Halfyearly Meeting (S. F. P. Oct. 1, '27)

British Malaya Rubber. September Statistics (S. F. P. Oct. 4, '27)

Malayan Forest Folk. The "Languages" of Apes (S. F. P. Oct. 5, '27)

Kelantan's Future (S. F. P. Oct. 5, '27)

Tunny and Bonito Fishing Clever Japanese Anglers (S. F. P. Oct. 6, '27)

Restriction Problems. F. M. S. Opinions (S. F. P. Oct. 7, '27)

The Dutch Air Mail (S. F. P. Oct. 10, '27)

Legislative Coucil (S. F. P. Act. 11, '27)

The State of the Colony Annual Review (S. F. P. Oct. 11, '27)

新嘉坡港の貿易狀況(一) (N. O. N. Oct. 13, '27)

The Padi Planters of Putatan (S. F. P. Oct. 14, '27)

蘭 領 東 印 度

The Growing Markets of Netherlands India (Com. R. No. 36, Sept. 5, '27. P. 579)

Jaarverslag suikersijndicaat en arbeids Conflicten (S. Hb. Sept. 12, '27)

Felle critiek op de indische regeering (H. N. v. d. D. Sept. 14, '27)

Een leemte in de indische staatsregeling (S. Hb. Sept. 15, '27)

Werking Hinder-ordonnantie (H. N. v. d. D. Sept. 15, '27)

De reis van den Landvoogd (H. N. v. d. D. Sept. 16, '27)

Leger-Uitbreiding (H. N. v. d. D. Sept. 17, '27)

Geldigheid van toelating-kaarten (H. N. v. d. D. Sept. 17, '27)

Een Nieuwe industrie op Java (H. N. v. d. D. Sept. 17, '27)

爪哇米の增收問題 (J. N. Sept. 18, '27)

蘭領印度の新憲法 (J. N. Sept. 18, 20, 21, '27)

De kinderwetten (S. Hb. Sept. 19, '27)

Het onderwijscongres (S. Hb. Sept. 19, 21, 23, '27)

Van eiland in opkomst (S. Hb. Sept. 19, 20, 21, '27)

Het huidige grondonderzoek van het proefstation voor de Java-Suikerindustrie (S. Hb. Sept. 22, '27)

Indische politiek (H. N. v. d. D. Sept. 22, '27)

Roomsche propaganda in Oost-Indië (H. N. v. d. D. Sept. 22, '27)

Particulier Contra Gouvernementeel bedrijf (S. Hb. Sept. 24, 27)

De Opening van den 13de jaarmarkt (S. Hb. Sept. 24, '27)

Feiten en Cijfers gevraagd (H. N. v. d. D. Sept. 24, '27)

De poenale Sanctie elders (H. N. v. d. D. Sept. 29, '27)

Indonesië en Japan (H. N. v. d. D. Sept. 29, '27)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那

Sur le Mékhong. Quand débloquera-t-on le Laos? (M. C. No. 49, Sept. '27. P. 7)

Le Comité de l'Indochine étudie le régime des concessions rurales dans les différents pays de l' Union. (E. E. I. No. 534, Sept. 4, '27. P. 1)

Causeries sur l'histoire d'Annam. (F. E. I. No. 534, Sept. 4, '27. P. 4)

La route de Dongha à Savannakhet. (F. F. I. No. 534, Sept. 4, '27. P. 6)

Le Thé Chinois (E. E. I. No. 534, Sept. 4, '27. P. 8)

Dans les terres rouges du Nord-Annam, les plantations de la Sté des Terres Ronges du Thanh-Hoa. (F. E. I. No. 534, S34, Sept. 4, '27. P. 10)

L' Ecole des Arts Cambodgiens(le C. S. Sept. 9, '27. P. 1)

Hongay et ses alentours (A. T. Sept. 10, 13, '27. P. 1)

La question de la main-d'oeuvre sur les plantations du Sud. (E. E. I. No. 535, Sept. 11, '27. P. 1)

L' Institution du Crédit populaire agricole. (E. E. I. No. 535, Sept. 11, '27. P. 3)

Chronique des Mines (E. E. I. 535, Sept. 11, '27. P. 13)

L'Indochine a besoin de la France (F. I. Sept. 12, 13, '27. P. 1)

Le developpement des tramways en Cochinchine (F. I. Sept. 17, '27. P. 1)

La question de la main-d'oeuvre sur les plantations du Sud.(E. E. I. No. 536, Sept. 18, '27. P. 1)

L'Instituton du Crédit populaire agricole. (E. E. I. No. 536, Sept. 18, '27. P. 6)

Les richesses que la Cochinchine tient en réserve. (F. I. Sept. 18, '27. P. 1)

M. Varenne a opéré en Indochine un beau redressement financier (le C. S. Sept. 21, '27. P. 1)

La mise en valenr de l'Indochine(F. I. Sept. 22, '27. P. 1)

Les diverses races de l'Indochine et leur importance respective. (E. E. I. No. 537, Sept. 25, '27. P. 5)

Chronique des Mines(E. E. I. No. 537, Sept. 25, '27. P. 15)

La Situation Financiere de l'Indochine (F. I. Sept. 29, 27. P. 1)

Le Crédit populaire Agricole en Indochine F. I. Sept. 29, 27.' P. 1)

暹羅

Australian Mining—Interested in Siam (B. T. Sept. 17, '27)

This Year's Crop. (B. E. 2470) (B. T. Sept. 20, '27)

Ancient Administration in Siam—Prince Dhamrong Lecture (B. T. Oct. 10, '27)

英領馬來

南洋遍歷(五)馬來半島其の十一、二、三、四、五、六 (N. O. N. Sept. 5, 13, 20, 27, Oct. 5, 13, '27)

ブルネイ王國最近の事情(四)(五)(六) (N. O. N. Sept. 5, 13, 20, '27)

Singapore's Traffic. Bus and Rikisha Problem (S. F. P. Sept. 23, '72)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Emigration in 1926 (H. D. P. Act. 14, '27)

比　律　賓

Quezon Voices Protest Against City Extension in Conference With G. G. (P. H. Sept 14, '27)

Senator Sumulong Applauds Dean Kalaw's Criticisms of Present Independence Drive. (P. H. Sept. 14, '27)

Expenditures Exceed Income by-P-200, 029. 67 (P. H. Sept. 14, '27)

Central Experiment Station For Sugar Strongly Urged by Roxas (P. H. Sept. 14, '27)

Enforcement of Election Law to be Urged Upon G. G. (P. H. Sept. 15, '27)

Sugar Planters Urged to Form Labor Agency (P. H. Sept. 16, '27)

P. I. is Now Sixth in Sugar Production (P. H. Sept. 16, '27)

More Centrals Needed to Mill Cane Output (P. H. Sept. 16, '27)

P. I. Dealers in Wood Make Huge Profits (P. H. Sept. 17, '27)

Tobacco Experts Make Helpful Suggestions P. H. Sept. 18, '27)

Abaca Centrals (P. H. Sept. 18, '27)

1928 Budget Suffers Further Decrease in Senate Committee (P. H. Sept. 20, '27)

Copra Dealers Challenge Claims of Coconut Oil Manufactnrers (P. H. Sept. 20, '27)

Our Mining Industry (P. H. Sept. 21, '27)

Quezon to Leave Early in October to Present P. I. Cause to Coolidge (P. H. Sept. 24, '27)

Osmena Will Accompany Quezon to Washington to Talk with Coolidge (P. H. Sept. 30, '27)

A Trip to the Home of the Igorotes (N. C. D. N. Oct. 1, '27)

P. I. Urged to Trade Closely with Japan (P. H. Oct. 7, '27)

Wood's Death Intensifies Problem, Bacon says M. T. Oct. 2, '27)

Both Quezon and Osmena Anxious for Cooperation from People of Islands (M. T. Oct. 2, 27)

Lumber Export of P. I. is Continually Growing (P. H. Oct. 12, '27)

Japan Seen as Biggest Market for P. I. Woods (P. H. Oct. 14, '27)

Japanese Fishing in P. I. Waters Opposed (P. H. Oct. 14, '27)

Independence Urged by American Labor (M. T. Oct. 16, '27)

U. S. Government to Establish Rubber Station in Mindanao (P. H. Oct. 16, '27)

Rubber Station Plan Causes P. I. Lawmakers Alarm (P. H. Oct. 18, '27)

President Coolidge is not Decided on Name of New Governor General of Philippine Islands, According to A Statement from Republican Camp (P. H. Oct. 18, '27)

City Budget For 1928 is in Excess of Revenue (P. H. Oct. 19, '27)

Europe in Sympathy with Filipino People (P. H. Oct. 20, '27)

Senate Makes Important Changes in 1928 Budget prepared by G. G. (P. H. Oct. 22, '27)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Unification of Japan's Interests in Manchuria (Reprinted from the Japan Chronicle, (C. W. R. Vol. XLII, No. 5, Oct. 1, '27)

Some Problems of the New Nationalist Government. By J. B. P.(C. W. R. Vol. XLII, No. 5, Oct. 1, '27)

Who's Who in China. Mr. Kungchen Koo (戈公振) (C. W. R. Vol. XLII, No. 5, Oct. 1, '27)

Gold in Manchuria. By Boris P. Torgasheff (C. W. R. Vol. XLII, No. 5, Oct. 1, '27)

Road Building in Southern Fukien (C. E. B. Vol. XI, No. 345, Oct. 1, '27. P. 174)

Foochow Merchants' New Organisation (C. E. B. Vol. XI, No. 345, Oct. 1, '27. P. 177)

America Should Clarify Her Relations with China (Reprinted from the Chicago Tribune for August 30) (C. W. R. Vol. XLII, No. 5, Oct. 1, '27)

The Nationalist Movement in China: its Significance and its Results (P. H. Oct. 2, '27)

Intervention Now or War? (N. C. D. N. Oct. 4, '27)

Recent Soviet Activities in Northern Manchuria. By Albert Y. Hugh, PH. D., LL. B. (C. W. R. Vol. XLII, No. 6, Oct. 8, '27)

General Yen Now Mobilizes! By C. Y. W. Meng (C. W. R. Vol. XLII, No. 6, Oct. 8, '27)

Black Tea Trade of Hankow (C. E. B. Vol XI, No. 346, Oct. 8, '27. P. 194)

Antimony in the Far East. By Boris P Torgasheff (C. W. R. Vol. XLII, No. 6, Oct. 8, '27)

Dangerous Navigation on the China Coast. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLII, No. 6, Oct. 8, '27)

The Problem of Japan and Manchuria. By Charles Dailey (C. W. R. Vol. XLII, No. 6, Oct. 8, '27)

Who's Who in China. Mr. King Chu, Chu, King Nung (朱經農) (C. W. R. Vol. XLII, No. 6, Oct. 8, '27)

Chinese Emancipation-Attitude of the Foreian Powers Towards the Movement: Problems that Japan is Faced with (N. C. D. N. Oct. 13, 14, '27)

China's Needs and Prospects. By Charles Dailey (C. W. R. Vol. XLII, No.7, Oct. 15, 15, '27)

Who's Who in China. Mr. Yu Tinn Hugh (余天休) (C. W. K. Vol. XLII, No. 7, Oct. 15, '27)

Future of the Chinese Revolution. By Paul Blanchard (C. W. R. Vol. XLII, No. 7, Oct. 15, '27)

Antimony in the Far East. By Boris P Torgasheff (C. W. R. Vol. XLII, No. 7, Oct. 15, '27)

Kiao-Tsi Railway Plans a Reconstruction Program By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLII, No. 7, Oct. 15, '27)

Chinese are "Intruders" in Manchuria. By Gyokujo Hanzawa (C. W. R. Vol. XLII, No. 7, Oct. 15, '27)

Old Chinese Government Lacked a Central System (P. H. Oct. 16, '27)

Business Conditions in Canada (N. C. D. N. Oct. 21, '27)

Suppression of Piracy. Draft of Government Regulations (H. D. P. Oct. 10, '27)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

The Finances of the Nationalist Army (C. W. R. Vol. XLII, No. 3, Sept. 17, '27)

While Nationalists Talk Politics, Japan Prepares to Annex Manchuria! ByJ. B. P.(C. W. R. Vol. XLII, No. 3, Sept. 17, '27)

Christian Missions and the Situation in China. By A. L. Warnshuis(C. W. R. Vol. XLII, No. 3, Sept. 17, '27)

Who's Who in China. Gen. Chang Tin-fan (張定璠)(C. W. R. Vol. XLII, No.3, Sept. 17, '27)

Bamboo Splint Trade of Foochow (C. E. B. Vol. XI, No. 344, Sept. 24, '27. P. 161)

Is a New American Policy Toward China Pending? (C. W. R. Vol. XLII, No. 4, Sept. 24, '27)

Chinese Social and Political Psychology. By Albert Y. Hugh (C. W. R. Vol. XLII, No. 4, Sept. 24, '27)

Essentials to Friendly Relations with China. By Donald M. Brodie (C. W. R. Vol. XLII, No. 4, Sept. 24, '27)

Time for U. S. to Take more Interest in China (Cleveland, Ohio. Plain-Dealer) (C. W. R. Vol. XLII, No. 4, Sept. 24, '27)

The Kuomintang Conference at Nanking. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLII, No. 4, Sept. 24, '27)

Soochow University Elects Chinse President-Applies for Government Registration. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLII, No. 4, Sept. 24, '27)

Who's Who in China. Mr. Y. C. Yang, M. A., LL. B. Yang Yung-ching (楊永清) (C.W. R. Vol. XLII, No.4, Sept. 24, '27)

Changes in the Chinese Picture (From the Baltimore Sun) (C. W. R. Vol. XLII, No. 4, Sept. 24, '27)

Gold in Manchuria. By Boris P. Torgasheff (C. W. R. Vol. XLII, No. 4, Sept. 24, '27)

The Three Principles(N. C. D. N. Sept. 28, 30, Oct. 4, 5, 6, 7, 8, 10, 12, 13, 14, 17, 18, 21, '27)

Trade Tendencies in China. Features of Present Position (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3345, Sept 29, '27. P. 713)

Analysis of Strikes in China, from 1918 to 1926 (to be continued) (C. E. J. Vol. 1, No. 10, Oct. '27. P. 843)

A Study of the Sugar Industry in China (to be contineced) (C. E. J. Vol. 1, No. 10, Oct. '27 P. 866)

Straw Hat Industry in Shanghai (C. E. J. Vol. 1, No. 10, Oct. '27. P. 896)

Towns on the Tehchon-Nankung Motor Road (德南汽車路)(C. E. J. Vol. 1, No. 10, Oct. '27. P. 902)

Sericulture in Foochow (C. E. J. Vol. 1, No. 10, Oct. '27. P. 908)

Christianizing China's Economic Life. By The Editor (C. R. Vol. LVIII, No. 10, Oct. '27)

The Woman's Movement in China. By Irene Dean (C. R. Vol. LVIII, No. 10, Oct. '27)

The Shanghai Crime Situation (C. W. R. Vol. XLII, No. 5, Oct. 1, '27)

How to Fight Communism in China! (C. W. R. Vol. XLII, No. 5, Oct. 1, '27)

The Development of Nation-Alism in Manchuria (C. W. R. Vol. XLII, No. 5, Oct. 1, '27)

Japan's 'Altruistic' Plans for Manchuria (C. W. R. Vol. XLII, No. 5, Oct. 1, '27)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Sources and Production of Cork (Com. R. No. 35, Aug. 29, '27. P. 542)

World Radio Markets: Broad-Casting Service (Com. R. No. 36, Sept. 5, '27. P. 601)

World Trade in Eggs and Egg Products (Com. R. No. 36, Sept. 5, '27. P. 608)

De Wereldproductie van Suikerbiet (L. N. e. H. No. 39, Sept. 30, '27)

Schatting der wereldsuikerproductie (S. i. N. I. No. 40, Oct., '27)

□亞 細 亞□

日 本

Japan's Coal Industry. By Walter Buchler (F. E. R. Vol. XXIII, No. 9, Sept., '27. P. 413)

De toesland in de Japansche cementnijverheid (L. N. e. H. Sept. 23, '27)

支那及香港

Shanghai Prospers in spite of troubled conditions in China, Trade Booms (F. E. R. Vol. XXIII, No. 9, Sept., '27. P. 391)

China as a Market for Machinery (F. E. R. Vol. XXIII, No. 9, Sept., '27. P. 395)

The Chinese Eastern Railway in 1926. (F. E. R. Vol. XXIII, No. 9, Sept., '27. P. 415)

China-Land of Primitive Cane Culture (F. F. R. Vol. XXIII, No. 9, Sept., '27. P. 421)

Salt Refining and Alkali manufacturing in Tientsin (F. E. R. Vol. XXIII, No. 9, Sept., '27. P. 424)

Shanghai Trade (1926) (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3341, Sept. 1, '27. P. 651)

Aims of the Ankuochun. By H. T. (C. W. R. Vol. XLII, No. 2, Sept. 10, '27)

Significance of Secret Societies in Chinese Life. By Albert Y. Hugh (C. W. R. Vol. XLII, No. 2, Sept. 10, '27)

Some Well-Known Manufactures of Hangchow (Chinese Economic Journal) (C. W. R. XLII, No. 2, Sept. 10, '27)

Reorganizing Shanghai's Educational System. By King Chu, M. A. (C. W. R. Vol. XLII, No. 2, Sept. 10, '27)

Who's Who in China. Gen. Pao Wen-Wei (柏文蔚字烈武) (C. W. R. Vol. XLII, No. 2, Sept. 10, '27)

From China to Manchuria. Fleeing from War and Poverty (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3343, Sept. 15, '27. P. 681)

Chinese Porcelain. An Art of Antiquity (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3343, Sept. 15, '27. P. 683)

Roses, Rose Sugar, and Rose Essence in Kangtung (C. E. B. Vol. XI, No. 347, Oct. 15, '27. P. 200)

Foreign Paper in China (C. E. B. Vol. XI, No. 347, Oct. 15, '27. P. 207)

Says U. S. is Playing a "Deep Game" in China. ! (C. W. R. Vol. XLII, No. 3, Sept. 17, '27)

Silkmen Worried by Japanese Overproduction. By Poul K. Whang (C. W. R. Vol. XLII, No. 3, Sept. 17, '27)

Tariff Autonomy Must Comes. By C. Y. W. Meng (C. W. R. Vol. XLII, No. 3, Sept. 17, '27)

Japan's New 'Forward' Policy in Manchuria. (From the Japan Chronicle, British Papar, Kobe, Japan) (C. W. R. Vol. XLII, No. 3, Sept. 17, '27)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那南洋其他海外
重要記事索引

臺灣總督官房調査課

◆ 新聞雜誌略號一覽表 ◆

A. T.	L'avenir du Tonkin (Sept. 1-30, '7)
B. T.	Bangkok Times (Sept. 14-Oct. 11, '27)
C. E. B.	Chinese Economic Bulletin (No. 344, Sept. 24-No. 348, Oct. 22, '27)
C. E. J.	Chinese Economic Journal (Vol. 1, No. 10, Oct., '27)
C. E. T.	China Express and Telegraph (Vol. LXIX, No. 3341, Sept. 1-No. 3345, Sept. 29, '27)
Com. R.	Commerce Reports (No. 34, Aug. 22-No. 38, Sept. 19, '27)
C. R.	Chinese Recorder (Vol. LVIII, No. 10, Oct., '27)
C. W. R.	China Weekly Review (Vol. XLII, No. 2, Sept. 10-No. 7, Oct. 15, '27)
E. E. I.	L'éveil économique de l'Indochine (Sept. 4-25, '27)
F. E. R.	Far Eastern Review (Vol. XXIII, No. 9, Sept., '27)
F. I.	France-Indochine (Sept. 1-30. '27)
H. D. P.	Hongkong Daily Press (Sept. 15-Oct. 14, '27)
H. N. v. d. D.	Het Nieuws van den Dag (Sept. 14-Oct. 4, '27)
J. N.	Java Nippo (Oct. 1-5, '27)
le C. H.	Le Courrier d'Haiphong (Sept. 1-30, '27)
le C. S.	Le Courrier Saigonnais (Sept. 1-30, '27)
L. N. e. H.	Landbouw, Nijverheid en Handel (Sept. 23-Oct. 7, '27)
le T.	Le Temps (Sept. 1-30, '27)
M. C.	Le Monde Colonial (No. 49, Sept., '27)
M. T.	Manila Times (Oct. 16, '27)
N. C. D. N.	North China Daily News (Sept. 28-Oct. 22, '27)
N. O. N.	Nanyo Oyobi Nihon-Jin (Sept. 5-Oct. 13, '27)
P. H.	Philippine Herald (Sept. 14-Oct. 22, '27)
S. F. P.	Singapore Free Press (Sept. 16-Oct. 14, '27)
S. Hb.	Soerabajasch Handelsblad (Sept. 10-30, '27)
S. i. N. I.	Suikerindustrië in Ned-Indië (No. 40, Oct., '27)

甲　甲　甲

□ 世　界 □

General

World Shipping Approaches Stability (Com. R. No. 35, Aug. 29, '27. P. 538)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN